アクサ生命

健康経営優良法人2022 インタビュー

Voice Report

140th The interview

Voice Report 1400号記念号発刊によせて

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは世界中の人々の働き方に影響を与え、また健康観を根底から変えました。多様な労働環境も導入され、企業は従業員の生きがいややりがい、生活全般を含めた幸福度の向上も視野に入れた改革を一層求められるようになりました。また、この間、少子化、未婚化、人口の地域偏在が加速し、コミュニティの維持だけではなく、国家の維持にも大きなリスクをもたらすようになっています。このような社会情勢の中で、生涯にわたって現役であり続け、またジェンダー、発達に課題を抱える人々、国籍の違いなどを包摂しながら、社会を維持、発展させていく仕組みづくりが必要とされています。多様性（ダイバーシティ）を受け入れ、持続可能な開発目標（SDGs）の理念にも挙げられている社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）を達成していくためには、お互いの理解を促し、受け入れ、工夫していく力の醸成が必要となってきます。

現在、「健康の社会的決定要因」への対策の重要性が指摘されています。健康に決定的に影響を与えてしまう、地域や家族の経済的社会的要因、地理的要因、生活環境、労働環境などです。これまで、私は糖尿病など生活習慣病等の重症化予防事業に取組んできましたが、生活習慣の改善には地域や職域における健康管理や家庭生活などの環境改善が極めて重要であることを痛感しています。そして、一人ひとりが自分のものとして身に付けている、広く健康に関する知識（ヘルスリテラシー）も健康の維持に決定的な影響を与えることがわかりました。従業員全体のヘルスリテラシーが高いと、高齢の従業員が多くても、健診もうまく活用しながら、早期発見・早期対処ができています。

アクサ生命さまとは数年にわたり、共同研究で健康経営支援プログラムを作成するなど、健康経営に関するお手伝いをさせていただいています。『健康経営 アクサ式』は、人的経済的資源が限られる中小企業の健康経営を支える、まさに『働くすべての方とそのご家族に人生100年時代を健やかで幸せに生き抜いていただく』『会社の永続的発展を実現する』ことを目的とした包括的な取組みであると考えております。今回のVoice Reportにも、地域や業種、従業員の構成などの特性に応じた健康経営の素晴らしい実践例が掲載されており、参考になります。2015年にオール・ジャパンで日本健康会議が発足し、「健康なまち・職場づくり宣言」が提唱されてから約8年、大きな前進がみられていることに深い感慨を覚えます。

こうした取組みに関われることは非常に光栄であり、みなさまが今後ますます発展されることを祈念しております。

広島大学大学院医系科学研究科 成人看護開発学 教授
日本健康会議実行委員
森山 美知子

カリフォルニア州立大学フレズノ校看護学部大学院（看護学修士、老人看護専門看護師コース）。博士（医学）。京都第一赤十字病院、日本赤十字社医療センターなどで看護師として勤務。厚生労働省看護専門官などを経て、2002年より現職。全国の医療保険者等に疾病管理プログラムを提供する(株)DPPヘルスパートナーズ（元取締役会長）。日本学術会議連携会員他。

この度、Voice Report1400号を刊行することができました。全国の企業経営者の皆様に様々な知見をご披露いただいた賜物であり、厚く御礼申しあげます。

企業経営者の皆様にとって健康経営を実践する目的は、社会に対して価値提供し続け企業の永続的な発展を実現することであるといえます。

そして、企業の発展を支える従業員の皆様は、企業においてかけがえのない存在であり、企業における価値創造を支える極めて大切な資本であるといえます。

一方で、企業を支える従業員の皆様が、価値を創造し続けるには、健康は必要な要素ですが、それだけでは十分ではありません。健康に加えて、自らの仕事の社会的な意味や意義を理解し、働きがいのある仕事をし続けたいと願うこと、そして、人生100年時代を前向きに捉え充実した人生を自らが創り上げる信念をお一人おひとりが持つこと、が重要です。

こうした健康観、仕事観、人生観という視点は、Well-beingの実現に密接に結びついています。従業員のWell-beingを企業が支えることで、日常的に幸福な社員が集い、価値を創造し、企業が発展していくのだと考えています。ご披露いただいた事例では、こうした好循環を企業経営者の皆様が自然と実践されていらっしゃることに敬服いたします。

政府は、企業価値の大半が人的資本を含む無形資産から生じていることに鑑みて、本年中には、財務諸表に載らない人的資本に対する投資状況について企業に積極的に開示を求めることとなりました。そして、健康経営はこの方向性に沿って進化しています。

アクサ生命は、「人生の目的やビジョンに基づいて人生の計画を立て、主体的に自分の人生を経営していくこと」を『ライフマネジメント®』と名付けました。そして、健康経営の実践支援においても、一人でも多くの皆様にこの取り組みを進めていただくことをサポートし、より高いレベルで健康経営実践の目的を実現いただくことを目指しています。

地政学的な状況や経済状況の急速な変化に直面する今、私たちは目の前の不安に集中しがちです。しかし、どのような未来を創り上げたいのか、そのために何をすべきか、そうした未来をデザインする力こそが、不安を乗り越え、活き活きと働き価値を創造し続け、明るい未来や人生そして明るい社会を切り拓く原動力となると確信しています。

Voice Reportにご協力いただいた企業様の益々のご発展を心より祈念申しあげますとともに、私どもも微力ではございますが、働く皆様とそのご家族のWell-beingの実現、企業様の持続的な発展、その結果としての社会の持続可能性向上に向けて、日々努力を積み重ねてまいります。

アクサ生命保険株式会社
代表取締役副社長兼チーフディストリビューションオフィサー
幸本 智彦

CONTENTS

ホワイト500

				P.
1209	株式会社神戸ポートピアホテル	兵庫県	神戸営業所	10

大規模法人

				P.
1210	岩田地崎建設株式会社	北海道	札幌営業所	11
1211	株式会社タイヤワールド館ベスト	宮城県	仙台FA支社	12
1212	橋本総業株式会社	東京都	東京第一FA支社	13

ブライト500

				P.
1213	アイビック食品株式会社	北海道	札幌営業所	16
1214	ウェルネスワーク株式会社	青森県	八戸営業所	17
1215	toBeマーケティング株式会社	東京都	東京第一FA支社	18
1216	株式会社ジャパンイーエーピーシステムズ	東京都	東京第一FA支社	19
1217	株式会社キタセツ	東京都	首都圏第三FA支社	20
1218	大高建設株式会社	富山県	富山営業支社	21
1219	株式会社セクテック	岐阜県	東海中央FA支社	22
1220	友光測範株式会社	岐阜県	東海中央FA支社	23
1221	三幸土木株式会社	愛知県	東海中央FA支社	24
1222	株式会社アダムスセキュリティ	滋賀県	京都営業所	25
1223	株式会社サンフレッシュ	京都府	京都営業所	26
1224	キンキ道路株式会社	大阪府	大阪営業所	27

中小規模法人

東北・北海道

				P.
1225	株式会社サンドラッグプラス	北海道	札幌FA支社	30
1226	株式会社BWORKS	北海道	札幌FA支社	31
1227	株式会社道南事務機器	北海道	苫小牧営業所	32
1228	有限会社アルフ	北海道	苫小牧営業所	33
1229	トラスト・セキュリティ株式会社	北海道	苫小牧営業所	34
1230	紀の國建設株式会社	北海道	函館営業所	35
1231	函館商工信用組合	北海道	函館営業所	36
1232	フジ暖房工業株式会社	北海道	帯広営業所	37
1233	髙堂建設株式会社	北海道	帯広営業所	38
1234	フジプラント株式会社	青森県	弘前営業所	39
1235	株式会社小坂工務店	青森県	十和田営業所	40
1236	三陸土建株式会社	岩手県	盛岡営業所	41
1237	株式会社菊地建設	岩手県	大船渡営業所	42
1238	中村建設株式会社	岩手県	大船渡営業所	43
1239	株式会社角登商店	岩手県	大船渡営業所	44
1240	コスモ警備株式会社	宮城県	仙台FA支社	45
1241	WIDEFOOD株式会社(肉のいとう)	宮城県	仙台営業所	46
1242	株式会社東部環境	宮城県	石巻営業所	47
1243	株式会社丸の内運送	山形県	山形営業所	48
1244	株式会社ミツワ企業	山形県	山形営業所	49
1245	山形県水株式会社	山形県	山形営業所	50
1246	有限会社東住宅産業	山形県	天童営業所	51
1247	太田建設株式会社	山形県	米沢営業所	52
1248	株式会社フクセツ	福島県	福島営業所	53
1249	有限会社相木電設工業	福島県	会津若松営業所	54
1250	株式会社目黒工業商会	福島県	会津若松営業所	55
1251	株式会社メイワ	福島県	相双営業所	56

関東

				P.
1252	株式会社ノーブルホーム	茨城県	水戸営業所	57
1253	株式会社エムエス	茨城県	水戸営業所	58
1254	常磐運送株式会社	茨城県	水戸営業所	59
1255	有限会社苅部建設	茨城県	茨城西営業所	60
1256	株式会社マルキホームズ	群馬県	前橋営業所	61
1257	システム開発株式会社	群馬県	伊勢崎営業所	62
1258	株式会社CPS	埼玉県	東京第一FA支社	63
1259	株式会社青木商事	埼玉県	首都圏第五FA支社	64
1260	有限会社建修社	千葉県	千葉FA支社	65
1261	株式会社日東物流	千葉県	千葉営業所	66
1262	株式会社キミツ鐵構建設	千葉県	木更津営業所	67
1263	株式会社共栄サービス	千葉県	松戸営業所	68
1264	野田ガス株式会社	千葉県	松戸営業所	69
1265	天伸株式会社	千葉県	松戸営業所	70
1266	株式会社斉藤総業	千葉県	船橋営業所	71
1267	CTCファーストコンタクト株式会社	東京都	首都圏第三FA支社	72
1268	味の素エンジニアリング株式会社	東京都	首都圏第四FA支社	73
1269	株式会社サンライフ企画	東京都	首都圏第五FA支社	74
1270	株式会社サムシング	東京都	首都圏第五FA支社	75
1271	株式会社マイプレイス	東京都	首都圏第六FA支社	76
1272	セントワークス株式会社	東京都	首都圏第七FA支社	77
1273	株式会社藤倉運輸	東京都	丸の内営業所	78
1274	永山運送株式会社	東京都	むさし府中営業所	79
1275	三友通信株式会社	東京都	むさし府中営業所	80
1276	海老名商工会議所	神奈川県	相模原営業所	81
1277	富士冷熱工業株式会社	神奈川県	相模原営業所	82
1278	三喜工業株式会社	神奈川県	湘南営業所	83
1279	亀井工業ホールディングス株式会社	神奈川県	湘南営業所	84
1280	共信冷熱株式会社	山梨県	甲府営業所	85
1281	山梨交通株式会社	山梨県	甲府営業所	86
1282	有限会社田辺運輸	山梨県	甲府営業所	87
1283	株式会社甲府情報システム	山梨県	甲府営業所	88
1284	甲府商工会議所	山梨県	甲府営業所	89
1285	一般社団法人山梨県トラック協会	山梨県	甲府営業所	90
1286	株式会社ニステック	山梨県	甲府営業所	91
1287	株式会社山田硝子工業	山梨県	富士吉田営業所	92
1288	渡秀工業株式会社	山梨県	富士吉田営業所	93
1289	株式会社日本都市設計	山梨県	富士吉田営業所	94
1290	富士吉田商工会議所	山梨県	富士吉田営業所	95
1291	株式会社フジハラセイメン	山梨県	山梨北営業所	96
1292	株式会社丸武部品	静岡県	遠州営業所	97

北信越

				P.
1293	株式会社青木農場	新潟県	新潟営業所	98
1294	株式会社ホンマ	新潟県	新潟営業所	99
1295	新潟メタリコン工業株式会社	新潟県	新潟営業所	100
1296	大野旅客自動車有限会社	福井県	福井営業所	101
1297	ジェイエスピー株式会社	長野県	長野営業所	102
1298	有限会社茅野工業	長野県	諏訪営業所	103
1299	諏訪貨物自動車株式会社	長野県	諏訪営業所	104
1300	株式会社サワイ	長野県	佐久営業所	105

関西・東海

				P.
1301	社会保険労務士法人まごころ	岐阜県	東海中央FA支社	106
1302	坪井自動車鈑金有限会社	岐阜県	東海中央FA支社	107
1303	株式会社都築産業	岐阜県	岐阜営業所	108
1304	株式会社臼田工業	岐阜県	岐阜営業所	109
1305	笠原鋼鉄株式会社	岐阜県	岐阜営業所	110
1306	高和工業株式会社	岐阜県	西濃営業所	111
1307	協発工業株式会社	愛知県	東海中央FA支社	112
1308	特定非営利活動法人ウィル大口スポーツクラブ	愛知県	東海中央FA支社	113

健康経営優良法人2022 インタビュー

Voice Report

140th The interview

1309	株式会社喜多村	愛知県	東海中央FA支社	114
1310	株式会社高坂工業	愛知県	東海中央FA支社	115
1311	尾畑長硝子株式会社	愛知県	東海中央FA支社	116
1312	社会保険労務士法人名古屋労災	愛知県	東海中央FA支社	117
1313	中島急送株式会社	愛知県	東海中央FA支社	118
1314	イー・バレイ株式会社	愛知県	東海第二FA支社	119
1315	株式会社ヘルスケアシステムズ	愛知県	東海第二FA支社	120
1316	株式会社オーテクニック	愛知県	名古屋営業所	121
1317	ニットーケイビ株式会社	愛知県	名古屋営業所	122
1318	株式会社維研	愛知県	小牧営業所	123
1319	株式会社浅井製作所	愛知県	岡崎営業所	124
1320	株式会社マイシン	愛知県	豊橋営業所	125
1321	小池商事株式会社	愛知県	豊橋営業所	126
1322	有限会社水野印刷工芸	愛知県	豊橋営業所	127
1323	丸七住宅株式会社	愛知県	豊橋営業所	128
1324	新英ホールディングス株式会社	愛知県	安城営業所	129
1325	株式会社近藤工作所	愛知県	安城営業所	130
1326	株式会社KRB	愛知県	豊田営業所	131
1327	河田フェザー株式会社	三重県	中京中央FA支社	132
1328	ナガフジ産業有限会社	三重県	中京中央FA支社	133
1329	有限会社鈴木モータース	京都府	京都営業所	134
1330	ツバメ瓦斯株式会社	京都府	福知山営業所	135
1331	株式会社MIMA	大阪府	近畿FA支社	136
1332	Buzoo株式会社	大阪府	大阪営業所	137
1333	紀洋木材株式会社	大阪府	大阪営業所	138
1334	株式会社プレーリードッグ	大阪府	大阪営業所	139
1335	オーエス株式会社	大阪府	大阪営業所	140
1336	阪神高速技術株式会社	大阪府	大阪営業所	141
1337	有限会社後藤研削	大阪府	大阪営業所	142
1338	第一ボールト株式会社	大阪府	大阪営業所	143
1339	前田伝導機株式会社	大阪府	大阪営業所	144
1340	株式会社タカラ塗料	大阪府	大阪営業所	145
1341	株式会社橋爪工務店	大阪府	大阪営業所	146
1342	東光防災株式会社	大阪府	大阪東営業所	147
1343	巴株式会社	大阪府	大阪南営業所	148
1344	和泉商工会議所	大阪府	大阪南営業所	149
1345	サンナッツ食品株式会社	兵庫県	神戸営業所	150
1346	株式会社あべいすと	兵庫県	神戸営業所	151
1347	株式会社成田	兵庫県	神戸営業所	152
1348	motor house ZOO株式会社	兵庫県	神戸営業所	153
1349	有限会社ハタヤ	兵庫県	神戸営業所	154
1350	尼崎南運輸株式会社	兵庫県	阪神営業所	155
1351	阪神ケミカル株式会社	兵庫県	阪神営業所	156
1352	北斗電子工業株式会社	兵庫県	阪神営業所	157
1353	株式会社プライムコーポレーション	兵庫県	阪神営業所	158
1354	株式会社セジオール	兵庫県	阪神営業所	159
1355	株式会社タニキカン	兵庫県	阪神営業所	160

中国・四国

				P.
1356	株式会社三木工務店	岡山県	津山営業所	161
1357	大和建設株式会社	広島県	福山営業所	162
1358	有限会社大下木型製作所	広島県	福山営業所	163
1359	株式会社大造産業	広島県	福山営業所	164
1360	有限会社山本鉄工所	広島県	福山営業所	165
1361	福山自動車サービス有限会社	広島県	福山営業所	166
1362	株式会社光運送	山口県	徳山営業所	167
1363	株式会社芳川鉄工所	山口県	徳山営業所	168
1364	大海電機株式会社	山口県	徳山営業所	169
1365	有限会社ビ庵	山口県	岩国営業所	170
1366	アイネット株式会社	愛媛県	今治営業所	171

九州

				P.
1367	株式会社エトウ	福岡県	柳川営業所	172
1368	竹下産業株式会社	福岡県	柳川営業所	173
1369	株式会社リョーワ	福岡県	北九州営業支社	174
1370	株式会社サカモト美装	長崎県	諫早営業所	175
1371	株式会社中央綜合警備保障	長崎県	諫早営業所	176
1372	大分デバイステクノロジー株式会社	大分県	大分FA支社	177
1373	大分サッシ株式会社	大分県	大分営業所	178
1374	有限会社富城物産	大分県	大分営業所	179
1375	サンテックス株式会社	宮崎県	都城営業所	180
1376	都城商工会議所	宮崎県	都城営業所	181
1377	株式会社中村建設	鹿児島県	鹿児島営業所	182
1378	有限会社渕上事務器	鹿児島県	鹿児島営業所	183
1379	株式会社ノルム	鹿児島県	鹿児島営業所	184
1380	水渕電機株式会社	鹿児島県	鹿児島営業所	185
1381	中央ロード工業株式会社	鹿児島県	鹿児島営業所	186
1382	株式会社有馬電設	鹿児島県	川薩営業所	187
1383	有限会社天野電装	鹿児島県	鹿屋営業所	188

※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

※「ライフマネジメント®」は、アクサ生命保険株式会社の登録商標です。

健康経営優良法人
2022 認定
ホワイト 500

健康経営優良法人
2022 認定
大規模

1209

兵庫県
神戸営業所

株式会社神戸ポートピアホテル

代表取締役社長
中内　仁 氏

お客さまの笑顔と健康に貢献する

- 代表取締役社長　中内　仁 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
- 主な事業内容　ホテル業
- 従　業　員　数　591名(男性:314名・女性:277名)

健康経営優良法人 2022認定
ホワイト 500
健康経営大規模優良法人
2020・2021認定
2022ホワイト500認定

Voice Report 140th

コンセプト:“ポートピアホテル”だからこそできる、私たちが提供する7つの価値をお約束
①Professional(期待にこたえ続けるホテリエ)②Relaxed(安らぎの時間と空間)③Originality(オリジナリティ溢れる提案)④Memorable(伝えたくなる感動)⑤Integrity(伝統が育んだ安心と信頼)⑥Successful(共に叶える成功)⑦Excellence(私たちだから伝えられる神戸の魅力)

健康診断だけでなく、体力の必要性から健康経営

6年前よりお客さまの笑顔と健康に貢献するためには、ホテル従業員が健康的でいきいきと働くことができる健やかカンパニーを目指すことが必要と健康経営に取り組み始めました。まずは健康診断の受診率100%を目指して、併せて体力測定でフィジカルを認識することに着手しました。体力測定は今ではコミュニケーション促進の場にもなっております。各従業員の強み弱みをそれぞれ理解してもらい、心身ともに健康になるよう健康診断データと合わせてアドバイスをしています。

安心できるサポート体制

産業保健師は、産業医・人事総務スタッフと連携して従業員の健康維持・増進、食生活向上に取り組んでいます。特に健康診断の結果や若年層の生活習慣アンケート対象者への個人面談等、本人達の不安を取り除き、早期治療や職場改善に結びつけられるようフィジカル・メンタル両面のサポートをしています。

体力測定の実施

メンタルヘルス対策
セルフケア研修の様子

ソフトボール大会

従業員食堂での
専任シェフによるメニュー提供

多岐に亘る各種イベント

健康促進やコミュニケーション促進を目的として様々な施策を実施しています。スタッフパーティの名目で、新入社員歓迎会を開催したり、スポーツイベントとして、ソフトボール大会やボウリング大会を開催したり、ヨガやストレッチ教室の開催、企業交流マラソンへの参加、社内インストラクターによるストレッチ動画の配信等、出来ると思われるイベントは可能な限り実施しています。従業員の数が多いため、全員参加でのイベントは難しいですが、部署での企画に遊ぶ要素を入れたイベントまでこれからも継続していきたいと思っています。

働き方改革でリフレッシュプログラム

働き方改革において、有給休暇の計画的取得を推奨していますが、ホテル業の特質として連続休暇の取得が難しい業種であるため、繁忙期を除いた時期に連続7日間の休暇取得を推奨しています。この他に自己研鑽用のプログラムとして“リフレッシュプログラム”を用意しています。このプログラムは費用の半分を会社が負担して「歌舞伎」「相撲」「ミュージカル」や研修を兼ねた有名レストランでの食事、ホテル宿泊等従業員が楽しみながら利用しています。

充実したメンタルヘルス研修

メンタルヘルスについては、セルフケア、ラインケアに注力しています。セルフケアの一貫として新入社員や若手社員を中心に毎年研修を行っています。また、メンター制度として、新入社員に対して全く違う部署の年次が近い先輩社員をメンターとし登録して、様々な質問や相談を受けるバディとしています。同じ部署ではないため相談しやすく、社歴が近い先輩が登録されるので、気安く、気軽に話せるため早期ケアを促す制度として従業員から大変好評を得ています。

1210

北海道
札幌営業所

Voice Report 140th

岩田地崎建設株式会社

取締役副社長執行役員
岩田幸治 氏

今年で創業100周年　持続的発展のカギは人財にあり

- 取締役副社長執行役員　岩田幸治 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市中央区
- 主な事業内容　総合建設業
- 従　業　員　数　795名(男性:728名・女性:67名)

健康経営優良法人 2022認定
大規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

創業100周年を機に、ミッション・ビジョン・社訓の再定義を行いました！

ミッション　社会における私たちの存在意義

安心で豊かな社会環境づくりに貢献する

ビジョン　私たちの志・目指す姿

人と自然の最適環境をつくる企業/地域から頼りにされる企業/個々の成長を促す企業

社訓　私たちが、地域、社会、すべてのステークホルダーから信頼され、成長し続けるために、一人ひとりが大切にする価値観

総親和 / 努力 / 誠実

2024年　時間外労働の上限規制適用を前にカルチャーの変革へ

これまで適用除外とされていた建設業でも、2024年4月から時間外労働の上限規制の対象になるとのことで、旧来通りの工事現場の在り方では急には対応することができません。勤怠管理などもシステム化をして少しずつ意識改革をすることで十分な準備をしておきたいと考えています。

人間ドッグ受診料の全額を会社補助

現在の平均年齢は40代ですが、50代以上が非常に多く、30-40代が少なく、年齢構成は砂時計型になっています。定期健康診断受診100％だけでは十分ではないと考え、人間ドッグ受診料の補助を実施しています。ただ、制度だけ準備してもなかなか自発的には利用してもらえないので、会社から本人だけでなく、上長から本人への勧奨も行なっています。

健康ルーム（高気圧酸素室）

女性専用の休憩室を設置

各種スポーツイベントへの参加

ワークライフバランスセミナー開催

その他　様々な取組み

高気圧酸素室や女性専用休憩室などの設備、スポーツイベントやセミナー開催など、従業員が喜ぶ取組みを行なっています。
（※左下写真参照）

福利厚生の充実が20歳代の採用を生む

人事担当者が関東圏の学校を中心に回っていますが、最近はこれまで採用がなかった学校からも入社者が出ています。ここ数年では毎年40名程度の新卒採用がありますが、今の20歳代は、年齢が上の世代のように「休みは要らないから給料が欲しい」というような考えではなく、「お金はそんなに要らないからしっかり休ませてほしい、福利厚生がしっかりしていて欲しい」という考え方が多いと感じています。そういった面から健康経営に取組んでいることはプラスに働いているのではないかと思います。

DXも活用するが基本は人財！

再定義したミッション「安心で豊かな社会環境づくりに貢献する」を実現すべく、社内、社外に対して安心と豊かさの貢献をしていくためにも、社員の健康増進をさらに目指してきたいと思います。また、ビジョンには「個々の成長」を掲げており、人財開発・育成をこれからも進めていきたいと考えています。
業界としてはDXやICTといったIT化が進められていますが、人の経験や知識が核となることは変わりません。従業員を大切にし、若い社員のレベルアップをしていかなければならないと考えています。

1211

宮城県
仙台FA支社

Voice Report 140th

株式会社タイヤワールド館ベスト

代表取締役社長
安井仁志 氏

誠を尽くす

- 代表取締役社長　安井仁志 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市宮城野区
- 主な事業内容　自動車整備業
- 従　業　員　数　140名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 宮城支部

健康経営優良法人 2022認定
大規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちの会社について

業務内容としてはタイヤの販売やタイヤ交換などが主な仕事となります。その他にも自動車整備や車検対応など車関連の事に関して多岐にわたります。
私たちはこの会社に関わる従業員の皆さんやお客様、全ての方々に誠心誠意尽くし続けるということを社訓として掲げております。
これは創業者の思いでもあり、創業から50年が経ち色々な変化はあれど変わらずに脈々と受け継がれている意思になります。
これからもこの気持ちを忘れずに邁進していきたいと思います。

健康経営に取り組むきっかけ

自動車業界、特にタイヤ業界は一昔前まで夜中の遅くまで働き続けるという業界でした。今ではそういった働き方はもちろん出来ませんが、代わりに短時間でも効率的に働いてもらうことが必要になってきました。
そんな中で従業員の皆さんに日々万全の状態で業務に取り組んでもらうためにはどうしたらいいかを考えた時、仕事の中でもオンとオフをしっかり分けられるような社内風土を作ったり、就業時間にリフレッシュ出来る場を用意するなどしました。
これが会社で健康経営に取り組み始めたきっかけでした。

社内セミナーの様子

社長・常務・アクサ生命担当者

具体的な取り組み内容

- 喫煙率の低下に向けた取り組み
- 健康診断の受診率向上（100％達成）
- 再検査の受診率向上の為の個人毎に声がけ
- メンタルヘルスに関して、潜在的にストレスを抱えている従業員を見つける為の社内体制の整備
- いつでも相談できる先を社内外に設置する
- コミュニケーションの場として社内でのスポーツチーム（ゴルフ部）の発足

取り組み後の成果や今後について

本格的に始めたのは昨年度からなのでまだ目に見えて成果が出ているわけではないですが、毎年従業員に回答してもらっている健康習慣アンケートなどでは皆さんの意識が良い方向に向かっている傾向にあると思います。
また積極的に健康診断を受けに行く姿勢が見受けられるようになったりと、自身の健康に目が向きはじめたように感じます。こういった取り組みはすぐ結果が出るものでもないので、継続して続けていき、このいい状態を定着出来るよう頑張ってまいります。

毎月発行している従業員向けのチラシ

1212

東京都
東京第一FA支社

Voice Report 140th

橋本総業株式会社

代表取締役社長
阪田貞一 氏

人と企業と社会のサスティナビリティ

- 代表取締役社長　阪田貞一 氏
- 本 社 所 在 地　東京都中央区日本橋小伝馬町
- 主な事業内容　卸売業
- 従　業　員　数　889名(男性:544名・女性:345名)
- 加 入 健 保 名　東京金属事業健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
大規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

当社は1890年に創業し、お陰様で2020年10月で130周年を迎えました。創業以来、水道材料の販売を行ってまいりました。「お客様に快適で健康的な生活をおくっていただく」ことを会社のミッションとし、その延長線上にあるものとして、社会への貢献も必要と考えてきました。今後も、この考えをもとに「人と企業と社会のサスティナビリティ」に向けて具体的に取組んでまいります。

人と企業と社会のサスティナビリティ

「人」のサスティナビリティ
健康寿命を延ばすことを目的とした活動に取組んでまいります。
・健康－健康管理、食事、運動
・運動－運動管理、体、技、心
・医療－予防医療、検診、診断、診療
さらにテニス・ゴルフを中心に、アスリートを育てるしくみを提供していきます。(日本一を目指します)

「企業」のサスティナビリティ
お取引先様第一主義(ベストパートナー)のもと、「正直・親切・熱心・感謝」の精神で、３つのフル*、みらい活動、進化活動を実行してまいります。
・ＣＳ－顧客第一、相手思考、4位1体(ベストパートナー)
・成長－得意先様、仕入先様、新規(年5％以上成長)
・進化－営業、業務、物流(生産性5％以上向上)
＊３つのフル(フルライン・フルカバー・フル機能)

「社会」のサスティナビリティ
ESGをもとにした当社独自の「H-SDG活動」に取組んでまいります。
・H(ヘルス)－健康企業を目指す　金の認定・ホワイト500
・S(ソサエティ)　－プライム市場継続を目指す
・D(デジタル)　－スマート(ＤＸ)カンパニーを目指す
・G(グリーン)　－グリーンカンパニーを目指す

令和4年度　健康優良企業　金の認定証(健康企業宣言東京推進協議会)

全社員を対象とした食と運動習慣の見直しを目指す企画「HAT　HEALSUP」

「社員」の健康増進

産業医、保健師、管理栄養士、トレーナー、健康経営アドバイザー等の専門職者と連携し、社員の健康増進に取組んでいます。
産業医、保健師は安全衛生委員会活動を中心に、長時間労働や高ストレス、重症化リスクの高い社員に対して個別にヒアリングを行い、必要なサポート体制を構築しています。
管理栄養士、トレーナーはそれぞれの専門分野における健康相談を社員から受け付けているとともに、共同企画として、食と運動習慣の見直しを行い健康体をめざす「HAT HEALSUP」をスタートさせました。アクサ生命の健康習慣アンケートによる社員の健康課題の把握と効果検証も活用しています。

「お取引先様」の健康増進

業界最大、最良のネットワーク作りを目指し、「みらい活動」を行っています。「みらい活動」の一つに「みらいサービス」があり、販促・健康・研修・IT・分科会・イベント・物流・メディアの８つの分野で構成されています。その中で「健康」分野については、みらいクリニックとの提携、みらいGYMの一般への開放、テニス・ゴルフイベントの開催等を通じて、お取引先様と一緒に健康増進を行っています。特にコロナ禍の状況においては、新型コロナワクチンの職域接種をお取引先様と共同で実施しました。

社会貢献・産学連携

社会貢献にも積極的に関わっています。当社の強みでもあります「テニス」においては、吉田記念テニス研修センターと「テニスを通じた健康な生活」を目的とした共同事業を行っています。沖縄テニス協会とはジュニア育成強化を目的とした共同事業、イベントの実施を行っています。
産学連携では、滋賀大学、朝日大学、山梨学院大学と産学連携協定を結び、健康・医療・スポーツの各分野において、データを活用した共同研究等を行う予定です。また、柳川高校とは最新トレーニングプログラムの導入等、選手強化に協力しています。

健康経営優良法人
2022 認定

ブライト 500

アイビック食品株式会社

代表取締役社長
牧野克彦 氏

「アイビックイズム」　全従業員参加型経営！

- 代表取締役社長　牧野克彦 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市東区苗穂町
- 主な事業内容　たれ・だし・スープ製造販売業
- 従　業　員　数　45名（男性：21名・女性：24名）

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2022認定

目指すべき健康経営の本質は「全従業員の生涯幸福（３KM）の実現！

３K：個人Kojin　家庭Katei　会社Kaisha　　３M：目標Mark　管理Management　意欲Motivation

ありたい自分の姿への行動こそが、個人・家庭・会社の豊かさの実現につながるのだと全社員と共有しています。

健康経営は目的ではなく手段

参加している経済団体で「健康経営優良法人認定」制度を知り、当社の取組を当てはめたところブライト500の認定を頂くことができました。素晴らしい評価を頂けたことは大変有難いことですが、健康経営はあくまで手段であるということを常に意識して取り組んでいます。

健康診断の目的は100％受診ではなく早く見つけて是正すること

当社では、健康診断でC評価（再検査）以上となった社員は「1か月以内に病院に行かないと出社停止」のルールを設けています。
再検査100％が目的ではなく、しっかり調べてもらって早く安心、もしくは治してもらいたいから作ったルールです。
会社で取り組むアクション・ルールについては都度、その目的を社長から直接コミュニケーションするようにしています。
実際に再検査で大病を早期発見、早期復帰できた事例も出たことから、社員に「会社にやらされている」という感覚はありません。

全従業員を巻き込んだ組織体制

健康経営の担当部署を人事・総務にしている企業が多いと思いますが、当社では総務部だけでなく、その他の部署からも5名ずつ健康経営委員を出し、全社で健康経営委員会を作っています。
その結果、それぞれの部署の業務の延長線上に健康経営のアクションもついてくるという共通認識もできています。

ドレッシング設置
従業員専用スポーツジム

３KM生涯幸福設計シート

自社商品を食べたことが無かった社員 健康経営で一石二鳥の効果

当社は調味料を製造しています。例えばドレッシングも作っていますが、自社ドレッシングを自分で食べたことが無い社員がいることがわかりました。
すぐに開発・品質管理部に指示して、ドレッシングを休憩室に常備するようにしました。その結果、自然と社員が自社商品を食しながら野菜摂取量も増加と、まさに一石二鳥の効果がありました。

毎年作成「３KM生涯幸福設計シート」自己実現の中に健康がある！

「３K（個人・家庭・会社）の幸福の実現」を全従業員と一緒に目指すことこそ『アイビックイズム』です。
毎年全従業員に作成、提出してもらう「３KM生涯幸福設計シート」では１・３・10・20年後のありたい姿とそのための行動計画を考えてもらいます。それぞれに10個ずつ考えて頂くので、社員が記載する項目数は120項目にもなります。
開始した当初は、項目が多いので苦情が出るかなと思いましたが、意外と素直に作成してくれています。
もちろん、提出頂いたシートにはすべて目を通します。社員がどうありたいと考えているのかが分かるので大変参考になっています。
また、120項目もあるので必ず「健康」という言葉が出てきます。社員のありたい姿が「健康」ということですので、会社が取り組む健康経営はそのサポートであると好意的に感じてもらえています。
提出した社員には、繁忙期以外で生涯幸福実現のための５日連続休暇（豊かさ実現休暇）を与えています。これにより、有給休暇取得率も100％になっています。

全従業員の豊かさ実現で会社の業績アップ

フィジカルの充実（ドレッシング設置・スポーツジム設置・定期健診・禁煙推進）＋メンタルの充実（有給休暇取得・家族の幸せ・楽しさ/生き甲斐/達成感）＝３KM豊かさの実現、の公式だと考えています。2002年の設立以降、お陰様で業績も成長し続けることができています。健康経営は３Kの豊かさを実現するための手段であることを忘れず、全従業員と一丸で取り組んでいきます。

1214

青森県
八戸営業所

Voice Report 140th

ウェルネスワーク株式会社

代表取締役社長
西尾和樹 氏

ウェルネスワーク（健康に資する職場）実現の為に

- 代表取締役社長　西尾和樹 氏
- 本 社 所 在 地　青森県八戸市
- 主な事業内容　健康経営コンサルタント業
- 従　業　員　数　4名（男性：1名・女性：3名）

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

人口減少に歯止めがかからず、健康寿命の延命が求められる今、働きながら健康になれる職場環境と仕組みを経営者自らがつくりあげることが求められています。健康経営はまさにそれを推奨した国の制度ではないでしょうか。2014年から取り組んできた健康経営のノウハウを再現性のあるプログラムとして社会に提供する為、2020年3月、ウェルネスワーク株式会社を立ち上げました。

ウェルネスワーク・プログラム

2014年、設立した経営コンサルタント会社の経営の一環として最高の労働環境を追求するべく、国が推進している健康経営に取り組むことと致しました。
日本中の健康経営向けサービス・取り組みを試験的に導入するだけでなく、私自身アイデアを出し、従業員にも幅広い意見を積極的に求めながら取り組んだ結果、健康経営と一口に言っても、それぞれの企業にとって最適な取り組みはそれぞれ違うという事実に気づかされることとなりました。
例えば、従業員向けの社食サービスは大勢の内勤従業員が在籍するような企業では食生活の改善効果が期待できる一方、現場作業ばかりの業態ではそうした効果はほとんど期待できません。
また、運動を習慣化する目的でラジオ体操を始めても、社内放送で一斉にラジオ体操が流れるような大企業であれば有無を言わさぬ取り組みで習慣化出来た事例もある一方、そもそも習慣化していないラジオ体操なので何かにつけてやらないことも多くなり、結局うやむやの内に誰もやらなくなった事例もあります。
実例に学び、健康経営をうまくできずに悩んでいる企業、志半ばで取り組みをやめてしまう企業を目の当たりにする中で、個々の企業特性を分析し最適な取り組みを提供するサービスが不可欠であると考え、新たなプログラムを開発し、それを広く社会に提供する為にこの会社を立ち上げることと致しました。
働きながら健康になっていく職場づくりを目指して開発したサービスそれこそが社名を冠した「ウェルネスワーク・プログラム」です。

福利厚生の一環として実施した外部インストラクターを招いてのヨガ研修

成功の秘訣は「導線」と「補助金」

ウェルネスワーク・プログラムを活用しても健康経営には特有の課題があります。それは成果が出るまでには多少の時間を要するという点です。この課題をクリアし健康経営を成功へと導く秘訣を端的に言えば「導線」と「補助金」に集約されるのではないでしょうか。

例えば、今や多くの企業で導入している血圧計や体重計での健康管理も、スムーズにできている企業では「出退勤の導線」上にうまく配置しています。逆に、一度席についてから別の場所で測定しなければならないカタチでは特定の社員だけが測定するような事例がしばしば見受けられます。
経営者の視点で見るとそれほど負担ではないように見える取り組みも、日々の仕事に追われる従業員にはいささか面倒に感じる場合があります。皆が自然な形で取り組めるよう「導線」に配慮することは成功の秘訣だと感じています。
もうひとつ、お金も必要になるのが健康経営です。
国も自治体も健康経営を後押しするためにたくさんの補助事業（補助金）を提供してくれておりますので、新しい取り組みを導入する際には必ず補助金を調べて最大限に活用するようにしています。成果が出ない中でストレスなく取り組みを続けるには、費用負担を抑えることも大事だと感じているので、国や自治体が様々な形で提供している補助事業には本当に助けられていると感じます。

ウェルネスワークの目指すもの

ウェルネスワークが目指すものはみんなが幸せに働ける社会です。
健康経営を実践し生産性が向上する企業がたくさん集まる地域は、必ずや活性化していくだろうと強く感じています。
健康経営にも企業にとってちょうど良いものがあるように、それぞれの地域に合ったちょうど良い取り組み方が必ずあるだろうと感じています。
八戸市という地方に生きる私たちだから感じ取れる「八戸市にとってちょうど良いウェルネスワーク・プログラム」を開発し、地元企業の活性化、地元経済の復興に資する企業へと成長して参ります。

1215

東京都
東京第一FA支社

Voice Report 140th

toBeマーケティング株式会社

代表取締役CEO
小池智和 氏

従業員の健康なくして会社の成長なし

- 代表取締役CEO　小池智和 氏
- 本社所在地　東京都中央区
- 主な事業内容　マーケティング支援事業
- 従業員数　104名(男性:64名・女性:40名)
- 加入健保名　関東ＩＴソフトウェア健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2018年より5年連続認定

従業員が健康であることがそのまま会社が健康であることにつながっていると常々発信し続けています。健康経営を通じて魅力に富み働きがいのある職場の実現と、多様な人材がその能力を最大限に発揮できる環境の整備を強力に推進するために健康企業宣言から取り組みをスタートしました。

健康経営に取り組もうと思ったきっかけと取り組み内容

まだ会社の規模が30名ほどのころはとにかく忙しくて残業も多く、従業員の働く環境としてこのままではいけないと感じていたところ、すでに健康経営に取り組んでいる知り合いの経営者から健康経営について教えてもらい取り組んでみることにしました。
とにかく新しいことが好きで何事にもチャレンジしてみる社風なのでひとまずやってみようとスタートしたのがきっかけです。
取り組みは会社としてのブランディングや採用に効果があるといったことだけでなく、従業員が健康でないとパフォーマンスが出せないと思っていますので制度を整えるだけでなく健康課題に向き合い本気で取り組んでみました。
特に手厚く取り組んでいるものは各種研修です。
睡眠の質向上研修、女性の健康研修、ウォーキング研修などを実施することで健康情報に触れる機会を増やすとともに従業員間のコミュニケーション向上にも力を入れました。
そしてコロナ禍において全面テレワークを導入したことにより従業員間のコミュニケーションが不足しがちだとわかり、定期的なアンケートを実施して従業員のコミュニケーションを活発にするとともに従業員がどんなことに不調を感じているかなどを聞く機会を作りました。
やはりテレワークならではの不調では腰痛や運動不足などが見受けられたため、研修のテーマにしたりコミュニケーション促進については従業員が気軽に話せる環境としてバーチャルオフィスで雑談ができるようにしたりオンライン飲み会など社員懇親会を開催し従業員が孤立しないような環境を作りました。
またテレワークの環境整備のための費用を一時金で補助したり、健康保険組合と協力して歯科検診を実施したりとやれることはなんでも取り入れてみました。

健康経営の取り組みを通して従業員にもいい反応がみられた

健康診断の受診勧奨をすることで受診率は100%達成しています。
さらに受診後のフォローも手厚くすることで従業員の健康意識も高まっていきました。
また研修テーマを従業員の抱えている課題に合わせて具体的なコンテンツにし、オンラインに切り替えたことで参加率も上がり研修後は研修テーマに沿った会話も生まれるなど従業員の意見交換も活発で会社として健康経営に取り組んでいるといった文化が根付いてきています。
そして健康経営に取り組んだことが会社のブランディングにもつながり新規採用も健康経営に取り組んでいる企業ということで外部から選んでいただけるようになってきています。

これからのビジョン

健康経営の取り組みを通して自社の強みや課題に気づくことができました。
現在、金の認定、健康経営優良法人認定ブライト500を取得し社内外から健康経営に取り組んでいる企業としての評価をいただけてはいますがまだまだ健康無関心層もいて従業員をどう巻き込んでいくかは改善の余地があると思っています。
今後も従業員が働きやすい環境作り、従業員の健康作りはやり続けないといけないと思っています。
そして認定を取るだけでなく会社の文化として一体感をもって健康経営に力を入れていきたいと思います。

BBQ社内イベント(コロナ前)

社内フットサル部

健康経営担当の
伊東様(左)と木村様(右)

1216

東京都
東京第一FA支社

株式会社ジャパンイーエーピーシステムズ

代表取締役社長
榎本正己 氏

- 代表取締役社長　榎本正己 氏
- 本社所在地　東京都新宿区高田馬場4丁目3-7KSビル
- 主な事業内容　メンタルヘルス対策のコンサルティング/休職者の職場復帰支援/派遣(訪問)相談/ストレスチェック及び職場環境改善策の提案等
- 従業員数　53名(男性:16名・女性:37名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2018～2022
5年連続認定

Voice Report 140th

『健康経営』への取り組みは必然でした

私たちは企業のメンタルヘルス対策やカウンセリング、研修、ストレスチェックなどによって生産性向上を支援するEAP(Employee Assistance Program=従業員援助プログラム)サービスを提供している会社です。

私たちの掲げるミッションは以下の３つです。
①勤労者が健やかに、かつ効果的に自らを発揮できるよう援助する
②組織が健全な事業活動を実践継続できるよう支援する
③支え合う繋がりやコミュニケーションを創造する

このミッションの「想い」はお客様だけではなく、自社にも向けられています。社員の心身の健康づくりに取り組みを示すことが、当社のサービスを利用される方への信頼にもつながると考え、2017年5月に健康企業宣言を行い、新たな歩みをスタートしました。

『運動』にフォーカスした具体的な取り組み

カウンセリングを主な業務としているため、座り姿勢が多く、運動不足を自覚しているという社員の声が日頃からよく聞こえていました。そこで、ひとり１日平均8000歩を目標としたウォーキングイベント“JES歩くダービー”を企画し、定期的に開催することにしました。身体やご家族の理由などで参加しづらい社員もいますので、参加は強制ではありません。無理なく楽しく続けてもらえることを前提に呼びかけています。参加率は当初の50%から、現在では70%の社員が参加し、「次はいつですか」と急かされるなど、大変好評を得ています。

健康推進手当を社員に支給

業績が上がったときに少額ですが「健康推進手当」という一時金を支給しています。何に利用してもよいが、できたら健康関連に使ってほしいとメッセージを発信したところ、ウェアラブル端末、ウォーキングシューズ、サプリメントの購入やスポーツジムの利用に充てたなど、健康に役立つことに活用したという、嬉しいアンケート結果が得られました。

新たなつながりの芽が生まれる

“JES歩くダービー”の取り組みから、新たな効果もありました。「休日、こんなところに行って1万歩超えたよ！」「山に行ったのにそんなに増えなかった～(笑)」など、ウォーキングをきっかけに、社員の仕事外の一面が知れたり、会話の促進につながったり、回を重ねるごとに社員同士のコミュニケーションが活発になってきた印象を受けます。

私たちが大切にしていること

私たちの仕事は、人々の働きやすさや働きがいを支援することです。ミッションに掲げる職場のコミュニケーションの活性化はそのキーワードでしょう。「風通しのよさ」、昨今は「心理的安全性」などとも言われますが、お客様の職場環境を考えるのであれば、自社の環境も整えておかないと嘘になります。人の話をよく聴いて、感じたことを丁寧に伝えていく。そういう誠実で健全なコミュニケーションの基盤として、社員同士が「知り合う」機会になったことは、健康経営の取り組みの大きな効果だと感じています。自分たちの健康と働き方にもしっかり向き合うことが、質の高いカウンセリング業務の提供につながると信じています。

みんなで支える健康経営

健康増進に関する計画の策定などが一部の社員の負担にならないよう、多くのメンバーが参画し、楽しみながらアイデアを出し合っています。また、イベントや健康経営の取り組みは、企画者も参加者も、「認定のため」と義務感になってしまっては本末転倒だと思いますので、それぞれが「楽しむ」「面白がる」姿勢を大切にしたいと思っています。
コロナ禍で全社員が集まるイベントは難しいのですが、来年は弊社の創立30周年、「何か」できればと目論んでいます。これからも私たち自身が健やかに自分らしさを発揮できるよう、継続して健康経営に取り組んで参ります。

1217

東京都
首都圏第三FA支社

株式会社キタセツ

代表取締役社長
北川　拓 氏

モットーは「家族のような関わりあい」

- 代表取締役社長　北川　拓 氏
- 本 社 所 在 地　東京都大田区東馬込2-12-1
- 主な事業内容　リフォーム業
- 従　業　員　数　35名(男性:23名・女性:12名)
- 加 入 健 保 名　東京都建設組合

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2020～2021年 連続認定
ブライト500 2022年認定

1990年7月設立。安全で快適な住まいづくりを目指し、お客様の健康と住まいの安全を考えた住宅特化型リフォーム会社です。リフォームの成功を決めるのは、「お客様との信頼関係」。この考えそのものがキタセツであり、同じ志を持った社員が集まっています。私自身、実は寂しがり屋。だからこそ、お客様とも社員とも家族のように関わっていきたいです。最近はバイクにハマっており、ツーリング仲間募集中です！

社員が健康になることが皆の幸せに繋がると考えてはじめた健康経営

弊社では、社員が健康で元気に働き続けられる環境を作ることが「より良い提案や工事の基盤」となり、ひいてはお客様とそのご家族の幸せな暮らしに繋がると考えております。
その中でアクサ生命の提案により健康経営への取り組みをスタート。
結果、３年連続「健康経営優良法人認定」を受け、2022年度はブライト500にも認定されました。

「健康」を通して伝えたい社員への想い

私は、社長自身が社員のことを大切にすることで、社員の幸福度アップや仕事に対する意欲、その先のお客様満足度アップへつながっていくと考えております。売り上げの向上や、施工エリア内でのシェア率拡大ももちろん大切ですが、社員が「キタセツで働けて良かった」と思うことでその家族全員が幸せになってくれることを目指しており、その手段のひとつが健康経営だと考えております。

社員に大人気！社長が毎日作る名物「キタセツランチ」

弊社では毎日私が社員のためにランチを作っています。
理由としては、
①社員の野菜不足を解消
②社員同士のコミュニケーション促進
で、健康経営の取り組み前から始めておりました。

そのほかにも新たに追加した取り組みは以下の通りです。
- 役立つ健康情報の社内発信
- キタセツランチのレシピやカロリー情報などの発信
- 定期健康診断の実施および再検査が必要とされた社員に対して受診を促すための取り組み/制度の設定
- 出勤前の体温報告
- 昼食後の体操
- 大田区の健康管理アプリ「はねぴょん健康ポイント」の活用
- 社内用SNSアプリを活用した社員同士のコミュニケーション促進活動

また、健診結果は会社へ提出必須とし(社員の承認済み)、再検査の証明も提出してもらっています。もちろん費用は会社持ち、さらには就業時間内に行けるようにすることも検討中です。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

7年前、キタセツランチを始めるまでの社員の食事を見ているとカップラーメンやコンビニ弁当ばかり。ランチを作り始めてからは、健康意識が上がった社員が増え、風邪をひく人が減りました。
これは、間接的に事業にも良い影響をもたらしています。
「家族の幸せの源」が住まいであり、その幸せな住まいづくりのお手伝いをするためには、まず社員が老後までずっと幸せである必要があります。
私自身が、その環境をこれからも追求し、実現していこうと思います。

1218

富山県
富山営業支社

大高建設株式会社

代表取締役社長
大橋聡司 氏

企業は人なり

- 代表取締役社長　大橋聡司 氏
- 本 社 所 在 地　富山県黒部市
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　76名(男性:64名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
ブライト500

Voice Report 140th

2018年から5年連続で健康経営優良法人の認定を受ける大高建設株式会社。2021年新設された「健康経営優良法人の中でも優れた企業」、「地域において、健康経営の発信を行っている企業」の上位500法人が認定されるブライト500も取得しています。令和2年には、とやま健康経営企業大賞を受賞するなど健康経営への取り組みを続けてきております。

「企業は人なり」　健康企業宣言

「企業は人なり」の考え方に立ち、人を大切にする会社でありたいと考えてきた。当社は黒部奥山での工事が多くあり、その際には宿泊をしながら工事を施工。交通手段も限られている環境の中で、病気や怪我などがあれば大変なことになる。よって、社員の健康には会社として責任があると考えてきた。そんな中、協会けんぽで「健康企業宣言」制度が始まったことが直接のきっかけとなります。

家族職場見学会の様子

健康衛生課の設立　常駐看護師の活躍

令和3年度の組織変更にて、総務部内に健康衛生課を新設しました。当社には正社員の産業看護師が2名、臨時雇用の看護師が1名います。うち2名が黒部奥山の工事用宿舎に常駐して工事現場の社員の健康管理に従事しています。本社にいる産業看護師は会社全体の健康管理に関する企画、運営を行っており、例えば、毎月、健康衛生課が社員の心身の健康状態をチェックし、リスクがあるようであれば面談等を行い先手を打てるようにしています。
また、身体の健康およびメンタルヘルスや環境衛生に関する情報「健康だより」を社内グループウェアで月に1回発信し健康意識の向上に取り組んでいます。
健康診断後の2次健診の受診率向上は課題でしたが、受診率向上のため、健診機関と連携したうえで、要精密検査の該当者へは個別でメール等を活用して受診していただくまで働きかけています。合わせて、健診後には会社に報告をすることとしています。

とやま健康経営企業大賞　意識変革　誇り

この健康経営を始めて、社員自身の健康に対する意識が芽生えてきていると感じます。例えば、喫煙者を減らしていこうという取り組みに対して、以前であれば「それは個人の嗜好だから」といった「個人の問題」というふうにとらえる従業員も多かったと思います。
しかしながら、最近は「会社全体で取り組む」という考え方に変わり、従業員一人一人が自分事として、禁煙に取り組んでいかなければならないという意識をもてるようになったと思います。
合わせて、富山県から「とやま健康経営企業大賞」を受賞したことを従業員が知ることで「先進の企業で働いている」という誇りを持てるようになったことも要因の一つかもしれません。

従業員の健康的で幸せな生活のために

健康経営や働き方改革を推進し、社員の真の幸福(物心両面の満足)を高めていくことだと思います。
安全安心、快適かつ一人一人に寄り添った労働環境実現のため、職場環境改善やダイバーシティの推進に取り組んでいます。今はすべての工事現場を４週８休にすることと、残業時間の大幅な削減に取り組んでおります。健康経営を進めていくにあたり、まずは健康であることが大前提です。そのためにも社員に寄り添い、目的・目標を明確にして着実に取り組んでいくことで、大きな目標にも到達できるものではないかと思っています。

社員旅行　INハワイ

株式会社セクテック

代表取締役社長
古賀政男 氏

社員の健康が会社の健康。物心両面で健康であり続ける。

- 代表取締役社長　古賀政男 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県多治見市音羽町4-85
- 主な事業内容　セキュリティサービス
- 従 業 員 数　40名(男性:27名・女性:13名)
- 加 入 健 保 名　全国健康保険協会　岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500
健康経営優良法人
2022 認定

当社は地元・東濃から中部一円に営業エリアを拡大しながら、現在3500社を超えるお客様にセキュリティシステム、防犯カメラシステム、機械警備サービス、AEDパッケージレンタルサービス、コール代行サービスをご提供しております。「感謝を越えた感動のサービスを提供していきたい」という目標を社員全員で共有し、24時間体制で、常にお客様のすぐ近くでお役に立ちたいと考えております。

人件費はコストではない 社員の健康を第一に

「社員の健康は本人やその家族にとても大切なものであるとともに企業にとっても貴重な財産である」という社長の考えのもと、以前より一人一人が心身ともに健康で毎日笑顔で活き活きと働くことができる職場環境を整える様々な取り組みを行っていました。警備業は24時間勤務であり人材確保にも苦労している中で、求人への効果と離職率のさらなる低下を考え2021年1月より健康経営優良法人の認定を目指し、まずは社員全員でのストレスチェックの実施から始めました。

健康課題について

取り組みとしては・35歳以上の生活習慣病予防検診:受診率100%達成(対象者以外は一般健康診断:受診率100%達成、乳がん、子宮がん検診、付加検診は会社負担)・被扶養者に対する特定検診の案内・インフルエンザ予防接種費用の一部補助・福利厚生としてスポーツクラブ利用権を希望者に配布等。35歳以上の生活習慣病検診は一般健診からの変更でしたが、受診後すぐにステージ1のがんが見つかった社員がおり早期発見で治療後職場復帰できたことは本人にも感謝され、社員一同も胸をなでおろすとともに、検診の大切さを実感。また食生活の改善の為に、置き型社食を導入して野菜などを取りやすくしました(福利厚生として半額会社補助あり)。また手作りのヨーグルトメーカーを導入し社員に無料で提供し好評です。熱中症対策として経口補水液の用意や社内各階にウォーターサーバーの設置もしています。

置き型社食

毎月発行の健康だより

社内コミュニケーション

会社前の歩道にある花壇に花を植える「音羽ブルームプロジェクト」を実施し、草取りなど花のお世話をすることで社員はもちろん地域の方とのコミュニケーションを図っています。経過報告はブログにアップし皆で花の成長を楽しむことができています。また毎日の朝礼で「職場の教養」を読み感想をシェアしたり、お昼に会議室を休憩室として開放し食事中のコミュニケーションを推奨。コロナ禍での忘年会は少人数のグループに分けて数回行い、普段シフトですれ違い、関わりのない社員同士がコミュニケーションがとれて良かったとの声もありました。

ワークエンゲイジメントと健康だより

社員の働き方については有給5日+1日の全員取得、通院に配慮した働き方ができるよう休日希望日を取り入れたシフト調整、ノー残業デーの導入をし、警備巡回後の報告作業における書類作成などの時間軽減のための独自のシステムを作成。また仮眠ができるよう社内の一室にベッドを設置しています。毎月発行している健康だよりは全社員用と女性の健康に特化したものとの二種類を作成。社員同士の会話のきっかけにもなり、また社内報を給与明細に同封することで社員のご家族も巻き込んでの健康リテラシー向上を目指しています。

今後の展望…健康の輪をひろげる

古賀社長が倫理法人会などで講話者として登壇し健康経営の取り組みを広げる一方、外部企業から健康にまつわる講話をいただいたり、多治見市保健センターとの意見交換、同センターの運動講座の受講、協会けんぽや県との連携など、健康に関する様々な事業活動を通じて社会貢献を目指し活動しています。毎月HPで健康に関するお便り、取り組み状況、商工会議所などの健康セミナーなどの様子を情報発信。今後も健康経営を継続し社員の健康と幸せを守りながら市内で健康経営に取り組む会社が増えるためのシンボリック的な存在になれるよう精力的に活動していきたいと思っています。

1220

岐阜県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

友光測範株式会社

代表取締役社長
小倉忠大 氏

社員の健康が会社の礎。健康経営が会社発展の第一歩！

- 代表取締役社長　小倉忠大 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県中津川市千旦林1003-40
- 主な事業内容　精密測定機器、専用機等の設計製作
- 従 業 員 数　19名（男性：16名・女性：3名）
- 加 入 健 保 名　全国健康保険協会　岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2021・2022 2年続認定

私たちは精密測定機器で多様な産業を支える、ものづくりのプロ集団です。
「出来ない理由を考える前に、出来る方法を考えよ！」という社風の元、技術と知識を蓄積し、少数先鋭で様々な「産業の品質」・「研究開発」・「未来」を支えています。
「健康第一に、一人ひとりの声が届き、笑顔あふれ生き生きと働ける会社」を目指しています。

健康経営宣言の取り組みは 2017年8月に宣言をしてスタート

その後「ぎふ健康経営認定事業所」となり、2021,2022「ブライト500」の認定を取得。きっかけは当時、お付き合いのあった市役所の担当の方の「友光測範さんは既に健康に対し色々取り組んでいるのでやってみてはどうか？」とのひと言がきっかけでした。高齢社員も多く末長く働く為にも何か考えないと、と思っていた時期でしたので無知で不安ではありましたが、すんなり取り組みを始めることができました。

「健康で安心して働ける環境が基盤となり 皆で成長し厳しい時代を乗り越える！」

仕事では常に新しいことへの挑戦と高い精度が求められ、緊張感や集中力、忍耐も必要で、身体的、精神的にもかなりの負担があります。一人前になるまでには数年かかりますが、その分喜び、やりがい、成長を感じることも多い仕事です。これから全社員でワンチームとなり、未知なる仕事も困難な時代も、コロナ禍もなんとか乗り越えていきます。その為にも健康経営は不可欠で大切な取り組みと考えています。

オリジナルの健康通信

毎月様々な健康テーマが記載される

具体的な取り組み 「個々に即した極め細やかでアットホームな対応」

弊社の社員は子育て世代、介護世代、外国人社員や高齢者など多様化してきていますが、社員は家族。皆に安心して働いてもらいたいと思い、個々に即したアットホームな対応を心がけています。
誕生日には毎年仕事中の笑顔の写真を撮り、プレゼント。大人になるとなかなか自分で写真は撮らないので喜んでいただいています。具体的な取り組みとしては、毎朝のラジオ体操、定期健康診断100%受診、各種がん検査、ピロリ菌等の追加検査。再検査の個人指導やストレスチェックの実施と活用。オリジナル「健康通信」の発行。時短勤務・休暇取得（スケジュール管理で計画取得、子育て、介護世代・高齢や年齢に即した働き方）。外国人への健康対応、生活・通院等のサポート。コロナ前は定期的な食事会や飲み会の実施（かなり機会は減りましたがコロナ禍は少人数単位での交流会）。禁煙チャレンジ推奨。血圧計、体重計の設置、健康グッズの配布等をしています。
その結果、今までよりも健康に関して意識が高まり、2021年は今まで健康診断の再検査等を放置していた、再検査必要者の受診率100%達成。また保健師さんによる健康指導も引き続き受けていただいています。

今後の展望

若い方も徐々に増えてきましたが、高齢化が進んでおり、若い方への技能指導や技術伝達を早急に進めなくてはならない時期に来ています。
仕事も健康面も「社員一人ひとりの声が届く会社であること」そして「社内に笑顔があふれ、皆が安心して意欲的に働ける環境にすること」が会社の存続と成長につながると考えています。心身の健康を第一に健康経営に取り組んだ結果、社員に引退時「健康だったし、やりがいがあり、良い会社だったなぁ」と思ってもらえればサポートは大成功だと思っています。
今後も社員の健康維持のための心と体の健康づくりの工夫を継続し、皆が活躍できるような職場づくりと健康経営、健康維持をサポートして参ります。

1221

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

三幸土木株式会社

代表取締役社長
木下力哉 氏

社員が「家族に胸を張れる会社」でありたい。

- 代表取締役社長　木下力哉 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県日進市
- 主な事業内容　土木業、建築業
- 従　業　員　数　103名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

建設業はスケールが大きく、多彩な業務内容で、達成感に満ちた仕事です。つくりあげるものは、人々の生活の基盤となり、どれも欠かせないものばかりです。そんなやりがいのある仕事を、長く続けていって欲しい。様々な業務を通じて経験を積み、自分の目指すスキルや目標を手に入れ、社会人として実りある日々を送っていただきたい。それには健康で長く働けることが重要です。健康に長く働くことは、社員の幸せであり、会社の幸せ、ひいては社会の幸せにも繋がります。弊社には社員の幸せを実現する、やりがいを持ち健康に働ける環境があります。そして、社員の一人ひとりが職場の「和」を保ち、クオリティーの高い業務遂行で、周りにスキルアップを促し、人が人を育てるスパイラルを生みだしています。創業から50年以上がたち、その実績を糧に新たに100周年に向かって歩みだしました。100年企業を目指し、新しい取り組みにチャレンジをし、一歩ずつ積み重ね「幸せを分かち合える会社」、「社員全員が家族に胸を張れる会社」でありたいと思っています。

「6か月でＳＭＡＲＴ！」としてスタート

2017年より連続で認定取得しております。
きっかけは現在弊社健康顧問でシニア野菜ソムリエの先生から企業の業績と社員の健康は連動をしているというお話を伺い認定の取得をいたしました。
「体重の記録」と「野菜をもう一皿プラス」を6か月で全社員で習慣化するという身近なことを目標にスタートしました。

野菜を自分たちで育てようとサンコーファームも作成しました。
野菜をもう一皿プラス、ベジタブルファーストへの意識づけにも寄与しています。

毎日行う健康習慣の定着で意識づけ

健康診断などの結果から、メタボ・メタボ予備軍が多いということが判明しました。そこで「毎日の体重計測と記録」「毎日プラス一皿の野菜接種」を目標として設定し、野菜の摂取状況も1日100ｇ～270ｇだったところ、サンコーファームで収穫した野菜を振る舞い、推奨値である350ｇにたどり着くことができました。
取り組みの結果、メタボ・メタボ予備軍で減量対象者だった社員の9割以上が減量に成功するとともに、日々野菜を意識するきっかけになり、現在でも継続しています。

健康診断に向けての寄せ書き
各社員の目標を立てて一丸となって健康経営へ取り組んでいます

ウォークフェスの開催、社員みんなで健康づくり

アプリ「愛知健康プラス」を用いて気軽にできる、無理なくできる健康づくりとして三幸ウォークフェスを開催しました。
気軽に参加でき、10万歩以上で特典も用意して盛り上がり、64名の参加で、56名が10万歩以上の達成をし、最高記録は約58万歩となりました。
愛知健康プラスに登録企業の中でも2位に輝くなど、今後もより一層健康づくりに取り組んでまいります。

今後の展望・課題

野菜をもう一皿プラス、ウォークフェス以外にも、禁煙チャレンジ等社内企画に積極的に取り組んでまいります。
禁煙チャレンジについては当初60％近くあった喫煙率が一時は8％まで低下しましたが、中途採用等で30％以上まで上昇してしまい、チャレンジ手当やサポーター制度を設けて、さらなる取り組みを行っていきます。
また、コロナ禍による健康経営を通じたコミュニケーションの不足も現在課題として取り上げております。
2022年5月に新社屋“レジリエンスセンター”を開所し、健康を意識した献立のランチ会を開くなど、積極的に新たな企画を推進してまいります。

1222

滋賀県
京都営業所

Voice Report 140th

株式会社アダムスセキュリティ

代表取締役
澤井敬輔 氏

「警備事業を通じて地域貢献する企業」を目指して

- 代表取締役　澤井敬輔 氏
- 本社所在地　滋賀県草津市草津3-13-47
- 主な事業内容　警備業
- 従業員数　60名(男性:49名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

滋賀県草津市に2011年設立。地域に生かされ、社会に貢献し、ともに働く従業員に恵まれ、少しずつ成長し今日を迎えることが出来ました。「人手不足」の警備業界において、人づくりと職場環境の整備を進めることが急務で、従業員の健康と生活水準の向上を実現することで、質の高いサービスが提供可能となり、結果として地域に貢献できる企業になれるものと考えます。

人づくりと職場環境の整備

人材育成と安心で働きがいのある職場環境を目指している中で、健康経営を取り入れました。
従業員が心身ともに健康であること、そして従業員の財の健全化(お金の健康)も健康経営の一環であると考えています。
福利厚生や待遇の改善などの職場環境の整備が大事で、それを進めない限り人手不足・人材不足を解消できることはないし、質の高いサービスを提供できることはないと思います。
それ故、健康経営は「経営の一丁目一番地」だと考えます。

健康づくりと意識改革

まずは健康意識を高めるために、社内報や電子日報を活用してヘルスリテラシー向上に取り組んでいます。電子日報は、高齢者も数名はおりますが全員がスマホを使えるようにしています。
健康診断の「オプション検査」の費用全額を会社負担として、受診の徹底と自主的に健康管理の意識を高めるようにしています。
「健康促進手当」を設けて、健康を促進するためのスポーツジムの利用や、健康を維持するための鍼治療を受けやすくするようにと、従業員の経済的負担を軽減し、健康づくりの一環としています。

ADAMS
— SECURITY —

働き方改革、治療と仕事の両立支援

働き方改革、ワークライフバランスの推進に努め、「滋賀県イクボス宣言」をおこない、仕事と子育てを両立できる働きやすい職場を目指し、社員が夢や希望を実感できるよう取り組んでいます。
また、治療と仕事の両立支援「ちりょうさ」にも取り組んでいます。前述の通り健康診断等で、早期発見・早期治療に努めていても、治療に長くかかる場合もあります。安心して治療に専念できる環境とサポート体制が必要です。実際に半年以上の休職治療を経て、職場復帰した社員が数名おります。

イクボス
滋賀県イクボス宣言企業

ちりょう しごと
治療と仕事の
両立支援

社員の働きやすさを追い求める

「品質の高いサービスサービスは、品質の高いスタッフのもと提供される」との思いから、警備業界ではあまり見られない取り組みや制度を積極的に導入しています。
猛暑の中での警備作業は厳しいため、当社では「空調ベスト」に加え「冷却ベスト」も全員に支給しています。

地域No.1の信頼をもらえる企業をめざして

地域事業者との連携・共存共栄を進めるため「パートナーシップ構築宣言」をしています。適切な取引環境の形成は、持続可能な企業経営に欠かせないと考えています。主に請負側の業態の警備会社が、この宣言をする事で、長期的な共存共栄の取引関係の構築の重要性を内外に発信できるものと考えています。
しかしながら、必要不可欠な取引単価の向上には、従業員の資質の向上、リテラシーの向上は欠かせないものとなります。従業員の人生設計、将来の資産形成などの講習もおこない、長期的な生活の安定を図る取り組みをしています。それらを通して、地域No.1の信頼をもらえる企業を目指します。

1223

京都府
京都営業所

株式会社サンフレッシュ

代表取締役社長
辰見孝則 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　辰見孝則 氏
- 本 社 所 在 地　京都府京田辺市河原御影
- 主な事業内容　スーパーマーケット
- 従　業　員　数　200名(男性:68名・女性132名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2019～2022年 4年連続認定

京都南部に展開する食品スーパーとして1967年創業以来、【衣食住】の真ん中にある【食】を通じて、地域の皆様に、より安心安全で豊かな生活のお役に立てるよう努めてまいりました。また会社の理念を「創意・工夫・実行」とし、これを基に思い描くビジョンを「共に心から笑える場であり続ける」としています。従業員やお客様同士が親しみのある温かい場所としてサンフレッシュが存在し、“この地域に必要とされる食品スーパー”を目指し日々取り組んでおります。

人手不足だからこそ健康経営に取り組む必要性を感じました

少子高齢化が進む中、スーパーマーケット業界においても人材の確保が課題になっています。人手不足に陥ってしまうと、従業員一人一人の負担が重くなり、長時間労働が常態化し、やがて従業員の健康状態に悪影響を及ぼしてしまう場合があります。
このような悪循環を打破するための取り組みの一つに、「健康経営」があると考えています。
健康経営によって、従業員が常に健康な状態で仕事に取り組むことができれば、企業側は健康理由による退職者などを減らせるうえ、業務に対する活力や生産性が向上し、結果的に業績などの向上にもつながると考えています。さらには、「健康経営に取り組む企業」として、ブランドイメージを向上させ、採用や広報活動を行う際にも効果的なPRになることを期待しています。

コロナ禍において、お客様の安全・安心と健康第一を考えた店づくり

一昨年から続くコロナ禍においては生活様式も変化し3密を回避し、また非接触がキーワードとなっております。店内で様々な対策を施し、キャッシュレス決済強化・レジ改修・移動スーパーの取り組みなど常に変化に対してアンテナを張り巡らし、ご来店されるお客様の安全・安心と健康を第一に考えた店づくりを行っています。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

当社では、大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたいとの思いから、次のことを重点的に取り組んでいます。

①健康診断の再検査・精密検査の受診率100%
健康管理の第一歩は、従業員の健康診断と考えており、その観点から再検査の受診を積極的に補助するなどの対策を行っています。その結果、当社では2021年度の再検査・精密検査の受診率は100%を達成しました。

②メンタルヘルス対策の実施
体の健康だけでなく、心の健康をサポートするメンタルヘルス対策も大事な取り組みと認識しています。当社では、労働安全衛生法に定められたストレスチェックを行い、診断結果や症状によっては、産業医やメンタルヘルスケアの専門機関と連携を行っています。

③長時間労働の改善
従業員の心身の健康を害するリスクのある職場環境を見直すことも必要です。過重な労働負担やストレスは、万病のもと。
当社では、長時間労働の改善のため特定の人に仕事が集中しない様な体制作りと能力にばらつきがある場合には個別に社員教育を行ってきました。その結果、年々残業時間は減少し目標の30時間以内に納まっている社員が全体の36%となっています。今後も更に目標達成者を増加させていくよう努力してまいります。

④定期的な健康レポート配信と健康増進策の推進
アクサ生命保険様のサポートにより、定期的に「健康経営ワンポイントアドバイス」を全従業員に発信し、普段の家庭生活や会社生活の中から健康に関する気づきや健康意識を向上させることに大変有効な手段として活用させて頂いております。また、健康習慣アンケートもアクサ生命保険様のお力をお借りし、定期的に実施しております。
特に、従業員の生活習慣に関する行動傾向から、当社は「運動」に対する取組状況や意識が他に比べて低い傾向にあることが判明し、本年度はその改善に向けた具体的な取り組みを計画しております。

1224

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

キンキ道路株式会社

代表取締役社長
甲藤聖二 氏

健康経営を通して「社員総活躍企業」を目指す！

- 代表取締役社長　甲藤聖二 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市北区
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　86名(男性:61名・女性:25名)

健康経営優良法人 2022認定
ブライト500

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

私たちは、長年に亘り高速道路や自治体管轄の道路橋メンテナンスに携わってまいりました。私たちは、各面で様々なニーズに地道に対応し、現場を安全かつ適切に管理・進行していく役割を担っています。健康経営を通じて、これからも社内スタッフとともに一人一人が自分の役割を懸命に果たすことでシナジーを発揮しながら、沢山のお客様から支持される企業を目指しています。

働き方改革を進めていく中で健康経営の取り組みを知った

日頃から交流のあるいくつかの企業さまから、健康経営の取り組みや、優良法人認定制度についてお聞きする機会があり、すでに弊社で推進していた働き方改革に関しての取り組みと、非常に親和性の高いものだと感じました。これまでの取り組みを検証する意味でも、健康経営への取り組みをスタートさせることを決めました。

健康と社員間の交流を目的とした様々なイベントを社員自身が計画する

元々働き方改革や社員の健康安全のために、夏に安全衛生のワークなどを行ったり、冬には1年の振り返りを行ったりしていました。健康増進イベントとして社員自らの企画で、条件を満たせば運動各種(マラソン、ゴルフ、フットサル、ボルダリング等)を行う際に補助金を支給していました。またコミュニケーションを図るためにコロナ禍以前は社員旅行や親睦会も行っていました。
その他にも上司と部下の月１回の面談や“ボイスメール”アプリでの報連相、感謝の気持ちを伝えあう“サンクスカード”アプリなどを利用して、コミュニケーションの量を増やす取り組みも実施しております。

健康増進イベント

自然と触れ合う社員旅行

『健康なんでも相談室』が大好評

社員に健康に興味を持ってもらうための新たな取り組みとして、産業医の協力のもと、月に１回『健康なんでも相談室』をスタートしました。社員からなんでも良いので健康に関する質問をもらって、それを産業医さんに医学的見地から答えてもらい、その動画を社内のeラーニングにアップし全社員に観てもらえるようにしています。例えば、『魚を食べたくないですけど大丈夫ですか』『グルテンフリーってなんですか』『階段の真ん中を上るとふらつくのですがなんでですか』などなど。質問はすべて社員が書き込んだままで、健康経営推進担当と産業医さんとが掛け合い形式で楽しく回答しています。

経営計画に健康経営を

経営計画書の中にも健康経営に関する方針を設けています。会社を持続的に成長させていくためには、社員の健康は欠かせないものだという雰囲気作りを、これからも継続させていきたいと思います。

健康なんでも相談室

健康経営優良法人
2022 認定

中小規模

1225

北海道
札幌FA支社

株式会社サンドラッグプラス

代表取締役社長
渡邉　崇 氏

お客様の日常生活を支え、健康長寿社会へ貢献します

- 代表取締役社長　渡邉　崇 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市東区北41条東9-3-1
- 主 な 事 業 内 容　小売業
- 従　業　員　数　765名（男性：260名・女性：505名）
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 北海道支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

弊社はドラッグストア・調剤薬局の運営を通じて、企業理念である「国民の『健康で豊かな暮らし』の実現に向け、“毎日が明るく楽しい生活”の創造」をめざしています。持続可能な社会の実現のため、社会的価値、経済的価値を創出し、SDGsの達成に貢献していきます。

健康経営の必要性

私たちが毎日豊かな生活を送るために重要なことの１つに『健康』があります。従業員自身が心身ともに健康であることは、その家族、そしてお客様の健康増進や豊かさにも繋がっていきます。
私たちの地道な健康普及活動は、着実に世の中全体に広がり、多くの人々の健康と豊かさを作っていくと信じています。
20代、30代の生活習慣が、40代以降の心身の健康状態に影響を及ぼすと言われておりますが、弊社従業員の平均年齢は比較的低いため、まずは自分自身の健康に対して意識を高めていくことが必要だと考えます。
従業員の心身の健康増進のために、健康に対する意識を高め、積極的に健康経営を推進していきます。

定期健康診断受診率100％

健康管理の基礎は健康診断の受診にあると考えており、従業員の定期健康診断受診率100％を健康経営における目標の１つに設定しています。受診率が低い部署に対しては、人事部が受診を促しています。店舗に対しては、まとまった店舗グループを統括するスーパーバイザーが働きかけを実施しています。この取り組みの結果、弊社の2021年度の健康診断受診率は100％となりました。また、本社には血圧測定コーナーを設け、従業員の健康管理に努めています。

飲料自動販売機の無糖化

本社設置の飲料自動販売機の商品ラインナップは、すべて無糖飲料です。無糖コーヒーや水、お茶、炭酸水等をメインに、トクホの商品も導入しています。
数年前までは、ジュースやカフェオレもラインナップにありましたが、生活習慣病のリスクを考えて、ラインナップを大幅に変更しました。それぞれの飲料１本当たりの糖分量を角砂糖に例え、見える化したことで、勤務中の飲料に気を遣う従業員が増えています。

エコ通勤制度

通勤手段が公共交通機関（電車・バス）やマイカーの方が、徒歩や自転車で通勤した場合であっても、該当区間の通勤費を支給しています。地球温暖化防止（＝エコ）に向けた企業としての社会的取り組みと、従業員の健康増進を目的とし、自転車・徒歩通勤への切り替えの主体的取り組みをサポートしています。

感染症予防と感染拡大防止の為の取り組み

従業員全員に毎朝の検温を実施し、その数値と当日の体調の記入を義務付けしています。
本社内の取り組みとして、アクリル板を設置し、事務所内従業員間及び来客面談時の飛沫防止を図っています。また、社内主要箇所に消毒液を設置し、来客者も含めた「感染対策」に努め、現在も継続中です。
分散勤務や時差出勤、在宅勤務の推奨、WEB会議を導入し、感染リスクを減らす取り組みも行なっています。

1226

北海道
札幌FA支社

Voice Report 140th

株式会社BWORKS

代表取締役社長
宮澤一政 氏

社員と社員の家族が安心できる会社でいたい

- 代表取締役社長　宮澤一政 氏
- 本 社 所 在 地　北海道札幌市中央区
- 主な事業内容　通信事業・広告事業
- 従　業　員　数　79名(男性:42名・女性:37名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 北海道支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

5年前には10人しかいなかった当社も、いまや90人近くになりました。会社の規模が大きくなるにつれて、社員にとっての会社の在り方や存在意義、社員のライフプランについて深く考えるようになりました。“収入・健康・プライベートの充実が保険になるから、思いっきり仕事ができる！”という環境を作るために、会社は何をするべきかを社員と一緒に考えて来ました。

業務拡大・採用強化・ワークライフバランスは一直線上にあるという認識

札幌に始まり、仙台・東京と事業所を開設、現在の営業エリアは関東以北・北陸方面まで広がりました。当社の業務拡大には優秀な人材が必須です。少子化や労働人口低下という採用マーケットの環境下で、いかにしてその課題を解決し強化していくかは、今後も社内全体での大きなテーマとなります。
“採用と育成に強い会社”というブランド構築は、社内の全事業に関わる人達に共有しています。現在もたくさんの社員の方々が“自分の手で会社を伸ばしたい”と思いながら頑張ってくれていると思います。そういうメンバーで考える“良い会社”“楽しい会社”を実現していくのが、当社の目標です。

健康経営チームの自発的な取り組み

札幌・仙台・東京の各拠点ごとに、健康経営運営チームのメンバーを募りました。活動内容としては、「スポーツイベントやありがとうカードの導入」など社内イベント的なこと、「健康にまつわる社内報」の作成、「産業医との相談や健康診断の管理」などの実務的なことなど様々です。
会社としては、残業のない働き方の提唱や有給消化の促進などを行っています。スポーツイベントは、毎月退勤後の夜、希望者参加でフットサルやバスケットボールを行なっています。ただ身体を動かすだけでなく、役職に関係なく接点をつくれたり、社員同士の交流などもでき、良い効果がたくさん見受けられます。

健康経営の取り組み導入は、社員とその家族のため

会社設立以降、年度を重ねるにつれ社員が増加していき、いつのまにか社員の結婚・出産などのライフイベントも増えて来ました。そうなって来た時に、会社の業績や未来は、目の前にいる社員だけでなくその先にいる社員の奥様やお子様の未来までを背負っているということに気が付かされました。当社のような中小企業は、優秀な社員の方たちがいて初めて成り立つ会社です。ただ給料を払えば良いというのではなく、身体的にも精神的にも健康的に過ごすことができ、当社で働くこととその社員の未来が同じ方向を向いていける、そんな職場環境を作るにはどうしたらいいのかと考え、健康経営への取り組みをするためのチームを発足しました。

中小企業だからといって諦めない

こういった健康経営に愚直に取り組むことは、直ぐに目に見えた効果が現れることでもないし、売上などに直結することではありません。
そういったものに中小企業が取り組むには、余裕と勇気が必要です。そんなことをやっている余裕はない！と思ってしまいそうだったのですが、当社としては、“今後、大きくなる会社だったらどうするか？”と考え、近い未来に対する投資だと考えるようにしてきました。そしてそれを継続して行うことで、健康経営の取り組みは自然と会社のブランディング要素としても重要なコンテンツとなっていると思います。我々は、大手企業なみの福利厚生環境がある中小企業でいよう！と思っております。

健康経営・生産性・会社規模の拡大という好循環を狙う

採用マーケットが厳しくなっていく中、既存社員の活躍が益々重要となっていくと考えます。既存社員か健康的に高い生産性を持った仕事をしてくれることが、会社のためにも重要です。もはや、社員の健康を考えることは、直接的に採用活動の一環だと考えても良いと感じております。心身ともに健康的に働いてくれる社員がたくさんいて、そこから生産性の高い業績を上げ、その利益をまた社員の環境に投資していく。少子化傾向が止まらない日本において、当社はエポックメイキングな採用への考えをもった中小企業でいようと思っており、今後そういった取り組みをしていきたいと考える中小企業のロールモデルになれることを目指しております。

1227

北海道
苫小牧営業所

株式会社道南事務機器

代表取締役社長
脇坂紀一 氏

「顧客第一、健康な社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　脇坂紀一 氏
- 本 社 所 在 地　北海道室蘭市寿町
- 主な事業内容　事務機器販売業
- 従　業　員　数　5名(男性:4名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

弊社は、室蘭市を拠点に事務機器・OA機器の販売を行っており、デジタル複合機に代表されるオフィス向けOA機器、パソコン、スチール製オフィス用家具、更には各種サプライ品などお客様の要望にお応えすべく、幅広くお取り扱いさせていただいております。その中、今回「健康経営優良法人認定」を目指しませんかとアクサ生命保険様より説明を受け、これからは従業員の健康を企業として守る事に共感し活動を開始、この度「優良法人2022認定」を取得することができました。

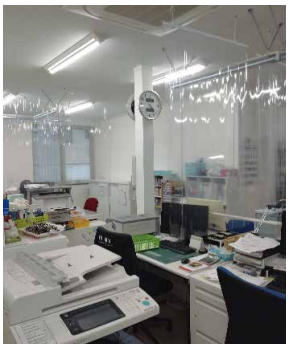
少数精鋭の会社だからこそ健康経営に取り組む必要性を感じました

私自身「健康経営って何だろう？」からスタートし、健康経営関連の情報収集を行い、2021年7月の宣言後、社長自ら健康経営と正面から向き合う行動を行いましたが、自身含め、従業員の今の年齢からの、健康不安の部分が健康診断等で多く見受けられてきました。「このままでは・・」と考え、弊社スタッフに何らかの健康上の問題が発生してしまうと、お客様への信頼を損ねてしまいます。信頼関係を持続させていかなければならない立場から、今一度、自身含め全社員の健康状態の「見える化」を進めるべく今回の「健康経営」の各指標に行動を移しました。

徹底した感染予防・感染拡大対策

弊社は、お客様とのコミュニケーションを重視し、クライアント様との接触が最も大切な業務となります。昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、昨年のスタートと同時に、業務全般の制約を余儀なくされ、社員の感染予防、更には拡大防止を図ってきましたが、今回の「健康経営」の活動を機に、更なる拡大防止を目的とした健康経営投資を実施し、お客様への対応、全社員の対応の徹底を図りました。

感染予防取り組み事例



社員間飛沫防止用の
ビニールカーテン設置

入室時の検温装置設置

「健康ツール」を活用した健康課題認識の周知化

宣言を実施し、いざ活動を開始し、「健康経営」への取り組みに対して、全社員へ周知しましたが、活動当初は「自分は健康だから」という意識が全社員に見られ、その中から、いかにして社員の健康意識を高めるかと、試行錯誤しながらのスタートでした。その中で、毎月健康経営アドバイザーにより配信される「健康へのワンポイントアドバイス」を活用し、社員全員と健康課題を共有しながら活動を展開していきました。その結果、徐々にではありますが、社員自身の健康への取り組み姿勢が向上した(例:休みの時の自宅周辺ウォーキング等)ことなどの報告を受けたり、健康意識への考えへシフトすることができました。

大切な社員とその家族の健康と共に会社も成長を

上記の事業所紹介にも記しておりますが、弊社は従業員５人の会社で、役員含め、その一人一人の人財をさらに成長させ、その効果より生み出る「会社の成長」へ繋げていきたいと考えており、それには、弊社社員のご家族のご支援あってこそと思っております。従業員とそのご家族の健康を考え、今後は家族ぐるみの健康経営ができる環境を作ることが、私自身の使命と考えております。

今年度認定取得からみた今後の課題へチャレンジ

健康経営に取り組み、今回初めての「健康経営認定」取得になりましたが、役員・社員問わず、あまり見ることがなかった従業員同士での「健康意識」に関するやりとりが目に見えるようになりました。しかし、まだ取り組むべき課題が多く残されており、今回の認定を機に、再度、健康への取り組むべき項目を、精査し、来年の『２年連続取得』を目指して取り組んでいきたいと考えております。

1228

北海道
苫小牧営業所

Voice Report 140th

有限会社アルフ

代表取締役社長
渡部　厚 氏

「社員とその家族の健康を考え、地域一番のモノづくり企業」を目指して！

- 代表取締役社長　渡部　厚 氏
- 本 社 所 在 地　北海道室蘭市八丁平
- 主な事業内容　精密金型・部品製造業
- 従　業　員　数　9名(男性：7名・女性：2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

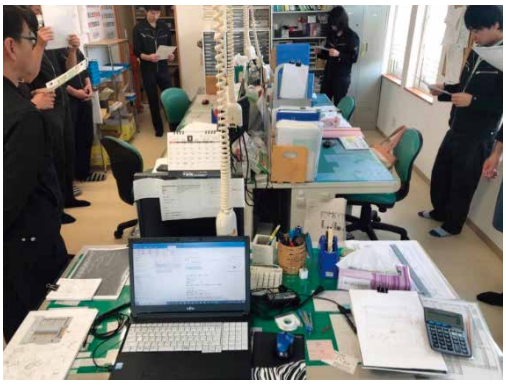
弊社ではプロファイルグラインダー、研削盤、ＮＣ工作機、超微細砥粒を使用した研磨機操作等による、公差がミクロン・オーダーの精密金型の加工・製作に係わっており、特注金型部品を数多く手掛け、多種多様なお客様のオーダーに信頼性の高い加工技術でお応えしています。弊社の持つ加工技術をベースに、他社では困難となる加工においても品質、納期、コストを重視し、より良いモノづくりを目指しております。

昨年からの健康経営連続認定を受けて

一昨年「健康経営宣言」に手を挙げ、今回の「健康経営優良法人2022認定」として２年連続取得することができ、改めてサポートを頂きましたアクサ生命保険株式会社様ならびに各方面のご助力に、深く感謝申し上げます。
弊社では、昨年からの継承事項として、「労働時間の適正化・ワークバランス確保」を最大テーマに掲げ、活動を実施してきましたが、実績として目標に定めた時間確保を達成することができ、大きな進展を得ることができました。また、社長との直接面談も功を奏して、全従業員の健康への配慮を意識付けた無形効果を出すことができました。

技術力＝人財育成を念頭において

弊社が手掛ける精密金型・部品は、ある程度の部分は機械化で補える工程などがありますが、最終工程では、一人一人の熟練された『技術力』が求められており、全従業員が「安心して仕事ができる環境づくり」を最大テーマとして捉え、労働環境の整備に着手していきました。一人のベテラン社員が、完遂できる工程を分解し、他の社員もその工程を補えるようになるための『人財育成』に着目し、今回の健康経営とリンクさせた活動が、現在は構築されつつあります。今年は、更なる育成へ注力していきたいと考えております。



「健康ツール」を社長自ら、社員全員へ配布し、社員全員での健康課題把握ミーティング（１回／月）

社長自ら、率先して

昨年からの継続として、アクサ生命保険健康経営アドバイザーより毎月配信される「健康ツール」を社長自ら、社員全員へ配布し、健康課題を各自にて認識。以降の取り組み内容を全従業員で共有化を図りました。
その結果、社員一人一人のモチベーションを「見える化」する事により「人材育成」及び「環境整備」へのツールとして活用することができました。社員より「以前より、風通しが良くなった」という声を多く聴くことができるようになりました。

大切な社員とその家族の健康を考え

弊社は９人という、少数精鋭の会社です。
従業員がいつも健康で、働き続けられるのは、従業員のご家族の支援があってのことと私自身、常々思っています。
従業員に何かあった場合の福利厚生として、会社で準備しておりますが、これからは、従業員だけではなく、そのご家族の皆様の「健康課題」も今回の健康経営認定取得にあたり、会社として取り組んでいきたいと考えております。

連続認定取得からみた弊社の課題へチャレンジ

健康経営に取り組み、今回「2年連続認定取得」になりましたが、役員・社員問わず、会社全体での「健康意識」が芽生えてきていることを日に日に感じつつあります。しかし、まだ取り組むべき課題が多くあり、今回の認定を機に、今一度、精査し、来年の「３年連続」を目指すべく取り組んでいきたいと考えております。特に健康経営アドバイザーからご提供頂いている各健康ツールをフルに活用し、社員とのコミュニケーション向上をさらに図っていこうと思っております。

1229

北海道
苫小牧営業所

トラスト・セキュリティ株式会社

代表取締役社長
木村武志 氏

地域や業界にとって先駆けになれるような取り組みと発信をしたい！

- 代表取締役社長　木村武志 氏
- 本 社 所 在 地　恵庭市戸磯619-2
- 主な事業内容　警備業
- 従　業　員　数　29名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

総合警備業として地域に密着し、社名の一部にもある「トラスト(信頼)」を顧客のみならず地域の皆様と築き上げ、「みんなの笑顔を守れる会社」であり続けるため、社内一丸となって健康経営にも取り組んでいます。

健康経営を始めるきっかけ

社員たちが日々健康でいることにより業務を円滑に進めることができ、そしてその社員たちの健康を守ることが一人一人の生産性を維持し向上させることにつながり、その結果として会社全体の業績向上につながると感じたので取り組むことを決めました。

取り組みの内容

1. 当社と取引のある、アクサ生命さんの健康経営アドバイザーに勧められ、従業員の健康習慣アンケートを実施した。
2. 喫煙率の高さに問題を感じているので、独自で作成したタバコケースを非喫煙者を含む全従業員に配布し、常に持ち歩かない環境にすることを狙った。
3. 熱中症対策として、水分、塩分を常に摂取出来るように、現場に出る者には配布し、各自自由に持ち歩けるように事務所内に常備している。

取り組み内容に対する結果１

アンケートの結果により、従業員が抱えている悩みや、不調の理由を知ることができて、社員たちとの距離感が縮まった気がした。これまではプライベートのことを聞くことは気が引けると感じていたが、アンケート結果があったので、これをもってアンケートに参加した従業員と話すきっかけが出来た。このアンケートは一定期間後にまた実施していただけるとの事なので、年に一度はアクサ生命さんに協力していただき今後も実施していただきたいと思う。

取り組み内容に対する結果２

今年の６月にタバコケースを作成し、全従業員に配布した。元々、現場への持ち込みは禁止であり、ここに関しては現場で徹底されているが、プライベートに関してはなかなか踏み込めないと感じていたので、まずは業務中からタバコをケースに入れる癖付けをして、タバコは手元に置かないものだと意識付けを狙いたい。これにより、プライベートでも喫煙に対して距離を置くことを狙い、喫煙率の低下に繋げたい。

今後の会社がとらえる健康経営に対して

現在勤めてくれている従業員はもちろん、今後入社してくる新たな人材、この会社に勤めるみんなが、「ずっとこの会社で勤め続けたい」、そして退職を迎えた時には、「この会社に勤めてよかった」、そう思える会社を目指し、健康経営にも真摯に向き合っていきたいと思っています。人は宝である、従業員は会社の宝である、当社にとっても従業員一人一人が大事な存在であることを忘れずに、大事な従業員を守っていきたいと思います。

1230

北海道
函館営業所

Voice Report 140th

紀の國建設株式会社

代表取締役社長
紀國隆二 氏

「100年企業」を目指すために

- 代表取締役社長　紀國隆二 氏
- 本 社 所 在 地　北海道函館市昭和
- 主な事業内容　建設工事業
- 従　業　員　数　26名(男性:18名・女性:８名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

皆様の想いと夢をカタチに

相手の立場に立って考え、丁寧で誠実な仕事を積み重ねること。
社員一人ひとりが、創業以来、何よりも大切にしてきたことです。

会社の存続を掛けて健康経営に取り組みました

2008年、現専務取締役が就任して会社の存続のために就労環境を改善することが急務と判断しました。
2015年から健康診断の完全実施と保健指導を積極的に実施しました。並行して健康経営を含めた働き方改革を実行して環境の改善を図っています。
この度の優良法人認定は、以前から独自に取り組んでいることが申請項目に該当することから勧められて認定を受けました。

健康経営の取り組み

- 毎朝ラジオ体操第一・第二を全員で実行しています。
- 社内の飲料水に「水素水」を導入しています。
- 健康診断のオプション１つを会社負担としています。
- 週１日のノー残業デーを設けています。
- 勤怠管理ソフトを導入して代休・振替有休の消化を管理。
- 社内にメンタルヘルスの相談窓口を開設しました。

令和２年新社屋前

積極的に新卒者および女性の採用

職員の３割が女性であり業界的には女性占有率が高いと思います。働き方改革の一環として、女性が活躍できる企業を目指して能力・適正があれば技術職、営業職、現場管理職としても採用しています。また新卒者の採用も積極的に行っています。
そしてグループワークシステムを導入することによりコミュニケーションの促進を図っています。

100年企業を目指して

創業100年を目指して会社のブランディングの向上も重要と考えています。建築がメインの会社ですが、「依頼された事は何でも対応できる。困ったときに来てもらう。」そんな特徴のある会社を全員で築いていきたいと思います。
そのために社員一人一人が心身ともに健康でありモチベーションが上がり、様々な意見・アイディアが飛び交う職場にするために今後も健康経営を継続していきます。

1231

北海道
函館営業所

函館商工信用組合

理事長
山本富靖 氏

地域の発展と皆さまのご期待にお応えできる金融機関に

- 理　事　長　山本富靖 氏
- 本社所在地　北海道函館市千歳町
- 主な事業内容　信用組合
- 従業員数　51名(男性:22名・女性:29名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

地域社会の繁栄に貢献する

地域経済が依然として厳しい状況が続いている中、社会的使命と公共的役割を認識し、不断の努力と協調により生きがいある職場を築いていきます。

「健康事業所宣言」のお知らせがきっかけ

協会けんぽ北海道支部の方が来店された際「健康事業所宣言」の説明を受けたことがきっかけでした。
「宣言」の延長に「健康経営優良法人」の申請があること、また既に取組みを実施していることが申請要件に合致していることから申請し認定を受けることができました。
健康経営はスタートしたばかりですが持続することで役職員のワークエンゲージメントを向上し、サービスの向上を果たしていきたいと思います。

社会貢献活動

函館商工信用組合は地域社会の一員として地域の皆様に少しでもお役に立ちたいと考え、地域社会と共に歩む「良き市民」として、積極的に社会貢献活動に取り組み、取り組むことが心身の健全性にプラスの作用をきたしています。

- こども110番の店として警察と連携
- 献血活動
- 地域清掃活動の継続実施
- 社会福祉団体に対する協力

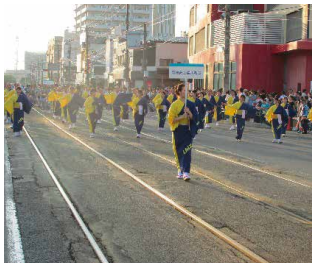
健康経営の取り組み

- 働き方改革による残業の適正化
- 敷地内全面禁煙
- セミナーの定期開催
- 健康情報の配布による健康リテラシーの向上
- 健康診断有所見者の一次健診率100%
- ５階建ての社屋は原則階段使用

地域密着型金融機関に徹する

一番大切な取組みはお客様に対する「訪問活動」であり「生の声」を拝聴して相談業務を行うことです。コンサルティング機能を一層発揮して信頼を築いていくためにも健康であることが重要になります。
地域のお客様のためにも役職員自身のためにも、そのご家族のためにも、健康経営を推進して全員が活き活きと働き、能力を最大限に発揮できる職場作りを目指していきます。

献血の風景



函館港まつり参加風景

地域清掃活動

1232

北海道
帯広営業所

フジ暖房工業株式会社

代表取締役社長
西藤博行 氏

社員が健康で働き続けられる会社を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　西藤博行 氏
- 本 社 所 在 地　北海道帯広市西20条北 1-6-7
- 主な事業内容　一般管工事業
- 従　業　員　数　23名(男性:21名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は1974年、お客様に安心、安全で快適な生活環境を提供させて頂くことを使命と考え創業させていただきました。
お客様の声を真摯に受け止め、地域社会から愛され、信頼される企業を目指して参ります。

健康経営に取り組むきっかけ

創業より現在までの長きにわたり社員一人一人が努力を重ね技術を磨き、会社の大きな力となってくれました。その社員の多くが毎年の定期健康診断で多くの所見があり、このままでは将来病気になってしまうという心配から「健康経営」に取り組んでいこうと考えました。

アンケート実施により従業員の健康への意識を確認

健康経営の取り組みの第一歩は従業員の健康課題を把握することからでした。
従業員の生活習慣についてのアンケート実施により、従業員の健康に対する意識づけを行い、明確になった課題について改善の対策を検討しております。
年に1度定期的に行うことで少しづつ改善がみられるようになってきており、3度目のアンケートではかなりの意識改善が見られました。
更に「24時間電話相談」「メンタルサポート」など、アクサ生命のサポートパッケージの利用により、よりいっそう従業員の健康増進を図っていきたいと考えています。

従業員の感染症予防

過去に従業員の多くがインフルエンザに感染し、業務に重大な支障が生じたことがあったため、現在は会社でワクチン接種の費用負担をしております。
2020年は26％だった接種率ですが目標値70％として、接種の日程を会社にて設定し積極的に声掛けをしたことで2021年は73％と目標を達成することが出来ました。
現在は費用負担の継続はしているもののインフルエンザワクチン接種をしてもらえる病院が無く、接種率は低下している状況ですが、これからも感染対策は会社として十分に取り組んで参ります。

従業員の家族を含めたコミュニケーション

仕事で良いパフォーマンスを発揮してくれているのは家族の支えあっての事であり、感謝の気持ちを込めて年に１回従業員の家族も含めた温泉慰労会を行っております。感染症のため自粛した時期もありましたが、ワークエンゲージメントの高い会社、働きやすい会社を目指して出来る限り従業員とその家族とのコミュニケーション機会を増やしていきたいと考えています。

今後の展望

大事な従業員の病気を未然に防ぐために、現在行っている健康診断検査項目を更に充実させました。また、健康診断で再検査、精密検査の所見がある従業員の重症化を防ぐために二次健診の受診率100％を目指し、社員に健康で長く働いていただけるよう取り組みを行って参ります。

1233

北海道
帯広営業所

髙堂建設株式会社

代表取締役社長
髙堂匠美 氏

建設業の使命…「持続可能な社会の形成に向けて」

- 代表取締役社長　髙堂匠美 氏
- 本 社 所 在 地　北海道帯広市東1条南16-15
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　55名(男性:44名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

建設業者には希望ある地域の未来を創造するために限られた資源、限られたエネルギーの中での持続可能な社会の形成に寄与し、自然災害の脅威から地域社会の安全、安心な生活環境及び経済活動を守るという使命があります。そこで働く社員が心身ともに健康であることが、その使命を果たしていくうえで重要であると考え、健康経営に取り組んでいます。

健康経営の取り組み

大切な友人を病気で亡くしたことをきっかけに、縁あって集まってきている人を失いたくない！という想いが強くなり、従業員の健康にも関心を持つようになりました。
定期健康診断の二次健診費用負担、スポーツジム利用全額補助、禁煙外来費用補助、非喫煙者に対する優遇制度などに長年取り組んでいたところ、協会けんぽを通じて「健康経営」を知り、「健康宣言」をすることを決めました。

地域を守る

労働人口の減少は地域経済や生活基盤に大きな影響を及ぼし、やがては地域自体の消滅につながります。
地域を守っていくためには未来に向けての人材の確保が必要であり、高い技術を持つ大事な従業員に健康で長く働いてもらいたいという気持ちを強く持っています。
また、どう地域の魅力作りをし、どう魅力を発信していくかが地域発展に対する問題解決のカギになってくると思います。当社ではここに力を注ぎ地域に貢献していきたいと考えています。

村上右磨選手

地域に生きる企業として

地域に生きる企業として地域の魅力を作り、地域で夢を持って頑張っている若者を育て、支援することが使命だと思っています。平成28年創業60周年事業としてホルンを寄贈したことをきっかけに池田高等学校吹奏楽部への支援を行っています。また、十勝を代表する冬のスポーツ、スピードスケートでは平成27年から地元出身選手を正社員として雇用する取り組みを始めました。今年は村上右磨が北京で開催されたオリンピックに出場し500メートルで8位入賞を果たし帯広市特別表彰を受賞しました。夢を持って頑張り活躍する選手に社内の雰囲気も変わってきています。

社員の健康を把握するためにアンケート実施

健康経営の取り組みは現状維持ではなく常に新しい取り組みを考えています。本年度は全従業員を対象に生活習慣に関するアンケートを実施しました。
生活習慣を把握することにより改善点が明確になり、今以上に従業員の身体の健康、心の健康のサポートに繋がると感じています。また、ワークエンゲージメントの状態もわかるため、今後の働きやすい環境作りの参考にしていきたいと考えています。

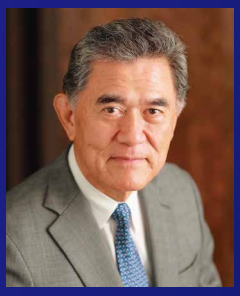
今後の展望～喫煙率の低下に向けて

もともと従業員の健康には関心を持っており、特に健康被害の大きい喫煙については優先して取り組みを行い改善を図ってきました。
喫煙率60%から現在では20%まで良化しましたが、更なる目標は10%を切ることです。
禁煙外来の費用全額補助、非喫煙者への退職増額などの福利厚生を健康作りメニューとして取り入れていますが、今後目標としている喫煙率10%を切った場合、「病気の治療と仕事の両立支援」として従業員受け取りの医療保険加入をインセンティブとすることを検討中です。大切な従業員がもし病気になってしまったとしても、しっかりと治療に専念し元気にまた一緒に働くことが出来るように。

1234

青森県
弘前営業所

フジプラント株式会社



代表取締役社長
藤崎和夫 氏

従業員の健康を守る！～従業員の豊かな人生実現のために～

- 代表取締役社長　藤崎和夫 氏
- 本 社 所 在 地　青森県弘前市大字高田２
- 主な事業内容　一般管工事業
- 従　業　員　数　35名(男性:32名:女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 140th

企業の健康増進に向けた取組みが従業員、地域、そして日本全体の幸せに繋がる。
経営者自身が誰よりも意識を高く持ち、考え行動し続ける。

自身の健康管理がきっかけ 健康経営に取組む必要を感じた

奥様を67歳でガンで亡くされた。「その分長生きをしなければいけない。」という思いから健康に関しての勉強を独学でスタートし、がんにならないような生活を意識し始めた。
食べ物・適度な運動・気持ちのコントロールなど健康管理をしていく中で周囲(家族・従業員)を巻き込んでいきたいという思いが芽生えた。

従業員が病気になると会社に穴が開き、バランスが崩れる。会社が成長していくためにも従業員の健康増進は不可欠であり、精神的にも前向きでいられるようにもなる為、会社が従業員の健康増進の取組みをスタートした。

まずは健康づくりに強い意識を持つこと

社長自ら小冊子を執筆し従業員に配布。(写真)
健康管理は食生活が一番大事。バランスの取れた食事とはどういうことなのか？栄養素にどのような効能があるのかを理解させ、不足しがちなミネラルについての知識を提供した。
まずは健康経営の定着のため、従業員の健康意識を引き上げることを目的とした教育機会を提供することから始めた。

写真(左)　社長自ら執筆した小冊子
『健康と食事』『まだ見ぬ子供達の声が聞こえますか？』
写真(右)　社長推奨のスムージー

健康増進のための機会提供

前段で話したミネラルに加え大事な酵素の補給には新鮮な生野菜を摂ることが重要。“野菜が高い”という声もあったため「健康野菜手当」の支給を決定した。
喫煙行動は死亡率を高めるという統計データがある。喫煙者本人だけでなく周りにも悪影響を及ぼす。健康で長く働いてもらいたいという思いから「非喫煙手当」も支給している。

今後の展望

100歳になっても今と変わらず充実した日々を過ごしたい。そしてなんといっても青森県が目指すべきは日本一医療費が低い県。長寿県でも医療費が高額だと意味がない。健康寿命を引き延ばすことで貢献する。
そこに向けた取組みが医療費の削減、所得増、社会全員の幸せに繋がる。
自社から発信し、地域の企業を巻き込みこの大きな目標を実現させたい。

今後の取組み

採用面接の際には喫煙状況を確認しており、「入社を機に禁煙にチャレンジしてみないか？」と社長自ら禁煙活動のリーダーとして取組んでいる。今後「非喫煙手当」の引き上げも検討中とのこと。

<今後の取組み企画>
- 朝の体操 (運動)
- チームを組んでのレクリエーション (運動、コミュニケーション)
- 交流ゴルフコンペ (運動、コミュニケーション)
- 社員への野菜やリンゴの配布(貯蔵試験で使用済のもの)

1235

青森県
十和田営業所

株式会社小坂工務店

代表取締役
小坂仁志 氏

100年企業となるため、お客様・社員そして地域社会の幸せに貢献する

- 代表取締役　小坂仁志 氏
- 本社所在地　青森県三沢市南町4-31-3469
- 主な事業内容　建設業
- 従業員数　57名(男性:31名・女性:26名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

Voice Report 140th

社員が病気や怪我で長期入院となった時に、退職を考えずに済むよう「私傷病のための特別休暇」を設けたのがスタートとなりました。短時間社員、テレワーク社員等の制度を整えていった結果として、健康経営の取り組みが自然と実践されたものとなりました。

永く働ける会社であるために健康経営に取り組む必要を感じました

永く働ける会社であるために、常に情報収集と共有を意識しています。働きやすい職場であるためにグループウェア「desknet' s」を活用し入院時の休暇届や業務の引継ぎ、人員補充などがスムーズに行えるようICT環境を整えています。
仕事に復帰する時にはリハビリや治療を行いながら仕事が出来るよう相談しながら短時間やテレワークと、社員の状況に合わせることで治療を優先出来るようにしています。またシステムを作るだけでなく広く周知することも大切だと考えています。
健康増進活動は会社から押し付けられてやるのでは窮屈に思うので遊びながら健康づくりを感じられるようスマホの歩数計を使って、どこまで歩いたかを日本地図に表示する「あるいて歩いて！小坂工務店全国行脚の旅」や青森県地図での「あおもり再発見！！」と題し、すごろくを用いたゲーム形式で実施しています。
社員は新卒の他に自衛隊、市役所、銀行、警察を退職された方や産業雇用安定センターの紹介を含め20代から70代と、年代や職種もバラエティーに富んだ社員構成になっています。地元ならではのバックボーンがしっかりしていることから人間関係の構築がし易く色んな世代のネットワークが広がっています。
社内マニュアルの整備や研修も多く取り組んで様々な媒体から情報収集することも大切だと考えています。

社員一同

ゲーム形式で楽しく実践♪

当社の禁煙対策はまず社長が模範を示して取り組みはじめました

比較的喫煙者が多い職種でもあるので禁煙対策が大変と聞きますが、当社の禁煙対策はまず社長が模範を示してくれました。難しい取り組みはまず「長」が手本を示す！の例として、仕事始めの全体会議で自身の仕事上や個人的目標を発表しています。社長は「禁煙」や「資格取得」を目標に掲げ達成しています。
トップ自ら率先し結果を振り返るので、社員も自ら禁煙を目標に発表するようになりました。その結果喫煙率も減って来ましたし、資格取得で報奨金を受け取る社員も増えました。当社は店舗ごとに営業時間が異なるため横の繋がりを強化するべく８つの委員会を設け、社員旅行や清掃ボランティア活動を担っています。また、社員からの意見を取り入れ易くするため、会議や研修の場を与えコミュニケーションを多く取るようにしています。
この活動が社長の目指す「社員が永く勤められる会社作り」に反映されています。

社員同士が意見を出し合い改善提案していく会社として今後も健康経営に取り組みます

当社は成果給制度を取り入れていますが、育休を取得中の社員も安心して復職できるように同列に改定した給与にしていく取り組みを行っています。社員同士が意見を出し合い改善提案をあげ、採用されたら金一封を渡すという制度があります。
以前、建設部より若い人が入社したくなるようなイメージの制服に変えたいと提案があり導入した結果、社員のモチベーションが上がりました。若年層社員採用に向けて公式インスタグラム開設も改善提案です。今後も更なる進化を続ける取り組みを健康経営と合わせて行っていきたいと思います。

1236

岩手県
盛岡営業所

Voice Report 140th

三陸土建株式会社

代表取締役社長
木下伸一 氏

誠意・堅実・敏速

- 代表取締役社長　木下伸一 氏
- 本 社 所 在 地　岩手県盛岡市みたけ
- 主な事業内容　建設工事業
- 従　業　員　数　46名(男性:40名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

地域社会の暮らしやすいインフラを「つくる・守る・取り戻す」ことを目的に邁進し、70年以上にわたり、歴史と技術を積み重ねてきた会社です。

健康経営に取り組んだきっかけ

5年ほど前に現会長から社長へバトンタッチが行われました。2019年に設立70年を迎え、新たなステージに入りました。先代から長く会社を支えてくれている社員も高齢化の波を受けています。また、健康診断結果が芳しくない30代、40代の従業員も一部出てくる状況になってきました。
企業経営も技術力を上げ、良い施工をし、社員に経済的安心を提供するにとどまらず、皆のクォリティーオブライフの向上を図るという新しい視点を取り入れた経営をと考え、健康経営への取り組みを始めました。

三陸土建(株)マスコット
キャラクター ミドケン

現在の取り組み

健康診断結果から特定保健指導の対象となった社員に積極的な参加を促しています。各自が真摯に指導を受け、生活習慣に取り入れてくれています。
毎年、アクサ生命提供の生活習慣アンケートを実施し、他者との比較も含め、生活習慣を客観的に確認する場としています。
生き生きとした健康的な生活は穏やかで安心できる家庭生活によるところが大きいと考えています。そのため、ワークライフバランスの改善に取り組んできました。
令和元年に「いわて女性活躍企業」、令和3年に「いわて健康経営事業所」、令和4年に「健康経営優良法人」、「いわて子育てにやさしい企業」などの認証をいただきました。
また、社長を筆頭に男性も子育てがしやすい社会をつくるため、「イクメン企業宣言」をしました。家庭進出する父親が増えると母親である女性の生き方が、子どもたちの可能性が、未来の社会が変わってくるはずです。

これから目指すもの

働き方や生き方は多様化しています。自然環境も目まぐるしく変化しています。弊社は建設業という自然と共存しながら開発していく仕事を生業としています。植林プロジェクトに参加し、CO2削減に取り組んでいます。岩手県という美しい自然に囲まれたこの土地を大切にし、そこに暮らす皆様とそして何より一緒に働く社員、そのご家族一人一人と向き合いながら健康経営を実践していきます。社員相互のコミュニケーションを図り、メンタルヘルスの安定と健康状態の把握、再検査の受診促進、その後のフォローを行っていきたいと思います。
しなやかに変化しながら、仕事に堅実に誠意をもって取り組み、これからも社会と社員に必要とされる会社であるべく進んでいきます。

1237

岩手県
大船渡営業所

Voice Report 140th

株式会社菊地建設

新社屋

被災地の一日も早い復興を願って

- 代表取締役　菊地和弘 氏
- 本社所在地　岩手県宮古市八木沢1-5-1
- 主な事業内容　一般土木建築工事業
- 従業員数　95名(男性:88名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私どもの会社は、長年に亘りこの地域に根差して、営業をさせて頂いております。幾多の大きな災害を乗り越え、この地域と共に営業をして参りました。建築・土木・設備・不動産と大きく４本の柱で仕事をしております。今の人財を大事にして、長い人生をふるさとで活躍して暮らしていけるように、健康経営に取り組んでおります。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営に取り組みはじめたきっかけは二点あります。
ひとつは新しい人材を採用するのが難しい時代になってきたことです。高齢化、少ない入社を背景に今の人に長く活躍してもらおう、そして大事にしていこうと考えはじめました。
二点目は、健康診断結果で再検査に行かずに重症化した社員がいたことです。悔やんでも悔やみきれません。もっと、健康について会社で声を出していこう、そう思いました。そんな辛い経験から健康経営がはじまりました。

みんなで定期健康診断を受診しました

定期健康診断は、会社にとって大切な従業員の健康を守ることにつながり、毎年全員一斉に受診しております。自分の身体の状況を知ることにより健康の維持をはかるとともに、病を未然に防ぎ、健康管理や食生活等の改善に役立ててもらえればと思います。

受動喫煙防止についての講話

被災地の一日も早い復興を願って

健康に関する意識が高まりました

健康診断終了後、労働衛生コンサルタントの『職場における受動喫煙防止について』の講話を受講しました。午後からは、安全衛生教育を安全管理者・衛生管理者より実施しました。講習で学んだことを活かしながら、健康に留意し、事故防止に努めてまいります。
また、福利厚生の一環として、所見があった社員に再検査費を補助し、有給休暇とすることで、病院に行きやすい環境を整えました。結果として、再検査の受診率が向上しました。これからも、みんなが健康に関心が持てるような取り組みを継続していきます。

健康経営への取り組み

運動については、全員で毎朝ラジオ体操をしています。
以前は、岩手県で実施している働き盛り世代の健康度アップを目指した「企業対抗チャレンジマッチ」に参加しておりました。
〈専用の歩数量計を使い、約半年間、歩行数アップにチャレンジして、チャレンジ前後に内臓脂肪面積を測定し、チャレンジの成果を「見える化」することで健康リスク数の改善に加え、仕事へのモチベーションや同僚・上司との一体感、更に幸福感を高めようとする企画です。〉
今後は、再び少しずつ運動をすすめていこうと考えております。

今後の展望

弊社は2022年7月7日より本社を移転しました。新社屋で気持ちも新たに、以前開催していたレクリエーションを職場のコミュニケーションと健康のために、復活させたいです。
現在、65才以上の従業員が20名近くいます。一日も長く健康で働いて欲しい、やがて迎えるリタイアは健康で前向きなハッピーリタイアにして欲しいという想いです。地域に貢献できる、やりがいのある仕事です。もうすぐ設立40周年を迎える節目の年に引き続き、2年連続で健康経営優良法人認定を取得出来るよう継続していきます。

1238

岩手県
大船渡営業所

中村建設株式会社

代表取締役
佐藤秋彦 氏

地域と共に自らも永続発展していくために

- 代表取締役　佐藤秋彦 氏
- 本社所在地　岩手県大船渡市三陸町越喜来字所通122-2
- 主な事業内容　土木工事業
- 従業員数　45名(男性:41名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康でないと働けない。みんなが健康で、一日も長く働ける職場として、働く人が元気で、幸せな人生を過ごすことが出来るように、そんな想いから、健康経営に取り組んでおります。
弊社は、これまでたくさんの方々に支えられて今があります。これからも、変わらず地域貢献する為にも、社員の健康を守る事が大切と考えます。

健康経営に取り組むきっかけ

はじめは、岩手県の健康経営事業所認定を知り、健康経営に取り組みはじめました。岩手県の認定を受けて、次は健康経営優良法人認定制度を目指してみようと思いました。
私自身は、健康を意識しています。昔は、不健康な生活をしていた時期もありました。でもこの仕事は健康でないと働けない、みんなで健康になろう、そんな想いから健康経営の取り組みを継続して、現在に至ります。

みんなが健康になるように取り組む！

まず、健康診断受診率100%と再検査に必ず行くことを目指しました。
これは、病気になって欲しくない、今から気を付けて欲しいからです。私自身のかつての健康の苦労話からも、健康であればご飯もおいしいと実感しています。最近の私は、さらに楽しみながら食事管理をしていて、2～3Kgやせるという成果につながりました。みんなにも共有しています。みんなで楽しみながら、日々の健康管理が進むといいですね。

ラジオ体操の様子

安全運転委員会打合せ会より

健康関心度が高くなってきた

たばこについては、以前は喫煙者も多かったですが、減少してきました。
これは、健康についての関心と値上げの影響かと思います。
最近は、現場に向かう車の中が、自発的に禁煙になってきました。
また、自動販売機の飲料は、お茶や水など健康的なものに変更しました。価格は、上乗せはせずに安く提供しています。
さらに、定期的に職場内で、アクサ生命から毎月提供される健康アドバイス等を活用して、健康情報提供の機会を設けています。

健康経営への取り組み

毎朝、全員でラジオ体操をしています。とても、健康的です。
最近では、運転前のアルコールチェックが義務化されて、飲みすぎに注意するようになり、特に休日の深酒が無くなりました。
このような日々の取り組みから、社員同士でも健康に関心を持つようになり、健康の会話も増えてきました。また、以前よりも健康診断結果の数値を一人一人が気にするようになってきました。これからも、この流れを継続して、健康経営に丁寧に取り組んでいきます。

今後の展望

人材不足の時代に入り、人材流出させずに長く定着させる為にも健康経営の取り組みは、益々重要になっていきます。
そのためにもみんなが体調が良く、働きやすい環境になるように健康経営に取り組んでおります。
健康診断受診と再検査を必ず受けると決めて、通院しやすい環境になったと思います。ワクチン接種も安心して行ってもらいました。
これからも、小さなことから、こつこつ積み重ねていく中で、3年連続で健康経営優良法人認定を取得出来れば幸いです。

株式会社角登商店

今もこれまでもこれからも健康経営を継続する

- 代表取締役　伊藤敏郎 氏
- 本社所在地　岩手県宮古市茂市9-3-6
- 主な事業内容　ガソリンスタンド
- 従業員数　56名(男性:35名・女性21名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

宮古市近郊エリアを対象としたLPガス・ガス器具の販売・灯油等の配達を行うとともに、岩手・宮城の両県にまたがり、ガソリンスタンド５拠点を運営しています。様々な部署で、多くの従業員が働いております。その為、コミュニケーションを大切にしています。また、これまで多くの地元イベントに参加して、地域交流を深めてきました。これからも、これまでの流れを大切にして、変わらず受け継いでいきます。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営という言葉は、以前から耳にする機会も増えて、興味はありました。ただ、よく理解は出来ていませんでした。その頃、弊社では健康診断受診は100%出来ていても、再検査に行かず意味があるのか課題を感じはじめていました。そんな折、タイミングよくアクサ生命の担当者から健康経営について詳しく聞く機会がありました。そこでわかった事がありました。「なんだ、私たちがこれまでやってきた事って健康経営の取り組みだったんだな。」それまでは、健康経営は、大きい会社がやるものだと思っていましたから。それから、今日まで、丁寧に健康経営に取り組んできました。

健康な職場でありたい

今は、健康診断結果の再検査通知が来たら、お手紙を出して、必ず行ってもらうようにしています。受診後には、結果を書面で出してもらっています。
弊社では、様々な部署で多くの従業員が働いています。ガソリンスタンドの仕事はよく動くので健康的です。一方、本部では、あまり動かないので、ラジオ体操と1日30分のウォーキングをはじめました。健康になりたい、痩せたい、そんな想いで、みんなで楽しみながら、日々続けています。

キャンペーンと社員旅行♪

川下りでコミュニケーション！

健康チャレンジマッチ参加もターニングポイントに

宮古保健所管内の事業所で健康づくりに取り組んだ成果を競う「健康チャレンジマッチ」に3か月参加しました。参加事業所の歩数等を競うもので、この期間に歩いた習慣は今も継続されています。
例えば、チャレンジ後も、ちらしのポスティングでは、仕事と両立して歩いています。また、岩手県主催の研修会で、保健所講師の方の受動喫煙防止の講演に参加しました。参加者が禁煙に繋がった事例もあり、とても効果がありました。良い健康習慣は、これからも継続していきます。最近では、職場で健康の会話も増えてきました。一人一人の健康への意識も高まってきたと感じています。

コミュニケーションを大切にしています

先日、管理職会議後に、コミュニケーションをはかるために、7チームに分かれて、シャッフルボードにチャレンジしました。参加したみんなが笑顔で、とても楽しかったです。ストレス解消が出来て、コミュニケーションも大いに深まりました。さらに、9月には地元で恒例の川下り大会があり、参加しています。緑豊かな閉伊川で、自然と触れ合いながら川下りを楽しんでいます。以前は、前日に前夜祭として、バーベキュー大会をして、大変好評でした。落ち着いたら、また健康とコミュニケーション促進の為にも再開したいですね。代々受け継いできた会社行事を大事にしていきます。

今後の展望

これまでこつこつと継続していた事が、健康経営の取り組みでした。
特に、日々のコミュニケーションを大切にしてきました。仕事もレクリエーションも楽しく取り組んで、コミュニケーションが深まれば、気持ちも上がり健康的です。逆に、大切な人材が病気になったら、大きな損失です。今後も、これまでの歴史と伝統を大事にしながら、全員が健康に気をつけて、楽しく取り組んでいきたいと考えております。

1240

宮城県
仙台FA支社

Voice Report 140th

コスモ警備株式会社

代表取締役社長
清水俊弘 氏

「安全安心の総合プロデューサー」として

- 代表取締役社長　清水俊弘 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市青葉区
- 主な事業内容　警備業
- 従　業　員　数　110名(男性:106名・女性:4名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 宮城支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

当社は総合警備業として、交通誘導警備・施設警備だけではなく、身辺警備にも力を入れており、宮城県でNo.1の実績を誇っています。また、護身用品・防犯カメラ等の防犯グッズの常設アンテナショップ・Webショップによる販売業務を行っている県内で唯一の警備会社です。
10年前から新卒採用に力を入れ、従業員の若返りにも積極的に取り組んでいます!!

人商売だからこそ、健康経営に取り組む必要性を感じました

定期健康診断において高齢の警備員の精密検査や保健指導対象者も多く、中には病気が見つかる人もおりました。出来るだけ長く、定年まで働いて欲しいという想いもあり、会社として従業員の健康への意識が高まっていました。まずは、非喫煙者・非メタボ者に「健康手当」を支給して従業員の意識付けを始めたところにアクサ生命の担当者より健康経営優良法人の話を聞き、この要件を満たしていけばより健康になるのではないかと考え、取り組みを始めました。

従業員の健康を様々な形でサポートしております

当社の健康への取り組みとしては、健康手当支給の他、毎年11月に開催されるリレーマラソンの会社対抗部門に参加をしております。リレーマラソンはフルマラソンの距離をリレーで走りきるものなので、体力作りのために、事前に有志で集まって練習もします。また、年に一回管理栄養士等を招いて「禁煙」「栄養」というテーマで警備員の研修会を実施もしております。直近ではルームランナーを社内に設置し、仕事が終わった後や空き時間に運動の機会を作れるようにしております。拠点によっては同好会を置いているところもありますので、会社としてはこの支援を行っています。

リレーマラソン参加時の様子

取り組みの実施状況が二極化

健康手当を支給しているものの支給対象者は若い従業員だけで、実際に取り組んで欲しい世代には浸透していかないことが課題の一つです。管理職の喫煙率も高いこともあり、部下に対しての推進も弱い為、禁煙に至らないケースが非常に多いです。
また、若年層のメタボ化も課題の一つです。職業柄仕事が終わった後の食事の量が多くなりがちです。ここで摂生することが出来る人は良いのですが、出来ない人も多く、それが原因でメタボ化が進んでしまっています。

健康経営の取り組みを通じて従業員の団結や仕事のやりがいに繋げていきたい

長く健康で定年まで仕事を続けて欲しいと思っております。「仕事＝生活していく為」自分の不摂生等で身体を壊して生活出来なくなることは避けて欲しいと考えております。健康経営の取り組みを通して横の繋がりを作って欲しいと考えています。リレーマラソンの練習や趣味の中で、仕事の中だけでは作り出すことが出来ない繋がりから団結心を感じて貰って、それが「やりがい」や「この仕事を長く続けたい」という気持ちに発展していけば良いと考えております。

これからの担い手である若手社員へ若い時こそ健康に対して高い意識を持って欲しい

社内の若返りを図っている中で若手社員の健康については甘く見てはいけないと感じております。これから年を重ね、家庭を持ち社会的な責任が大きくなる中で、健康に対しての意識の重要度は高まっていきます。「今は若いからいいや」という自覚ではなく、「若い時こそ健康に気を付けていく必要がある」という自覚を持ち、その延長線上には守るべき家庭があり、責任を持って仕事にも取り組んで欲しいという想いがあります。
当社としてはこれらの活動を通じて、警備業界の形を変えていくことが出来れば本望です。

WIDEFOOD株式会社（肉のいとう）

代表取締役社長
伊藤直之 氏

地元に根ざし創業五十余年。食と健康に深く関わる老舗として、従業員が健康で充実感をもって働ける環境づくりのため、健康経営に取り組みます！

- 代表取締役社長　伊藤直之 氏
- 本 社 所 在 地　宮城県仙台市青葉区
- 主 な 事 業 内 容　食肉製造・小売業
- 従　業　員　数　88名（男性：35名・女性：53名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は今年で創業55年を迎える精肉店（屋号：かたい信用やわらかい肉 肉のいとう）を主軸とした食料品製造・小売業者です。『地域食材を活かして、東北の振興・活性化を目指す』というビジョンと、『仙台牛をもっと身近に』をコンセプトに、弁当や加工品等をはじめ、地元宮城のブランド牛「仙台牛」や名物の肉厚牛たん等を使った多くの商品の製造・販売を行っています。地元だけにとどまらず、全国メディアでも多数取り上げられており、オンライン通販、直営焼肉店の立ち上げ、海外輸出事業等を通して販路を拡大し、世界中の人々に良質で美味しく、安心して食べていただけるお肉を提供することで、食生活の発展と健康促進にも貢献します。

健康経営に関する様々な取り組み

当社は老舗精肉店を主軸とした食品製造・小売業を展開することから、お客様の食と健康にも深く関わっております。これからもお客様の“健康促進”に携わる企業として邁進するため、まずは、自社従業員が健康で充実感をもって働ける職場環境をつくることが重要であると考え、様々な取り組みを通して「健康経営」を進めています。

- ・定期的な健康診断
- ・定期的なストレスチェック
- ・有給休暇、育児休暇取得の推進
- ・健康促進に関する講習
- ・月ごとに健康に関するワンポイントアドバイスの配布
- ・健康習慣アンケート
- ・チャットでの医療相談
- ・宮城県 歩数アップチャレンジ2022参加
- ・受動喫煙防止宣言施設　登録予定

従業員の食生活・栄養知識の向上

精肉を扱う小売業者として、お肉検定「お肉博士1級」取得への取り組みも積極的に行っています。
お肉検定とは、毎年1回開催される「全国食肉検定委員会」主催の検定試験です。食肉に関する幅広い問題が出題され、100点中80点以上で合格となります。
出題される項目には「食肉の衛生と品質の基礎知識」や「食肉の栄養と調理の基礎知識」なども含まれており、業務に活かす食肉加工の知識だけでなく、衛生、栄養、調理などの知識も深められるため、従業員の健康的な食生活にもつながっています。

■お肉検定出題内容
- ・食肉の日本史
- ・家畜の生産および食肉の処理・加工の基礎知識
- ・食肉の流通・小売・消費の基礎知識
- ・食肉製品の基礎知識
- ・食肉の衛生と品質の基礎知識
- ・食肉の栄養と調理の基礎知識　など

■実績
- ・2018年 1級 4名合格
- ・2019年 1級 7名合格
- ・2021年 1級 22名合格，　2級 4名合格

感染症予防・感染拡大対策に関する取り組み

店舗では新型コロナウイルス等の感染症対策として、定期的な手洗いやマスク着用・手指消毒の徹底、レジカウンターへのビニールシート設置の他、お客様の順番待ちにより密な状況が発生する場合は、1 m以上の間隔が保たれるように周知し、従業員がお声がけをしています。
また、直営の焼肉店「焼肉のいとう」は「みやぎ飲食店コロナ対策認証制度 認証店」となっています。宮城県が令和3年5月21日から飲食店が取り組む感染対策を認証する制度で、各店舗における感染対策状況を宮城県の職員等が現地に赴いて確認し、県が作成した認証基準を満たした店舗に認証ステッカーが交付されます。
感染防止策を強化し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を断続的に抑えこむとともに、県からの認証をいただくことで、利用客の増加や従業員の健康と感染対策、安心して働ける職場環境を整えています。

今後の展望

コロナ禍の対応や社会情勢の変動など、様々な要因により生活環境は変わっていきますが、どんな時代であっても“健康”であることが、仕事でもプライベートにおいても重要なことは変わりありません。これからも当社の全従業員が健康を維持し、いきいきと働けるように、「健康経営」を進め、しっかりとしたサポートを行ってまいります。

1242

宮城県
石巻営業所

株式会社東部環境

代表取締役
工藤豊和 氏

地球と人にやさしい総合環境ビジネスを目指して

- 代表取締役　工藤豊和 氏
- 本社所在地　宮城県東松島市
- 主な事業内容　製造業
- 従業員数　72名(男性:60名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 140th

平成12年にリサイクル事業を手掛ける法人として創業。平成23年の東日本大震災で事務所・工場・車両が全壊しましたが、被災12日後に復興に着手し、命の尊さや人間の底力、仕事ができる幸せを学びつつ、総合環境企業としてリサイクル事業・発電事業・水耕栽培事業へと発展してきました。
脱炭素社会に向けて、地球と人にやさしい会社を目指しています。

３年連続の健康経営優良法人認定

当社の事業は人によって成り立っています。20代から70代まで幅広い年齢層、外国籍の従業員など、多様な人によって構成されており、風通しの良い職場環境作りを継続してきました。
健康づくりにも配慮を重ね、小さなことをコツコツと重ねた結果、2020年から３年連続の優良法人の認定を取得できました。
屋外作業対策としてのウォーターサーバーの設置や塩飴の配布など、簡単なことに数多く取り組んだ結果です。

全員が主役となり、活気ある会社に

毎月の誕生日会の開催など、社員間のコミュニケーションを維持しつつ、主役になる機会を設けた結果、活気あふれる会社に変貌してきました。
また、従業員の資質と仕事の内容とのミスマッチを防ぐことを目的に、社長や管理職と本人との間で個別面談を重ねており、本人にとってストレスの少ない職場転換を行うようにしました。さまざまな職種がある当社の特徴を活かし、適材適所に取り組んだ結果、労働生産性の向上が図られるようになりました。

福利厚生の見直し

女性が活躍できるよう時短や産休・育休制度の活用推奨、退職金制度の構築、外部業者との連携による健康相談窓口の設置をしました。
健康経営は、自社でできること、外部に委託した方が効果が得られること、この２つがあります。健康経営アドバイザーを擁した業者に低コストで委託することは、生産性の向上というリターンをもたらしてくれます。健康相談窓口の設置は、求人情報に福利厚生制度として掲載することにより、良質な人材の採用にもつながります。

外部発信・内部発信への取組強化

2022年は健康経営の取組事例を複数の場で発表する機会に恵まれました。自社の事例を発表しつつ、他社の取組も学ぶこととなり、非常に有益な経験でした。
さらに、事業年度のはじめに開催した「経営計画発表会」では、全従業員に対して外部講師による健康経営職域セミナーを行い、会社全体の健康課題や従業員ひとりひとりへの会社の想いを発信しました。

健康経営フォーラムでの事例発表
（石巻商工会議所）

健康経営職域セミナーを行った「経営計画発表会」の集合写真

1243

山形県
山形営業所

Voice Report 140th

株式会社丸の内運送

代表取締役
小林茂美 氏

「荷主様に代わってお届けする」気持ちを大切に

- 代表取締役　小林茂美 氏
- 本社所在地　山形県寒河江市高田
- 主な事業内容　運送業
- 従業員数　193名（男性：154名・女性：39名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は、昭和63年に貨物自動車運送事業を主たる業務として設立しました。物流の多様化が進む今日、あらゆるお客様に対応すべく、ソフト・ハード面を更に充実強化し、お客様が求める高品質の輸送サービスを安定して提供できるように努めています。常に『安心・安全』をモットーに、お客様のご要望に応え誠実で質の高い業務運営を心掛けております。

健康経営に取り組むきっかけ

2018年度「やまがた健康企業宣言」を行い、様々な取り組みを行ってきました。
新型コロナ感染予防が必要不可欠な状況の中で、健康経営優良法人2021の認定を受けることが、新型コロナ感染症対策や、BCP対策（事業継続計画）も含め、社員の健康管理向上に役に立つと考えています。

また、運送業界・弊社が取り組むべき課題もあります。
①ドライバーの長時間労働環境
②24時間365日の安全運行管理体制
③様々な勤務時間による社員間のコミュニケーション不足
④仕事と治療の両立支援の難しさ　　など

月1回の会議では、課題を共有し全員が意識することで改善が図られたり、給料明細の中にワンポイントアドバイスを同封し、「ヘルスリテラシーの向上」の取り組みを行っています。

メンタルヘルス研修会でのグループワーク風景

温泉付き保養所

社員の家族がバーベキューやテントを張って楽しんでいます

働きやすい職場環境と福利厚生の整備

コロナ禍の状況や、様々な勤務時間による社員間のコミュニケーション不足を改善するため、新たな取り組みを行いました。
①サークル活動推進と補助金の支援。趣味の園芸サークルでは、近隣の畑で野菜作りをし、収穫した野菜は、社員の方に還元しています。
②保養所の建設と利用促進。温泉付きで、バーベキューやテントスペースを備えた施設で近くでは釣りも行えます。休暇を利用しリフレッシュしたり、社員、家族のコミュニケーションの場所を提供しています。
他にも様々な取り組みを行っています。
③睡眠時無呼吸症候群検査管理の徹底
④脳検査の計画的検診管理
⑤健康診断再検査者数の把握・再検査の管理徹底
⑥ストレスチェックの課題を抽出し管理者研修会の実施

趣味の園芸サークル

じゃがいもが収穫できました!

目標とあるべき姿

2022年度から、会社代表として全社員と面談を行っています。8月現在、約半分の社員と面談が終わったところです。社員全員が心身ともに満たされる企業であるには、「社員の幸福」を最大の目標に掲げ、実現に向けた考動として、「社員満足度の向上」「顧客満足度の向上」「安全対策」「社会貢献」「教育訓練」の中に、健康経営を取り入れ、企業としても成長できるよう取り組んでいきます。

1244

山形県
山形営業所

Voice Report 140th

株式会社ミツワ企業

代表取締役
伊藤泰志 氏

見直そう美しい日本

- 代表取締役　伊藤泰志 氏
- 本社所在地　山形県上山市高野169-19
- 主な事業内容　産業廃棄物処分業
- 従業員数　46名(男性:37名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

産業の複雑化、技術の高度化が進む中、環境づくりが発展する企業の不可欠な要素となり、産業活動と環境保全の調和というテーマは、各企業サイドだけの問題ではありません。当社では特殊な作業を始め、お客さまの立場に立ったサービスをお届けするため、うるおいある、豊かな環境づくりをめざしています。

非常事態に直面することで、会社・従業員共に、健康経営に取り組む必要性を感じました。

当社の健康経営の取り組みは、2年前の従業員の突然の病気がきっかけとなり始まりました。
大型車両を運転中の従業員が、突然めまいがし、車を左側に寄せ止めました。原因は脳梗塞でした。
幸い後続車の同僚が、異常を察知し救急車等の対応を行ったこと、意識を失う前に車を停止させたことで、本人それから他の方への被害はなく、事なきを得ました。
そのことがきっかけとなり、企業の運営は、従業員の健康無くしてあり得ず、また従業員の幸福も、一人一人の健康の上にあるとの共通理解のもと、積極的に健康経営の取組をスタートしました。

クアオルトの様子

毎朝のラジオ体操

健康関係の文書配布による従業員の健康への意識強化

毎月、従業員向けに健康関係の文書類を配布しております。喫煙の健康被害や受動喫煙について、塩分・糖質についての食生活について等、季節や時代背景を反映するようタイムリーにテーマを工夫しながら、アクサ生命様にご協力して頂き、今後も継続していきます。
また、毎朝朝礼時のラジオ体操は、会社創業時から49年間継続しております。業務前に体操・ストレッチすることで、体がほぐれ温まり、業務災害防止にもつながると考えています。
上山市とは、“クアオルトかみのやま”健康経営相互応援協定を結んでおります。社内研修としてクアオルトウォーキングを実施し、従業員ほぼ全員が参加します。
万歩計を従業員へ配り、日々の歩数を集計しております。業務ごとの開きやプライベートでの個人差は勿論ありますが、歩数による健康への意識は確実に前進しております。

大切な従業員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

今後の健康経営の目標は、従業員だけでなく、従業員の家族やその関係者の健康へも拡大して留意していくことです。
当社にとって従業員は家族そのものです。その家族や関係者も同様です。
今まで配布してきた健康関係の文書類をご家族がお読みいただけるようにし、家族や関係者も参加できるような健康セミナー開催等、すべての関係者の健康について、取組強化して参りたいと存じます。
その取り組みを通して、会社の生産性アップそして社会貢献・地域貢献をすすめて参ります。

山形県水株式会社

代表取締役社長
齋藤　眞 氏

社員の夢の実現の追求

- 代表取締役社長　齋藤　眞 氏
- 本 社 所 在 地　山形県山形市花岡130番地
- 主な事業内容　食品卸売業
- 従　業　員　数　22名(男性:15名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は、山形県内を中心に生鮮品を扱う食品卸売業として、地域に密着した営業展開を行っています。卸売業は変化対応業であることを基本とし、時代の変化を前向きに捉え、積極的に対応することを会社の理念に据え、お客さまに信頼されるように日々研鑽を積んでおります。外部環境が劇的に変化する昨今、働く人が安心して仕事ができる環境づくり、そしてお客さまによろこんで頂ける提案と仕組みづくりを目指し前向きに取り組んでおります。

人口減少・少子高齢化社会だからこそ、健康経営に取り組む必要性を感じました。

健康経営の取り組みのきっかけは、協会けんぽ山形支部様から、やまがた健康企業宣言についてご案内をいただいたのが始まりです。
会社設立にあたり経営方針を３つ掲げております。
1. 卸売業の未来形追及
2. お客様の満足と感動の追求
3. 社員の夢の実現の追求

生産人口が減っている中、今いる従業員に健康で元気に長く勤めていただくことが、会社・お客様・従業員それぞれの幸せであると考えております。
健康経営はまさに弊社経営方針と合致し目指す方向性が同じであると実感しております。
健康宣言後、アクサ生命の健康経営セミナーに参加し、健康経営の具体的な進め方や取組方法を知ることが出来ました。

健康づくりセミナー　マインドフルネスヨガ

健康づくりセミナー　禁煙

健康セミナー開催による従業員の健康への啓蒙強化

３カ月に1回、従業員向け健康セミナーを開催しております。テーマは、時期や時代背景を反映するよう工夫しております。喫煙の健康被害についてや、塩分や糖質についての食生活について等を、社内講師だけでなく産業医、協会けんぽ山形支部様の派遣講師から講演いただいております。
毎回参加人数には、波がありますが、テーマ・講師等工夫をしながら継続していきたいと思っております。
また今年度は初めて、関連会社3社(山形県水株式会社・株式会社オネテック・有限会社食賛)の幹部社員を集め、アクサ生命健康習慣Webアンケートのフィードバックセミナーを実施し、現状把握と課題認識を共有しました。
改めて、グループ会社そして幹部社員一同が、従業員の健康の上に、会社の生産性や発展があることを共有できるいい機会となりました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

今後の健康経営の目指すところは、従業員の健康だけでなく、従業員の家族や関係者の健康も拡大して留意していくことです。
弊社にとって従業員は、家族そのものです。その家族や関係者も同様です。
今まで、社内向けに開催していた健康セミナーも家族や関係者が参加できるように、社内報もご家族がお読みいただけるようにし、すべての関係者の健康について取り組みを強化して参りたいと存じます。
その取り組みを通して、会社の生産性アップそして発展を期し、経営方針でもある社員の夢の実現を追求して参ります。

1246

山形県
天童営業所

有限会社東住宅産業

代表取締役社長
白鳥　明美 氏

住む人の健康を守るためには作る人の健康から

- 代表取締役社長　白鳥　明美 氏
- 本 社 所 在 地　山形県天童市東本町3-6-36
- 主な事業内容　木造建築工事業
- 従　業　員　数　5名(男性:2名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

1975年5月29日に天童市で起業いたしました。起業当時は、和風住宅の最高峰京都の数寄屋造りを勉強し、職人技を活かした頑丈で繊細な住宅を目指し提供し続け、平成に代わり住宅内での事故や、ヒートショックによる入浴死が注目されたことを受け、ローコスト化よりも、安心して暮らせる住居、終の棲家としての環境を提供することが重要だと考え、弊社は地域の住医として今後もお客様に住宅を提供してまいります。

健康経営を取り組むきっかけ

私は山形県中小企業家同友会に入会しており、そこで出会う社長様方とのお話を通じ「良い会社にしよう」「良い経営環境にしよう」と刺激を受けております。その中で良い会社、経営環境にするには健康である事が重要であり健康でないと会社も成り立たないと考え私自身、社員の健康に興味を持ち始めたところ「やまがた健康企業宣言」を知り有言実行ならぬ「宣言実行!!」で登録、その後、AXA担当者の定期訪問で「健康経営優良法人」についてお聞きし認定を目指すこととなりました。

「8020運動」・「口腔ケア」

以前勤務していた会社で「8020運動」を知り意識して取り組んでおりましたが、今の会社に移り社員に歯科治療について聞いてみると歯科検診や治療を行っていない人が多く私が近くの歯科医院を予約し社員が受診しておりました。健康優良法人認定を目指し始めた3年前からは社員の「口腔ケア」への意識が高まり定期的な歯科検診や治療を行うようになりました。学生の時は健康診断の他に歯科検診がありますが大人になってからは健康診断しかありません。気づいたときには虫歯になり、どんどん進行し歯周病や物が食べれなくなる事や認知症との関係について研究も行われ「口腔ケア」が注目されることが多くなり治療・予防を行う事が重要であると認識され始めました。当社では歯科治療、予防の受診は、就業中の受診を認め従業員はこの制度を活用して歯科医院への受診をしております。「80歳まで20本の歯」を達成の為、今後も取り組んでまいります。

社長の手作り弁当

昨年から水曜・土曜以外、私と主人(会長)、女性社員のお弁当を毎日作っています。きっかけは外食が多く栄養に偏りがある事が気になり私と主人(会長)の分だけ作り始めました。2人分のお弁当を作ると「おかず」が余ったり食材が無駄になったりとSDGｓの取り組みが注目されている昨今、食品ロスが出ることと私自身も子育てで朝、子供のことで手がかかり睡眠時間を削っていた経験から女性社員に声をかけ女性社員のお弁当を作る事となりました。
お弁当も形からという事でみんなで好きな「曲げわっぱ」を購入し旬の食材を取り入れながら毎日お弁当作りに励んでいます。
お弁当を皆で食べることにより会話が生まれ食の事や子育ての事など様々な話題でコミュニケーションが取れ優良法人認定の項目にも該当することが出来ました。

地域の住医として

安心して暮らせる住居、終の棲家としての環境を提供する「地域の住医」として住む人の健康を守るためにも健康経営を通じて作る側である私たちが健康であり笑顔でいられるためにも継続して健康経営に取り組んでまいります。

太田建設株式会社

代表取締役
太田政往 氏

「社員の健康を重要な経営資源」ととらえ、健康促進に積極的に取り組みサポートしていきます

- 代 表 取 締 役　太田政往 氏
- 本 社 所 在 地　山形県米沢市下花沢3-8-60
- 主 な 事 業 内 容　総合建設業、不動産業
- 従　業　員　数　45名(男性:39名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

創業昭和40年「いつでもお客様の幸せが一番」という精神でお客様をお守りします！
「1.責任　2.誠実　3.自信　自己の責任を認識し、誠実に業務に当たり、自信のある建造物を社会に提供する」ことを社是に掲げ、永年の間に蓄積した技術の更なる発展に努め、お客様のために一層のコスト削減等、サービスの充実を図って参ります。

健康経営に取り組むきっかけ

数年前に脳梗塞で倒れた社員がいました。幸い軽症でしたが約１か月入院し、現場から長期で離脱することになりました。社員が健康でいることの大切さを改めて実感しました。その後協会けんぽより健康企業宣言の案内を受け、しばらくしてアクサ生命の担当者から健康経営優良法人認定制度について案内を受けました。弊社でもチャレンジしたいと思い、おかげさまで2021年、2022年と２年連続で認定を受けることができました。

健康習慣アンケートの実施

健康経営といっても具体的に何をどのように取り組めばいいのかわかりませんでした。アクサ生命から毎月メール配信される健康経営ワンポイントアドバイスは社員にもメール配信し、家族にも見てもらうようにしました。
また、アクサの健康習慣アンケートを実施することにしました。フィードバックを受けることにより、社員全体の健康に対しての意識や課題、そして部署ごとに違いがあることなどを確認することができました。

健康診断結果向上への取り組み

会社独自の取り組みとして、社員1人1人に健康に対して意識を持ってもらうにはどうしたらよいかを担当者間で何度も話し合ってもらいました。そして、前回の健康診断の結果よりも改善されている項目の多い社員を表彰しようという案が出ました。採点基準を独自に作成し、事前に公表しました。項目ごとに細かく評価し、点数の良かった上位10名を年に一度の安全大会の場で表彰したところ、大変喜ばれました。

① **診察項目**（BMI、聴力、血圧、心電図、尿糖、胸部X線、腹部・胃部、便潜血、血液一般、肝機能、血中脂質、腎機能、尿蛋白、糖代謝、尿酸）**の 15項目**
※　検査項目が15に満たない場合は、15項目を基準として計算する。
例）検査項目：11項目　合計点：30点　の場合　　15/11(=1.363)×30点＝**40.9点**

	診断結果	点数	診断結果	点数	診断結果	点数	診断結果	点数	診断結果	点数	診断結果	点数
5年度診断結果	5.要医療	-4										
	↓											
	4.要精検	-3	5.要医療	-3	6.治療中	0						
	↓		↓		↓							
	3.要経過観察	-2	4.要精検	-2	5.要医療	-2	6.治療中	0				
	↓		↓		↓		↓					
	2.要注意・経過所見	-1	3.要経過観察	-1	4.要精検	-1	5.要医療	-1	6.治療中	0		
	↓		↓		↓		↓		↓			
4年度診断結果	1.異常なし	／	2.要注意・経過所見	／	3.要経過観察	／	4.要精検	／	5.要医療	／	6.治療中	／
↓							↓		↓		↓	
5年度診断結果	変わりなし	3	変わりなし	0	変わりなし	0	変わりなし	0	変わりなし	0	変わりなし	0
			↓		↓		↓		↓		↓	
			1.異常なし	3	2.要注意・経過所見	2	3.要経過観察	2	4.要精検	2	5.要医療	4
					↓		↓		↓		↓	
					1.異常なし	3	2.要注意・経過所見	3	3.要経過観察	3	4.要精検	5
							↓		↓		↓	
							1.異常なし	4	2.要注意・経過所見	4	5.要医療	8
									↓		↓	
									1.異常なし	5		

※昨年診察結果から「治療中」になった場合の配点は「０」点とする。

健康目標設定の一部抜粋

社員そして自らの健康に対する意識の高まり

安全大会から数か月経ち、社員の健康に対する意識の高まりが目に見えてわかってきました。
入賞した社員は来年も表彰に該当したいと言ってくれています。職業柄、夏は汗もかくことが多く、会社に自家製の漬物を持参しお裾分けする社員もいるのですが、塩分摂取に気を付ける社員も多くなり、漬物の消費量が減ってきました。またワースト2位も発表したのですが、なんと私も入ってしまい、安全大会の際に公表しました。２名共結果に落ち込むことなく一緒に頑張ろうと励まし合い、改善に向けた行動をはじめています。
私自身は徒歩通勤をしてみたり、食生活に気を遣うようになり、体型の変化がわかるくらいになりました。健康に対しての意識が確実に高まっています。
社員同士で取組状況の経過について話す機会が増え、コミュニケーションも深まっていると感じています。今後も継続して取り組み、健康で永く働いてもらえるようにしていきたいと考えています。

３つの健康を大切に

人生には身体的な健康、精神的な健康そして社会的健康の３つの健康が大切だと言われています。社員1人1人に理解してもらうのは大変なことだと思いますが、健康経営を通じそれらの大切さを伝え続け、社員全員に豊かな人生を歩んで頂きたいと思っています。そして、『太田建設で働いていて良かった』と今以上に思ってもらえるような会社にしていきたいと考えています。

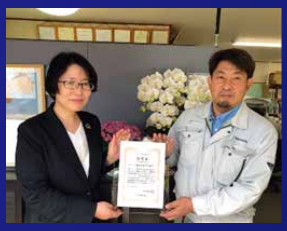
2022年6月24日安全大会での健康優良表彰

1248

福島県
福島営業所

Voice Report 140th

株式会社フクセツ



代表取締役
高橋裕二 氏

「明るい雰囲気」を創造するために

- 代表取締役　高橋裕二 氏
- 本社所在地　福島県福島市八島田字畑添11-9
- 主な事業内容　建設業
- 従業員数　12名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社は、平成17年7月7日の創設以来、建設業・管工事業で給水・排水・消火等の水・空気・エネルギーに携わっております。そして近年、国内外を問わず環境に対する配慮や資源に対する知識、社会責任が必要になり、より一層専門性が求められると考えております。その為、社員教育・技術向上はもとより、より一層の努力と専門性を兼ね備えたプロとしての責任を追及し続けていく次第です。

生活空間を創造する企業として

当社では給排水・衛生設備事業において、安心・確実・エコロジー及び高度な技術で快適で地球にやさしい環境を目指しております。また、空気・換気設備事業においては、それぞれの空間に適した空調の確立を目指して高品質な空気創造に取り組んでおります。そして消防設備事業においては、「より安全、より安心」をテーマに、万全の体制で人と建物を守る消火・防災技術をご提供できるよう、そのすべての連携プレーにより安全を確保するシステムを導入しています。地域に根付いた企業を目標として、一般の方々からもお声掛けいただきやすい企業を目指しております。

会社に起こる潜在的なリスクをきっかけに

採用や人材不足解消になればと2017年3月に健康宣言をしたものの、本業の忙しさもあり、なかなか健康経営における活動ができていない状況でした。しかしながら、代表者である私自身の病気をきっかけに個人としての健康、そして会社に与える影響の大きさを痛感し、本気で取り組まなくてはいけないという思いを改めてしました。その結果、「健康経営優良法人2021」、協会けんぽの「健康づくり優良事業所2021」の認定取得。そして今回「健康経営優良法人2022」の取得に至りました。

血圧計
社員の健康意識を高めるため

社内外への発信
応接室に設置した認定証

恒常的な明るい雰囲気を目指して

私は会社が明るい雰囲気であることが大切であると考えています。
健康宣言をした当初は、全社員の血圧測定をするにも支障をきたしていましたが、徐々に社員同士の健康に関する会話が増えたように思えます。また、今となっては「県民アプリ」を活用し、自身の健康管理だけでなく、従業員同士で歩数を競い合ったり、体育館等でランニングしたりするなど、健康においてお互いに切磋琢磨する様子もうかがえるようになりました。

すべての社員の意識改革への取り組みとして

すべての社員の健康意識改革の促進の為に血圧計を設置するほか、担当者が二次健診の必要な社員の健診日を設定し、必ず再検査するよう工夫しました。その結果、毎年1月に実施している安全祈願祭にて昼食を摂る際に掲げる「各人の1年間の目標」が健康に関する事柄に変わっていくきっかけとなりました。そして3年連続で86％の社員が前年より血圧の低下につながるという成果を成し遂げることができています。また、健康セミナーや健康WEBアンケートを定期的に実施しており、常に健康に対する理解を深めてもらいたいと考えています。

今後の展望

これまでの健康経営の取り組みを通して、まず何より「健康」の大切さを確信しました。それは「健康」こそが社員同士の仲の良さを引き出し、会社の明るい雰囲気を創造することが可能であると至極実感した点にあります。また、「健康」こそが私の今後の展望へとつながることを実感することができました。
私は、社員一人一人が財産であると強く思っています。一人一人に活躍してもらい、少しでも長く当社で働いてもらいたい。そして人材が集まってくる会社づくりをしたい。その為にこれからも健康経営の取り組みを全力で行っていきたいと考えています。

1249

福島県
会津若松営業所

有限会社相木電設工業

代表取締役
相木隆志 氏

社員の健康と安全を守るために取り組んでいます!

- 代表取締役　相木隆志 氏
- 本社所在地　福島県会津若松市神指町
- 主な事業内容　電気設備工事業
- 従業員数　11名(男性:8名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

建設業界に飛び込んだ頃は苦労をしましたが、多くの友人やお世話になった方々、職場の先輩方に支えられ、当時の苦労を乗り越え今の自分がいると感謝しております。ネット社会の現代ですが、人と人との繋がりを大切に、目と目を見て話合いをすることでのチームワークを大事にする社風です。人材育成にも力を入れており、技術向上、資格取得に関する助成制度の充実、労働環境の整備を追求しております。

健康経営に取り組むきかっけ

同業の会社が、従業員の病気による長期療養で現場が回らなくなっているご苦労を目の当たりにし、自社も高齢化が進んでいたため他人事ではないと感じていました。経営者の集まりや会話の中で、アクサ生命サポートによる健康経営の取り組みについて耳にし、何から始めたらいいかわからないならアクサ生命に頼ってみてはと紹介されたのがきっかけでした。また、社長自身の言葉で話すより、健康経営アドバイザーの言葉で発信してもらったほうが従業員に届くのでは、と考え、サポート依頼を決意しました。

自社と従業員の健康課題を把握

はじめに、毎年行っている定期健康診断の結果とアクサ生命の「健康習慣アンケート」をもとに健康課題を検証し、血圧リスクが高いとわかったため、日々の血圧計測の習慣づけから開始しました。
従業員一人一人が、自分の日々の数値を把握することで、健康への意識が日に日に高まっていきました。血糖値の数値が下がったり、インスリン注射をしなくてもよくなった社員も出てきました。また皆で実践したことで健康に関する意識が上がり、体重のコントロールができた社員もいて、健康に関する取り組みが職場の話題の中心になることもあります。

血圧測定の風景とポスター

従業員の意識への働きかけ

毎日の朝礼の中でも、社長が健康に関する話をする機会も増え、個別に声掛けもするうちに、早期から医者に診てもらい重症化を防げるようにもなりました。
職場におけるコミュニケーションも増え、会話の内容も前向きな内容へと変わり、お互いの体調を気遣えるようにもなってきています。
さらに、健康セミナーを通じて、従業員に健康や働き方など多くの気づきを持って、健康経営の取り組みに関心を高めてもらいたいと思います。

健康セミナー実施風景

今後の会社のビジョン

今後は、コロナの関係で実施できていなかった社員旅行や、バーベキューなどのレクリエーションも再開をして、さらにコミュニケーション力を高め、風通しの良い職場を目指し、従業員と従業員を支えるご家族の生活を健康面からサポートし、さらに活き活きと働く社員があふれるパワフルな職場にしたいと考えています。
これからも、電気工事のあらゆる分野に対応できる企業として確かな技術と経験豊富な従業員と共に、皆様の暮らしを支えて参ります。

1250

福島県
会津若松営業所

Voice Report 140th

株式会社目黒工業商会

代表取締役社長
目黒健之 氏

住宅や企業の明かりを灯し「笑顔をつなぐ面白さ!」

- 代表取締役社長　目黒健之 氏
- 本 社 所 在 地　福島県会津若松市南千石町1-54
- 主な事業内容　一般電気工事業
- 従　業　員　数　44名(男性:39名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

一番大切にしたいのは「ひと」です。社員とその家族、そしてすべての人々の笑顔を大切にすることが、当社の基本理念です。歴史と伝統が息づく「会津」で、お客様へ快適で安心できる安全な電気設備を提供し、地域社会・企業・「ひと」との信頼関係の構築を目指しています。住宅や企業の明かりを灯し、一般住宅から企業、メガソーラーなど電設工事を通じて地域に貢献しています。

安心してずっと働ける職場環境

若者の採用・育成や、若者の雇用管理の状況などが認められ、若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定企業」に認定されました。また、高齢者雇用にも力を入れ、70代、50代の方も最近雇用しました。社員の年代層はまんべんなくおり、安心してずっと働ける職場環境を目指しています。社員の健康寿命を延ばし、長く働きやすい環境支援をしていきたいとの思いから、会社として更にどんな対策が必要だろうかと感じていました。ちょうどその頃、健康経営の話を聞きました。社員の幸せを第一に考える健康経営に取り組んでまいります。

健康経営の取り組みはできることから

「健康習慣アンケート」で顕在化していた「喫煙者が多い」「食生活の乱れ」「運動不足」については、できることから始めることにしました。ゴルフを嗜好する社員が多く、もともと社員同士でのゴルフは盛んでしたが、「ゴルフ部」と位置づけて支援して6年になります。
また、「フィットネス部」も立ち上げました。社内サークルをきっかけに社員の運動増進を期待しています。
福島県の「福島県アプリ」の活用も推奨しています。毎日の歩数や健康に関する取り組みを記録してポイント換算もでき、楽しみながら健康づくりを進めたいと思います。

大切な社員とその家族とのコミュニケーション

社員とその家族と一緒に定期的にイベントを開催するなど仲の良さが自慢です。昨年は、地域への感謝と新型コロナウイルス感染症終息への願いを込めて、社内花火鑑賞会を開催しました。
打ち上げ場所は、会津若松市内を流れる阿賀川左岸。コロナ禍で花火大会の中止が相次ぐ花火業界への支援も兼ね、秋田県大曲市や茨城県土浦市の競技会で受賞歴のある花火師に依頼しました。約15分間、4号玉やスターマインなど百数十発が打ち上げられました。打ち上げ会場には社員やその家族が訪れ、夜空を彩る花火を楽しみました。終了後にはケミカルライトを一同で振り、花火師への感謝を伝えました。

安全第一の仕事は、まず健康から

安全衛生教育の一貫として実施する安全大会では、健康をテーマにしたセミナーを開催しました。電設の仕事は、その向こうにたくさんの人の笑顔があります。完成して、最後に電気(明かり)が灯った瞬間の感動は言葉に表せません。とてもやりがいを感じる仕事ですが、まずは安全第一です。自分の身と家族の笑顔を守るためには、自らが体力維持、熱中症対策、腰痛防止などの健康対策が欠かせません。
まだまだ「喫煙者が多い」など課題もあります。継続して健康経営に取り組んでまいります。

これからも「会津」の地で努力邁進

会津地方は四方が山に囲まれた盆地です。その為、夏は暑く、冬は寒いという四季がはっきりした土地でもあります。創業以来、「会津」の地で住宅や企業の明かりを灯してまいりました。初心を忘れず技術向上を目指して、安全で安心できる電気工事を提供し、地域と「ひと」の信頼関係を構築、社員が活き活きとしたGood Lifeを送れるように努力邁進しています。

社内花火鑑賞会の風景

1251

福島県
相双営業所

株式会社メイワ

代表取締役
林　洋平 氏

毎日の暮らしと産業に電気をお届けするため、地域とともに未来をつくる

- 代表取締役　林　洋平 氏
- 本社所在地　福島県南相馬市原町区
- 主な事業内容　架空送電線工事業
- 従業員数　47名(男性:41名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは電気の大動脈といわれる架空送電線工事に従事しております。電力の安定供給を実現するため「顧客重視・人間尊重・社会貢献」を経営理念に掲げ、2004年ISO9001品質マネジメントシステムを構築、2011年にはISO45001労働安全衛生マネジメントシステム認証を取得し、働き方改革やSDGsなど様々なことに取り組んでおります。

「あたりまえ」をお届けするために

架空送電線工事には鉄塔建設や伐採など様々な工事があり、夏場の猛暑、冬場の極寒時など過酷な時期であっても鉄塔に登り、点検・補修など多岐に渡って業務を行います。
「あたりまえの日常」をお届けするためには、なによりも安全が第一であり、社員一人ひとりが心身共に健康でなければなりません。健康診断は勿論のこと、車両や事務所にAEDを設置し、メンター制度やブラザーシスター制度の導入により心身の健康状態を把握し、社員同士のコミュニケーションの強化や出退勤時のアルコールチェック、コロナ対策として毎朝検温を実施しております。

暮らしを支える社員を守る

ライフラインを守り暮らしを支えるということは、社員一人ひとりの日常を守ることでもあります。
安全で安心して働ける職場環境を整えるため、月に一度、全社員参加での「安全懇談会」を実施し、各部署からの業務報告だけではなく、担当者からの安全対策や実施報告、安全・健康に関わる勉強会等を行い意識強化を図っております。
また、組織変更を行い時間外労働の削減や有給休暇の取得率向上を促し、ワークライフバランスを考えた働き方を推進しております。
こころと身体にゆとりがあってこその安全であり、ひいては地域への貢献につながるものと確信をしております。

社内教育
(新入社員教育)

安全懇談会
(健康講話)

明るい和

社名はチームワークを大切にする会社でありたいという想い「明るい和」が由来です。
工事はチームワーク無くしては行えません。一人ひとりが存分に力を発揮し、チームの一人として仕事を行う以上のパフォーマンスを発揮するためには、普段からコミュニケーションを大切にし、相談や議論ができる会社づくりを行っております。
グレードアップ５S活動では「守ることを決めて、決めたことは守る」風土を作り、明るい和エコプロジェクトでは地域清掃活動や海外防災林再生活動を行っております。職場環境や地域が美しい環境に変わっていく中でこそ、安心して人は育つものと考えます。
そのほか親交会主催でバーベキューやゴルフ大会などが行われ、懇親会等を年に数回開催し、普段業務で関わることが少ない社員同士がコミュニケーションを図れる場を設け、心のリフレッシュにも役立てることで情報交換などが活発に行われ、アイディア、改善策が業務へ反映されている状況となっております。

未来をつくる

「安全」無くして「健康」はなく、「健康」無くして「安全」もありません。
社員一人ひとりを人財として大切に守り育てることで、暮らしと産業を支える「電気の道を守る」使命を果たし、地域とともに未来をつくり、企業が担うべき役割を全うできるよう、変化を恐れず新たなことにも挑戦し、健康経営を継続していけるよう邁進してまいります。

地域の環境保全のため、定期的に
地域の清掃活動を行っています

1252

茨城県
水戸営業所

Voice Report 140th

株式会社ノーブルホーム

代表取締役
福井英治 氏

「地域社会の発展」と「社員の幸せ」

- 代表取締役　福井英治 氏
- 本社所在地　茨城県水戸市笠原町1196-15
- 主な事業内容　注文住宅・リフォームの請負、設計
- 従業員数　446人（男性：240名・女性：206名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

地域に密着した住まいと暮らしのリーディングカンパニーとして、これまでも「地域社会の発展」と「社員の幸せ」を大切な価値観として企業活動の原点に据えてきました。会社や事業の成長・発展には、その会社・事業が社会の課題の解決に貢献し、お客様や社員などから共感され支持され続けることが必須です。皆さまに選ばれ、皆さまとともに持続可能な成長を続けてまいります。

経営理念

現代はエネルギーやライフスタイルなど、日々変化していく時代です。そんな中で私どもは、お客様のよりよい暮らしのサポートをこれからも変わらず行ってまいります。
住宅のご提案には、お客様のニーズやライフスタイルに合ったご提案が重要です。人が生活する上で必要なことすべてにおいて、プロフェッショナルでなければなりません。一生に一度の大きな買い物を任せて頂く側として、常にプロフェッショナルチームとしてサービスを提供していきます。また、お客様にご愛顧頂き、共に成長する企業として常に邁進していきます。

健康経営を始めたきっかけ

働く上でもプライベートにおいても「健康」は大切ですが、社員の健康への意識が低いのではないかと以前から思っておりました。実際、アクサ生命の健康習慣アンケートを取ったところ、生活習慣を気にしている社員は30.6%という結果が分かりました。「意識」「考え」「しくみ」をつくるきっかけになればと思い、健康経営の取り組みを始めました。

まずは体を動かすことから

健康習慣アンケートでは、体を動かす習慣がない社員が50%以上にものぼり、また営業は車での活動が多いため、1日の歩数も2,000歩ほどと少ない結果となりました。
まずは会社で体を動かす習慣を作るべく、毎朝ラジオ体操を実施している店舗もあります。社員からは、自身の体調管理やリフレッシュにも繋がると好評。また、メンバーの動きを見て、体調やメンタルヘルスの状態もわかり、そこから会話も生まれると、体を動かす以外のメリットも出ております。また、茨城県が実施している「元気アップ！リいばらき」も社内携帯にインストールする等、運動習慣のきっかけ作り等も行っています。

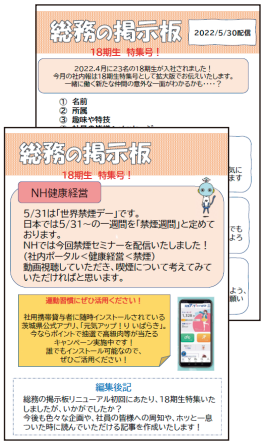
毎朝のラジオ体操の様子

取り組みの見える化

健康経営優良法人認定を取得後、申請の振り返りとして、実施出来ている取り組みと不足・改善が必要な取り組みに分け、取り組み状況を見える化しています。
「食」については、昼食を近場のコンビニやファストフードで済ます社員も多く、その習慣を変えるため、シュガーレディーのオフィスプレミアムフローズンを導入しました。化学的合成添加物を使用しておらず、100～200円程度で購入できるため、手軽にヘルシーな食事が採れるようになりました。今後は管理栄養士等による栄養指導も検討中です。
また喫煙については、これまで分煙や受動喫煙防止対策は行ってきたものの、喫煙率は28%と依然として高いので、アクサ生命に依頼し、禁煙セミナーを実施。ただ禁煙をしようというだけではなく、職場での快適な禁煙セミナーと題し、快適な職場を作っていこうという風土を作っていきます。

これからについて

健康経営は、社員の「意識」を変えるために取り組みを開始したため、「意識」が変わってくれば、次のステップの「実践」として行動につなげることが必要です。環境は順調に整ってきたため、掲示板等も使用しながら活用を促していきます。
また、取り組みを行うだけではなく、しっかりと「数値」として把握し、目標等・数値で発信することで、より具体的に伝えることもでき、評価や改善にも繋がっていくと考えています。社員の一人ひとりが元気に活き活きと働くことができる職場を目指して、これからも取り組んでいきます。



社内の掲示板で新入社員の紹介等、発信

株式会社エムエス

代表取締役
篠田吉孝 氏

Make Smile～お客様の笑顔をつくる会社～

- 代表取締役　篠田吉孝 氏
- 本社所在地　茨城県水戸市姫子1-89-1
- 主な事業内容　住宅設備機器のアフターメンテナンス業
  住宅リフォーム業
- 従業員数　72人（男性：58名・女性：14名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社の使命は、お客様の『困った』を『よかった』に変えること。
社名にある通り、“多くのお客様を笑顔にしたい”というのが当社の想いです。
水まわりのメンテナンスやリフォーム事業を通じ、地域社会に貢献し、当社に関わる全ての人（お客様、取引先、社員、会社）の幸せを追求しています。

経営理念

1987年に水まわりのメンテナンスを行うサービス会社として、設立いたしました。設立以来、器具が故障したお客様のために、自分たちに今できることを全力で対応することが使命と感じ、“お客様の『困った』を『よかった』に変える”というテーマで活動しています。
当社の財産は“社員”です。『困っているお客様のために』『仲間のために』と責任感を持って行動する、明るく真面目な社員。お客様の様々なご要望にお応えするため、日々勉強を重ね、知識・技術を身につけている社員。
そんなすばらしい社員をお客様からも高く評価していただいているからこそ、当社は今日まで成長し続けることができました。お客様に“笑顔”になっていただくため、私たちは一歩一歩着実に成長し続け、『地域のお客様に必要とされる企業』を目指して活動していきます。

健康経営をはじめたきっかけ

ある日、社員が突然、会社で倒れました。会社に出社していたため、すぐに救急車を呼び、早急な措置が取れたけれども、もし現場に行く途中で倒れていたら…と考えると怖くて仕方なかったです。
当社は、担当者がヒアリングから施工までお客様とのやり取りを一貫して対応しているため、一人で仕事を行っています。そのため、一人が倒れると一大事で、健康でないともたないと痛感いたしました。

まずは健康診断から

毎年健康診断はしっかり受けており、受診率も100%でしたが、その後のサポートが不十分でした。特に、要検査や要治療となった社員は任せっきりになってしまっていて、自分たちで時間を見つけ受診するという体制でした。
健康診断で異常が見つかったら早急に対処することが何よりも健康への第一歩だと考え、担当者からも要検査や要治療となった社員には声をかけ、受診を促しています。また、専門家の力を借りることも大切だと考え、これからは地域産業保健センターの協力も得ながら進めていきたいと考えています。

ただ制度があるだけではなく活用を

当社は制度を用意しているだけではなく、しっかりと活用も促しております。産前産後休暇や育児休業、時短勤務も設定し、取得を認めています。活用できてこその制度であり、今後は男性の育児休業も進めていきたいです。
また有給休暇については、担当を一貫して行っているため、自己申告で取得できます。子供の行事や家業のサポート等で休む方も多く、休暇の次の日には、「運動会に参加してきた」等、自然と会話も生まれ、コミュニケーションも取れています。

お客様も社員も笑顔の会社を目指して

おかげさまで経営も順調で、社員にはずっと働ける環境を作っていきたい。例えば女性が活躍できる場所など、今の仕事に付随する新たな事業にも乗り出していきたいと考えております。平均年齢30代前半なのですが、離職率も低く、その理由は社員同士のコミュニケーションが取れているからだと思います。
技術の仕事なので、ある程度は自身で解決できることもあるのですが、経験がものをいう内容もあります。「悩んだときに相談できる仲間がいる」。この環境は何にも代えがたいものであり、社員が築き上げてくれたものです。
お客様だけでなく、働く社員も笑顔になる会社を目指して、これからも取り組んでいきます。

社内コミュニケーションの一環として社内報を発行しています

1254

茨城県
水戸営業所

Voice Report 140th

常磐運送株式会社

代表取締役
川又康司 氏

お客様の安心と信頼のために

- 代表取締役　川又康司 氏
- 本社所在地　茨城県水戸市平須町235-38
- 主な事業内容　運送業
- 従業員数　102人（男性：90名・女性：12名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちの物流部門は、商品そのものには姿の見えるものではありません。しかし、いかなる企業といえど物流なくしてその存在はあり得ません。
昭和29年に創業し、配送、在庫管理、ピッキング等、一貫した責任システムにより物流センターの核としての機能を果たしてきました。物流の効率化によって、お客様に多大な成果をお約束しております。

経営理念

いかに物流が高速化、情報化しようともそのシステムを支えるのは「人」であると当社は考えます。
一人ひとりの人間にある豊かな個性と限りない能力、さらに各人がその意欲と能力を最大限に発揮できる舞台が与えられたとき、想像以上のパワーが生まれます。
社員一人ひとりが自己実現をかけ、絶えず創造的挑戦ができる機会を提供することが肝要と考えております。
お客様への思いやりを忘れずに仕事を完遂するこころ、お客様の「こころ」を運ぶことが私たちの使命です。

認定の取得を諦めていたが、講演を聞いて、自分たちでも認定を目指せると思わせてくれた

社員の自己実現のためには、体もこころも健康が大切だと常々思っております。そのため、社員が健康で元気に働ける職場づくりに、より一層力を入れて取り組んできました。
当初、健康経営優良法人認定の取得はハードルが高いと勝手に考え、諦めていました。しかし、トラック協会主催のアクサ生命健康経営優良法人認定セミナーの話を伺い、現在、実施している取り組みで十分、認定の取得を目指せるのではと思い、アクサ生命にサポートをお願いしました。

休憩時間に会社の敷地内を
みんなで歩いています

禁煙達成者2名！

社長自身が禁煙し、社員にもたばこの害について伝え、禁煙を勧めてきました。
朝礼など全体の会議で伝えることはもちろんのこと、一人ひとりにも声をかけ、禁煙の成功体験も含め、「百害あって一利なし」と口酸っぱく伝えてきました。
その取り組みの甲斐もあり、禁煙達成者は2名です。本人の今後の人生も考えるとやはり禁煙は大切だと思いますので、これからも常に声をかけて、共に禁煙できるようにしていきます。

出来ることから取り組みを開始

新たに費用をかけて取り組みを行うのは大変ですが、出来ることから何でも取り入れています。
有給休暇の取得については、事前に伝えて休暇を入れていれば休めるようになっております。子供の行事に合わせて休めるため、仕事満足度も家庭満足度も高まっています。
新型コロナウイルス感染症のワクチンについても、勤務中に接種を行っても良いと周知を行い、接種率も高まり、不安なく働ける環境を作っています。

ストレスなく、健康で働ける職場を目指して

創業当初は倉庫1つから始まりましたが、今では倉庫も6つに増えました。会社が大きくなった要因はいくつかありますが、一番は荷主とのコミュニケーションだと思います。集まりに参加したり、荷主の一人ひとりに声をかけて、コミュニケーションを図ってきたからこそ、仕事を任せてもらえるようになりました。
同じように社員とのコミュニケーションも大切だと思っており、会社に戻ってきたら、一人ひとりに声をかけ、その日起こったことや悩みを聞き、ストレスを溜めて家に帰らないようにしています。健康でストレスなく働ける職場を目指して、これからもコミュニケーションを大切にしていきます。

1255

茨城県
茨城西営業所

Voice Report 140th

有限会社苅部建設

代表取締役社長
苅部好美 氏

スピーディ且つ品質の高い仕事は、社員の健康から

- 代表取締役社長　苅部好美 氏
- 本 社 所 在 地　茨城県下妻市原863-1
- 主な事業内容　土木工事　舗装工事　民間工事　宅地造成工事一式
- 従　業　員　数　15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は、道路舗装や建物基礎、外構工事など土木工事を手掛ける企業です。施工が難しい案件でも、丁寧且つスピーディーな品質の高い仕事を提供しています。
健康経営を通じて社員の幸せを実現し、その上でお客様や地域からも信頼される、選ばれる企業であり続けます。

選ばれ続ける企業である為に健康経営に取り組み始めました。

弊社は積極的に自ら売り込む営業スタイルではありません。常に高い意識で丁寧且つスピーディーな質の高い仕事で、信頼を勝ち得ることによって、堅実に成長し続けてきました。
これからも同業他社よりも質の高い良い仕事をし続ける為には、これからも従業員が健康で活き活きと、熱意を持って仕事に打ち込んでくれる必要がありました。
そんな中でアクサ生命の鈴木さんから、選ばれ続ける企業になる為にも健康経営に取り組み、優良法人認定の取得を目指しましょうと話を頂きました。
詳しく話を聞いたところ、健康経営の理念には非常に共感しました。
自社がこれからもより一層成長していく為に、従業員の健康作りに関与していくことは必要なことだと思い、認定取得を目指すことにしました。

従業員の安全安心の為なら、出来ることは何でもする

元々従業員の安全安心の為に出来ることは何でもしてあげたいとの想いで様々なことを行っておりました。
取組み内容の一部は下記の通りです。

・従業員の健康管理について
⇒病気は早期発見早期治療が何より大事です。その為に法定の項目に追加して、腹部超音波検査や胃カメラ検査、眼底眼圧検査など様々なオプションを付加したものに変更しました。

・夏場の熱中症対策として
⇒現場仕事なので、熱中症対策にも取組んでいます。
①仕事前に自家製の梅干しと梅酢を支給
②空調服(ファン付きウェア)を支給の上、快適に仕事が出来る様配慮しています。反対に冬場の寒さ対策には、登山用の防寒着を支給しています。

・それ以外の取組みの一例として
①自然災害に備えた防災グッズの支給
②PCR検査キットを家族分含め全員に支給
③敷地内で定例のバーベキューをしてコミュニケーションを図る。

今後の展望

健康経営を通じて、これからも会社の業績を伸ばしていきたいと思っています。
そうやって、仕事を増やして利益が上がれば社員にも賞与や給与として還元してあげられます。
会社は社員が一生懸命働ける環境を作り、社員は仕事を一生懸命頑張る、さらに自分の頑張りや結果がきちんと評価され、返ってくるのでより一層前向きに頑張れます。
皆の幸せ実現のために、そんな関係であり続けたいと考えています。

1256

群馬県
前橋営業所

Voice Report 140th

株式会社マルキホームズ

代表取締役社長
石澤雄一郎 氏

社員がいつまでも健康で永く働ける職場づくりに邁進します。

- 代表取締役社長　石澤雄一郎 氏
- 本 社 所 在 地　群馬県沼田市久屋原町
- 主な事業内容　総合卸売業
- 従　業　員　数　30名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

創業130周年に向けて

弊社は1894年に初代石澤寅蔵が創業して、お陰様で130周年を迎えようとしています。
『企業は人なり』といいますが、先人から社員は『財産』であり、『健康経営』を前向きに取り組んできたことで今日に至ります。今後も次世代にしっかりバトンタッチしていけるよう、アクサ生命の担当者と連携しながら『健康経営』に取り組みたいと思っています。

朝のラジオ体操

SHIELD

GARAGE　SALE

健康増進のための取組み

◎各部署毎にスタッフの体力維持・怪我の防止のため『朝のラジオ体操』の実施。
◎社内の環境を『お香(香り)と音楽ＢＧＭ』を活用して、音と癒しの空間に。
◎疲労回復と集中力アップのため『酸素カプセルＲＯＯＭ』の設置。
◎緊急事態宣言化において営業部門へ『リモート勤務推奨』を実施。
◎コロナ禍でも社員が安心して仕事が出来るように『検温装置・アルコール・マスク・ＳＨＩＥＬＤ・コロナ検査キット等』衛生用品の設置と支給。
◎社員とのコミュニケーション(親睦事業)の実施。
◎ノー残業ＤＡＹの導入
時短の徹底と業務効率化を図るため営業部門は直行・直帰推奨・物流部門は早出推奨。
◎健康診断の受診率向上と社内カンセリングなど実施。
◎喫煙・リラックス健康室の設置

今後の展望

2045年、ＡＩ(人工知能)の性能が人間の脳を超えるといわれています。
しかしながら、人が携わらなければならない仕事は、まだまだ沢山存在し、弊社もその一翼を担う業界におります。これからも人が携わらなければならない仕事はなくならない。そう考えたとき、社員が健康でいつまでも働ける環境づくりは必須です。
『変化』に対応しながら今後も社員一丸となって『健康経営』に取り組み、社員と共に成長していきたいと思っております。

1257

群馬県
伊勢崎営業所

システム開発株式会社

代表取締役社長
狩野弘幸 氏

『人とシステムのバランス』を目指して！

- 代表取締役社長　狩野弘幸 氏
- 本 社 所 在 地　群馬県伊勢崎市東小保方町
- 主な事業内容　ソフトウェア開発業
- 従　業　員　数　41名(男性:34名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

システム開発株式会社は、群馬を中心に北関東の製造業を中心にしたシステムの開発・運用を行っております。IT業界では、お客様の多様なニーズにお応えするために、社員が心身ともに健康である事が前提であり、社員の健康管理を重視し、健康経営の実現に向け取り組んできました。その成果として、健康経営優良法人2022に認定されました。今後も社員の健康意識を高め、より良い会社として発展していきます。

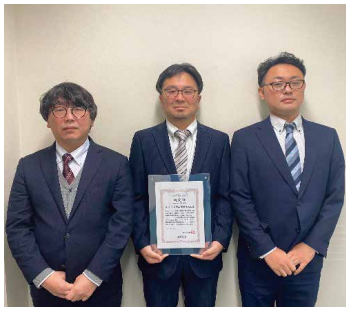
同業他社での取り組み開始から認知するも、自社には不必要？

当初、同業他社さんの取り組みから、『健康経営』を認識したものの、自社内のマンパワーの年齢層から、取り組みへの必要性を強くは認識しておりませんでした。

若手主体の現状も、健康状態は…。そして、『社内共有』の難しさへの取り組み。

自社内の年齢層が若く、安心をしていた状況から、取り組みを開始してみると、年齢と健康状態が反比例しているような面もあり、今後への危惧はより大きなものとなっていきました。
また、社内での『健康経営』の取り組みの共有も、この段階ではスムーズとは言い難いものがありましたが、アクサ生命さんの『健康経営サポートプログラム』の流れに沿って行くことで、社内共有も徐々に進んでいくこととなりました。

健康経営優良法人認定証



経営メンバー

社内報の健康記事

コロナ蔓延を契機に、自社内の健康を意識。

業種的なものもあり、元来在宅勤務という働き方には違和感はなく、自社でも導入をしておりました。しかしながら、コロナ蔓延下での働き方を模索していく中で、『健康＝会社の財産』という考え方に至り、社内の指針・ガイドラインとしての取り組みをスタートしていきました。
自社の情報から、根気強くアナウンスを続けてくれたアクサ生命の担当者さんには、非常に大きなきっかけをいただくことになりました。

自社の特色と『健康経営』の親和性。

社員の力を集結し、長期ビジョンの実現に全力を尽くしていくことが弊社の企業行動の原点でもあります。
社員の健康が企業の活力となり、組織の成長及びサービスの向上へと繋がっていくと確信しております。
今後も健康経営活動に注力し、企業活動の積極的な推進を通じて、社会の発展にも貢献してまいります。

『人とシステムのバランス』をお客様に提供するのみでなく、自社内でも構築していきたい。

我々の業種については【新３K】と呼ばれております。「きつい、厳しい、帰れない」。常にではありませんが、まれにこのような場合があります。突発的にこのようなことが起きるので、健康については常日頃から意識する必要があります。そうでないと、お客様にご迷惑が掛かるからです。
またデスクワークが主であり、日常的に体を動かすことが少なくなっております。
今後も人と仕事のバランスを意識しつつ進めていき、取引先様へ『人とシステムのバランス』を提供していくのみでなく、自社内でも強固な体制を構築していきます。

1258

埼玉県
東京第一FA支社

Voice Report 140th

株式会社CPS

代表取締役
百々和幸 氏

社員の健康を第一に考えております

- 代表取締役　百々和幸 氏
- 本社所在地　埼玉県さいたま市浦和区
- 主な事業内容　情報通信業
- 従業員数　46名(男性:27名・女性:19名)
- 加入健保名　関東ＩＴソフトウェア健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

IT業界はきつい、ブラックだ。と、昔からイメージがある中でやはり人材が資本であるとの考えのもと健康経営をスタートさせました。健康経営を通じて社員の健康意識を高め、安心して働ける職場作りと新しく仲間になる社員にも安心して選んでもらえる会社にしたいと考えております。

健康経営に取り組んだきっかけ

もともと会社として取り組んでいたものが健康経営に通じるものであったため特に意識することなく健康経営に進むことができました。
健康経営に取り組むことでそれが会社のカラーとなり人材採用においては他社との差別化につながり、ともに働く従業員にとっては健康意識を高めることで休職や離職を防ぎ、会社全体がよい方向に進んでくれればと思い継続しています。

コミュニケーションを大切に健康経営の取り組みを推進していきました

全従業員が集合し運動をする機会を設けることが難しいためアプリを活用して歩数を計測したウォーキング大会を企画開催しました。
コロナ禍においては従業員同士のつながりが薄くなりがちなので社員の親睦会などコミュニケーションをとる機会を増やしました。
また早い段階でワクチン接種の体制を整え対象者を従業員だけでなくその家族、さらには取引先やフリーランスの方などへも声掛けをし関わりのある方へ安心して生活できるような支援をしました。
そして対面のイベントなども中止するのではなく一部オンラインなども活用して実施するようにしています。
社内でメールマガジンを月1回配信することで健康情報の共有とともに従業員の誕生日なども共有することで健康に関心をもってもらうとともに働く仲間にも関心をもってもらいコミュニケーションのきっかけ作りをしました。

健康経営の取り組みを通じて従業員の意識が変わっていった

運動習慣がなかった従業員も健康経営の取り組みやウォーキング大会などを通じて歩数を気にするようになったとの声が聞けるようになりました。
中には学生時代ぶりにランニングを開始しましたとの声も。
また社内で健康に関する話題も増え従業員同士のコミュニケーションにもつながっています。
健康経営の取り組みについて従業員へアンケートを実施すると反応もよく健康意識が高まってきていると感じています。

今後の展望

今後の健康経営の取り組みとしては健康経営優良法人認定を継続していくとともに認定を取るだけでなく会社の文化、風土として健康経営を根付かせていきたいと考えています。
今後はよりライフイベントの変化などで個々のライフスタイルに合わせた働き方が求められてくると思います。
子育てや介護などそれぞれの事情に合わせた働きやすい環境作りをしていきたいと思っています。
そしてこの健康経営が結果として弊社を選んだ社員が笑顔で末永く働いてもらうことにつながると信じています。

メンタルヘルスセミナーの様子

BBQの様子

ハイキングの様子

株式会社青木商事

代表取締役社長
青木和巳 氏

従業員が安心して働ける職場環境づくりは、企業としての大切な責任

- 代表取締役社長　青木和巳 氏
- 本 社 所 在 地　埼玉県新座市中野1-14-5
- 主な事業内容　一般貨物運送事業、倉庫業、飲食業など
- 従 業 員 数　11名(男性:11名・女性:0名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 埼玉支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

平成元年創業、大手建材メーカーの専門配送会社として、堅実な仕事が評価されて参りました。
現在では、飲食店事業、IT事業、映画製作・フィルムコミッション事業など、時代と共に様々な業種で広がりと繋がりを持たせていただきました。
30年以上の会社運営で実績を重ね、お取引先様から評価・信頼をいただくとともに、離職率の高い業種にも関わらず、直近10年での退職者は3名と、働きやすい職場環境がつくれていると自負しています。

「従業員の健康」は「会社の健康」

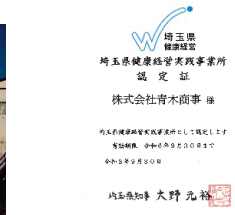
弊社はトラック1台からスタートし、今年で34期目を迎え、コロナ禍での影響はあったものの安定した業績を維持できております。
これはひとえに従業員の皆さんの誠実な仕事のおかげです。
従業員の皆さんが安心して働くために、一番重要なのは自身が健康であること。
従業員の健康を守ることは会社の義務です。
働きやすい職場環境づくりはもちろんのこと、従業員の体と心の健康維持のため、弊社では全従業員に健康診断を受診してもらうとともに、日々のコミュニケーションを大事にしています。
離職率が高いと言われている運送業界・飲食業界ですが、お陰様で弊社では長期で勤めて頂いている従業員が多く、直近10年での退職者は3名と少なく、65歳の定年後に引き続き働いている方も2名おります。
今後、50年、100年続く会社を目指していく上で、健康経営の取り組みは何より大事にしていかなければいけないと考えます。

健康経営により得られたもの

「健康経営」という言葉を知ったのは数年前でしたが、弊社では元々、働きやすい職場づくりや、従業員の健康維持を意識しておりました。
具体的には、全従業員の健康診断受診や、禁煙推進、面談による従業員の食生活の聞き取りおよび指導、生活習慣病予防の実施など、大小様々な取り組みを行っております。
こうした取り組みが評価され、これまでも協会けんぽや、埼玉県から健康経営の認定を受け、本年の「健康経営優良法人2022(中小規模法人部門)」の認定をいただくこともできました。
健康経営の認定は、自分達では判断が難しい働きやすい職場づくりの成果を、客観的に評価していただけるだけでなく、お取引先様・お客様からの信頼にも繋がります。
弊社の様な中小企業が社会に与える影響は微々たるものですが、中小零細企業が99%を占める日本において「大河の一滴」として日本の職場環境改善と共に生産性の向上の一助を担う事ができるよう、今後も従業員やそのご家族、お取引先様、地域社会に対し企業としての社会的責任を果たし、健康経営に取り組んでまいります。

健康経営のためにまず出来ること

健康経営のために企業が出来ることは様々あると思いますが、まず初めに出来ること、やらなければいけないことは、企業の「意識」だと考えます。
企業の利益第一ではなく、従業員の安心・幸福を第一に考えること。
従業員の皆さんが働いてくれるお陰で、企業は利益を生み出せます。
仕事は決して楽しいことばかりではありませんが、安心して働ける職場環境で、働いた対価として正当な報酬と評価を得られることで、従業員の皆さんも仕事を頑張ることができます。
今後、少子化により生産年齢人口の減少は確定的になる中、私たちの様な中小企業こそ健康経営に取り組むことは必要不可欠です。
実際の取り組みを始めることは色々と大変ですが、まだ取り組みを始めていない企業様には、まずは「意識」を変えることから始めていただければと思います。


埼玉県
健康経営
埼玉県健康経営実践事業所
認 定 証
株式会社青木商事 様
埼玉県知事 大野 元裕

健康優良企業
認定証
(SHAI)
株式会社 青木商事 殿

1260

千葉県
千葉FA支社

Voice Report 140th

有限会社建修社

代表取締役
槇　好則 氏

『家族経営』先代からの想いを紡ぐ

- 代表取締役　槇　好則 氏
- 本社所在地　千葉県千葉市若葉区東寺山町
- 主な事業内容　住宅設備、建設、建築工事、リフォーム
- 従業員数　4名
- 加入健保名　中央建設国民健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

15才で山形から上京された槇社長、定時制の学校を卒業してから先代の親方の仕事を「見て覚えて」来られました。先代と衣食住を共にして来られた『家族経営』を、新しい世代に引き継ぎます。

「仕事は見て覚えろ！」

会社は昭和38年創業で、地元密着の住宅設備やリフォーム工事を続けております。創業から私で3代目ですが、先代から常に厳しく指導・教育されて来ました。今の若者の教育と違い、当時は「仕事は見て覚えろ！」の教え方で、先代からは何も教わりませんでした。只、住まいは先代の家を増改築して一緒に住ませてもらい、衣食住を共にする“家族”として、温かく育ててもらいました。

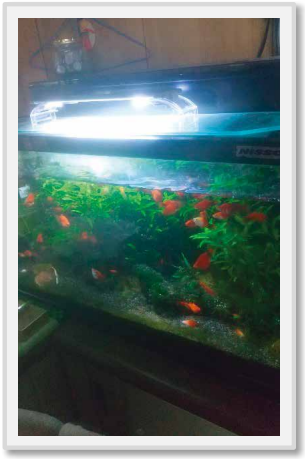
『家族経営』を次世代に引き継ぐ

私は15才で山形から上京して、先代に公私共に本当に面倒を見てもらいました。先代の家を増築して一緒に住み、衣食住から仕事まで温かい環境で育ててもらえたことに感謝しています。娘婿は頼りになる存在ですが、より成長してもらって会社も家庭も温かく“経営”していってほしいと思います。

頼りになる後継者

今まで会社を経営してきて、不景気等で厳しい時期もありました。その為、自分の代で会社を畳むことも考えたこともあります。そんな折、娘の婿が当時電話関係の仕事をしていたにも関わらず、未経験の業務である弊社に入り仕事を継ぐと言ってきました。正直、迷いましたが嬉しかったです。手先が器用なこともあり、今では色々な業務を任せております。

千葉土建のポスター、
左が社長で右が後継者



社長が手塩にかけて
育てている熱帯魚

健康経営のきっかけと取り組み

健康経営は、所属している千葉土建の組合の保健師から勧められ、申請・登録しました。最初は言われるがまま登録しましたが、現在は社員に飲酒を控える様に勧めたり、毎日のラジオ体操を行ったりしております。後継者含めて、家族である社員には健康で安全に仕事に取り組んでもらいたいです。只、ラジオ体操は私が一番取り組んでおります(笑)。

1261

千葉県
千葉営業所

Voice Report 140th

株式会社日東物流

代表取締役
菅原拓也 氏

ミライを、人で、つなぐ

- 代表取締役　菅原拓也 氏
- 本社所在地　千葉県四街道市大日572
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従業員数　114名（2022/9月末現在）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

株式会社日東物流は「ミライを、人で、つなぐ」を経営理念に掲げ、関東エリアを中心に生鮮食料品などの食料品を24時間体制で配送しています。お客様にお届けする、これら食料品の安全・安心を確保するために、運行上の安全管理の徹底はもとより、働きやすい労働環境の提供や一歩進んだ健康診断の実施といったドライバーの生活安全向上に向けた様々な取り組みを行っています。

健康こそすべて～健康であれば自分も人も、幸せに出来る

当社の行動指針「ニットーイズム」に“健康こそすべて”とある通り、当社では安心できる社会を維持するためには健全な物流システムが必要であり、そのためにはまず企業やドライバー自身が健康であるべきと考えています。ドライバーをはじめ全従業員が健康的に生活できるよう、健康診断の徹底や各種検査の導入など、これまでの物流企業には無かったような取組みを積極的に続けています。

具体的な取組み事例

①ワークライフバランスの推進（過重労働問題への取組み）
“生活の中に仕事がある”という考え方のもと、運送会社としては珍しい、子育てや介護など従業員のライフスタイルに合わせた就業制度を導入。勤務日数や勤務時間がフレキシブルに選べます。

②健康診断や各種検査の従業員負担を大幅に軽減
ドライバーの安全、健康の維持のためにも健康診断の徹底と、その結果を基にした管理栄養士等の専門家による面談の実施や各種検査の導入等、より健康な体で仕事ができるよう新しい取組みを採用しています。具体的には、癌リスクマーカー等のオプション検査の導入や、脳MRI検査（年齢関係なく３年に１回全員が受診）、睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査や年２回の心電図検査等が挙げられます。

↑④禁煙キャンペーン時の禁煙宣言パネル

②提携クリニックによる健康診断の実施↑

②産業医など、専門家による面談　→

③インフルエンザ予防接種
健康診断におけるインフルエンザ予防接種費用を全額会社負担とし、その対象を従業員の扶養家族まで拡大しています。

④禁煙プログラムの推進
喫煙者率を下げる目的で、2018年からは禁煙キャンペーンを開始。１年のうち１ヶ月間実施。会社支給の禁煙パッチなどを使用することで、禁煙を実現できた従業員への褒賞を支給するなど非喫煙者率の向上を目指して取組んでいます。なお、褒賞はもともとの非喫煙者も含みます。また、電子タバコは喫煙扱いです。

⑤その他の取組み
飴や飲料水の提供などの熱中症対策や感染症対策の実施、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックの実施も勿論実施しています。

取組みに関しての効果と今後に向けて

従業員の気づき、意識は高くなったと思います。例えば健診100％受診のみならず、有所見者の再検査率も100％になりました。自覚症状のない方の脳動脈瘤の発見ができたこともあります。タバコにつきましては非喫煙者率が30％から61％まで上がりました。
健康経営にはお金がかかりますが、収益構造やコストを見直すことで健康経営のお金を作るといった、事業取組みの工夫につながり、結果として財務体質が改善され、利益率のアップにもつながっています。
今後も社会の変化や業界の課題に積極的に対応し、新しい時代に求められる最高の輸送サービスを提供するためにも従業員の健康と生活の質の向上に取り組んでいきます。

菅原拓也
代表取締役
→

1262

千葉県
木更津営業所

Voice Report 140th

株式会社キミツ鐵構建設

代表取締役
松本信夫 氏

OPEN経営で、社員も会社もWin-Winな関係を

- 代表取締役　松本信夫 氏
- 本社所在地　千葉県木更津市中央
- 主な事業内容　建築業
- 従業員数　25名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

当社は昭和36年に鋼材販売の株式会社松本商店の工事部門として創業し、昭和45年に独立し、今日に至っております。学校や公共施設等の公共工事、病院や商工業施設等の民間工事など、千葉県かずさ(上総)地域を中心に地元の皆様に支えられながら仕事をしてきました。社訓を社員一人一人の行動規範として掲げ、一日一日を大切に仕事に専念する思いであります。

健康経営に取り組んだキッカケ

当社として、男女を問わず活躍できる、働きやすい雇用環境を整備することで「すべての社員が個々の能力を十分に発揮できるように」という考えがあります。また、社員の高齢化や年齢構成のバランスの点から中途採用を想定した人材の確保が必要です。そのためにも、雇用環境を含めた労務管理面の整備が必要と判断し、認証制度を活用しようということになりました。まずは「くるみん認定」の制度取得に向けた動きを考え、合わせて同じく“人”関連の認証制度として、「健康経営」および、「健康経営優良法人認定制度」を知ることとなり、合わせてチャレンジしてみようということになりました。

各種認証制度と連携した具体的取り組み

当社は協会けんぽではなく、県建設業健康保険組合であり、まずは健康宣言の申請を行いました。
具体的な取り組みとしては、本社が現場に対して範をしっかりと示さないといけないという考えのもと
・2年前から朝礼前に“足上げ50回”の体操を実施しています。内容、パターンは持ち回り担当の社員オリジナルとなります。
自分のウイークポイントのカバーであったり、効果的な動きをそれぞれ社員自身が考えることになっています。

具体的取り組みのご紹介

・喫煙者は元々３人と数としては多くありませんが、前述の健康保険組合実施の禁煙プログラムを案内したところ、そのうち１名が参加して取り組んでいます。
・保険会社提供の健康習慣アンケートが好評でした。実施する前はボリューム的にどうかなとも思ったのですが、杞憂でした。それまでの取り組みがある程度社員に浸透してきていて土壌になりつつあるのかなと嬉しく思いました。
・有給休暇の管理をしっかりと行い、定期的に残有休日数を本人あてにメールで通知をすることや、時間単位での取得制度の導入により取得率も上がりました。
・社長自身による若手社員を中心とした個人面談も行い、コミュニケーションを図っています。

労務管理の見直しと今後に向けて

前述の通り、数年前から社員の健康管理も含めて、労務管理の抜本的な見直しに着手し、現在もその最中です。残業問題しかり、代休・振休の問題しかり、在宅ワーク、クラウド活用、仕事、育児、介護の両立がしやすい環境づくり。このような取り組みとともに、社員一同で地域社会に貢献する仕事をしていきたいと思っています。そのことが幸せに繋がるはずです。

JR木更津駅西口近くの本社

社長と各種取り組みご担当の常務です

2022 健康経営優良法人 Health and productivity

2022年認定 くるみん

チーバくん
ちばSDGsパートナー
286号

1263

千葉県
松戸営業所

Voice Report 140th

株式会社共栄サービス

再生事業を通じ、お客様との絆を深め社会貢献を果たし、社員の幸せを実現する

- 代表取締役　諸橋宏則 氏
- 本社所在地　千葉県野田市上三ヶ尾268-2
- 主な事業内容　産業廃業物処理業
- 従業員数　47名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

地球環境保護の関心が高まる中、廃棄物による環境破壊や資源の有効活用が注目されています。当社は『限りある資源の有効活用』をテーマに産業廃棄物の収集運搬と処理を行っています。現在、我が国全体の廃棄物排出量は生活様式や社会構造の変化に伴い年々増加を続けています。このような現状から資源循環は我々先進国の責務と考え、『資源の循環型社会構築』に向けて再利用・再資源化・再生に積極的に取り組んでいます。

健康経営の取り組み

テーマは『元気に長く働いてもらうために健康・安全を維持するための投資は惜しまない。』
この考えのもと様々な福利厚生を惜しまず実践しています。
例えば、
・インフルエンザワクチン接種費用の会社負担
・自動販売機の価格を50円に統一（いずれは無料に！）
・健康に配慮したお惣菜を100円で販売（いずれは無料に！）
・熱中症対策でシャワーを設置
他にも様々な取り組みを福利厚生として提供しています。

地域の健康イベントにも参加

健康経営（運動、コミュニケーション）の一環として、今年は従業員の家族も一緒に、ふれあいウォークに参加しました。暖かい日差しの中、清水公園エントランスを出発し、金乗院、花ファンタジア入口、座生見晴らし公園を散策する4キロコースを全員が完歩しました！今後もこのような健康イベントに従業員だけでなくご家族も巻き込んで参加していきたいと思っています。

アンケートを活用し、健康課題を明確に

今年度、社員は健康に関して、どれだけの関心があるのかアンケートを実施しました。課題はズバリ『禁煙』。禁煙はどこまで手を加えてよいか難しいと感じていましたが、これを機に禁煙外来の費用補助や禁煙セミナーを検討しているところです。定期的にアンケートを実施し取り組みの効果を確認し、健康で働きがいのある環境づくりを目指して、一つ一つの課題解決に取り組みたいと思います。

社員いきいき！元気な会社宣言

「大収穫祭」と称し、今年は地元野田市の「黒酢米10キロ＆カレーフェア」を開催しています。黒酢米は名前の通り健康に良いと言われている黒酢を利用した減農薬栽培されたお米です。社員にも大好評につき、今年も新米が穫れる季節に社員に配りました。今後も健康な職場づくりに積極的に取り組んでいきます！

健康に配慮したお惣菜

食の健康のために「黒酢米＆カレーフェア」

食の健康のために「黒酢米＆カレーフェア」

1264

千葉県
松戸営業所

Voice Report 140th

野田ガス株式会社

あなたのそばに、野田ガス

■代表取締役　本庄幸保 氏
■本社所在地　千葉県野田市宮崎36
■主な事業内容　ガス業
■従業員数　45名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

野田ガス株式会社は供給区域内に敷設した導管を通して、環境にやさしい天然ガスを供給しています。現在の供給区域は、野田市内と流山市の一部です。新規造成地や既設住宅地等のご要望に応じて導管を延長してまいります。供給区域内のご家庭・企業に、安全に安定的に天然ガスを供給できるよう、導管の保全や定期点検にこれからも努力してまいります。

健康経営の取り組みのきっかけ

当社が2020年から掲げているビジョンがあります。
『私たち野田ガスは安心で安全なエネルギーを供給して、地域社会に貢献し、お客様から「笑顔」と「ありがとう」をいただけるプロを目指します』と。これを実現させるためにやはり社員ひとりひとりがいきいきと働くことが大前提となります。その中でアクサ生命さんのセミナーを通し、社員の健康を守ることは個人だけでなく会社としてもサポートしなければならないと感じ、健康経営を実践してみようと思いました。

生活習慣アンケートの実施

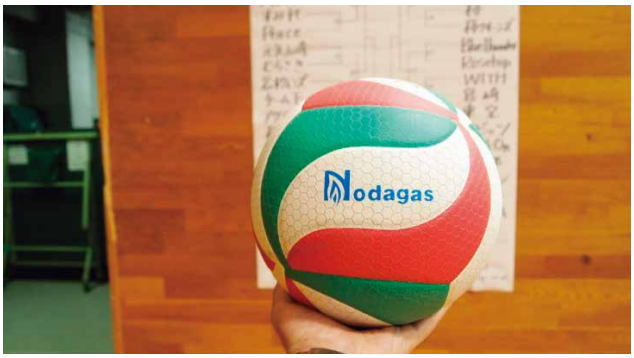
社員の生活習慣を知るために生活習慣アンケートを実施しました。実際に健康経営の取り組みを実践していて感じることは、効果がでているのかなかなかわかりづらいことがあります。そこで「飲み物・食生活・運動・禁煙・心の健康・睡眠・適正飲酒」の７つの項目を日ごろどのように意識しているかをアンケート調査しました。項目ごとに良かった点や改善点が見つかり、有効でした。特に非喫煙者の声が聞けてよかったと思います。継続的に実施していこうと思います。

社内セミナーの実施

2022年９月に「腸内環境を整えて免疫力アップセミナー」、10月に「将来に向けてのマネーレッスン」を実施し、日々の生活習慣の質の向上や将来について考えてもらおうと初めて導入しました。まだまだ健康経営も始めたばかりなので、社員への周知や啓蒙を図っていくうえでは効果的だったと思います。全体の年齢層も高くなってきているので、経営戦略の一手として今後も様々なコンテンツで実施し、社員の心身の健康づくりの一環として継続していきたいと思います。

地域社会にも貢献する

われわれはスポーツを通じて地域社会にも貢献していきたいと思っています。現在取り組んでいることは「ママさんバレー」の協賛、「野田市レディース親善卓球大会」の協賛等です。当社は生活インフラであるガスが生業です。特にガス供給地域には様々な形で社会貢献していきたいと思います。



↑ママさんバレー協賛のボール

↑野田ガスショールームぽかぽか

天伸株式会社

代表取締役
小宮山記祥 氏

みんなで参加、みんなで健康づくり

- 代表取締役　小宮山記祥 氏
- 本社所在地　千葉県柏市逆井442-1
- 主な事業内容　金属スプリング製造業
- 従業員数　40名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

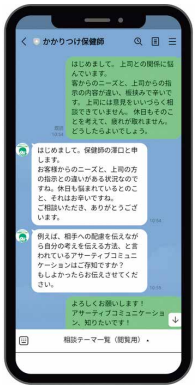
当社は、1963年の創業の従業員40名のばね製造メーカーです。多くのお客様にご愛顧頂いて参りました。時代の変化に対応し創業100年に向けて、私達は、「お客様第一主義」を最優先課題として掲げ、全従業員がベクトルを合わせ、お客様満足度を高めるべく変革をして参ります。経営理念は「全従業員の物心両面の幸福の追求と、地域社会に貢献すること」です。

健康経営取り組みのきっかけ

私は2017年に代表取締役に就任しましたが当時の会社の業績は低迷しておりました。ここで会社一丸となって一つの方向に向かっていこうと経営理念を一新しました。それが『全従業員の物心両面の追求と、地域社会に貢献すること』です。そんな中、令和元年に保健所の「働く人の健康づくり労務管理講習会」に参加し、ニッカウヰスキー株式会社様、昭和プラスチック株式会社様の取り組みに感銘を受け「健康経営」を目指そうと決心しました。まさに経営理念を実現できる最適な手段だと思いました。

心の健康

2022年11月からLINEで無料相談ができるメンタルヘルスの窓口を設置しました。命の危険がない限り内容は匿名を担保されるので気軽に専門職（看護師、保健師）へ相談ができます。ささいなことでもつぶやけるので、身近な人には知られたくない悩みや愚痴を気軽に相談できます。そして、当社は従業員数40名ですが毎年ストレスチェックを実施しています。また、2021年11月より日本産業カウンセラー協会とカウンセリング相談室利用、ハラスメント相談窓口（メール・電話）を契約しました。



↑メンタルヘルスのLINE相談例

↑健康ポイントアプリ

みんなで取り組む「体の健康」

『体の健康』をテーマにいくつか実践していることを挙げさせてもらいます。

・一日2回のラジオ体操
・万歩計を全員に配布し、ランダムにチームを編成。個人賞、チーム賞を用意し社員のやる気UP！
・健康ポイントアプリを導入しました。歩数のほかに体重、食事・飲酒、女性の健康を記録し、エクササイズ動画視聴等も無料で提供しています。アプリの利用でポイントが付与され、貯まったポイントはAmazonギフト券や現金に交換可能です。

健康経営は『目的』ではなく『手段』

我々の健康経営はあくまで経営理念を実現するための『手段』に過ぎないと考えています。今後、永続的に事業をすると考えたときに後継の世代に何を残してあげられるかが非常に大切かと思います。私は『全従業員の物心両面の追求と、地域社会に貢献すること』をこれからの世代に脈々と引き継いでもらうためにこの『健康経営』という文化を浸透させていきたいと思っています。
しかし、課題はまだまだあり、「心」が理由で「体」のバランスを崩し現在休職中の従業員がいるのも現実です。個人に寄り添い、会社全体を前進させるにはどうしたら良いかを考えていきたいと思います。

↑ラジオ体操の風景

1266

千葉県
船橋営業所

Voice Report 140th

株式会社斉藤総業

代表取締役社長
齋藤一昭 氏

企業として従業員を支える体制・制度をしっかり整える

- 代表取締役社長　齋藤一昭 氏
- 本 社 所 在 地　千葉県船橋市夏見
- 主な事業内容　土木工事業
- 従　業　員　数　13名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

弊社は昭和48年の創業以来、「地域の皆様への貢献」という企業理念のもとに建設業を通して、豊かな、そして安全で住みやすい街づくりの提案に努めてまいりました。とかく、建設業界は制度面が整っていないイメージがあるかもしれませんが、弊社では「企業として従業員を支える体制・制度をしっかりと整える事」を目的に、健康経営に取り組んでいます。

健康経営で目指すもの

時代と共に働き方も様変わりする中で、建設業界でも働き方を見直す動きが出てきています。当社では、独自に労働環境の見直しを進め、従業員を支える体制・制度をしっかりと整えることを目標に、健康経営に取り組んでいます。

４年連続認定を目指し、健康経営の取り組みを更に強化

・専務取締役を健康経営の責任者、安全衛生推進者を健康づくり担当者に選任し、毎月の部所長会議で健康経営の取り組みを共有し、全社で健康経営に取り組んでいます。
・健康経営の最終指標を、アブセンティーズムとプレゼンティーズムに設定し、健康経営の全体のつながりを把握するため、健康経営戦略マップを作成しています。

明るくクリーンなオフィス

“東京タワー”を
階段で昇りました

片足立ちチャレンジの風景

健康経営の主な取り組み

・時間外労働時間の削減～
全社員にスマートフォンを支給し、勤怠システムを導入。固定残業代制度の導入や面談等を行い、平均月間所定外労働時間を、2021年度には5.4時間まで削減しました。
・メンタルヘルス対策の推進～
当社は50名未満の事業所ですが、法定基準を満たすストレスチェックを実施しており、外部専門家の研修や健康づくり担当者の情報提供等を併せて行った結果、2021年度の高ストレス者数は０人でした。
・適切な運動とコミュニケーションの推進～
当社では、運動とコミュニケーション促進に関わる様々なイベントを開催しています。
①“片足立ちチャレンジ”の定期開催
②オンラインウォーキングイベントへの参加
③全社員と家族で東京タワーの“外階段ウォーク”に挑戦など…。
・快適な環境づくりに向けて～
ハラスメントの外部通報窓口の設置を行い、風通しの良い職場づくりを目指しています。
また、社内は白を基調とし、照明にLEDを使用、オフィスに有線を流し、社員が働きやすい環境を整えています。

今後の展望　SDGsへの参画

当社は、健康経営の取り組みを通じて、SDGsの「目標３：すべての人に健康と福祉を」「目標８：働きがいも経済成長も」、地域清掃ボランティアや被災地への植樹等を始めとする、社会への貢献活動を通じて、「目標７：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標15：陸の豊かさも守ろう」に参画することで、持続可能な社会づくりを目指しています。

1267

東京都
首都圏第三FA支社

Voice Report 140th

CTCファーストコンタクト株式会社

代表取締役社長
櫻井哲雄 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　櫻井哲雄 氏
- 本 社 所 在 地　東京都世田谷区駒沢
- 主な事業内容　サービスデスク・コンタクトセンター運用サービス
- 従　業　員　数　417名(男性:158名・女性:259名)
- 加 入 健 保 名　CTCグループ健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は2000年の創業以来、お客様企業とビジネスを結ぶ「ファーストコンタクト」機能をサービスの原点としてサービスデスク・コンタクトセンター、マニュアル作成、教育・研修サービス、アウトバウンドサービスをコアビジネスに、きめ細やかなサポートと高い付加価値をご提供することで、多くのお客様企業からご支持いただいております。

社員の健康寿命を延ばしたい

当社では、社内システムのトラブルなどに対応するITヘルプデスクや、バックオフィス業務の請負い、BtoCのコールセンター業務など、幅広いサービスを提供しています。
それらの業務を担う社員は、社会貢献・奉仕の精神を持ち、お客様をサポートすることに生きがいを感じるメンバーが多く在籍しています。
定年や雇用延長が求められている昨今、社員が安心して長く働きたいと思える会社であるために、社員ひとりひとりの健康寿命を今のうちから考えておくことが会社の責務であると感じており、日々尽力しています。

健康維持のための対策

当社では、定期健康診断受診の徹底だけでなく、その後の健康管理サポートにも力を入れています。がんの予防・早期発見と就労支援などによる健康保持・増進や、メンタルヘルスに関する対策、適正な労働時間の管理や年次有給休暇の取得率向上などワークライフバランスに関する対策、新型コロナウイルス感染症への対策などを重点的に取り組んでいます。
私たちは社員が健康で長く働けることを企業成長における経営戦略のひとつと捉えており、このような制度や取り組みは、健康経営優良法人の認定制度に挑戦する以前から始めており、今回の認定は今までの活動が評価されたものと考えています。

本社内「リフレッシュルーム」
お昼ご飯を食べたり休憩できる多目的スペースです

【健康推進イベント】
「くうねるあるく+ふせぐ」
6月、10月に年２回開催しています

具体的な取り組み・制度

●がんの早期発見・早期対応と就労支援施策
私たちが加入するCTCグループ健康保険組合では、定期健康診断や人間ドックはもちろんのこと、専門検診の補助を手厚くし、更に40歳以上は５年毎に「がん総合検診」を会社負担で受けることが可能です。
仮にがんに罹患してしまった場合、治療と就労の両立を支援するために「がん先進医療支援金規程」を設け、がん先進医療に関わる技術料を支援金として支給する手厚い環境を用意しています。

●「健康リテラシー」:自分の健康や周囲への理解を高める活動
社内イントラネットでは、いつでも健康に関する情報を閲覧でき、CTCグループ健康保険組合と複数の専門医師及び看護師が常勤している健康支援室が開催する健康推進イベントでは、食・睡眠・運動の観点から「今日の健康づくりアドバイス」を毎日配信しています。また、定期的に、女性の健康サポート「LADYtoGO」など健康に関して様々な情報を配信しています。
健康づくりの具体的な取り組みとして、社内に健康促進のための器具を設けたり、ウェアラブルウォッチを福利厚生ポイントで交換できる機会も用意しています。

●メンタルヘルスケア対策
セルフケア、ラインケア、産業保健スタッフによるケア、外部資源によるケアの4つのケアを基本とし、様々な悩みの相談を受けるための社員相談窓口を設けています。そのほかにも、専門家によるこころのケアをテーマとした「こころの通信」を毎月、配信しています。

私たちのこれからのビジョン

社員の健康寿命が延びることにより、会社の諸制度や働く環境は今まで以上により一層多様化するニーズに応えることが求められます。これからは社員の健康増進を育児・介護など各々のテーマとの関連づけを深め、社員だけでなく家族を巻き込んだ健康経営と言う視点で取り組む必要を感じています。
これらを今後の活動指針のひとつとして考えています。

1268

東京都
首都圏第四FA支社

Voice Report 140th

味の素エンジニアリング株式会社

代表取締役社長
横山正人 氏

お客様と私たちの夢を実現するために自ら挑戦、行動し、成長し続けます

- 代表取締役社長　横山正人 氏
- 本 社 所 在 地　東京都大田区蒲田
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　185名(男性:154名・女性:31名)
- 加 入 健 保 名　全国土木建築国民健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

私たちは、1973年にライフエンジニアリング株式会社として設立され、これまで食品・ライフサイエンスの最先端を担うエンジニアリング会社として国内外に事業展開してまいりました。弊社は2023年4月に創業50周年を迎えました。今後も未来を築いていくため、お客様をはじめ、従業員の幸せ、社会貢献、事業成長に向けてできることは何かを常に考え、健康経営に取り組んでまいります。

健康経営への取組みのきっかけ

健康保険組合の勧めにより、健康経営への取組みを始めました。健康経営の担当者と上司であるセンター長を中心に、産業医及び保健師と連携をして、社内の健康経営への取組み体制づくりを行ってきました。
親会社である味の素株式会社や健康保険組合と情報連携をし、従業員1人1人の環境に合わせた取組みを展開しております。

当社の課題

「保健師及び産業医の役割分担の明確化」
保健師と産業医の役割分担が不明確であったため、特定の業務についてどちらが担当をするのかあやふやになってしまうことがありました。
しかし、担当者自らが業務規程の見直し・作成をし、明確な役割分担をすることで、従業員から相談をしやすい体制づくりを整備することができました。
課題解決へ取組むことで、より本質的な健康経営を推進するための更なる第一歩を踏み出すことができたと考えております。

2022年健康経営優良法人認定証

東海事業所　ラジオ体操風景

九州事業所　ラジオ体操風景

健康経営への取組み例

- 保健師の面談に加え、従業員全員と担当者及び上司が面談を実施。
  全員との面談により、健康管理上の課題の把握や、ワークエンゲージメントの阻害要因の確認をきめ細やかに実施し、具体的対応策が明確になるよう工夫。
- 朝礼時にラジオ体操を実施し、活動を拡大。
- 禁煙DAY設定及びポスター等を用い従業員全員へ周知。
- 女性の健康に関するセミナーを実施。
- 味の素グループ全体でのエンゲージメントサーベイの実施。
- 栄養という観点から、親会社のノウハウを利用したEラーニングの実施。
- 検診受診料の補助を中心とした健康推進のサポート。
- 全従業員にストレスチェックを毎年行い、高ストレス者については希望者に対して産業医面談をすることでフォローを行った。

取組みで得られた効果

「管理職の意識変革」
管理職から部下へ、時間外業務の削減の徹底や、働き方改革の推進を積極的に行うようになりました。
また管理職自身への働きかけにも注力し、管理職自らが主体的な姿勢を示していけるような環境づくりを目指します。
今後も取組みを継続し、社内全体の風通しや従業員の相互研鑽の意識の醸成に繋げるよう取り組んでいきます。

今後の展望

今後につきましては、更なる高みを目指すために健康経営優良法人認定「ブライト500」の取得を目指していきます。
また、自社の健康経営への取組みを昇華させ、味の素グループ全体に波及できるよう本質的な健康経営に取り組んでいきます。

1269

東京都
首都圏第五FA支社

Voice Report 140th

株式会社サンライフ企画

代表取締役社長
氏家健太 氏

我々は事業を通し、生きがいのある社会の創造に貢献します。

- 代表取締役社長　氏家健太 氏
- 本 社 所 在 地　東京都千代田区岩本町2-1-15 8F
- 主な事業内容　出版・印刷業
- 従 業 員 数　30名(男性:19名・女性:11名)
- 加 入 健 保 名　出版健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

当社は創業時から社会保障、社会保険制度のわかりやすい解説、健康づくりの為の質の高い情報提供、タイムリーな企画を心がけてきました。健康関連の情報発信を業とする当社として従業員の健康の重要性は言うまでもなく、その結果として企業の生産性の向上や発展に繋がると考えています。当社が健康経営に取組むことで、従業員が活き活きとなりその活力をお客様や社会に還元できれば幸いです。

2018年から5年連続で健康経営優良法人取得

健康経営優良法人認定制度に早い段階から取組むことができたきっかけは、出版健康保険組合の方からご紹介を受けたことでした。人々の健康と福祉の向上を目指す当社として、とても重要だと感じました。
理由は、従業員ならびにそのご家族の幸せ、それによる企業の生産性の向上はもちろん、この健康経営の取組により、当社が社会により深く貢献できると考えたからです。今後も継続してこの健康経営に取組むことで、より本質的な成果を自社、そして社会にもたらすことができると確信しております。

健康経営に取組むにあたって

当社では代表と衛生委員会が主体となり健康経営を推進しております。「誰でも参加しやすい」と「コミュニケーションの活発化」の2点を重視し、以下の取組を実施しました。

①年間の歩数の累計で競う表彰制度を設けたウォーキング
②デスクワーク疲れ解消のための15時のラジオ体操
③健康を意識するきっかけづくりになる食品の配布
④コミュニケーション活性化のための機会創出

氏家代表ならびに
頼もしい衛生委員会のご担当者たち

『15時の運動』の
社内向け掲示ポスター

ラジオ体操が流れるブタのスピーカー

注力した取組内容とその効果

①ウォーキングは、個人戦で年間の歩数を集計し、表彰制度を設けています。前回の景品は「機能性表示食品のノンアルコールビール」などでした。チーム対抗戦も実施したところ、競争意識から歩数が飛躍的に伸び、その後も自発的にウォーキングをする従業員が増えています。

②時差出勤を導入しているため、朝ではなく15時にラジオ体操を実施しています。デスクワークが主な従業員には、ちょうどいい運動になり効果的だと感じています。また、担当者が自らブタのスピーカーを購入するなど楽しみながら取り組んでいます。

③体脂肪対策・腸内環境改善などテーマを決めて毎月食品の配布を行っています。管理栄養士と考案したオリジナル弁当や成分に配慮したお菓子などを配布するほか、アンケートをとり従業員の要望も聞いています。食品配布を通じて「カロリーを気にするようになった」「野菜が多めのメニューを選ぶようになった」など、従業員の意識も変わってきました。

④円滑なコミュニケーション促進の機会を設けるために、イベントを開催しています。観劇のイベントを開催して参加希望者を募った際には想定よりも参加者が多かったため、この様な取組は従業員からも求められているのだと改めて感じました。

今後の展望

何よりもまずは従業員に対して、健康経営を通じ、より健康で活力をもって日々の生活を過ごしてほしいと思っております。
数値目標としては、まずは健診・ストレスチェック100%の達成、喫煙率0の継続です。
社員間の活発なコミュニケーションを通じた風通しの良い会社であり続けるとともに、健康経営により従業員ならびに企業の本質的な発展を目指します。
我が社から溢れ出す活力をもって、より生きがいのある社会の創造に邁進し続ける、そんな会社で在りたいと思っております。

1270

東京都
首都圏第五FA支社

Voice Report 140th

株式会社サムシング

代表取締役会長
前　俊守 氏

地盤業界の健全化と地盤改良工事の透明化を目指す サムシンググループ

- 代表取締役会長　前　俊守 氏
- 本 社 所 在 地　東京都江東区豊洲3-2-24-9F
- 主な事業内容　建築業
- 従　業　員　数　395名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

当社は調査、設計、工事、営業部門を中心に地盤に関する技術や知識、経験を数多く有し、お客様の地盤に関する課題をワンストップで解決に導く専門家集団です。業界トップクラスの企業としてお客様第一主義を徹底し、安心・安全を提供すると共に地盤業界全体の透明性を高め、更なる発展のため健康経営の重要性を鑑み、重要な取り組みの一つとして健康経営に取り組んでいます。
今回は、健康経営推進担当者の青柳より弊社の健康経営の取り組みについてご紹介します。

健康経営を取り組むことになったきっかけ

私は財務法務部で健康経営推進を担当している青柳と申します。業界トップクラスの企業として成長し続けるこの会社を誇りに思い、日々業務に邁進しております。
また、風通しが良く、自然と言いたいことを言い易い風土・文化があります。
弊社は設立以来、「地盤業界の透明化」を掲げ革新的なサービスを展開してまいりました。
そのために、それまで不透明だった地盤調査の基準を作り、調査データ改ざん防止機能を開発し、また技術面では、より良い品質、効率、費用の削減などを追い求めて研究し、新工法の導入や開発、施工品質や効率の向上に取り組んでまいりました。経営理念にもある「新たな価値の創造」、「社会に貢献する企業」、「弊社に関わる全ての人たちの、精神的、物質的に豊かな生活」を実現し続けるためには社員の健康はとても重要であると感じ、それと同時に健康に対し特別にフォーカスした取り組みの必要性を感じました。そこで自ら外部のセミナーに足を運び健康経営を知りました。上長に健康経営の取り組みに関しプレゼンをしたところ、同意を得ることができ、2020年7月に健康企業宣言をし、2022年健康経営優良法人に認定されました。

健康経営の取り組みについて

第一ステップとして経営陣の健康経営に関する認知、健康づくりに取り組みました。経営陣2名を選出し4ヶ月間ダイエット家庭教師のご協力のもと、体重5%以上削減することを目標とし達成しました。経営陣には厳しく、「目標未達成だった場合にダイエット家庭教師の費用を自己負担にする」という条件を課したことも成功の一要因と考えております(笑)。
取り組みの中で一番効果を感じていることとして、食生活改善のためにアドバイザーの方による栄養バランスに関する指導をいただいたことです。まずは役員向けに実施し、自らの健康意識を改善していただくようにしました。
その他の取り組みとして全国各地にそれぞれに在籍している健康診断担当者に協力を仰ぎ、本社でも事務局を設立し、喫煙所分煙チェック、アルコール・体温計の設置をしました。
また、こちらは健康経営以前からの取り組みにはなりますが、各拠点の社員が集まり、健康意識改善、社員コミュニケーションの強化を目的とした運動会・マラソン大会を開催しています。
今後は研修・セミナーなども取り入れ、社員の健康経営の理解度をより深めることにより、健康に対しての行動変容を促してまいります。

今後の展望

継続的に健康経営優良法人認定を取得してまいります。
現在の課題として社員への健康経営の浸透・行動変容があります。
全国各地に拠点がある中、主たる業務内容が現場作業の社員も多く、伝達さえも難しい状況です。
今後は全社員に直接的な発信ができるよう、メールアドレスの付与やリモートも駆使したハイブリッド研修・セミナーの実施を考えております。健康経営の内容・重要性をより具体的に落とし込み、PDCAサイクルを回し、更なる「本質的な健康経営」を追求してまいります。

前代表からのメッセージ

私も含め健康に興味の無い方はいらっしゃらないと思います。ただ実行となると様々な誘惑や時間的制限から困難と感じる方も多いのではないでしょうか。我々サムシンググループでは創業精神として「全員が夢をもって、目を輝かせながら仕事に邁進する会社組織の形成」を掲げており、また従業員が安心して働ける環境を提供するのも経営者の責務と考えております。更に当社が属する業界は社会公共性が高く、サスティナブルな社会を構築するのに必要不可欠であると考えております。これらを実現するためにも経営者を含め従業員一人一人が健康である事と健康になるための支援を企業が行っていく事の重要性を認識して健康経営を引き続き推進していきたいと考えております。

東副社長(中央)と、

健康管理事務局の、
野原さん(左)、

中心になって健康経営に
取り組んでいる、
青柳さん(右)

1271

東京都
首都圏第六FA支社

Voice Report 140th

株式会社マイプレイス

取締役社長
三澤　章 氏

従業員みんなで笑顔に！

- 取締役社長　三澤　章 氏
- 本社所在地　東京都中央区日本橋小舟町8-1
- 主な事業内容　不動産取引業
- 従業員数　129名（男性：81名・女性：48名）
- 加入健保名　東京不動産業健康保険組合

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

私たちは中古マンションの再生・リノベーションにおいて、企画から設計・施工まで一貫してプロデュースを行う不動産会社です。従業員等の健康管理を経営的な視点で考える「健康経営優良法人」については、認定をとることによって、社員ひとりひとりが健康に対してより意識することが多くなり、企業の価値が上がる事にメリットを感じています。新型コロナウイルス感染症拡大による業務スタイルの変化、コロナ禍においてリモートワークや在宅勤務が広まっていることもあり、健康経営がより重要になっている理由のひとつだと思っています。当社では社内のクラブ活動を通して社員同士のコミュニケーションが活発になりました。今後とも社員が主体性を持って健康の保持・増進につながる取り組みを続けていくことを願っています。

できることから

当初はアクサ生命さんから健康経営優良法人の取得を得るためポイントや対処法をご指導して頂きました。定期健診100%受診と産業医の健診結果チェック、インフルエンザ予防接種の全額会社負担、ストレスチェック実施等、当たり前に行っていることが健康経営に繋がっていることを知り取り組んでまいりました。従業員が健康であればプラスのサイクルが生まれ、もっとできることはないかという興味本位から始まり、早3年目の認定更新となりました。些細な事でも健康経営の一旦を担っていると知った今では、社内に設置した自販機にカロリー表示をしたり、体重計・血圧計を置いたり、目立つ場所にBMIの表を掲示したりと、従業員へ自身の健康について関心をもってもらえるような工夫をしています。

メタボリックシンドローム削減

不動産業界にいる従業員は、メタボ率は高めで、定期健診にひっかかる従業員も多めです。弊社もメタボ率が高く、従業員の健康を案じていました。月に一度行う衛生委員会では定期健診結果が来るたびに議題に挙がり、産業医が「肥満がもたらす病気」をテーマにした講習を開催しましょうと提案してくれました。施工管理を行っているグループ会社のメタボ予備軍にも声をかけ、20名程参加してもらいました。意識改善が功を奏したようで、参加者の中には30kgのダイエットに成功した強者もいます。健康経営の取り組みによる相乗効果によって大きな成果を得られたと感じます。

身体を整えるだけでは健康経営とは言えない！心身共に健康に！

会議の回数や残業をする従業員が多い弊社でしたが、コロナ禍をきっかけにリモートワークを取り入れ、自然と会議や残業は減っていきました。現在ではリモートワークを行っている従業員は出勤者より少ないですが、会議の回数、残業時間は低いまま維持できています。会議が減れば、業務作業時間に充てることができますし、残業時間が減れば、スキルアップなどに時間を割くことができます。また長時間労働による体調不良になりますと仕事の生産性や効率が低下し、最悪の場合は業務を行うことすら不可能になってしまいます。従業員一人ひとりが健康で毎日を過ごすことが重要課題であることを実感いたしました。

これからも・・・

今後も無理せず、できることから取り組んでいきたいと思っております。今では健康志向の従業員も増え、部署問わず会社全体で健康経営について考えられるようになりました。特に、運動不足を気にしている従業員が多く、何かできないかと模索していたのですが、従業員の自主的な取り組みとして、ゴルフ部やサッカー部、野球部などの社内サークル活動もスタートしました。団体競技なので社内交流の良い機会にもなりますし、同業他社との試合を組むことにより、社内外の親交がより深まりそうです。運動不足解消、更には業績アップに繋がるよう大いに期待しています。

1272

東京都
首都圏第七FA支社

Voice Report 140th

セントワークス株式会社

代表取締役社長
大西徳雪 氏

従業員のライフワークバランスを重視した健康経営

- 代表取締役社長　大西徳雪 氏
- 本 社 所 在 地　東京都中央区八丁堀
- 主な事業内容　介護・看護事業サービス業
- 従　業　員　数　63名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 東京支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

医療、介護の現場に対しサポートシステムの提案や人材派遣サービスの提供を通し、職場環境の改善業務プログラムの円滑化、人材派遣、IT技術面でサポートしております。

健康経営を始めたきっかけ

従業員の長時間労働による疲弊、そこからモチベーションの低下がみられはじめ、2012年からこの課題を解決する施策を始めていました。従業員が生き生きと健康で活躍できる職場づくりが生産性の向上と優秀な人材の確保につながり、会社の業績向上につながると考えております。
健康経営に着手しようと考えたのはそれらの活動がどのような効果があったのか、定量的に確認するためにも健康経営を始めました。
最初の１年目は商工会議所のサポートを受けながら２年目以降は従業員から様々なコンテンツを用意し社内への周知をしております。

会社全体で取り組み、従業員自身が自分に合った方法で健康課題へ取り組む

毎年社内アンケートを従業員向けに実施し、それぞれが感じている課題を抽出しました。結果として平均睡眠時間の短さ、平均で６時間以下という点、もう一つ、治療と仕事の両立という声が上がり、健康経営の担当から社内に発信して各部門で課題に対する日常的な対策を考えてもらいました。会社全体で健康について考える機会を作り、社員それぞれが自分に合った対策を選んで実施できるように社内に情報共有できるコンテンツを作成していきました。

健康経営の取組の一部、ハタカク通信と
社内に用意しているリラックススペース

会社の性質を利用したコンテンツ

睡眠時間への課題に対して、従業員皆が日頃行っていること、例えば「寝る前にリラックスするために温かいミルクを飲む」等どうすれば睡眠の質が向上するのか考え、共有してもらい事例を社内報「ハタカク通信」にて共有、従業員自らが情報を受け取り何を実行するのか選ぶように促していきました。
治療と仕事の両立という課題に対してはLINEのサービスにある機能から「健康チャンネル」を作り、看護師である従業員が健康に関する悩みを気軽に共有できる仕組みを作り、従業員の声をよりタイムリーに集められるような体制を作りました。
それとは別に看護師に個別相談ができる窓口を作り社員の健康に関する意見や現状を把握できるような制度を継続しております。

対策の結果と今後の取組

2019年から健康経営を開始し、有給取得率が2020年から2021年にかけて64％から73％に向上、残業時間も2013年と2020年を比較して平均265.53時間から177.81時間まで減少致しました。
今年で健康経営に取り組み4年目、新しいチャレンジを今後も展開していけるように発案を続けていくことが課題です。
楽しそうと感じられるいい空気ができると行動変容が起こりやすいというのが取り組んできた経験でわかりました。
腰痛、頭痛、睡眠不足、慢性的な不調に対し、部署を超えたコミュニケーションから、自然にみんなが健康的な行動を自分で取り組もうと思える空気を作り健康的な行動が連鎖的に生まれるような会社を目指していきます。

1273
東京都
丸の内営業所

株式会社藤倉運輸

代表取締役社長
藤倉泰徳 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　藤倉泰徳 氏
- 本 社 所 在 地　東京都足立区神明南2-1-2
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送
- 従　業　員　数　26名(男性:21名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昭和44年12月の創業以来、一貫してお客様の大切なお荷物を安心・安全にお届けすることに注力してまいりました。「誠実と感謝の心で人づくり」を経営理念とし、何かをするとき、意思決定をするとき、お客様や社会に対して誠実であるか、感謝の心に基づいているか、これを全従業員の共通の価値基準とし、従業員1人1人が会社の主役となり業務に自律的に取り組み自己を啓発し成長し続けていきます。

健康経営に取り組んだきっかけ

もともと全日本トラック協会の「Gマーク」等に加え、採用環境が厳しい中で、若い方が安心して応募してきてくれるように、自動車運送事業者の「働きやすい職場認定制度」等にも取り組んでおりました。一昨年からコンサルを導入した際に、健康経営を紹介されたことをきっかけに、従業員の平均年齢が上がっていく中で、独身の方や高齢のドライバーがいることもあり、事故防止等の安全面からも、社員の健康に着目することの必要性を感じ、取り組みをスタートしました。当初は所属けんぽも不慣れな中で、東京都の銀の認定の取得に際しエビデンスの準備等にも苦労がありましたが、運送業界の実情をよく理解しているコンサル会社のサポートもあり、無理のないところからチャレンジすることで無事認定となりました。

健康経営取り組み例

健康診断はもともと100%の受診率でしたが、再検査に関しても、シフトの調整等を行い受診しやすい環境を整え、実際に再検査に行くまで声掛けを行いました。
また喫煙者の多い業界ではありますが、所属けんぽで実施している禁煙キャンペーン等を積極的に活用することで、禁煙のきっかけをつくり、今年は2名の社員がチャレンジしました。

全体会議での禁煙キャンペーンの紹介

参画型でみんなが楽しめる取り組みへの工夫

KAGOMEの提供しているベジチェックを導入したところ、食生活改善の結果がわかりやすく、簡単にすぐに数値に表れることで社員の興味をひき、グループ対抗で数値を競う形でインセンティブを設けたことで、さらに盛り上がり、ベジチェックの数値を意識することでグループ内の社員感のコミュニケーションの促進にもつながりました。
また併せて食に関する健康セミナーも実施したことで、食事の順番や内容等、食に関する意識がより高まり、相乗効果が図れています。健康診断の結果を気にする社員も増えてきており、現在では毎月のグループごとに実施している会議の中で、健康というキーワードがあがってくるようにもなっています。

今後の展望

今後も健康経営に取り組むことで、従業員が一日も長く健康・安全に過ごすことで会社と社員が共に成長し、お客様により高い価値の物流サービスをご提供し続けられるよう鋭意努力してまいります。

ベジチェックに取り組む風景

1274
東京都
むさし府中営業所

Voice Report 140th

永山運送株式会社

流通の使命に徹して、社会の信頼にこたえるために

■ 代表取締役社長　志村明彦 氏
■ 本 社 所 在 地　東京都多摩市乞田1254-1
■ 主 な 事 業 内 容　一般貨物自動車運送業
■ 従　業　員　数　255名(男性:220名・女性:35名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

会社紹介

わが社は、本社を中心に関東圏内、各事業所が地域に密着したトラック運送事業を展開しており、主にチルド食品を配送しております。1978年設立以来、「安全、確実、迅速」をモットーに、高品質サービスを提供し続けております。お客様のニーズに応えるべく、IT化にも積極的に取り組み、全従業員で価値観の変化やお客様の新たなニーズの高まりを的確に把握し、サービスに反映させるよう企業活動を展開しております。

健康経営に取り組むきっかけ

アクサ生命様の担当者から「健康経営」の話をいただき知りました。
わが社のこととして考えてみると、従業員の平均年齢も高く、慢性的な人手不足という経営課題があり、また、地域貢献にもなるのではないかと思い、「健康企業宣言」を行い、健康経営の取り組みを始めました。
最初の取り組みとしては、従業員の健康習慣を把握して課題を明確化するために、2019年、従業員を対象として健康習慣アンケートを実施しました。
2020年に、健康優良企業(銀の認定証)に認定された際に、健康経営優良法人にも挑戦してみようと思い取り組みを始めました。

健康経営への取り組み

まずは、従業員の健康診断受診率100%を目標にし、再検査の勧奨やフィードバックを行いました。
又、各所に血圧計や体組成計を設置し、常に従業員が出社時に自らの健康に気遣いできる環境づくりを行いました。
７つの健康習慣アンケートの結果、明確となった課題については、改善アドバイスをもらい、「食べ物」については、野菜の摂取を促すチラシを配布したり、「喫煙」することの脅威等周知する改善アクションを実施しています。
従業員の健康習慣の改善と取り組み結果の検証は、今後も継続して行ってまいります。

安心して長く働いて頂く為に

従業員の高齢化に伴い、健康を損なうリスクも同時に高くなっております。そのような状況下で健康経営の取り組みは、重要な経営課題であると認識しております。
従業員やそのご家族が安心して長く働いていただくためには、従業員の健康が重要であると思っております。
引き続き、健康経営に取り組み、従業員やそのご家族が安心して長く勤めることができる環境づくりをしてまいります。

今後の展望
最大の顧客サービスや地域社会の発展への奉仕

流通の使命に徹して、社会の信頼にこたえるためには、従業員の健康が第一です。健康経営を今後も継続的に取り組むことにより、全従業員が健康についての意識をより一層高められるようにし、その環境づくりについてはアクサ生命様のご協力のもと、アドバイスをいただきながら、継続して行ってまいります。
また、自社のみならず同業者や地域の近隣企業の方々にも健康経営に興味を持って頂けるよう、情報を発信してまいりたいと思います。また、今後も継続して、健康経営を積極的に進めてまいりたいと考えております。

わが社の品質方針
一. 輸送・配送の安全性の追求
一. 最大の顧客サービス
一. 人材の育成と社員の教育
一. 地域社会の発展への奉仕

1275

東京都
むさし府中営業所

三友通信株式会社

代表取締役
板谷　研 氏

「食生活改善とストレス軽減」を実現するために

- 代表取締役　板谷　研 氏
- 本社所在地　東京都武蔵野市関前
- 主な事業内容　大手メーカー放送設備製造部門の設計・検査(工場/現場)業務
- 従業員数　52名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

「食生活改善」をスタートとして、従業員の健康維持増進を図り、「健康経営」の第一歩を歩みはじめました。若い社員が、ずっと元気で働き続けることができる職場環境を常に考え、そして何よりも従業員の心と体の健康を支えるために、様々な施策に積極的に取り組んで参ります。

取り組みのきっかけ

「健康経営」という名称は以前から知っていたが、アクサ生命担当者である法月社員にご説明・ご提案いただき、健康経営の取り組みを始めました。

取り組みの目的　～食生活改善とストレス軽減～

社員の皆さんに、食生活に関してアンケートを実施したところ、朝食を食べなかったり、外食中心の社員の割合が非常に高かった。若く独身の社員が多いので、今は体力もあり、何とかなるが、年齢とともにその代償がいつかやってくるであろうと思い、まずは「食と健康の関連性」に意識を向けたいと思いました。
また、ストレスは社会的にも日常生活にも一切無くすことは出来ないが、会社でのストレスは少しでも軽減したい。
「食生活の改善と職場でのストレス軽減」に取り組むことで、会社全体を活性化することが目的であります。

具体的な取り組み

- 産業医を活用し、健康診断受診後のアフターケア体制の充実。
- レクレーション/懇親会の企画・開催。
  (ボーリング大会などを実施)
- 健康に関する情報提供(アクサ生命の協力)
- 従業員一人一人と面談を行い、健康状態や業務内容の感想及び業務体制等の意見を聞き、出来る限りの改善を実施。
- 疾病休暇している社員と定期的にコンタクトをとり、状況把握するとともに、快方に導く情報提供を実施。
- 朝食の摂取率のデータ集計(毎月)。

これまでの取り組みについての感想

健康経営優良法人認定取得のための行動だけではなく、どのようにしたら社員の皆さんの意識を向けられるかを常に考えることが重要であると思います。
ただし、取り組みを進める中で、若い社員の健康や食事に対する意識をどのように変容させるかが難しく、今後の課題であります。
そんななかではありますが、健康指導や健康情報の提供などを継続的に行うことで、少しずつ意識向上に向かっている様子は感じられつつあります。
今後もアクサ生命と一緒に進めてまいります。改善すべきことを常に注意深く観察し、新たな提案を積極的に受け入れ、社員の皆さんと一体となって取り組むことを意識することで更に良くなっていくと思っております。

1276

神奈川県
相模原営業所

海老名商工会議所

専務理事
伊藤龍紀 氏

「信頼され頼りにされる商工会議所」を目指して!!

- 会　　頭　三田佳美 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県海老名市めぐみ町6-2
- 主な事業内容　地域総合経済団体
- 従 業 員 数　15名(男性:8名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

本会は昭和36年に設立した海老名市商工会を発展的に解散し、地域唯一の総合経済団体として、商工業の発展と地域活性化を目指し平成12年４月に設立し、現在約1850社の企業の皆様にご加入いただいております。商工会議所は、全国会員総数125万事業所のネットワークにより、国・県・市等の関係諸機関と連携を図りながら、商工業者の声を政治や行政に反映させ、経営環境の改善を図る「政策要望活動」、地域の様々な方々と共に地域の活性化や地場産業の振興を図る「地域振興事業」、事業者の経営改善や成長に向けた取り組みを支援する「経営支援活動」等、日々様々な活動を行っております。

「未病改善」につながる健康経営

職員の健康について、早期発見・早期治療につながる健康診断を中心に取り組んできました。県が推奨する「未病改善」(心身をより健康な状態に近づけていくことが重要)という観点ではまだまだ職員個人任せであると感じ商工会議所として健康経営に取り組むこととしました。
少子高齢化が進み労働人口の減少が懸念されている中で健康経営は重要な取り組みとなります。しかし市内において健康経営という言葉を聞いたことがある経営者の皆様は増えてきましたが、実践している企業様は、まだまだ少ない状況です。
商工会議所事務局が健康経営優良法人認定を取得することが市内の企業様の参考になるのではと考え取り組みをスタートしました。

健康習慣アンケートの実施

健康経営を進めるためには職員の健康課題を把握することが必要です。連携協定を締結しているアクサ生命の健康経営アドバイザーの協力をもらい健康習慣アンケートを実施しました。
管理職でアンケート結果を共有したことで職員の健康について今まで以上に気配り目配りができるようになりました。
また、職員向けの健康セミナーを開催したことで、職員の健康意識が高まり、職場の健康課題も全員で共有することができました。
職員へのサポートとして、健康相談窓口の設置なども行いました。

生活習慣病健診の実施

海老名商工会議所では、中小商工業者の皆様方の健康管理を進めるため、毎年2月に3日間にわたり生活習慣病検診を本会館の会議室で実施しています。
職員の健康診断についてもこの機会に全員が受診をしています。
検診結果で指摘を受けた職員には、2次健診を必ず受診するように指導しています。

健康宣言を受付に掲示

海老名商工会議所会館

フレックスタイムの導入

商工会議所では、会員企業様向けに休日のイベントや夜間の会議等が多数あります。
振替休日やフレックスタイムの導入を実施し職員の長時間労働対策をしっかりと実施しています。有給休暇の取得についても会員サービスの低下に繋がらないよう各課で打ち合わせを行い年間を通して計画的な取得ができるようにしています。

健康経営の実践に向けて支援

商工会議所事務局での実践と並行して、三役会や常議員会の場で健康経営についての情報提供をさせていただきました。
実際に取り組みを開始し、健康経営は従業員の健康に対する気づきや意識付けに役立つ取り組みであり、企業の生産性・イメージアップにも繋がると実感しています。
多くの企業様に健康経営の実践をいただけるよう弊所も支援をしていきたいと考えています。

1277

神奈川県
相模原営業所

富士冷熱工業株式会社

代表取締役
神田恭宏 氏

誠心誠意　まごころをもって物事に接します

- 代表取締役　神田恭宏 氏
- 本社所在地　神奈川県相模原市中央区
- 主な事業内容　冷暖房設備工事業
- 従業員数　9名(男性:7名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は、空調・換気・給排水衛生工事を主体とした工事の設計施工を行っております。
工場設備、クリーンルーム設備、事務所ビル、遊技場の設備を手がけており、老朽化した設備を省エネ、環境にやさしい設備にリニューアルし、地域発展のお役にたちたいと願っております。
本年で創業45周年を迎えます。社員一同健康で質の高い仕事にチャレンジしてまいります。

健康の大切さを感じた瞬間

仕事柄、安全衛生には以前から取り組んできました。数年前に私自身が体調を崩した経験があり、その時に健康の大切さを改めて実感しました。事業を継続するためには、社長・従業員の健康が基本であり、健康に配慮した経営が必要であると考えました。
「健康経営」に出会い自分の考え方と一致すると感じ取り組みをスタートしました。

人間ドックで早期発見・早期治療

通常の健康診断以外に人間ドック(1泊)を希望する社員を全額会社負担(年2名)で受診することができるようにしました。万が一、病気に罹患しても早期発見・早期治療ができれば早期の職場復帰につながります。
メンタル面の対策として今年からストレスチェックを導入しました。
また、掲示板をリニューアルし健康経営コーナーとしてストレッチや健康情報を掲示しています。
このような取り組みにより会社全体で健康に関する意識が高まることを期待しています。
福利厚生の一環で仕事と治療の両立支援のため従業員の入院・治療を支援する生命保険も活用しています。

(左)健康セミナー実施風景

(下)研修旅行風景

(左)220CUP(富士冷ゴルフ大会)

健康づくりプロジェクト

健康づくりプロジェクトとして社員研修旅行や誕生日会を開催しています。コロナ禍で行動制限が続いたため、気持ちが沈みがちな時期が続きました。創業45周年の今年は、心と体の健康づくりとして宮古島に社員研修旅行に行ってきました。
自然の中で過ごし五感を呼び起こし身心のバランスを整えることができました。また、宮古島のお取引先の現場見学もすることができました。
研修旅行や誕生日会は、会社が企画をしますが、若手社員を幹事に指名し運営を任せています。
若手社員がベテラン社員に相談し準備することで年齢のギャップを埋めるコミュニケーションの向上や仕事ではわからない個性も発揮され、社員の成長にもつながると感じています。

ビジネスパートナーも巻き込んだ健康づくり

以前から年2回220CUP(富士冷ゴルフ大会)を開催しお取引先・協力会社・社員とゴルフをしていました。
健康経営をスタートしてからは、協力会社様も参加いただき健康セミナーを開催しています。
社内だけでなくパートナー企業様にも健康づくりの輪が広がればと考えています。

「健康経営」は、会社の事業継続の土台

事業継続が重要です。
会社の経営をいつ・どこでバトンタッチするのか、それまでは社長自身が健康で仕事に取り組まなければなりません。
私だけでなく従業員の皆さんも巻き込んで健康づくりに取り組む「健康経営」は会社の事業継続の土台であると感じています。

1278

神奈川県
湘南営業所

Voice Report 140th

三喜工業株式会社

代表取締役
齋藤耕一 氏

「健康第一」で迎える60周年

- 代表取締役　齋藤耕一 氏
- 本社所在地　神奈川県藤沢市
- 主な事業内容　鉄道車両部分品製造
- 従業員数　48名(男性:36名・女性:12名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

創業当時から鉄道車両関連の仕事をしてきました。働き方改革が注目される昨今ですが、弊社はお取引先からの要請もあり時代に先駆けて従業員が働きやすい環境整備に取り組んできました。
「健康経営」に出会い、弊社の取り組みにマッチしていると感じスタートしました。来年は創業60年になります。これからも、健康で元気のある社員を増やしお客様に質の高い仕事を提供してまいります。

「健康第一」が社訓

創業当時から旧国鉄に関する仕事をしていた関係で、従業員の労務管理に関しての取り組みは進んでいました。
現在でも、弊社は社訓のなかで「健康第一」を掲げ、健康が仕事の基本であると考え業務に取り組んできました。
健康経営の話を聞き、弊社の考えと一致する取り組みであると感じました。また、優良法人認定申請に関しても現状で適合する部分が多いと思いチャレンジすることとしました。

国鉄体操を毎朝実践

毎朝、就業時間内で、約8分間の国鉄体操を継続して実施しています。真剣に取り組めば、必ず健康増進に繋がると思います。社長が率先し全社員で取り組んできました。
また、健康診断は毎年5～6月頃に、会社まで検診車に来てもらい全社員で受診をするようにしています。
このような基本的な取り組みを継続して行うことが健康維持・増進には大切だと考えています。

毎朝の体操風景

2022年8月10日健康セミナー実施

ワークライフバランスは採用面でも効果あり

数年前より、タッチ式のタイムカードを導入しました。
アナログ式のタイムカードに比べ勤怠管理の事務処理が楽になるだけでなく、クラウド型の特徴を生かしリアルタイムで勤務状況が集計・共有され勤怠の見える化が可能になりました。
長時間労働対策としても効果があります。
以前は、リアルタイムで勤務時間が把握できず、月末に締めてからでないと負荷のかかっている社員が判明しない状況でした。
しかし、このシステム導入後は、残業が一定時間を超えると自動的に本人にメールが発信されます。また、担当部署にもデータが共有され適正勤務時間に向けた声掛けが可能となりました。
また、休暇の取得についても年初に年間カレンダーを作り計画的に社員が取得をできるようにしています。
若い世代は、収入も大切ですが、ワークライフバランスに対する関心が高く、休暇が取れる会社であるか否かを会社選びのポイントと考えている方が多いようです。
このような働き方の仕組みを整えることは、採用面でも効果があります。今後も健康経営の取り組みで魅力ある会社を作り、優秀な人材を採用したいと考えています。

社長自らが健康情報を発信

社訓の「健康第一」を社長自らが発信することが大切です。
朝礼の際には、健康に関する話を積極的に話しています。
また、体調の悪い社員には、きちんと休暇を取り体調を戻してから出社するように指導しています。社員には健康で長く勤務してほしいと考えています。
コロナ禍の影響で社員のメンタル面が心配であり、ストレスチェックの実施も検討しようと考えています。

亀井工業ホールディングス株式会社

代表取締役社長
亀井信幸 氏

「まち・人・未来を健やかに」湘南から新しいライフスタイルを発信

- 代表取締役社長　亀井信幸 氏
- 本 社 所 在 地　神奈川県茅ケ崎市南湖
- 主な事業内容　複合サービス事業
- 従　業　員　数　225名(男性:61名・女性:164名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「まち・人・未来を健やかに」というビジョン、そしてローカルファーストの価値観を基軸に、創業以来貫いてきた地域に根差す姿勢で社会に貢献していきたいと思います。そのために、各社、各事業部の全従業員が持ち合わせるスキルを十分に発揮できる環境を整えることが大切です。その歩みの先に、真に心豊かなライフスタイルがあり、そこから生まれる活力が地域を、日本を、世界をも満たしていくことを信じています。

グループ全社で取り組む健康経営

今回、健康経営をスタートするにあたり、グループ各社で保健委員の任命を行いました。グループ各社役員と保健委員が集まり、健康経営に取り組む意味や従業員向けに実施したアンケート結果から各社の健康課題を共有しました。
また、健康経営を進めるためにグループ全社が健康経営優良法人認定を目指すことも宣言しました。
その後、保健委員メンバーが何度か集まり具体的な取り組みについて検討いただきました。
健康経営は経営者だけで取り組むのではなく従業員の皆さんが積極的に参画することが必要です。
保健委員の皆さんの努力もあり今回グループ全6社が2022年健康経営優良法人認定を取得することができました。

グループ内ネットワークの利用で健康情報発信

社内ネットワーク(グループ全員が利用できるWeb掲示板)にホールディングス総務部が「ちょっと役立つ健康情報」を毎月アップしています。健康に良い食事の仕方、たばこの健康に与える影響、歩くことの重要性等毎月テーマを決めた内容を掲載しています。
継続した取り組みでグループ全体の健康意識を高めることを目的としています。

事業6つの柱ポスター

トレーニングジム利用風景

スポーツ健康事業の運営を通じて社員も健康に

スポーツ健康事業を営んでいるため社員も福利厚生の一環で施設利用をすることができます。湘南ベルマーレコンディショニングセンターは、Jリーグ選手などトップアスリートをサポートしてきた施設です。トレーニングジムもあり月1回は無料にて利用可能としています。
また、ダンスやヨガのスタジオ運営をしている施設もありこちらも社員が利用する事ができます。
また、飲食事業部が運営する運動施設に隣接したレストランでは管理栄養士が考えた体に優しいメニューを提供しています。

長引くコロナ禍でのメンタル対策

コロナ禍も長引きメンタル面の不調も心配です。温浴事業部が運営する天然温泉「湯快爽快」を社内割引料金で利用ができ温泉やサウナで身体や心を整えるなど社内でも人気です。
50名以上の事業所では以前からストレスチェックを実施し産業医とも契約をしてきました。また、昨年度は50名未満の事業所でのストレスチェックも実施しました。
また、山中湖に会社の別荘があり無料で開放をしています。若手社員に声をかけ仕事を離れた環境で利用し、ストレス発散やコミュニケーションのアップにもつながっています。

社員の健康と笑顔で実現するお客様の感動

保健委員の方々から「健康経営」を始めると言われ最初はよく意味が分からなかったが、理解するにつれ、健康診断もただ義務だから受診するではなく、健康の重要性を理解し受診勧奨に取り組んだことや、グループ内での取り組み事例を共有できたことが良かったとの声も出ました。
健康経営は、継続的な取り組みとなります。今後もこの取り組みを通じて社員の健康と笑顔が継続できれば、弊社のサービスを利用されるお客様や地域にも更に笑顔や感動が広がると考えています。

1280

山梨県
甲府営業所

Voice Report 140th

共信冷熱株式会社

代表取締役社長
岸本泰典 氏

全従業員の物心両面の幸福を追求するために！

- 代表取締役社長　岸本泰典 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市大里町1094
- 主な事業内容　冷凍設備の施工・メンテナンス他
- 従　業　員　数　66名(男性:55名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たち共信冷熱は、食品を冷却保存するための冷凍設備の施工・メンテナンス会社として、昭和59年の創業以来、山梨県に本社を置いて活動してきました。以来、30年以上、お客様の声に熱心に耳を傾け、その満足度を第一に考えた経営を貫き、地道な努力で堅実に経営を行ってまいりました。現在、総合設備業として、山梨県と西東京を中心にサービスを展開しております。

健康経営に取り組むきっかけ

私たちは創業より24時間365日いつでも、お客様のご要望に対応できる体制を整えております。製品をただ販売するだけでなく、ご提案から設計、保守、メンテナンスまで一貫して責任を持つ「お客様第一主義」にこだわり続けることが私たちの原点です。ある時、他の企業経営者から健康経営に取り組み始めたという話を聞きました。健康経営は「全従業員の物心両面の幸福を追求する」という企業理念とも一致しており、会社を挙げて取り組んでいくことにしました。

人としての基本を大切に

当社では、社員に「気づき」の大切さを学んでほしいとの想いから、環境整備の徹底(規律、挨拶、清掃、整理、整頓)に取り組んでいます。挨拶、清掃といった人間としての基本ができてこそ、お客様の要望や要求に「気づく」力を身につけることができると考えるからです。また、定期的に技術勉強会を開き、熟練した技術者の経験や知識を若手に継承していくようにしています。月1回のコンパ、社内交流会では、社長も交え全員で食事をしたり、お酒を飲んで近況を語り合ったりと、お互いを理解し絆を深め合う時間を設けています。「人を教えることで自分が成長できる」をモットーに、お互いに助け合い、教え合い、協力し合う社風を築き上げています。

本社外観

経営計画発表会

健康セミナーの様子

自販機にはカロリーを表示

木鶏会について

当社は昨年から「木鶏会」を始めました。人間力をテーマにした「致知」を読み、集まって感想を述べ合うのです。幹部社員は毎月、他の社員は2～3ヵ月に1回か半年に1回開催しています。4～5人ずつのグループに分かれ、事前に用意してきた感想を話します。発表者に対し聞き手は褒めます。「美点凝視」です。日頃叱られている人でもこの時は褒めます。「この人はこんなふうに思っているんだ」とお互いへの理解が深まり、いつも明るくとてもいい雰囲気で研修を終えています。

幹部は禁煙が条件

当社は数年前から、喫煙していない社員には「禁煙手当」を賞与に上乗せして支給しています。喫煙者が禁煙する時は誓約書を提出してもらっています。もし禁煙が続かず再び喫煙してしまった場合は、手当の3倍の罰金を徴収するルールとしています。さらには課長以上の幹部になるには禁煙を条件としています。健康習慣アンケートによると当社の喫煙率は12%と全国平均より低いものの、これからもタバコの健康被害などについて啓蒙していきたいと考えております。

今後に向けて

当社の敷地内に設置している自販機には飲み物のカロリー表を掲示しています(左の写真)。またトクホを追加しました。健康習慣アンケートでは日常の飲み物ランキングの上位は無糖コーヒー、お茶、水等です。購入時にこの表を見て自然に「カロリーの低いものにしておこう」という気持ちになりますね。今後も健康セミナーや毎月の健康情報の提供などを継続し、企業理念である全従業員の物心両面の幸福を追求してまいります。

1281

山梨県
甲府営業所

山梨交通株式会社

代表取締役社長
雨宮正英 氏

従業員と会社の将来のため、健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　雨宮正英 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲府市飯田3-2-34
- 主な事業内容　運輸事業、観光関連事業、旅行業他
- 従　業　員　数　628名（男性：517名・女性：111名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

私たち山梨交通は運輸事業を中心に「ふるさと山梨の足」としての役割を果たしております。また、観光関連事業・自動車教習業・不動産賃貸業・指定管理事業等経営の多角化にも取り組んでおります。これからも時代のニーズを的確に捉えながら、地域への貢献とさらなる利便性向上への努力を絶やすことなく、地域の皆様と歩み続けてまいります。

従業員が心身ともに健康となるように

私たちの仕事は何よりもお客さまの安全を最優先に考えることが求められています。そのためには働いている従業員たちが心も身体も健康であることが大切です。もとより健康管理には充分に配慮してきていましたが、従業員たちと会社の将来に向けて、より一層の健康増進策の実践が必要であると判断し、健康経営への取り組みを開始しました。2021年度には山梨県の「やまなし健康経営優良企業」にも認定されております。

受診勧奨等の健康増進策

定期健診後の再検査・精密検査等の受診勧奨は各部署の上長から積極的な受診を呼び掛けるようにしています。保健師さんによる特定保健指導については、現在は希望者に対し個別対応していますが、今後は会社で指導日を設定して参加率の向上を図っていくこと等を検討しています。

中央道双葉S・Aのレストラン

南アルプス市営山荘の運営管理も

女性従業員対象のセミナー

社長と女性従業員との懇談会

女性の活躍する会社を目指して

当社では約110名の女性従業員が働いてくれていて、私たちは彼女らが活き活きと活躍できる会社を目指しています。先日はANA（全日空）の元CAを講師に招き、各部門の女性従業員を対象に研修を実施し、おもてなしの心や笑顔の大切さ、チームビルディングの考え方等を学びました。また定期健診では希望する女性従業員へのマンモグラフィーによる乳がん健診を会社負担でおこない、ほぼ全ての女性従業員が受診しました。

健康への意識づけ

従業員たちは会社が健康増進策に取り組み始めていることを認識しつつあります。健康への意識づけのためには継続的な健康情報の発信が重要と考え、毎月生活習慣のワンポイントアドバイスを配信しています。最近ではこれを持ち帰って家族にも見せている従業員が出てくる等、徐々にではありますが健康意識は高まりつつあります。

これからのこと

言うまでもなく、健康経営は優良法人認定の取得そのものが目的ではありません。さまざまな健康増進策を通して、従業員には仕事への誇りや働き甲斐などのワークエンゲージメントを高めてもらい、それぞれの夢や目標を実現してほしいと願っています。それが当社が運輸事業を中心に「ふるさと山梨の足」としての役割を果たし、永続的に発展することにつながっていくものと考えております。

1282

山梨県
甲府営業所

有限会社田辺運輸

代表取締役社長
田辺重洋 氏

互いに共存し助け合い、成長できる社内環境を目指して

- 代表取締役社長　田辺重洋 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県甲州市塩山下於曽873-1
- 主な事業内容　一般貨物運送事業
- 従　業　員　数　31名(男性:29名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たち田辺運輸は昭和42年の創業以来、安心・安全な運送を心掛け、地域の皆様の物流を支えるべく、日々業務を行ってきました。現在はドライバー一人ひとりにとって働きやすい運送会社を目指し、体制を整えています。ベテランと若手が互いに共存し助け合いながら成長できる社内環境が私の理想です。現場の声に耳を傾け、上記の理想を実現できるよう、これからも精進して参ります。

地域の流通を支えて

私たちは山梨県内を基盤とするスーパーマーケットへの貨物運送業務を専門としています。一般・冷蔵両方の配送に対応しており、食料品から雑貨類、野菜果物など、お客様に安心安全な商品をご購入してもらえるよう運送することが私たちの仕事です。また大手宅配会社様の集配業務も承っています。

健康経営に取り組むきっかけ

当社は従業員たちの高齢化が進みつつあり、定期健診で高血圧やメタボなどを指摘される人が増えてきていました。運輸業の当社は早朝から夜間まで労働時間が長く、どうしても時間的、体力的に無理をしてしまう従業員も存在します。会社として何らかの手を打たねばと考えていたところにアクサ生命の担当者から健康経営の話を聞きました。「会社が従業員の健康を守る」という考え方に共感し、皆の協力を得て取り組んでいくことにしました。

会社外観

当社のトラック

県からも健康経営優良法人に認定

健康セミナーの様子

健康習慣アンケートで課題を把握

健康習慣アンケートで生活習慣の課題を確認しました。その結果、運動不足であること、過半数が睡眠不足を感じていること、食べ物・飲み物について健康作りと結びつけて行動している人が少ないこと等いくつかの課題を認識することができました。
これらのデータを基に従業員を対象に健康セミナーを実施しました。アンケートの集計結果の共有とともに、お金についてのストレス軽減のためマネーセミナーを開催し、皆熱心に受講していました。

受診勧奨など

また定期健診後の再検査や精密検査は、以前は本人に任せていましたが、現在は早めの受診を勧め、受診したり通院を開始した場合には報告を義務づけています。
彼らの健康意識を高めていくためには継続的な情報提供が重要なので、給与袋に明細と一緒に生活習慣のワンポイントアドバイスを入れて毎月手渡しています。皆次第にきちんと目を通すようになり、中には家族に見せて共有する人もいます。大事なことだと感じておりますので、これからも継続していきます。

今後に向けて

物流業界は猶予されていた時間外労働の上限規制適用が2024年4月1日から開始されることになっていて、現在社会保険労務士と対応について相談中です。有給休暇の平均取得日数は現在8日ですが、今後は上限の20日間取得が当たり前になるようにしていきます。特定保健指導などにも積極的に関与して実施率向上に努め、従業員にはさまざまな健康情報を的確に提供し、健康への意識をさらに高めていきたいと考えています。

1283

山梨県
甲府営業所

株式会社甲府情報システム

代表取締役社長
宮川淳也 氏

「お客様、社員第一主義」の経営理念実現に向けて

- 代表取締役社長　宮川淳也 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県中央市流通団地2-5-1
- 主な事業内容　システム開発、同コンサルティング他
- 従　業　員　数　40名(男性:31名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは昭和41年の創業以来、ICTに関わる分野で常に新しいテクノロジーを取り入れ、「お客様、社員第一主義」の経営理念のもと、「民需システム部」「公共システム部(地方自治体、文教)」「ネットワーク」の４つの分野を柱として、企画・販売構築・運用・保守までのICTを中心とした製品・サービスをワンストップでご提供させて頂いております。

きっかけは・・・・・・

最初に健康経営という言葉を聞いた時は、会社の健全な経営を目指すことかなと考えました。しかしそうではなく、会社が従業員たちの健康を守りこれを社内外に発信していくこと、目的は業績の向上だと知りました。従業員たちの健康診断の結果等から平素より彼らの健康を守ることの重要性を感じていたこと、将来的にリクルートや人材の確保にも効果的だと考え、健康経営に取り組んでみることにしました。

特定保健指導は全対象者が受講

定期健診は従業員の全員が受診しています。健診では希望する女性のがん検診、脳ドックなどを会社負担でおこないます。当社では特定保健指導を特に丁寧におこなっています。従業員たちの意思に任せるのではなく、保健師に来てもらう日程を会社として決めて時間割で指導の場を設定しています。こうすることで彼らも重要性を自覚してくれていて、今では対象者全員が保健指導を受けています。

会社外観

健康セミナーの様子

喫煙時間を制限中です

空気清浄機を設置しました

有給休暇取得、受動喫煙対策

有給休暇は法定の5日間以上をスムーズに取得できるよう、前倒しで計画的に休むこと推奨しています。取得状況は毎月リスト化して部門長が確認しています。
また、受動喫煙対策については喫煙できる時間帯を10時～11時30分、15時～16時30分と決め、これ以外は禁煙としています。社長自身、以前は喫煙していましたが、5年ほど前に禁煙外来に通って禁煙しました。喫煙者には禁煙外来に通う場合には費用を補助することを伝えています。

コミュニケーションでの工夫

以前におこなっていたバーベキューやボウリング大会は新型コロナウイルス感染症のためにできなくなりました。代わりに従業員同士のコミュニケーションを図る方法はないかと考え、「ランチミーティング」を始めました。コロナ感染対策をしながら、部門ごとに10人前後でお弁当を囲みながらミーティング、ディスカッションをおこなっています。費用は会社で負担しています。それぞれの考え方がわかるきっかけにもなり、コミュニケーションを図る場となっています。

今後に向けて

上記のような健康増進策を継続し、従業員たちの健康面、経済面の満足度を上げてまいります。今後、「お客様、社員第一主義」の経営理念の実現に向け、彼らが自分たちの仕事に誇りや働き甲斐を感じ、いきいきと、そして少しでも長く働けるような環境づくりを心掛けてまいります。

1284

山梨県
甲府営業所

甲府商工会議所

会頭
進藤　中 氏

地域をリードする総合経済団体として健康経営に取り組む！

- 会　　頭　進藤　中 氏
- 所　在　地　山梨県甲府市相生2-2-17
- 主な事業内容　会員企業への経営指導他
- 従 業 員 数　25名(男性:17名・女性:8名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

甲府商工会議所は明治12(1879)年に山梨商法会議所として誕生し、会議所法に基づく甲府商工会議所は明治41(1908)年に創立されました。現在は地域の4000を超える会員にご協力いただきながら、甲府地域をリードする総合経済団体として、「共生と創出」をスローガンに、そして新型コロナ感染症の状況を見据えて、「地域経済の活性化」と「中小・小規模企業事業者の活力強化」に向け、様々な事業を展開しています。

健康経営導入のきっかけ

健康経営は会員事業所が永続的に発展、成長していくには必要不可欠な取り組みです。この健康経営を着実に広めていくにはまず商工会議所の事務局が率先して実践すべきと考え、導入し始めました。協会けんぽ山梨支部に健康企業宣言をおこない、山梨県独自の「やまなし健康経営優良企業認定制度」にも申請し、2021年に認定されております。

受診勧奨・特定保健指導

定期健康診断の結果、「要治療」や「要精密検査」となった職員には、協会けんぽ山梨支部作成の個別通知のフォームを一部修正し、受診した際にその旨を記入し総務部に提出するようにしました。一定期間内に提出していない職員に対しては提出まで後追いをおこなっています。保健師による特定保健指導は毎年、会館の会議室で就業時間中に実施し、該当した職員はほぼ全員が受講しています。

市のエコ通勤デー事業に協力

健康経営の活動を始める前の令和2年に、甲府市の「甲府エコ通勤デー参加協力事業所」となりました。週1回、年48回以上通勤手段を自家用車から自転車や徒歩に変えた職員を表彰するという商工会議所独自の基準を決めました。ある幹部職員は週1回は自転車通勤に変更し、時折徒歩にする等、行動変容が見られています。およそ3割弱の職員が表彰該当し、記念品を受け取りました。

高まる健康意識

職員の健康意識と行動は年に1度健康習慣アンケートを実施し、課題を確認しています。直近のアンケートでは睡眠不足を感じている職員が多かったことから、“睡眠”をテーマに健康セミナーを実施し、質のいい睡眠のポイント等を共有しました。また、平日の夜や休日にジョギングする社員が増えて来る等、“運動”への意識も次第に高まっています。

甲府商工会議所会館

盛況！甲府えびす講祭り

職員の健康セミナーの様子

いつもこまめに
検温＆消毒

これからのこと

健康経営は今、会員に着実に浸透しつつあります。国の「健康経営優良法人」や県の「やまなし健康経営優良企業」に認定される企業も年々増えてきました。今後は各部会を通じて説明の場を設ける等、会員全体に健康経営を広めてまいります。そのためにもまず事務局が率先して健康増進策を推進し、職員1人ひとりの夢・目標・生き甲斐の実現に向けてサポートしていきたいと考えています。

1285

山梨県
甲府営業所

Voice Report 140th

一般社団法人山梨県トラック協会

会長
坂本幸晴 氏

トラック運送事業の適正な運営、健全な発展のために

- 会　　長　坂本幸晴 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県笛吹市石和町唐柏1000-7
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業者団体
- 従 業 員 数　14名(男性:12名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

一般社団法人山梨県トラック協会は①トラック運送事業の適正な運営、健全な発展の促進　②公共の福祉に寄与するための事業の実施　③事業者の社会的・経済的地位向上と会員間の連携・協調の緊密化　という目的に沿って、法規・税制など事業者の必要とする全分野を対象に活動を展開し、よりよい運送サービスの提供に努めています。

健康経営のきっかけ

健康経営の取り組みは「うちの会社で健康経営を始めた。協会としても大事なことだ。やってみよう」という会長からのお話がきっかけでした。他県で既に協会として優良認定を受けている事例が業界誌に紹介されていました。アクサ生命さんから健康経営の意義や進め方についての説明を受け、正副会長会議で事務局としての導入を検討したうえで、会員企業の為にも取り組んでみようということになりました。

年間の推進計画を立てています

職員を対象に健康習慣アンケートを実施して、喫煙率の高さなどの生活習慣上の課題が明確になりました。そこで課題＆目標は何か、どんなスケジュールで何をするのかを記載した年間の推進計画表を作成し、掲示・回覧しています。職員向けには定期的に健康セミナーを実施し、毎月健康関連情報を配信して、生活習慣への意識づけを図るようにしています。

事務所外観

年間の推進計画書

毎年標語を募っています

階段にはこんな表示を・・・

階段には消費カロリーを表示

何をするか、何ができるのかを検討しました。実践していることの１つは、会館の階段の消費カロリーの表示です。理事会や各種講習会を最上階(4F)で実施していますが、役職員には階段利用を推奨しています。最上階に設置している飲料の自販機は健康志向のメニューを増やしました。さらに飲料業者が提供する歩くだけでスタンプが貯まるアプリなどを利用しています。講習会に来られる会員企業の従業員さん達にも階段利用のススメは広がっています。

職員の健康意識に変化が・・・

再検査・精密検査への受診勧奨も強化しています。以前は対象者に通知を渡すだけでしたが、今では受診するまで後追いしています。健康経営の導入当初は「面倒だ」「どうせ続かない」等と否定的な反応が見受けられていました。しかし時間の経過とともに変化しつつあります。職員の年齢も徐々に高くなってきたこともあり、健康経営に取り組んでいきたいとの意識を持った職員が増えてきています。

今後に向けて

心と身体の健康だけでなく、「社会的な健康」を充実させることで生産性が向上していくと理解できました。今後はコロナ感染症対策をしつつ、職場のコミュニケーション向上のためボウリング大会等も企画していきます。会員企業の中にはトラックへの手積み、手下ろし等で従業員が腰痛になってしまうケースも多くあります。山梨県内の事業者が健康経営を導入し、安心して働ける従業員さんが増え、生産性の向上につながっていくよう、継続して取り組んでまいります。

1286

山梨県
甲府営業所

Voice Report 140th

株式会社ニステック

代表取締役
渡邊順一 氏

独自のシステムであらゆるニーズに応え続ける存在に

- 代表取締役　渡邊順一 氏
- 本社所在地　山梨県甲府市落合町822
- 主な事業内容　表面加工処理業
- 従業員数　24名(男性:16名・女性:8名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちは「①技術力で業界のトップになる　②常に未来市場への足がかりを持つ　③化学工場としてのキーテクノロジーを広げる　④地球環境に配慮した生産活動を行う」を企業理念としています。独自の技術で開発した表面処理技術は電子部品、半導体製造装置等に幅広く活用され、高い評価を受けております。

健康経営のきっかけ

健康経営に取り組む前、もともと従業員の定着率は高かったのですが、例えば定期健康診断の後の再検査・精密検査は該当者に個別に通知を渡すのみで、後追い等は出来ておりませんでした。そんな時にアクサ生命の担当者から健康経営のことを初めて聞きました。会社として従業員の健康増進策に取り組むことは、彼らのためにも、また会社が発展し続けていくためにも必要だと感じ、会社として取り組んでいくこととなりました。

人間ドック受診へ

健康経営を開始して以降は、定期健康診断の後の精密検査と再検査は、該当者に通知し、総務の管理職が受診するまで個別に声掛けする等、丁寧に後追いしています。さらに現在では35歳以上を対象に人間ドックの受診を開始しています。地元の医療機関に1日につき数名ずつ予約し、勤務時間中に受診できるようにしています。

会社外観

自販機は健康指向で

健康関連の掲示物

銅の電解研磨処理

禁煙対策・自販機・健康情報の配信等

以前は喫煙者が4割ほどいましたが、現在は減ってきています。喫煙できるのは屋外の指定場所で、午前は休憩の5分間、昼食時の40分間、午後の休憩の10分間だけとしています。飲み物についても健康に気遣ってほしいので、敷地内の自販機のメニューを一部健康指向のものに変更しました。また、生活習慣のワンポイントアドバイスを月に1度配布し、随時健康関連情報を掲示する等、健康意識を高めるように努めています。

健康習慣アンケートとフィードバックセミナー

従業員の生活習慣上の課題を把握するため、年に1回、健康習慣アンケートを実施しています。そして集計結果と課題となっている点を共有し、健康意識を高める目的で、全員参加の健康セミナーを開催しています。こうした会社からのさまざまな働きかけで、自身の健康や生活習慣への関心は少しずつ高まってきていると感じておりますので、この健康習慣アンケートと健康セミナーは今後も継続していく予定です。続けることが大切だと考えております。

今後に向けて

従業員たちの健康への関心をいかに高めていくか、そのための工夫が大切です。コロナ禍が解消しつつある今、以前に実施していたボウリング大会などのコミュニケーション促進の機会も作っていけるようにしたいと考えています。これからも従業員たちが仕事に誇りや働き甲斐を感じながら、健康で長く勤めていける環境を作ってまいります。

1287

山梨県
富士吉田営業所

Voice Report 140th

株式会社山田硝子工業

代表取締役社長
山田純也 氏

お客様の暮らしに寄り添い続けていくため健康経営に取り組む！

- 代表取締役社長　山田純也 氏
- 本社所在地　山梨県富士吉田市上吉田東6-8-31
- 主な事業内容　ガラス工事業・建具工事業・自動車ガラス工事業・コインランドリー事業
- 従業員数　19名（男性：13名・女性：6名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は建築部と自動車部の二つの部門で編成されております。建築部では、サッシ・アルミ建材を中心に建具や水廻り製品、エクステリアなどの住宅建材を取扱い、自動車部では、フロントガラスをはじめとする車に使用されている全てのガラスを販売から施工まで手掛けております。お客様の暮らしに寄り添い、ご要望に誠実に耳を傾け、ご希望に応えられるよう社員一同精一杯取り組んでおります。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営に取り組み始めたきっかけは、取引先である建設会社の社長から「会社の将来のためになる話だから聞いてみたら」と紹介されたことでした。当社の人材の定着率はいいほうだと思いますが、以前からの課題として年間を通して残業が多く、人手不足に悩んでいました。健康経営の取り組み項目には以前から関心を持っていたコミュニケーション向上なども含まれており、会社を挙げて実践していくことにしました。

コミュニケーションを大切に

私は常日頃から従業員たちに積極的に声掛けをしています。仕事に関することは朝の打ち合わせで指示していますので、普段は家族や飼っているペット、趣味の話題等を気さくに話し掛けています。私からの声掛けだけでなく、従業員同士においても、とてもいい雰囲気の中で仕事ができています。総務担当から再検査の該当者への声掛けや受診したかどうかの後追いもおこなっていますが、スムーズに情報連携が図れています。

体操は時折ストレッチに

従業員たちは朝、会社に出社し始業時間になると体操をしてからお客様の元へ向かいます。いつもはラジオ体操ですが、時折総務の女性社員の声掛けでストレッチにしてみるなど変化を持たせています。有給休暇の取得は法定の5日間は当然のこととし、家族の学校行事等にも無理なく参加できるよう、時間単位で取得できるようにしています。

会社外観

経営理念・社訓

健康セミナーの様子

毎朝のラジオ体操

健康習慣アンケートとセミナー

従業員たちの生活習慣における課題は健康習慣アンケートで確認し、定期的に健康セミナーを実施しています。最近ある従業員が「こういう健康に関するセミナーはとても大切ですよね」と言って来ました。若い世代が多く、まだまだこれからではありますが、徐々に健康習慣への意識は作られてきているのかなと感じています。毎月のワンポイントアドバイスは給与明細と一緒に封入していて、皆よく見てくれているようです。

今後に向けて

コロナ感染が落ち着いてきたら、コミュニケーションをより一層図るため、サークル活動をやっていきたいと考えています。ゴルフ、ツーリングなど身体を動かして健康増進につながるようなものに予算をつけて、みんなで楽しみながら取り組めたらいいですね。
これからも彼らに声掛けを続け、活き活きと働いてもらえる環境づくりに取り組んでまいります。

1288

山梨県
富士吉田営業所

渡秀工業株式会社

代表取締役社長
渡邊浩次 氏

お客さまの希望をかなえ、笑顔が溢れる家造りを目指して！

- 代表取締役社長　渡邊浩次 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県富士吉田市下吉田6-25-22
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　13名(男性:10名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

当社は昭和44年1月に創業し、昭和57年6月に組織変更して現在に至っています。以来、お客さまの希望をかなえ、笑顔が溢れる家造りを目指しています。私達の経験をもとに、誠意をもって、信頼を築くことをモットーとしております。家も生きもの、ハウスドクターとして、末永いお付き合いを心がけ、後世に残る住みやすい家を造り、守っていきます。

富士山レーダードームの解体・復元にも参画

当社は富士山頂剣ヶ峰に気象庁が設置していた測候所のレーダードームの解体撤去に参画し、この時、従業員たちはブルドーザーで何度となく富士山頂の現場を往復し、過酷な環境の下で作業をやり遂げてくれました。35年間にわたり富士山頂から気象観測データを送り続けたレーダードームは、その後富士山レーダードーム館屋上に復元されました。当社はこの復元工事にも参画いたしました。

健康経営のきっかけ

健康経営に取り組むことになったきっかけは、富士吉田商工会議所の建設部会でアクサ生命からの説明を聞いたことでした。毎年実施している健康診断では、高血圧などで指摘を受けたり、喫煙者が多いことなど、健康面の課題が気になっていたものの、具体的には改善できておりませんでした。健康経営の実践で従業員の健康意識が高まり、上記課題の解決につながると思い、取り組むことに決めました。

WATAHIDE
渡秀工業株式会社

当社のロゴマークです

当社外観

富士山レーダードーム館

吉田小体育館も当社施工

コミュニケーションを大切に

従業員たちは普段から健康意識が高い方で、ベテランの人たちを見習って若手がついていこうとするなど人間関係は良好です。コミュニケーションを円滑にするよう、もう30年以上前から『秀栄会』という親睦会を作っています。定期的に慰労会を開き、ここには社長も参加しています。従業員同士がお互いへの理解を深めたり、気づきの場になっていて、健康についての話題も多く出ています。コロナ禍が落ち着いてきたらまた再開したいと考えています。

働きやすい環境作り

働きやすい環境作りのひとつに有給休暇の取得があります。従業員の中には町や村の自治会・消防団の役員となっている人もいます。会社としては最大限にその立場を理解し、協力していこうと、優先的に休暇を取得できるように配慮しています。
また健康意識を高めるために、毎年の健康習慣アンケートで生活習慣の課題を確認してフィードバックセミナーで共有し、毎月健康情報の配信を続けています。

今後に向けて

コロナ禍が長引いておりますので今の感染対策は継続していきます。若手が複数入社してきており、彼らを含めて従業員たちには健康経営やSDGsのことなどを説明して意識づけを図る機会を増やしていきます。これまで特定保健指導を受ける従業員は少なかったのですが、今後は会社主導で指導の機会を設定していくなど、積極的に健康施策を実践していきます。従業員たちが健康で長く、さらに活き活きと働いていける環境作りに取り組んでまいります。

1289

山梨県
富士吉田営業所

Voice Report 140th

株式会社日本都市設計

代表取締役社長
清水智夫 氏

この地域が活性化する“まちづくり”を目指して！

- 代表取締役社長　清水智夫 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県富士吉田市上吉田東7-9-11
- 主な事業内容　都市計画、土地区画整理、測量他
- 従 業 員 数　15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は都市計画＆コンサルティング、土地区画整理、測量、土木設計等を主な業務としています。このうち土地区画整理事業では、道路、公園、河川等公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用増進を図っています。これらの業務を通じて、この地域が活性化する“まちづくり”を目指しております。

健康経営に取り組むきっかけ

当社は少数精鋭で業務をこなしているため、1人が体調を崩して休んでしまうと、他の従業員がカバーしなければなりません。健康や生活習慣についてそれぞれが意識しているものの、忙しさのあまり、残業や休日出勤が当たり前となっていました。ある時、商工会議所の建設部会でアクサ生命の担当者から健康経営の説明を聞き、従業員たちが健康でいることの大切さを気づかせてくれる取り組みだと理解し、当社も導入することになりました。

かかりつけ医の勧め

毎年の健康診断は当然のこととして全従業員で受診し、再検査、精密検査の必要な社員には早めの受診を指示しています。それと自分のかかりつけ医を決めておくように強く勧めています。健康習慣アンケートでは、生活習慣に気をつけている人は全員が医師からの勧めがきっかけと回答していて、会社の意図をよく理解してくれていると感じています。これからもかかりつけ医とのつながりを持つことと、健診からの早期発見・早期治療の大切さを伝えてまいります。

健康習慣アンケートとセミナー

従業員たちの生活習慣の課題を把握するために毎年健康習慣アンケートを実施しています。直近のアンケートでは睡眠不足を感じている人が意外と多いことがわかりました。睡眠も大切な生活習慣です。そこで従業員の健康セミナーでは質の良い睡眠を取るための心得などを共有し、皆熱心に聴いておりました。

課題は長時間労働対策

課題のひとつは長時間労働対策だと認識しています。少ない人数で多くの業務を行なっていますので、どうしても1人にかかる比重は大きくなります。当然経営者として責任感の強い人に負荷がかかることのないようにバランスを取っていかなければなりません。でも経営者だけが気を配るのではなく、従業員たちには自分達でも改善策はないか、どうすれば効率よく業務をこなしていけるのかを話し合うよう、諭しています。

会社外観

土地区画整理事業地内に
建設された富士吉田市立病院

健康セミナーの様子

今後に向けて

新型コロナウイルス感染症対策は継続していかねばなりません。事務所でもアクリル板の設置、消毒、換気など小まめに実践しています。ワクチン接種により副反応が出た場合には特別休暇を付与しています。今後は長時間労働や喫煙率の高さなどの課題の解決に向けて、できるところから取り組んでいきます。従業員たちが健康で充実した人生が送れるよう、快適に働ける環境作りを心掛けてまいります。

1290

山梨県
富士吉田営業所

富士吉田商工会議所

会頭
堀内光一郎 氏

地域経済の活性化と会員企業の経営力強化に取り組んでいます！

- 会　　頭　堀内光一郎 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県富士吉田市下吉田7-27-29
- 主な事業内容　会員企業への経営指導　他
- 従 業 員 数　13名(男性:8名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

商工会議所は、業種・規模を問わず事業者が力を合わせ、地域経済の発展や経営環境改善のため意見を出し合い、行動していく「総合経済団体」です。私たち富士吉田商工会議所は、商店街や地場産業の振興など地域経済発展のための活性化と、企業の経営力強化を2大ミッションとして活動しています。

健康経営に取り組むきっかけ

健康経営のきっかけはアクサ生命からの情報でした。それまでは職員の定期健診後の受診勧奨や特定保健指導が充分でなかったり、コミュニケーションの不足や残業が常態化する等の労務管理上の課題があり、これらの解決が必要だと感じていました。職員を対象に健康増進策を実践することで、心や身体の健康だけでなく、“社会的な健康”の実現につながるので、事務局を挙げて健康経営に取り組むことにしました。

受診勧奨・特定保健指導など

定期健診後に「要治療」「要精密検査」の職員には個別に通知し、再度受診するまで声掛けをおこないます。特定保健指導は以前は消極的な職員が多かったのですが、現在は対象者は全員が受講するようになっています。対象者そのものが少なくなっており、改善傾向にあります。

富士吉田商工会議所会館外観

秀麗・富士山

健康情報を掲示

来訪者の感染症対策

自販機メニューを入替

女性の健康保持・増進に向けた取り組み

女性職員は2年に1回、婦人科健診を受診しています。さらに肺のCT、腫瘍マーカー、脳ドック、眼底検診等のオプション検査の希望者には事務局の経費負担で受診できるようにしています。また長時間労働への対応は課題のひとつと認識しており、夏季休暇と合わせて有給休暇を取得するよう奨励しています。また時間単位で取得できるようにしており、自身や子供の通院に充てる等、効果的に活用できるようにしています。

“運動習慣”が増加

職員の生活習慣の行動傾向を確認するために、年に1度、健康習慣アンケートを実施しています。このうち“運動”で健康づくりをしている人が前回の30％から54％に増加しました。会員企業に巡回指導に行く際、近場なら交通手段を車から徒歩に切り替える等の行動変容が見られます。事務局として運動への意識づけを図るため、午後の始業前に5分間のストレッチ体操をおこなっています。

今後に向けて

これからも午後の業務スタート時の体操等、職員の健康増進策は継続していきます。当商工会議所の建設部会では説明会をきっかけに健康習慣アンケート～従業員セミナーを実施し、国・県から優良法人として認定される企業が増えており、健康経営の輪が広がりつつあります。他の部会でも同様の動きが出てきています。健康経営は会員企業が永続的に発展するために不可欠な取り組みであり、1社でも多く声掛けしてまいります。

株式会社フジハラセイメン

代表取締役社長
浅川健至 氏

さらに多くの方に自慢のメン達を食べていただくために！

- 代表取締役社長　浅川健至 氏
- 本 社 所 在 地　山梨県北杜市高根町長沢1812-4
- 主な事業内容　麺類の製造・販売・飲食業
- 従　業　員　数　10名(男性:9名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

フジハラセイメンは創業70周年を迎えます。ミネラルの多い八ヶ岳の湧き水を使ったほうとう、そば、うどん、ラーメン等の麺を製造、販売しているほか、自社製品を使った飲食店も経営しています。知名度を上げるためにオリジナルのアニメ看板を作る等、宣伝にも力を入れています。工場で作る麺は学校給食が中心ですが、今後は飲食の店舗数を増やし、工場で作る麺の売上の大半を自社で消費できるくらいにしていこうと考えています。

準備をしていなければチャンスはつかめない

メンに自信と誇りを持ち、自慢のメン達を美味しく食べていただきたい！それが私たちフジハラセイメンのモットーです。
私自身は入社した20代後半の頃、クロフネカンパニーの中村文昭社長の講演を聞き、自分は考えてばかりで行動が伴っていなかったことを痛感しました。飲食への参入を考えていた時、北杜市の星野リゾート内にそば店を開店したことが転機になっています。行動しなければチャンスは来ませんが、準備をしていなければそのチャンスはつかめません。すぐ考えることとすぐ行動することが大事だと感じました。

健康経営取り組みのきっかけ

健康経営を知ったのはアクサ生命の担当者からの情報提供がきっかけでした。会社として従業員の健康増進策を実践することで彼らの仕事への意欲の向上につながっていき、彼らが健康でいることが会社の永続的な発展につながると思い、みんなの協力を得て取り組んでいくことにしました。山梨県の「やまなし健康経営優良企業認定制度」にも申請し、認定いただいております。

会社外観と車両

最新の製麺機

健康セミナー風景

楽しいと評判のブログ

課題の把握と健康セミナー

生活習慣の課題を把握するための健康習慣アンケートは毎年１回実施しています。経年評価を見ると従業員たちの生活習慣への意識はまだ充分とは言えません。それでもアンケート結果をフィードバックするセミナーでは皆、集計結果、なぜ健康経営が求められているのか、社会的な健康について等、熱心に聴いていました。毎月生活習慣に関するワンポイントアドバイスの配布も続けていて、これからも健康への意識づけを図っていきたいと考えております。

受動喫煙など

当社は喫煙率が40％を超えていて日本の成人の喫煙率の2倍以上となっており、課題の一つとなっています。星野リゾート内は全面禁煙となっていますので、吸えるのは自分の車のみ。それ以外は屋外の所定の喫煙場所のみとなっています。これからも喫煙の害への啓蒙を継続していきます。その他、定期健診やその後の再検査・精密検査への受診勧奨、特定保健指導の受講へと声掛けしていますが、今後はより丁寧に後追いしていくつもりです。

今後について

従業員たちには日々の業務にさらにやりがいを感じ、これからも長く、活き活きと働いてもらいたいと考えています。「フジハラセイメンに入社してよかった」と思ってもらいたいのです。そのためには健康経営が欠かせぬ手段となりますので、これからもアクサ生命の担当者のサポートを得ながら、今の取り組みを継続してまいります。

1292

静岡県
遠州営業所

株式会社丸武部品

代表取締役社長
池間健二 氏

働きやすさへの配慮こそが経営の安定に繋がる

- 代表取締役社長　池間健二 氏
- 本 社 所 在 地　静岡県磐田市前野2770
- 主な事業内容　輸送用機械器具製造(金属プレス・溶接・金型)
- 従　業　員　数　117名(男性:93名・女性:24名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

Voice Report 140th

健康経営に取り組むきっかけ

製造業は、社員がまず元気でなければ、仕事が捗りません。体調が不調で休みが増えてしまうと、運営の面でも困ってしまいます。計画的な有給はとってほしいけれども、病気で突発的に休むのは本人にとっても望むことではないと思います。
また、社員の健康不調を目にすることが多くなったのも大きいと思います。健康診断で芳しくない結果が出てしまっている社員が一部いたことも気になり、できるだけ本人に声をかけて相談に乗るようにしていました。また、60代の再雇用社員が作業中に体調を崩し、病院に行って治療をしましたが、ご本人の希望で退職となりました。
そんな中、令和2年頃にセミナーに参加した際「健康経営」という言葉を知りました。社員の育成は投資と同じで、5年・10年・20年育成した人財が突然退職してしまう結果は悲しく思いますし、そういった思いと健康経営の考えが合致していると感じました。経済産業省の認定制度ということもあり、取り組みを始めました。

草刈り奉仕作業

社長自ら健康を意識した取り組み

社内イベント富士山登頂を開催

健康経営の重点的な取り組み

重点的に行っている取り組みは３点あります。
まず、「健康診断の受診率を100％」にすることを徹底しました。会社としても社員が受診ができるように日程調整などの配慮が必要だと思い実行しました。また、再受診対象となった社員には、個別に受診勧奨などフォローしております。
また、受動喫煙対策の取り組みを強化しました。職場内外の分煙の指標を策定し、非喫煙者へ影響がでないように、中古のプレハブを購入し設置しました。喫煙の健康に与える影響など知ってもらうことも重要だと感じています。健康保険組合などの啓発ポスターを誰もが目にする場所に掲示しようという話になり、タイムカード機近くの掲示板に貼っています。
更に、月に1回、安全・衛生・環境委員会など含めて、健康に関する情報を発信したりしています。安全衛生環境委員に非管理職の社員が代表して出席して、意見の交流を行い、翌日の朝礼などで全体にフィードバックをしてもらっています。一般社員からは忌憚のない意見が活発に出ており、「働きやすさ」への改善に繋がっております。

今後の展望

中小の製造業は、採用難が続いています。また従業員の健康は操業に影響を与えます。これらは、多くの経営者が同じく感じていると思います。「いくらでも人はいるよ」と言える時代ではなくなっていますから、新しい時代に合わせた働き方を整備してこそ、新しい人財が入ってくると思います。
また、治療をしながら働く環境、復職した時の環境を整える準備もしています。(例えば、立ち仕事が難しそうなら座ってできそうな業務をみつけるなど)
健康経営優良認定を取得し続けることは従業員の健康課題を把握することに繋がっています。今後も継続して取り組んでいこうと思っていますが、この健康経営もSDGsのように、もっと認知度が高くなることを期待したいです。

株式会社青木農場

代表取締役社長
青木　弘 氏

「いいものを提供したい」そんなオモイが伝わってほしい

- 代表取締役社長　青木　弘 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県新潟市西区木場2355
- 主な事業内容　農業
- 従　業　員　数　7名(男性:4名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

当社は設立してまだ間もない会社です。年齢も若い社員が多いため、将来のことを見据えたうえで、病気やケガも無い人生を過ごしてほしいと思ったことがキッカケです。「農業だから･･･」と言われることも多いですが、既存の農業に対する概念を変えていきたいと思っています。

若い社員が多いからこそ、健康経営に取り組む必要を感じました。

若い従業員が多いので、ずっとこの会社で働いてほしいと思っていますが、将来、転職することもあるかもしれません。当社で働き続けるためにも、もし転職する社員が出たとしても、過重労働によって体調を崩すことなく、病気やケガのない人生を過ごしてほしいと願っています。
この会社で学んだことを今後活かして、更なる農業の可能性を広げてほしいですし、いつか他の会社に転職することがあったとしても、そこで活躍してほしいと願っています。

「農業では無理･･･」を変えていきたい

個人で農家を営んでいる方は、24時間フルタイムで農作物と向き合っています。そういった方からは「農業で週40時間は無理」と言われます。ただ、法人は従業員を預かっていますので、従業員の人生・健康を守ることが義務です。ですので「農業だから」ということではなく、週40時間、1日8時間労働を目標とし、その労働対価もきちんと受けられるようにしたいです。生産する人のことを考えると、作業時間の中でどこに負担が掛かっているのか？を調べ、機械化できるところなどを工夫して労働時間管理をしっかりとしたいです。

過重労働防止への取り組み

取り組みとしましては、まず朝礼から変えてみました。
朝のスタートにあたり、今までは業務連絡や社長訓が多かったですが、ラジオ体操で体をストレッチすることとしました。少し体を動かすことで、体も気持ちいいですし、気持ちにスイッチがきちんと入るようになりました。
次に、過重労働防止に向けて残業の在り方をみんなで考えました。
農作物は一日で変化するため、収穫の時期には残業が多く過重労働になりがちでした。そこで変形労働時間制を取り入れました。
5～8月は収穫が忙しいので調整が難しかったですが、今は協力し合い、残業を減らすことが出来ました。

収穫時期は忙しいですが、力を合わせて元気に取り組んでいます。

健康経営のセミナーで従業員の意識にも変化が

会社の取り組みとして、社外の方からの刺激も大切と考え、アクサ生命さんの講師の方から従業員向けにセミナーを行って頂きました。セミナーを聞いた後で、社員1人1人の行動目標を決めました。「野菜から食べる」や「週〇〇分以上運動する」、中には「子供と一緒に風呂に入る」など様々な目標ですが、それを1か月毎に出来た・出来なかったを自己評価することで、更に意識が高まりました。睡眠の大切さも知り、尚更1日8時間労働を実現しようと思いました。睡眠8時間、労働8時間、仕事以外の8時間で心と身体を整えて、リフレッシュした気持ちで作業に取り組んでほしいです。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

労働時間管理のための機械化も投資ではありますが、これからを担っていく若い人たちのためにやっていきたいと思ってます。
アイデア勝負の時代です。感性を研ぎ澄ますためにも、会社にいない時間が大切だと考えます。余力の時間こそ色んなアイデアが出たり、気づきがあります。休みの日はきちんと休んで旅行などに行き、旅先で「あそこでこんな商品を売っていた」や「こんな風に見せていた」などが、日々の仕事の発想に繋がります。遊びがあって仕事がありますので、両立した充実した人生を送る為にも、これからも健康経営に取り組みます。

1294

新潟県
新潟営業所

Voice Report 140th

株式会社ホンマ

代表取締役社長
本間隆宏 氏

社員の笑顔とすこやかな生活の実現のために

- 代表取締役社長　本間隆宏 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県新潟市西区山田415
- 主な事業内容　釣具、アウトドア用品、ペット用品・サービス小売業、FC事業
- 従 業 員 数　225名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昨年、「株式会社本間釣具店」と「株式会社スマイルワン」、「株式会社アメリカ屋漁具」を合併し、気持ちを新たに「株式会社ホンマ」としてスタートを切りました。釣具が発端でスタートしている会社のため、朝が早い仕事ですが、釣り好きで健康志向が強く、アクティブな社員が多いので、「健康」に関して取り組んでいければ、もっと会社が良くなるのでは？と考えて健康経営をスタートしました。

よりいきいきした社員の笑顔とすこやかな生活の実現のために

弊社は、釣具販売「FISHERS（フィッシャーズ）」、ペット用品販売・ペットサービス「SMILE1（スマイルワン）」、複合商業施設「AZem（アゼム）」、FC事業の飲食店「VANSAN」を全国に展開しております。
平均年齢は「30代」と若いですが、健康を意識している社員も多く、食べ物も山菜を食べたり、野菜を自分で作っている社員もいます。また、釣った魚を美味しく頂くために、レシピを共有したり、行きつけのお店に釣った魚を持ち込んで健康意識の高い料理を出してもらったりしています。

健康づくり宣言

企業理念「ALL for Smiling.」は、お客様・社員・地球上のすべての方に笑顔とすこやかな生活の一助になれるように日々精進しており、その中で「社員の健康改革」ができないかと考えています。
職場の健康づくりに取組み、社員全員が元気で活躍できる事業所を目指すために「健康づくり宣言」を掲げています。

1、健康診断受診率　100%
2、特定保健指導利用　100%
3、有所見者の再受診促進
4、健康づくりの推進活動
5、運動習慣の促進

健康経営の取り組み効果

健康経営の取り組みをはじめ、社員に無記名でアンケートを実施したところ、社員ひとりひとりの健康意識が高いことが分かりました。しかし、健康を意識しつつも運動不足、働き方の改善の要望もありました。その結果を受け止め、積極的な取り組みを推進していきたいと思います。
1、健康づくりの推進活動
2、健康に関する情報提供（毎月の給与明細に同封）
3、自分・ご家族時間をつくる（残業時間削減）

健康づくりの推進活動

今後、社員とご家族の心と身体の健康づくりを推進するために、様々な運動習慣の促進を図っていく予定です。
「ランニング・クラブ」を立ち上げ、大会出場を目標に掲げ、日々の練習成果をスマートフォンのアプリで共有していきます。一人ではどうしても三日坊主になってしまいがちな練習を、皆で支えながら健康的な心と身体を手に入れていきたいと思います。また、アクサ生命さんの健康セミナーに参加し、ひとりひとりの健康意識を高めていきたいと思います。

今後の展望

川のせせらぎや波の音を聞きながら、風を感じ、美しい景色を見ながらする釣り。かけがえのないペットとの共生は、人の心身の健康に良い影響があるとも言われています。
弊社のセルフイメージが「私たちは、“自然遊びナビゲーター”です」とあります。
これまで以上に社員全員が働きやすい環境づくり、社員のご家族や地域の皆様が笑顔あふれる、健やかな生活を送ることができるよう、健康経営を通じ、様々なことに取り組みたいと考えています。

1295

新潟県
新潟営業所

新潟メタリコン工業株式会社

代表取締役社長
井筒　昇 氏

「人間尊重を基本」とし、豊かな価値を創造します。

- 代表取締役社長　井筒　昇 氏
- 本 社 所 在 地　新潟県新潟市東区下木戸1-18-2
- 主な事業内容　金属表面処理業
- 従　業　員　数　64名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 140th

我が社は小さな町のメッキやブラストの会社からスタートしました。昔から仕事熱心な男性社員中心の会社であったため、仕事の始めと終わり、そして休憩時間の甘いコーヒーが習慣となり、健康面に不安を抱えた社員が多くおりました。そういった経緯から社員の健康に注意して経営を心掛けていましたが、「健康経営」という言葉を聞き、改めて従業員の健康に意識を向けて考えてみることにしました。

まずは健康習慣アンケートで、社員の生活習慣の傾向を知ることから始めました。

最初に「健康経営」の話を聞いた時には、「今更？」と思っていましたが、周りの社員をよく見ると、痛風で休む年齢の高い社員がいたり、若い社員は偏食もあり、生活習慣の積み重ねで体調を崩す社員も何人かいることがわかりました。
喘息・糖尿・肥満など、特に一人暮らしの男性で甘い飲み物を飲んでいるせいか、血糖値の高い人もいました。
そこで、従業員の本当の気持ち、本当の生活習慣が知りたいと思い、アクサ生命さんの健康習慣アンケートを実施することとしました。

人手不足だからこそ、社員のことを大切にしたい。その為にも健康経営に取り組む必要を感じました。

人手不足の時代です。会社を好きになってくれれば、この会社にいたい！という気持ちにもなると思います。会社を好きになってもらう為には、「会社も気遣ってますよ」という姿勢を見せることが大切だと思いました。そのためにも、アクサさんの健康習慣アンケートで、何に気遣えばいいのか？も把握したいと思いました。
アンケートを行い、その内容をフィードバックして頂き、そして従業員向けにセミナーを行いました。
セミナー後に、様々な変化が目に見えるようになりました。

健康経営セミナーを通じ、徐々に行動に変化が

以前から社内にある自動販売機の中身は変えていましたが、甘い飲み物を好んで飲んでいた社員も、セミナーを聞いた後は糖分やカロリーを意識をして選ぶようになりました。
アクサ生命さんから毎月頂く健康情報も助かっています。当初は「配っているからもらっている」という感じで、受け取っても机に置きっぱなしの社員もいましたが、全体朝礼で健康情報を配り、その時に読み合わせるようにしたところ、家に持ち帰る社員も増え、意識の変化を感じます。

定期健康診断も積極的に受診するようになり、その後の意識も変わりました。

健康診断を毎年3月に実施しています。今までは健康診断を受けたくないという社員も多くいましたが、今は全員きちんと受けるようになりました。そして、健康診断の結果を受けて保健師との面談も、以前は指導を嫌がっている社員も多くいましたが、今は健康診断と同様に、該当者はきちんと受けるようになりました。
その結果、以前は仕事が終わった後に何名かで遅い時間に高カロリーの食事をしている社員もいましたが、食生活にも気を付けるようになり体重が減った社員も出てきました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

健康に関しての話題は年代を問わない内容ですので、健康経営の取り組みは、各世代を繋ぐコミュニケーションにも一役買っていると感じます。
従業員が健康で働いていてくれることが会社としても財産です。その為にも、社内だけでなく家庭内での協力がないと成り立たないと思います。ここ1～2年で何人か結婚した社員もいますので、健康経営という取り組みを家族との取り組みにも繋げて、みんなに健康で長く働いてもらいたいと思っています。

1296

福井県
福井営業所

大野旅客自動車有限会社

代表取締役社長
長谷川義二 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　長谷川義二 氏
- 本 社 所 在 地　福井県大野市弥生町
- 主な事業内容　乗用旅客自動車運送業
- 従　業　員　数　18名(男性:16名・女性:2名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 福井支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

創業81年以来、お客様には、安全、安心を基本とし地域に根差した旅客運送業を行っております。地域の高齢化が進む中、タクシーを利用される方に応じたサービスの提供を行う中で、社員も高齢化が進んでいる状況に、社員の健康管理のサポートも会社として行う必要性を感じていたところ、アクサ生命の担当者の方より健康経営の取り組みを勧めてもらい取り組みを始めました。2年連続認定

社員の高齢化！
健康経営に取り組む必要を感じました

従業員の平均年齢65歳以上！一番若いのは社長という中で法的整備をクリアするために健康診断受診率100%、二次検診推奨にも、地域の保健師の方に協力いただきながら管理してきました。
しかしながら、高齢化の中では、健康診断結果が良くなることは難しい状況です。今の社員を守ること(現状維持)が、経営を行う上で何よりも大切なことであるからこそ、健康経営は必要だと感じています。社員に活き活きと働いてもらうために何から始めたらいいのか分からず、健康経営を勧めてくれたアクサ生命の担当者に相談しました。
まずは健康経営を行っていくことを社員に伝え、「健康宣言」を早速社員の目につきやすい事務所の入り口に掲示しました。
そして次に従業員の健康意識を知ることが大切だということで、健康経営アンケートを行いました。携帯やスマートフォンを持っていない社員や使いこなせない社員が多い為に、担当者がパソコンの中で回答ができるように、事務所で対応くださったお陰もあり、何とか完了し、そこからの課題が見えてきました。

2022年7月4日健康セミナー実施
講師は協会けんぽからの委託先の新田塚スイミングスクール栗塚さん
テーマは健康体力チェック

出来ることを仲間とともに

難しい取り組みを行っていくのでは継続できないということで、担当者からいただく「健康経営ワンポイントアドバイス」を毎月の給料支給日に配布を始めました。食事・運動・睡眠等々、様々な健康情報を社員に周知できることと、社員の家族がその記事を目にすることで社員の家族も一緒になって健康意識が高まっていると聞いています。
また女性に向けては乳がんセミナーを担当者の方に行っていただきました。セルフチェックの行い方なども教えていただき、早期発見の重要性も理解できました。
保健師の指導の下、一人一人が、自分の体力を知っていただくための健康体力チェックセミナーを行い、自身の年齢と体力年齢にギャップを受けられた人が良くも悪くもおられ、職制上同僚と一緒に働く機会がないのですが、このセミナーの場で社員同士の会話が聞こえ、コミュニケーションの場にもなったように感じます。また改善のための朝のラジオ体操も出社している社員みんなで取り組んできました。

大切な社員とその家族の健康とともに
会社も成長していきたい

同じ姿勢の状況での運転業務が多い中で、腰痛を訴える社員が自社だけでなく、この業界で多く聞かれます。業界としても今年度加圧ベルトの購入補助等を検討しているようです。大切な社員には心身ともに健康で長く働いてもらえるよう、そしてお客様には、安心して乗っていただけるよう今後も健康経営に取り組んでいきます。

1297

長野県
長野営業所

ジェイエスピー株式会社

代表取締役社長
宮﨑洋一 氏

「人を大切にそして自分を大切に」　IT技術で社会に貢献

- 代表取締役社長　宮﨑洋一 氏
- 本 社 所 在 地　長野県長野市中御所1-17-14
- 主な事業内容　情報サービス業
- 従　業　員　数　36名(男性:26名・女性:10名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

当社は、34年以上にわたり長野市を中心に各種システムの開発支援を行ってまいりました。社会の様々な課題をお客様の視点に立ちICT技術で解決していくことが、社会的使命だと考えています。
「人を大切にする企業」としてSDGsの推進と並行して健康経営に取り組むことは、社員やその家族を含む社会の信頼を築いていくものだと信じています。

健康経営は、今、求められている 健康維持で社員も会社も価値が高まる仕組み

昨年実施した「健康習慣アンケート(アクサ生命)」の自社のアンケート結果レポートでは、当社における生活習慣や健康状態の悪化による労働生産性損失額は、1,292万円であると推測され、また、社員の「健康に対する意識の高さ」が感じられる結果でした。
健康を損えば企業にとってこのように大きなコストに繋がる可能性を持ち、同時に、社員の豊かな生活を維持する上で大きなマイナス要因となることは間違いありません。健康リテラシーを高める当社の小さな工夫や仕組みづくりは、企業風土として広がり、企業価値に変わると確信しています。

難しいことは考えず、できることから始める 中小企業の健康経営

当社のように40人に満たない中小企業では、健康経営に取り組むのに人手が足りず、なかなか取り組めないのではと思います。ここでは、社員のアイデアから始めたいくつかの事例をご紹介します。

1. 毎朝のラジオ体操(Webで在宅社員も参加)
2. 椅子の代わりにバランスボール導入(任意)
3. 簡易ストレスチェックを実施(努力義務)
4. 頻繁に健康に関する情報発信(食・運動・喫煙等)
5. 健康診断受診率100%(受診後の声がけも大事に)
6. 休憩室に血圧計・マッサージチェアの設置

このようにできることから積極的に取り入れています。

2022年
地附山トレッキングから

マッサージチェア、血圧計、
バランスボール導入

「健康経営優良法人」って何ですか？ 社会的な認証は、いい人材を生むシーズ

当社では、採用説明会や面接で新卒・中途応募の方へ向けて、中心となる業務説明の他、「どんな人とどんなところで働くのか」を伝えています。働く環境について知りたい、という要望が多いことが理由の一つです。「人を大切にする企業」として誰にとっても大事な健康への取り組みは、当社へ興味を高めてもらうきっかけになり、社員との程よい距離感が伝わりやすいと感じています。少数精鋭、この社会的な認証でＪＳＰへの興味を高め、入社後は技術面、健康面の両輪を支え成長できる人材を育成しています。

コロナ禍の「健康経営」は、在宅社員との コミュニケーションに大事な役割を持つ

在宅勤務の社員が増え、「通勤時間から解放されたけど、誰とも話をしていません」とそんな声を耳にするようになりました。業務に関する報告・連絡・相談だけでは、心のケアが不足しがちです。離れた環境下において、「社員に必要な情報をタイムリーに提供できる」、そんな存在でありたいと考えています。幸い当社は、厚生労働省が提供している相談先だけでなく、東京情報サービス産業健保組合や加入保険会社によって相談窓口が多くあります。必要な情報提供で社員と接点を持ち、自分や家族の健康維持に興味をもてるような情報提供を心がけてまいります。

健康経営を自然な流れに 「全員経営全員参加の精神」で企業成長

健康経営に取り組んでいくと、個人の健康維持・増進が、会社の成長とリンクしていることに気づかされます。当社は、社員側の目線を大事に考え、平易な言葉により自然な流れで健康リテラシーを高める構想を練ってまいりました。初の認証取得年である2022年は、具体的な計画とタイムリーな改善を実行する予定です。2年目以降は、よりシステム化して記憶に残る活動を目指し、社員の一人一人が自分事として「全員経営全員参加の精神」で企業とともに個人が成長できる地図を描いています。

1298

長野県
諏訪営業所

Voice Report 140th

有限会社茅野工業

健康経営担当　営業
小川由也 氏

社員のワークライフバランス向上が より良いものをつくる。

- 代表取締役　小川武彦 氏
- 本社所在地　長野県茅野市ちの2662-1
- 主な事業内容　金属板金プレス加工・金型設計製造
- 従業員数　13名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

「チャレンジとアイデアをモットーにより良いものをより早く」を合い言葉に金型設計・製造、金属プレス鈑金加工を50年続けてまいりました。会社の歴史と共に時を刻んでくれた社員も多い会社となりました。社員共々明るく元気に活動し、より良い社会に貢献できる企業を目指しております。

健康経営に取り組むきっかけ

社員の年齢層が上がる中、若者２人の新入社員を迎え喜んでおりました。その時、アクサ生命様より「健康経営」の案内がありました。「福利厚生はもとより、生産性向上につながり、更に企業価値の向上にもつながる。」これは、今やるしかない、との社長の決断のもと、私が担当となり、開始しました。

活動を通して

社員全体が健康に対して何らかの意識をする様になりました。また、毎月健康に関する情報を提供するようになったことで社員のコミュニケーションの促進につながったと感じております。社員の健康は社員の幸せにつながります。この活動を通じ、より社員の幸せの一助になれば幸いです。

まずはできることから

社長の思いを社員にも共有し、「まずはできる事から」始めました。
毎朝のラジオ体操の実施、定期健康診断受診率100％実施、特定保健指導受診率50％を目標に掲げました。
ラジオ体操は始業前にスピーカーで音楽を流して行います。今後も活き活きと取り組みコミュニケーションの一つとなる様、継続してまいります。
健康診断は外部団体の集団健診を利用し、一斉に受診します。勤務時間内の受診の為、受診率は100％達成です。
また、特定保健指導の実施も100％達成しております。

今後の展望

弊社は皆様のおかげで50年の時を刻むことが出来ました。更に次の50年に向けて動き出しております。そのためには社員が健康であり、また幸せを感じられる様な職場環境を整える事が非常に大切だと考えております。
弊社のこれからの50年のスローガンは、『わくわくできるもの・コトづくり。人々が夢を語れる社会の実現に貢献！』。その活動を通じ、全従業員が幸せになり、明るく豊かな社会の実現に貢献する事です。そのための第一歩として、今後も社員と共に健康経営に励んで行きたいと思います。

ゴーヤのカーテンで日差しを抑えつつ、2、3日おきに収穫されるゴーヤを社員が持ち帰り、健康食の素材としています。

左：小川　武彦氏（社長）
右：小川　由也氏

毎朝のラジオ体操。
朝から張り切って体操します。

諏訪貨物自動車株式会社

「地域産業と共に躍進する」を実現するために

- 代表取締役社長　勝野達人 氏
- 本 社 所 在 地　長野県茅野市ちの3442-1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送業
- 従　業　員　数　52名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「地域産業と共に躍進する」をモットーに、従業員の健康維持増進を図り、地元企業と共に発展し、名実共に「健康経営」を目指していく所存です。高齢になっても元気で働き続けることができる職場環境の構築、そして何よりも従業員の心と体の健康を支えるために、更なる施策に積極的に取り組んで参ります。

社員の健康維持増進が重要課題に。これをきっかけに健康経営に取り組みました。

トラックドライバーは長時間労働に加え、時間は不規則であり、また負荷が大きい仕事です。当社社員の平均年齢が上がるにつれ、健康診断において異常を指摘される社員が多くなってきたことから、社員の健康維持増進が重要課題であると考えました。人員もタイトであり、病欠者による業務への影響を無くす為、従業員一人一人の健康意識を高める必要性を感じました。

具体的な取り組み①

- 年２回実施している健康診断における「要精検」対象者への声掛けによる再検査の実施
- 40歳以上の従業員を対象とした脳ドック受診（対象者は３年毎受診、毎年10名程度）
- ＳＡＳ（無呼吸症候群）スクリーニング検査の実施（５年毎全員受診し、再検査対象者は個別受診させ対応）
- アクサ生命による「健康習慣アンケート」の実施

具体的な取り組み②

- 協会けんぽ保健師による講習会および労働安全衛生法上の特定保健指導者、重症化予防対象者への個別指導実施
- 年１回春季にストレスチェックを行い、産業医によるフォローを実施
- 従業員52名中12名が保健指導員による個別保健指導を受け、うち４名が協会けんぽのサポートを受け生活習慣の改善に取り組む

健康習慣に関する意識・行動の変化

新型コロナウイルス感染症予防対策への意識も高まっており、社員へは感染予防対策として恒常的にマスクおよび消毒除菌用スプレーを配布し常時携帯させております。当社は、北九州、大阪、名古屋等、遠方への運行も多いことから、車外での立ち寄り先を限定し感染予防に努めております。健康診断における「要精検」への意識が高まり、数値の改善に向けた意識が高まってきました。病気発症による長期離脱者も皆無であり、安定運営ができております。

地域社会になくてはならない存在でいたい。

当社の夢は、この先50年後も、地域社会になくてはならない存在になることです。そのためには、今いる社員も今後入社される方も、長く働ける環境を作っていきたい。
社員の人生が幸せでなければ、このような取り組みには意味がありません。社員の幸せが一番だと考えています。

1300

長野県
佐久営業所

株式会社サワイ

代表取締役社長
澤井孝幸 氏

「Value Factory」魅力ある価値の創造を目指すため 魅力ある職場づくりの健康経営

- 代表取締役社長　澤井孝幸 氏
- 本 社 所 在 地　長野県佐久市小田井1077-6
- 主な事業内容　機械金属加工業
- 従　業　員　数　55名(男性:49名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社では「Well-Being(幸せづくり)経営」を掲げ、社員の心と体の健康づくりの取り組みをしておりました。これは製品を作る社員が幸せであることの結果、価値ある製品をお客様にお届けすることにつながるものです。その点、健康経営は社員の幸せの重要な要素である心と体の健康にフォーカスし、体系的な取り組みにつながると感じ、弊社でも取り入れることとしました。

価値＝従業員の健康　Well-Being

弊社の経営理念は「Value Factory」魅力ある価値の創造を目指す としております。精密金属加工を通し、社員の「人幸力」すなわち周りの人を幸せにする力の成長を背景に「多様な価値」を継続的に提供し、幸福な社会を実現することを目指しております。
そのためには社員の幸せを念頭に置いた「Well-Being経営」という考え方が欠かせませんでした。社員が自分たちの仕事に誇りを持ち、一緒に働いている人たちと連帯感を持てる職場であることが、個人の能力を最大に発揮し、組織として機能することで企業の目標を達成することができます。

具体的な取り組み①　働く環境

まずは働く環境の整備をすることから着手しました。
有給休暇の取得推奨日を設定することで休暇取得の心理的なハードルが下がるようしました。またそもそもの年間休業日を従前の110日から117日へと変更をしました。
恒常的に発生していた残業時間の削減を図るべく、制度面からは就業規則の協定時間を削減したことと、業務面からはスキルマップを活用した多能工の育成に着手しました。一人で様々な業務を行える社員が増えることにより社員同士がサポートしあえる環境の整備を目指しています。それでも長時間の勤務が発生してしまった場合は上司並びに産業医との面談にてフォローをする体制づくりをしました。現在では有給取得率60%以上を継続的に維持しています。

社員全員でストレッチ講習を受講

保健師さんからの
個別アドバイス面談

具体的な取り組み②　食事・運動活動

弊社のコア年代層は40代で社員全体の3分の1程度を占めています。まだまだ若いと思いつつも少しずつ身体にも不調が出始める年代であり、今から体調管理に気に掛けてもらう必要がありました。実際に健康習慣に関する社内アンケートの実施をしましたところ、食事・運動に関する習慣に改善が必要な社員の割合が多い結果が見て取れました。
そこで食習慣の改善を図るべく次のような取り組みを社内にて実施しました。

1)トクホ飲料の補助
　社内設置の3か所の自動販売機に通常の飲料に加えトクホ飲料を導入し、会社負担にて通常飲料と同額で購入設定
2)食堂に設置している自由に飲める健康茶や青汁の設置
3)協会けんぽからの講師派遣にて食習慣講習の実施
4)家族で見てもらえる食生活に関する健康情報の配付
　など

また今後は飲食店との連携にて健康食弁当の定期提供も計画しております。
次いで運動習慣・健康管理の改善には以下のような取り組みを実施しております。

1)外部講師を招いてのストレッチ(肩こり・腰痛予防)講習
2)健康診断に加え歯周病・骨年齢・血管年齢測定
3)2)の測定結果をもとに保健師からのアドバイス面談

大切な社員が幸せであることが社会への貢献となり会社に成長をもたらす

会社の成長は社員がいかに活き活きと働いてくれるかに掛かっています。その根底にあるのが社員一人一人が心身ともに健康であることです。会社という場が社員にとって健康でモチベーションを維持できる環境であることで、安心して長くやりがいをもって勤められる企業となり、お客様・地域社会からも選ばれる企業であり続けることが実現できます。
今後もこれまでの取り組みを継続し、社員が幸せや喜びを肌で感じながら仕事にのぞめる環境づくりを通じ、社員からも地域社会からも求められる企業づくりを推し進めてまいります。

1301
岐阜県
東海中央FA支社

社会保険労務士法人まごころ

代表社員
鈴木かおり 氏

“出会って良かった、ここにいて良かった”の実現のために

- 代　表　社　員　鈴木かおり 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県瑞浪市土岐町900-4
- 主な事業内容　社会保険労務士業
- 従　業　員　数　4名(男性:0名・女性:4名)
- 加 入 健 保 名　全国健康保険協会 岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 140th

当法人は「企業の継続、そこで働く人々の幸せ、明るい社会の三方よしを基底に、お役立ちのために自己の成長を図り、ご相談者様の心に寄り添いながら、社会保険労務士業を通して地域社会に貢献します」という経営理念のもとに日々活動しております。この理念に正にマッチするのが健康経営の取組であると感じました。まずは当法人が健康経営の良さを体現し、地域社会へ広める牽引者になります。

企業で働く社員の現状を見て…社会保険労務士としてできることを

社会保険労務士という職業柄、多くの企業の労務管理に携わらせていただく中で、様々な病気により傷病手当金を受給している方が多く、働くということと人生について考えさせられていました。仕事は人生の手段であり、目的ではありません。しかしながら、人生のうち長い時間を仕事に費やし、仕事から得られる喜びも多く働くことで活力を得られる側面もあります。
職場環境がそこで働く人の人生に大きく影響を及ぼすことから、社会保険労務士としてもっと“職場環境の改善”に関わることができたら、と考えるようになりました。

楽しみながら意識変容、行動変容

日々忙しい生活を送る中で、健康づくりのための時間を確保するのも難しいので、取り組みやすいものから始めました。
①毎朝、朝礼後のストレッチ:パソコンと向かい合う時間が長いので、“巻き肩改善”メインのストレッチをしています。
②健康リテラシーを高めるためのミニセミナー:短時間のwebセミナー「うんちのみかた」「女性のひみつ」等、様々なテーマから気づきを得ています。
③運動イベント開催:同じ地域で健康経営に取り組む企業をお誘いし、バレトンを体験。ウォーキングイベントでは、ポイントを貯めることで素敵な景品をゲットすることができます。

憩いのカフェスペース　　運動イベント開催

憩いのカフェスペース

勤務中は、事務所の中で椅子に座ってパソコンと向かい合う時間がほとんど。休憩時間に、デスクを離れ外へ出て、水の音を聞きながら空や山の景色を眺めて眼を休め、風にあたりながら気分転換を図ることを目的に造りました。
気候の良いときに限られますが、お昼ご飯を外で食べる職員がいたり、みんなでカフェタイムを過ごすこともあります。一瞬で非日常的な空間に行くことができ、自然と笑顔になります。

社員のストレスを軽減するのは経営者の仕事

現場で働く職員は裁量権が限られ、程度は様々ですが我慢を強いられることが多々あり、日々業務の中でストレスを感じていると思います。それらは、職員からは言いだしづらいため、話してもらえる職場風土を作ることが重要です。当法人では、2ヶ月に1度職員一人ひとりと面談を行い、職員の意見を吸い上げています。
仕事は自社だけで完結するものではなく、現状のやり方で起こっているムリ・ムダ・ムラを解消するためには、顧客や取引先にお願いしなければならないこともあります。ここは経営者の出番であり、職員が働きやすい職場環境づくりと業務の効率化は、いかに関わる企業と一体となって行うことができるかがカギであると思っています。

今後の展望…真の健康づくり

健康経営を人にお勧めするのに、まずは自社で実践しなければ説得力がありません。優良法人認定を取得していても、実態が伴っていなければ何の意味もありません。
職員に、当法人と「出会って良かった、ここにいて良かった」と実感してもらえるよう、そして、1社でも多く健康経営の取組をしていただける企業を増やし、明るい社会を作っていけるよう地域社会へ貢献していきます。

1302

岐阜県
東海中央FA支社

坪井自動車鈑金有限会社

代表取締役社長
坪井英倖 氏

目指せ！！人生を前向きにする車！！

- 代表取締役社長　坪井英倖 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県大垣市安井町
- 主な事業内容　福祉車両業・自動車整備業
- 従　業　員　数　21名
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 岐阜支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は自動車鈑金塗装専門工場としてスタート致しました。
個人のお客様は勿論、各カーディーラー、修理工場様とは、創業以来永きにわたりお付き合い頂き、高い評価と信頼を得ております。BMWJAPAN認定車体設備工場や株式会社ヤナセ加盟工場認定などを受け、高い品質でお客様のご要望にお応えすべく、各専門設備を備え、ベテランから若手技術者まで日々仕事に取り組んでおります。

地域とのかかわり方から認定取得へ

弊社は創業より64年、自動車鈑金塗装を３代にわたり営んでまいりました。
鈑金塗装という特性上、削りカスやシンナー系塗料が舞ってしまう等の問題を抱えておりました。中でも、冷却水は色が付いた水になりますので道端や側溝に流れてしまうと、登下校をしている小学生が興味本位で触ってしまう危険性がありました。そういった背景により、地域の方々はもちろん、従業員にたいしても環境的配慮が必要だという考えのもと、営んでまいりました。もともと私たちの考えと一致していた認定と出会い、取得に至りました。

“環境や健康”へのこだわり～SDGsの取り組みも

環境といっても、自然環境と労働環境の側面があります。
弊社ではその双方に対してもこだわりをもっています。
自然環境に対しては、鉄を削った粉塵や廃油等の産業廃棄物、シンナー系の塗料等を極力減らすようにしてまいりました。
現在では水性の塗料のみを使用しています。
労働環境においては、人体への影響がある薬品の取り扱いは減ってきていますが、まだ少量の取り扱いがありますので、従業員の身体へなるべく負担がかからないように、専用の塗装ブースなど設備にも投資し、長く働きやすい環境を整えています。
結果、健康に対して従業員がそれぞれ気を付けるようになり、社員みんなで健康意識を高める要因にもなりました。
その他健康に関しては毎年の健康診断で見つかる再検査項目に対しては従業員に有給を取得してもらい、再検査を必ず受けて頂くように従業員一人一人に声掛けをしています。
その結果再検査受診率100％を達成しています。

認められる会社づくり

昨今、お客様の車に対する考え方も変わってまいりました。
走る、曲がる、止まるを満たしていればなんでもよい、直すのもどこでもよいといった声を聴くこともあります。
私たちはそういったより良い自動車業界の中でも選ばれるようにドイツの“TUVRheinland®”のプラチナ認定を取得しています。
最低限の修理だけではなく、車の本来の姿、性能で、長く大切に愛車を使っていただけるように、惜しみなく技術提供をしています。
若手の育成にも約15年前から教育体制を見直し、先輩と一緒にできることを増やしながら成長し、お互い仲間への配慮をし、社内はもちろん社外のことでも他人のことを考えられる会社を目指しています。

お客様との本当の“ありがとう”を

弊社では「目指せ！！人生を前向きにする車！！」を作る為に福祉車両の事業には特に力を入れてやっております。
例えばペダル操作が難しくなってしまった方へ手だけで運転できるような車へ改造を行っています。
お客様によってさまざまな状態で、時にはお客様のご希望でも、握力が足りず運転が難しいのではと、お断りすることもあります。
それでも本当に運転したい人へ向けて最善の提案をし、無理なく安心して運転できるお車を提供できたときにいただける“ありがとう”は格別なものがあります。
従業員からも、お客様へこのお車を担当させていただいて“ありがとう”というやりとりもありました。
お互いに感謝をしてたくさんの“ありがとう”を通じて、従業員のやりがいの向上とともに利益を生み、好循環させていくのが弊社のこれからのミッションだと自負しています。
具体的には、利益を還元できるよう社員食堂を作り、食からも社員の健康意識の向上させる事を実現したいと思っております。

1303

岐阜県
岐阜営業所

Voice Report 140th

株式会社都築産業

代表取締役社長
都築　力 氏

健康経営で「人づくり・ものづくり」の未来を創る

- 代表取締役社長　都築　力 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県羽島市舟橋町2-28
- 主な事業内容　産業機械製造業
- 従　業　員　数　39名（男性：28名・女性：11名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社は1978年に創業し、自動機／専用機などの産業機械をはじめ、あらゆる機械設備の開発（設計・製作・販売・改造）を行うFAシステムの総合メーカーです。創業時に工作機械の製造で培った技術や知見がベースとなり、弊社が誇る精度や組付けが生まれたといっても過言ではありません。お客様へ安心と信頼をご提供することをつねに心がけ、品質と安全性の高さとを両立できるよう、努めてまいります。

健康経営に取組むきっかけ

弊社が健康経営に取組むことになったきっかけは、社内で体調不良となる社員が出たことと、定期健康診断の結果が加齢とともに悪くなっていましたので、一層従業員の健康管理を徹底しなければいけないと感じたためです。
限られた人員で、少数精鋭で仕事の分担や役割を明確にしている中で、一人でも健康を害して仕事を休むことになれば、他の従業員の残業でカバーしたり、しわ寄せが生じますので、そうならないためにも健康経営に取組んでいます。

時間外労働時間の管理体制の構築

健康経営の一つの取組として、時間外労働の抑制（管理）に取組みました。
どうしても部門によって繁閑の差はありますが、週一回の部門長会議（Web会議）で時間外労働時間を開示し、お互いに業務量の確認を行うことで、相互理解と協力しあうことができるようになっています。それによって、生産管理面でも効率化が図られて、ムダな残業時間の抑制につながり、社員の気持ちにゆとりができたり、余暇が増えてきています。

人の定着に向け教育部門を設置

エンジニアが恒常的に不足しており、今後、業容拡大に向けて人の定着が欠かせないと痛感し、人事考課制度を見える化して、社内でスキルアップを目指せる体制を作りました。
ベテラン社員を中心に教育部門を設置して、新人の指導・教育・技術伝承を専門に担ってもらっています。
また、設計部門には女性を中心に採用しているため、女性が働きやすい職場を目指しています。

受動喫煙防止・禁煙対策に更に取組んでいく

受動喫煙対策として喫煙ルームを設置し、非喫煙者に好評を得ましたが、禁煙はなかなか進展していません。
禁煙ポスターなどで啓蒙はしていますが、今後は禁煙外来の一部補助等の奨励策などの対策を実施するようにしていきます。
私も禁煙した経験があり、禁煙の辛さは判りますので、これからも気長に取組んでいきます。

大切な社員を守ることで会社も成長していきたい

会社として取引先を拡げ、今まで受注したことのない仕事を請け負い、業容を大きく発展させたいと考えています。
「ものづくり」の未来を創造するうえで、基盤になるのは「人材」です。
従業員がより長く健康に働くことができる環境づくりを継続し、人材の確保・育成に注力することで、社会に貢献できる会社を目指していきます。

1304

岐阜県
岐阜営業所

株式会社臼田工業

代表取締役社長
臼田　勲 氏

社員は家族！これからも社員を守り続けていきたい

- 代表取締役社長　臼田　勲 氏
- 本 社 所 在 地　岐阜県関市のぞみヶ丘20
- 主な事業内容　精密部品加工・専用機の設計製作
- 従　業　員　数　41名(男性:33名・女性:8名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社は1980年の創業以来一貫して精密部品加工、専用機の設計製作に従事しております。特に当社が手掛ける半導体製造デバイスに関する部品や、自動車、オートバイ産業における試作開発品では高い加工精度が求められるため、それに応えられる製品を実現できる企業は、ここ中部地方のみならず日本全国を見渡しても、当社を含めごくわずかであると自負しております。

健康経営優良法人認定前から精力的に健康経営に取り組んでいる

「人生100年時代」にむけ、私たちは健康経営がこれからの時代、会社経営において大切な課題と考え、そのためには、社員が安心して力を発揮できる環境作りへの取り組みをしています。
社内の物置部屋をリニューアルし、テレビやマッサージチェアを置くなどして、社員が自分の好きなタイミングで休憩を取れるようリラックスルームを作りました。

食事面での健康意識を高めてもらうために減塩調味料を常備している

社内の食堂には、ウォーターサーバーを設置して、ランチメニューの献立表を掲示しています。
献立表には、各メニューごとのカロリー表示をしており、普段から摂取カロリーを意識するよう促しています。
８月31日の野菜の日には、総務部の部長が社員に野菜を取るように声掛けをしています。
食事面での健康意識を高めてもらうために、減塩調味料を常備しています。

野球部のメンバー

バランスボールを提供

リラックスルーム

「社員の健康に配慮する多様な取り組み」野球部が他部署との交流を促す

社員が運動しながらコミュニケーションも取れるようにと、2015年に野球部を創部しました。
部員の大半が初心者で、野球の経験の有無に関係なく、楽しく活動できています。
体を動かすだけではなく、部署の垣根を超えて交流を図れる場にもなっています。

デスク作業の多い社員にはバランスボールを提供

当社では「衣食住」の「食」は健康の礎であると再認識し、毎日の食生活を規則正しく改善することや、オフィスでのデスクワークにありがちな運動不足等を、少しでも解消できるような取り組みで、生活習慣病などへの発生リスク減少につながればと考えます。
ずっと座った状態では「腰に負担がかかってしまう」と気を配り、立った状態でも作業ができるように、昇降機能が付いた机を導入しました。

今後の展望

健康経営の取り組みは、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策に関する具体的な目標数値を設定し、継続的に取り組むことが重要です。その結果をもとに、PDCAサイクルを回すことで、少しずつでも社員の健康づくりの一助になれば幸いです。
私たちは大企業とは違い、大きなアクションや、皆様の目を引くような取り組みを行うことはできませんが、中小企業ならではの目線で今後も継続して自社の身の丈にあった健康経営への取り組みを推進してまいります。運動の専門講師を招くなどして、社員が体を動かす機会をもっと増やしていきたいと思っています。
また、食事面でのサポートにも力を入れていきます。

1305

岐阜県
岐阜営業所

笠原鋼鉄株式会社

代表取締役
笠原孝一 氏

「大家族主義経営」を基本に従業員の健康を守る

- 代表取締役　笠原孝一 氏
- 本社所在地　岐阜県岐阜市六条東1-3-4
- 主な事業内容　一般鋼材・ステンレス・アルミ等の卸売業
- 従業員数　23名(男性:17名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定
2021ブライト認定

弊社は鉄鋼流通業として創業昭和24年より永年培ってきた信頼と経験を活かし、「鉄のデパート」として、お客様のニーズに合わせた高品質・高精度の幅広い商品を「親切・丁寧・迅速」に提供しております。

従業員の将来の健康を考え健康経営に取り組む必要性を感じた

創業当初から従業員の昼食は、会社が仕出し弁当を支給していました。男性従業員の多くは仕出し弁当だけでは足らず、カップラーメンを毎日１個追加して食べており、将来の健康を危惧していました。倉庫をリフォームする際に、食堂・休憩室(仮眠室)・卓球台を設置したリフレッシュルームをつくり、従業員の将来の健康に配慮した健康経営の取組みを始めました。

従業員の将来の健康を『食』から支える

従業員の健康を『食』の面から支える取組みとして、プロの料理人を自社で雇用し、栄養バランスの取れた健康的で温かく美味しい昼食を、全額会社が負担し無料で提供しています。
月に１度のプレミアムフライデーには、ふぐ刺し、ウナギ蒲焼、松茸ごはんなど、旬の食材を使用した特別メニューにすることで、料理長に腕を振るってもらっています。
毎日の昼食が楽しみとなり、従業員のモチベーションアップと、会話のきっかけが増えコミュニケーションアップにも繋がっています。

社員食堂　年に一度のふぐ料理ランチ

昼食後に卓球を楽しむ様子

追加健康診断・インフルエンザ予防接種を全額会社負担で実施

定期健康診断は、日程を調整して勤務時間内に実施するため、受診率は何年も100％を達成しています。定期健康診断だけでなく、節目年齢時の追加健診、女性特有のがん健診(２年に１度)も全額会社が負担して実施することで、病気の予防や早期発見に努めています。
また、インフルエンザ予防接種費用も全額会社負担とし、短時間労働者を含む全従業員を対象に希望を募り、まとめて予約することで手間なく受けられるようにしています。

リフレッシュ、コミュニケーション増進に向けた取組み

運動機会・コミュニケーション増進のため、食堂の横に卓球台を設置して休憩時間に利用してもらっています。
また、コロナ禍が続いていますが、行き先、時期、日数、感染対策を十分に考慮して、全額会社負担による慰安旅行を継続して実施しています。リフレッシュするだけでなく、同僚の新たな一面を発見したり、思い出を共有することで親睦を深め、結束が強まっているように感じます。

25年後の創業100周年を迎えた時にも、従業員が健康で元気に働いていて欲しい

従業員が定年を迎えても、本人が希望すれば長く働き続けられるよう環境整備を行っています。
弊社では、70歳を過ぎても引続き勤務され、50年勤続表彰を受けた従業員が今までに5名います。
25年後の創業100周年を迎えた時に、従業員が健康で元気に働いていて欲しいとの思いで、これからも健康経営に取組み、従業員が心身ともに健康で幸せな人生を送れる職場を構築していきます。

1306

岐阜県
西濃営業所

Voice Report 140th

高和工業株式会社

代表取締役
高木陽一 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役　高木陽一 氏
- 本社所在地　岐阜県不破郡垂井大石617
- 主な事業内容　他の炭素製品等製造業
- 従業員数　19名(男性:15名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

少量多品種生産である当社は、社員が自らの知識と経験で業務にあたります。このため、個人の才覚に頼ることが多く、メンタルに負担がかかっていると感じていました。これまで健康管理は個人任せになっていましたが、健康経営の取り組みはそれを変えるきっかけになりました。これからも社員が心身ともに健やかに働くことができるように、この取り組みを通じてサポートしていきたいと考えています。

1人1人の役割が大事だからこそ、健康経営をスタートしました。

健康経営という言葉はアクサ生命の担当者から教えてもらいました。最初は求人に役立てれば良いなと思い、内容を教えてもらいました。ただ、我々中小企業では特に従業員の１人１人が本当に大事なので、健康で長く働ける職場づくりが今後必要だと強く思い、スタートをしました。
お客様に喜んでいただき、満足していただけるモノ作りに打ち込むことが弊社の使命としてやっておりますが、それにはまずは従業員が健康で活き活き働いてくれることが重要であると思っております。

楽しみながらできる工夫を。

岐阜県主催のウォーキングイベントを、全員に共有しました。達成したらシールをもらい、集まれば景品がもらえるというイベントでした。自分で目標を立てて景品がもらえるよう頑張っている従業員もおり、自然とコミュニケーションが増えていたように感じました。コロナ禍で従業員のコミュニケーションが減っていたり、運動不足の従業員が多い中で、こういったイベントがあるのはありがたいです。今後もみんなが楽しみながら健康づくりができる環境を整えていきます。

毎月の健康情報の提供で健康意識向上。

毎月１回、健康ワンポイントアドバイスを配っております。アクサ生命や岐阜県から情報提供をしてもらっておりますので、それを活用し、全従業員が見られるようにしております。その結果、自分の興味のあるものが記載されていれば、しっかり読んでくれ、その感想を言ってきてくれる人もいました。喫煙についてもたばこを吸うことのデメリット・体への影響の情報提供を何度かしたり、禁煙ポスターを掲示することで、２名禁煙に成功しました。
少しずつ意識する人が増えてきていますので、継続していきます。

会社外観

健康経営実践プログラムを実践。

従業員に24時間電話健康相談サービスが使えるようにし、コロナ禍でも少しは安心できるようにしました。またコロナ禍で特にメンタル面が不安になる方が多いということも聞いたので、メンタルサポートができるように外部窓口を設置しました。運動や栄養管理ができるアプリも導入し、従業員や家族も使えるアプリということで一部従業員は喜んでくれておりました。今年も健康習慣アンケートを実施して、今の課題を明確にして、より働きやすい職場環境を作っていきます。

今後の展望

弊社では定年制度を設けております。しかし、昨年の４月に70歳までの雇用が努力義務化されたのを受けて、人生100年時代になってきているからこそ、働ける人は希望に応じて何歳でも働けるようにしたいと思っております。
そのためには、普段から健康を意識することは重要だと思います。病気やケガがなく、健康で活き活きと働ける環境づくりをこれからも実施していくため、健康経営は続けていきたいと思っております。

1307

愛知県
東海中央FA支社

協発工業株式会社

代表取締役社長
柿本　浩 氏

協奏力を、発信力へ。

- 代表取締役社長　柿本　浩 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県岡崎市滝町
- 主 な 事 業 内 容　自動車部品のプレス加工、溶接加工他
- 従　業　員　数　42名(男性:29名・女性:13名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

Voice Report 140th

1966年の創業より「お客様第一」の姿勢を守り抜き、いつの時代も「困ったことは協発工業へ」と頼っていただける存在を目指して、事業拡大に邁進して参りました。そして、そんな企業像を実現するために大切にしているのが、お客様のニーズに全社員が一致協力して対応できる組織作りと風土の醸成です。

「和」を活かすものづくり お客様により高い満足を

創業者より受け継がれる社是「和」を根幹に、営業・技術・品質のグループを１つの部署としてまとめ、部署の垣根を越えて協力し合える体制を整えています。お客様にお応えできる高度な技術力と未知の課題にも果敢にチャレンジできる豊かな創造力に繋げ、品質面、コスト面からも満足できるものを提供しています。社内の「和」を大切に育むことは、お客様に喜んでいただける製品はもちろん、社員や地域社会の幸せの実現にも繋がると考えます。これからも、協発工業が積み上げて来た「和」を活かすものづくりで、お客様・社員・地域の三方よしを形にする企業を目指して参ります。

脱炭素経営への取り組みを通じて

2018年頃から耳にするようになったSDGs。その中に気候変動に具体的な対策をという取り組みがあることを知り、調べていくうちに気候変動に対する二酸化炭素の排出量の情報開示をすることが重要だと知り、取り組みを始めました。2021年に温室効果ガス削減目標について、自動車・郵送用機器のセクターで国内初のSBTイニシアチブの認定を取得しました。

一緒に働く仲間を大切に

人材が足りない中で、今いる従業員がいなくなったら代わりはいません。一緒に働く仲間として、いかに長く働いてもらえるかを目指す上で健康は必要不可欠です。その為に日頃から情報提供で健康に対する意識を高めていったり、一人一人の健康状態をきちんと把握して、適した指導を行います。これからも、できるだけ長く働いてもらえる職場環境作りに尽力していきます。

コミュニケーションの促進へ

SDGsを取り組む中で健康経営が始まりました。
職場の活性化を目指す上で、「健康セミナーの実施」、「コミュニケーションの促進」に注力しています。外部講師を招きセミナーを実施することで個々の健康に対する意識を高めています。
コロナ禍以前はBBQ、スポーツ大会、レクリエーション等の開催をしてきました。現状は、継続的に出来ていれば良かったこのような取り組みが出来なくなり苦労していますが、状況に応じた取り組みは何があるのかを考え、新たに職場ごと、グループごとでランチミーティングを行いコミュニケーションを図るようになりました。

従業員と距離感の無い会社を目指して

取り組み項目の一つとして衛生委員会を立ち上げ、毎月１回計画⇒実行⇒反省会というサイクルを作りました。このことが組織力の向上に繋がりました。今まで間接的だった従業員の意識が変化して、直接会社を変えていこうという個々の願望や、みんなでより良い会社にしようという声が聞きやすくなりました。
言いたいけど言えなかったことが、こういったチームでワンクッション置くことにより意見が出しやすくなり、今まで出なかったことが聞けるようになりました。この取り組みをきっかけに従業員と距離感の無い会社を目指していきます。

1308

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

特定非営利活動法人ウィル大口スポーツクラブ

理事長
近藤　登 氏

従業員に健康で長く働いてもらいたい気持ちから

- 理　事　長　近藤　登 氏
- 本社所在地　愛知県丹羽郡大口町
- 主な事業内容　指定管理業務・スポーツ教室開催
- 従業員数　16名(男性:11名・女性:5名)
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

平成14年より大口町に事務所をかまえ、指定管理事業やスポーツ教室運営・指導等を得意としております。地域の皆様に運動の場所や運動機会の提供を行っております。当クラブの職員のみならず、地域住民の皆様にも運動を通して健康になってもらいたいという気持ちで日々の活動を行っております。

健康経営に取り組むことになったきっかけ

健康経営に取り組むきっかけは、毎年開催される総合型地域スポーツクラブの全国会議にて、「健康経営」の情報を知ったのが始まりです。
私たちは、すべての人が健康で文化的な生活を営むために、地域社会における生涯学習の発展に寄与することを目的としております。
従業員が健康でいてくれるおかげで、事業が発展していき、事業が発展していく事によって、地域の皆さんの運動機会が増える。その結果、地域全体が健康になっていくと考えております。
このような考え方の中で、当クラブとしては企業の宝である「人」を大切にしております。
従業員の健康管理は、身体の健康のみだけではなく、ココロの健康も重要と考えており心身の健康管理の環境を整備しております。

健康経営に対する取り組み

身体の健康管理として２点の取り組みを行いました。
１点目は、健康診断のオプション料金に関して、受診対象者全員に上限１万円まで会社負担といたしました。
２点目は、これまで顧客のみ利用可能であったスポーツ施設を従業員にも利用できるようにいたしました。出退勤の前後で自由に使ってもらい、自主的に体を動かしています。
ココロの健康管理としては、各従業員との定期的な面談を行っております。面談内容は、業務に関わる内容だけでなく、日常的に困っている事や人間関係に関する事など多岐にわたって行っております。また、面談者は管理職のみが行うのではなく、面談対象者に近い存在の上司・先輩職員が行い、話がしやすい環境をつくっております。

取り組みの結果

身体の健康管理では、健康診断のオプション料金を負担する事によって、各種オプションを受診する従業員が増えてきております。そのことによって、現在自身が抱えている健康リスクを知った従業員が多くいます。そこから、健康意識が高まり、スポーツ施設を利用する従業員も増えてきております。健康リスクを知り、自主的に運動をする従業員が増えた事で、病欠で休む従業員が減ってきております。
ココロの健康管理では、面談回数が増えた事により、各従業員が今どういった事を考えており、どういったことに悩んでいるのかがわかるようになりました。そこから、管理職から積極的に声をかけるようになりました。このことによって従業員間のコミュニケーションが増えたように感じます。コミュニケーションが増えたのは、管理職と従業員間のみだけでなく、従業員同士のコミュニケーションも増え、クラブ全体として活気が出てきたように感じます。
従業員が健康管理を自主的に進めた事によって、周囲の変化に気づくようになりました。それは、スポーツ指導に関しても発揮されており、会員の変化にも気づき、その日の体調やメンタルに合わせて指導をするなど、仕事に関してもいい傾向が出ていると感じております。

今後の展望

業種的に男性職員が多くなってしまい女性職員が少ないということが今の問題点です。女性職員が少ないことよって、女性特有の問題に気付くのに時間がかかってしまいます。
女性職員が今以上に働きやすい環境を作っていくためにも、クラブ全体で各種制度の整備や働き方を考えていかなければと思っております。
従業員全員が健康で元気に長く働き続けたいと思えるような環境を整えていき、健康経営に関する情報を常に意識していかなければと思っております。

1309

愛知県
東海中央FA支社

株式会社喜多村

代表取締役社長
北村眞行 氏

「すべての社員の豊かな人生の実現」に寄与するために

- 代表取締役社長　北村眞行 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県愛知郡東郷町
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　182名(男性:141名・女性:41名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2018～2022 5年連続認定

Voice Report 140th

当社は受託粉砕事業とフッ素樹脂潤滑用添加剤の製造・販売事業を展開しております。
多くの方の助けにより2021年５月に創業50周年を迎えることができました。
次の50年も経営理念に掲げております、「社会に大きく役立つ製品、サービスを提供し、『信頼されるカンパニー』」を目指し、従業員一同精進してまいります。

健康経営を取得したきっかけ

当社も2000年代前半までは長時間労働が常態、有給休暇の取得も難しい「昭和体質」の会社でした。
2006年頃、この状況を危惧した当時の総務部長の発案により計画的有給休暇取得制度・ノー残業デーの導入、50歳以上の社員は健康診断に替え人間ドックを受診させる制度を導入したことから社内の雰囲気が変わり始めました。
また少なくない従業員が病気により長期休職せざるを得なくなったこともあり、従業員の健康意識をより高めていきたいと考え、健康経営に取り組み始めました。

変化があったこと

【社内】
従業員個々に関係のない取組に対する理解度は低かったのですが、認定により「喜多村は従業員が健康的に働くために色々と手を打っている」と理解してもらえるようになりました。結果従業員の当社への帰属意識が高くなったように感じています。
【社外】
会社説明会等で「従業員を大切にする会社」を客観的に示すことができ、企業価値向上の一助になっています。

重点を置いていること

当社健康経営取組のきっかけとなった「適切な働き方の実現に向けた取り組み」に対しては引き続き重点を置いています。
具体的には
◆新規付与される有給休暇のうち70％の取得義務
◆週２回のノー残業デー実施
◆在宅勤務制度・時差出勤制度の導入
◆時効を迎える有給休暇を積立てボランティア、私傷病、育児、介護等に利用できる制度導入
◆リフレッシュ休暇・永年勤続休暇の付与

事業発展計画発表会
（コロナ禍以前は毎年実施）
（2019.05開催）

古川工場全景

当社キャラクター
「砕きの喜多さん」

好事例

これまで協会けんぽから保健指導の案内が届いた対象者に対し、就業時間内かつ事業所内で実施するから受けてみないかと伝えても、忙しい・興味ないと断られることがありました。
社内にて病気と治療の両立支援についてのセミナーを行い、講師より労働者には「自己保健義務」があるとのお話しを頂きました。
そういったこともあってか、直近の対象者は80％超が保健指導を受けています。
健康経営に地道に取り組んだ結果、従業員の健康意識が高くなった一例であると考えております。

これからの展望

当社の喫煙率は全国平均よりも高い約36％となっています。
今後は喫煙率を下げる取り組み（禁煙治療補助・禁煙達成お祝い金等）を実施していき、将来的には事業所内完全禁煙を目指します。
運動機会の増進に向け、全従業員が気軽・積極的に参加できる取り組みを進めてまいります。
社内のニーズや協会けんぽのヘルスアップ通信等で明確になった問題点に対応し、従業員から入社してよかった・ずっと働きたい会社と言ってもらえる会社にしたいと思います。

1310

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

株式会社高坂工業

代表取締役
松本修藏 氏

明るく、元気、素直に生きる

- 代表取締役　松本修藏 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市中村区
- 主な事業内容　防水工事業
- 従業員数　15名
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

昭和40年に創業してから、「明るく、元気、素直に生きる」この姿勢を貫いてまいりました。
お陰様で50年を超える実績を持ち、大手スーパーゼネコンはじめ、多数のお客様より仕事を頂戴できるようになりました。
シーリング業界では、中部でトップクラスと自負していますが、今では総合防水、改修工事でも官庁、民間工事の実績をつけてまいりました。
時代とともに技術は急速に進歩し変化してきました。しかし、『誠実にお客様と向き合い、満足して頂ける仕事をする』という高坂工業の信念は変わらず貫いてまいります。
これからも一つひとつの仕事に情熱を注ぎ、お客様に満足して頂ける努力を続けてまいります。

働く上での充実感を大切に

わが社では社員が働く上での充実感を大切にしており、継続的に社員の心と身体の健康づくりに向けて積極的に取り組んでおります。
2011年より、先代社長の社員の健康や環境への想いで禁煙活動をスタート。現在では喫煙する社員もほとんどいなくなり、のびのびと業務に従事しています。
他にも名古屋市ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定を受け、仕事と育児、介護との調律が図れるような仕組みの設置や長時間労働の削減等、積極的に従業員の働きやすい環境づくりを取り組んでいます。
創立以来、積極的に女性採用も行っており、男女関係なく活躍できる環境を整えております。

ドローンによる上空からの撮影。測量などで大活躍です。

女性社員も多数活躍しております。

先代からの健康への熱い想い

健康経営の認定取得をするにあたり、特別新しいことは実はあまり始めていません。先代の今までやってきた健康への取り組みが、そのまま認定要項と合致していました。
毎日のラジオ体操や、水分補給の支援など身体の健康はもちろん、社内テーマである人間力アップを目指した講習会を様々な分野の専門家を招いて継続的に開催しております。
私たちにとって認定を取得する前より当たり前に取り組んでいた活動がそのまま認定につながり、より一層社員の意識も高まり、日々の業務にも健康を意識するようになりました。
社長自身歩いて出社し、日々の歩数を記録し従業員とも競い合い、お互いに高い意識を刺激しています。

SDGsや新しい技術も積極的に導入

ドローンの活用に着眼してお客様へ安心・安全を提供しながらコスト低減と工期短縮を達成すべく日々課題に取り組んでいます。これからはドローンにAI技術が組み込まれ、益々その需要は拡大していきます。その価値を皆様に一日も早くお届けしたい。その一念です。
新しい技術の導入に伴って従業員向けの勉強会も実施し、SDGsの「働きがいも経済成長も」についても積極的に取り組んでおり、愛知県よりも経営革新計画についての承認も受けております。

新しいことへの挑戦に向けて
日々社員一同勉強しています。

1311

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

尾畑長硝子株式会社

代表取締役社長
尾畑聡一 氏

住宅建材を通じ、快適な生活環境を提供し、地域に貢献します。

- 代表取締役社長　尾畑聡一 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市中区
- 主な事業内容　板ガラス・アルミ建材等の設計・施工
- 従業員数　92名(男性:58名・女性:34名)
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

私たちは、日々健康に留意し、知識や技術の向上により主体性を磨き、そして組織の一員として協調性を培っていく中で、従業員一人一人の個性と企業としての組織力を組み合わせ、お客様のニーズに的確に対応していくと共に、持続可能な社会の実現に向けて「まど」にできることを追求し続け、これからも商品・サービスを提供してまいります。

認定取得のきっかけ

2019年より認定の取得を始めました。
きっかけは身近な経営者さんから認定制度があると教えていただいたことでした。
言葉は聞いたことがあっても、実際内容についてはこの時に詳しく知り、大変納得できるものがあり、認定の取得へ動き出しました。
以前より、社内で体調不良者への配慮や、健康習慣作りの動機付けなど、取り組みたかったことが現実となっていき、目指す姿へ一歩確実に近づくことができました。

産業看護師を迎え、健康意識をより身近なものに

2020年度の認定より、社内に産業看護師を配置しました。
医療の専門知識を持ちつつ、社員にとっても身近な存在を設置することにより、体調や健康について相談しやすい環境づくりができました。
結果、メタボ・メタボ予備軍や喫煙者に対する保健指導の実施率も２年前から100%になりました。
健康診断の判定が芳しくない社員に対して、一人一人面談を行い、ここに合わせたカウンセリングを行い、年々改善されています。
ストレスチェックの実施も産業看護師が行ったり、健康診断後各営業所を巡回し面談を行うことで、コミュニケーションの推進も同時に行うことができています。
今後益々の活躍を楽しみにしています。

産業看護師を迎え、医療の専門家として活躍しています。
今後の課題もより明確になり、具体的な対策を行っています。

課題は社員の温度感の差

４年連続で認定をいただいてはおりますが、まだまだ課題はあります。
主だっては社内の温度差がまだまだ残っている状況です。
特に、喫煙者と禁煙者の温度感や、営業所ごとの取り組みへの意識の差など、社員へ浸透してきたゆえの課題かと思います。
全体では40%強あった喫煙率も20%弱へ減少しましたが、営業所ごとの喫煙率の差はまだまだ課題と言えます。

これから目指す姿

私たちは硝子を取り扱うプロとして、ガラスと健康の関わりを自信をもってお客様へ伝えられるよう、この認定制度をある種のブランドとして活動をしていきたいと考えています。
例えば、窓ガラス一枚でもアレルギーなどにも大きく関係します。
そういったお話を説得力を持ってお客様へ提示できるよう、率先して健康への取り組みを行い、地域へも貢献し、ものを売る会社ではなく、事を売る会社へさらに近づけるように、様々なことにこれからチャレンジし続けたいと思っています。
結果として、社員全員が健康で、元気になり、パフォーマンスの高い、強い会社を目指し続けます

元ヨガインストラクターの社員によるヨガ教室を実施しました。
普段ヨガともあまり関りの少ない社員も一生懸命に取り組みました。

1312

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

社会保険労務士法人名古屋労災

代表者
岡部すみ子 氏

生きることと働くことを自由自在に
一人一人が輝ける社会の実現を目指して

- 代　表　者　岡部すみ子 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市中区丸の内3-21-21
- 主な事業内容　社会保険労務士業
- 従業員数　5名(女性:5名)
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

【事業コンセプト】:1973年に岡部満社会保険労務士事務所として開業、2023年には50周年を迎えます。“解決策はひとつではない”ゴールは同じでも、手段やルートはいくつもあるはずです。時代の変化、その一歩先を見据えて、プロとして最適な方法をご案内できるよう職員一同、日々精進しています。有資格者6名。それぞれの得意分野を活かしきめ細やかな対応を心がけています。労働保険事務組合東海労務福祉協会・建設業一人親方団体併設

健康経営をはじめたきっかけ

「安心安全な職場」「従業員を大切に」「社員がイキイキと働ける職場」このようなことをお客様にご提案するにしても実践していないと説得力がありません。
もともと所長をはじめ職員の健康に対する意識は高いと思っていましたが、目に見える分かりやすいカタチにして整理してみよう、弊所の取組レベルを確認してみようと思ったのがきっかけです。
健康経営エキスパートアドバイザーも在籍しています。自ら取り組むことで得られた知見をお客様にも広げていきたいと考えています。

乳がん検診100%受診に向けて

２年に１度の受診が推奨されている乳がん検診ですが、受診していない人がいることがわかりました。自治体が実施している検診は、平日の特定日や別途予約が必要なことが原因でした。
弊所職員は全員女性ということもあり、とても大事な検診です。必ず受診して欲しい。案内をするとともに、希望者には、受診サイクルにあわせて毎年の生活習慣病予防健診時に、乳がん検診も同じ医療機関で受診できるように変更しました。その結果、受診のハードルが下がり変更後は全員が受診しています。

両立支援の今後

弊所は勤続年数の長い職員が多いことが特徴です。20年近くになる職員も多数おります。当初は育児と仕事の両立が課題でしたが、現在は介護や自分自身の健康、やはり年齢を重ねると変化は避けられませんので、こちらの両立支援も対応が必要となってきました。幸い職員本人が長期療養が必要になる事態はまだありませんが、その時々のベストパフォーマンスを発揮してもらうにはどうしたらよいかを考え続けています。

その他の取り組み

- 基本残業ゼロ。毎日がノー残業デー。
  先代からの取り組みであり、お客様にもご理解いただいています。
- 職員は協会けんぽ「生活習慣予防健診」を受診。所長は毎年胃カメラを含むすべての健診項目を受診。
  所長自ら健康管理に取り組む姿勢を見せることで職員の健康意識を高めています。
- 午後の業務開始前に5分程度の動画を流しストレッチ
  デスクワークで同じ姿勢をとっていることが多いため、体を動かすことで、スッキリし気持ちの切り替えに役立っています。

今後の展望

人生100年時代。所長そして職員が「生涯現役」で「よりよく生きる」ためにはどうしたらよいかを考えたとき、やはり健康経営の視点は外せません。ベースとなる健康を組織として支え、仕組みをつくることで、個人の変化、社会の変化に対応し、何があっても今の100%の力を出すことができる体制をつくること。そしてそれを社会に還元していくことを目指しています。
職員のためお客様のためにも、最も働きやすい社会保険労務士法人を目指し、実践し続けます。

1313

愛知県
東海中央FA支社

Voice Report 140th

中島急送株式会社

代表取締役社長
中島和生 氏

運ぶをとおして感動・安全・豊かさを届ける

- 代表取締役社長　中島和生 氏
- 本社所在地　愛知県岡崎市北野町
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業・他
- 従業員数　120名(男性:111名・女性:9名)
- 加入健保名　協会けんぽ 愛知支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

2024年４月より施行する時間外労働の上限規制により、今までの仕組みでは成り立たない状況になると同時にコンプライアンスを遵守できない会社は淘汰されていくことになります。このような時代に合うように、私たちは、働きすぎを防ぎ、従業員の皆様の健康を守り、多様なワーク・ライフバランスの実現に努めてゆかなくてはならないと考えます。さらに当社では社員の多彩な働き方を応援しています。

会社概要

当社は本業である運送＝「運ぶ」ことを通じて、お客様、社員とその家族、そして地域社会といったすべてのステークホルダーとの幸福な関係を理想として平成３年３月に設立致しました。創業以来、お客様にお喜び頂けるサービスとは何かを追求しその提供に社員一丸となって取り組んでまいりました。今後においても時代の変化、社会の要請を適確に把握し多様化するお客様のニーズにお応えする所存です。また、環境を中心とした社会貢献活動の実施やコンプライアンスの徹底を図るなど、CSR活動の推進にも積極的に取り組んでまいります。

笑顔が溢れる会社を目指して・・・

笑顔は心の余裕をつくり、コミュニケーションを円滑にします。
さらには、人生を豊かにします。
お互いに助けあう社内の雰囲気と信頼の上に成り立つ笑顔の絶えない職場。高い安全知識と行動が地域社会から評価され、やりがいと誇りに繋がる。
従業員一人一人がそれぞれの仕事にやりがいを抱き、活き活きと働き続けることができる職場環境づくり、笑顔で周りに心の豊かさを伝えることができる会社を目指します。

安全を届ける為の健康管理

働きやすい職場づくり、また、安全輸送を行っていく上では従業員の健康管理がとても大切だと考えます。この理念が健康経営を取り組むきっかけとなりました。
当社では、定期健康診断の実施及び結果に基づいた生活習慣病予防の指導。通院・投薬状況の把握と指導。産業医による健康管理の重要性をテーマにした講演会の開催。ストレスチェック及びインフルエンザ予防接種の実施。始業前の血圧測定を行っております。
また、2022年10月より毎月第３金曜日を“笑顔の日”として昼食(爆弾おにぎり)の提供を始めました。

従業員の健康意識向上へ

健康経営を取り組み始めたころは、従業員の健康意識は高くはありませんでした。そのような状況下で健康指導、健康管理の重要性をテーマにした講演会の開催等の取り組みを継続して行うことにより、今では「当たり前のように血圧測定を行う」。「通院・投薬状況を逐一報告」。「服用中の薬が変更になったら自ら申し出て、健康管理責任者と一緒に副作用について確認」。というように従業員一人一人の健康意識が高まり、良い環境になってきました。
今後も満足することなく、新しい取り組みを考え実行して、健康意識向上に尽力します。

1314

愛知県
東海第二FA支社

Voice Report 140th

イー・バレイ株式会社

代表取締役社長
池田徹弘 氏

技術を通して新しい価値を創造する

- 代表取締役社長　池田徹弘 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県名古屋市昭和区福江
- 主な事業内容　技術支援事業
- 従　業　員　数　118名(男性:94名・女性:24名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

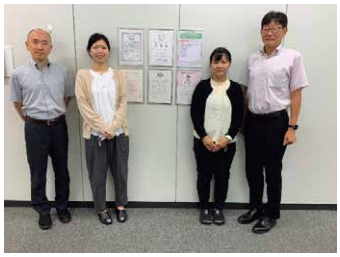
健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

全方位型技術支援を掲げ、チームの融合によるトータルソリューションを構築

イー・バレイは事業領域を「ものづくり貢献事業」と定め、「全方位型技術支援」という発想で機械、電気・電子、ソフトウェアの３つの分野で開発支援、生産支援、業務改革支援を行っています。さらに高い機密性を保持する製品開発支援チームと、社内部門である装置開発支援チームとの融合によりお客様に最適なトータルソリューションを構築し、プロジェクトを成功へと導いています。

「健康経営」を知る前からの取組みと効果

私たちは人に役立つ技術の提供をすることを使命として産声を上げた企業です。従業員一人一人が能力を最大限発揮し、自信と誇りを持って思い切り働ける環境を創出することが最も重要と考えてきました。
社長として、企業の発展のためには従業員の健康が第一であると考えていたので、健康経営認定制度を知った瞬間から取得を決意しました。これまでの弊社の取組みは、認定条件に該当する項目が多くあり、無事に認定取得できました。着座作業が多いため、健康診断結果が思わしくない技術者が多いことに気づき、健康指導を行える環境整備、従業員からの発案によりソフトボールやリレーマラソン大会への参加など、会社として補助支援を行い福利厚生を強化、勤務内外にかかわらずケガや病気などに対する保険も会社として準備しています。
見える効果として大きなものはまだありませんが、徐々に従業員の健康に対する意識にも変化が生まれ、社員間のコミュニケーションも良好になりました。今後も従業員の為に取り組んでいきたいと思います。



先を見据えた人材ビジネスと企業の発展

８名でスタートした会社ですが、現在は100名を超え対応できる技術分野も拡大しています。従業員の約50％は社内での開発業務に携わっており、取引先への派遣出向業務をしている者も多数います。技術を持った人がより多くの環境で働くことが社会的意義が高いことを知り、経済と同じで高い技術をいろんなところで流通させれば日本企業の向上に繋がると考えます。より高い技術を持った人材を惜しみなく派遣することで社会貢献を目指しています。また技術の特許取得も積極的に行っています。

リモートワークの導入で業務に変化も

ある従業員から家族が遠方へ転勤することになったので退職の申し出を受けました。コロナ禍の影響もあり、リモートシステムを導入していたので、初めての試みとして完全リモート業務の従業員として雇用継続していただきました。必要書類関係は紙ベースからデーターベースに移行。時間効率UPに繋がり出向先の従業員との交流も図りやすくなり、絶大な効果を得ることができました。

オリジナル開発商品

SDGs、特に林業では大きな問題を抱えています。森林の手入れが必要であるもののコストの問題から手つかず状態になり、結果として大きな自然災害をもたらすなど社会問題となっています。
林業界でのICT化に着目し、専門分野ではなかった林業の知識を習得する為に、従業員を林業塾に通わせました。そこで得た知識を基に枝打ちロボット「eddy」の開発に取り組みました。製品化するまでに様々な困難がありましたが、７～８年の歳月をかけ製品化に成功し、現在絶賛稼働中です。

1315

愛知県
東海第二FA支社

株式会社ヘルスケアシステムズ

代表取締役
瀧本陽介 氏

生活習慣のミスマッチをゼロにして、楽しみながら健康になっていける社会を

- 代表取締役　瀧本陽介 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市昭和区
- 主な事業内容　郵送検査事業、機能性食品臨床試験・研究開発
- 従業員数　76名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

Voice Report 140th

私たちは「世界をもっと楽しく健康に」をビジョンに掲げ、「生活習慣のミスマッチをゼロにする」をミッションに事業を展開しております。私たちが提供する検査は、病気の診断などではなく、いわば「生活習慣のものさし」です。誰もが簡単に自分のカラダの状態を知り、生活習慣とのミスマッチをなくすことで、楽しみながら健康になっていける社会を目指しています。

健康に携わるからこその健康経営

健康経営に取り組むことになったきっかけは、中部経済産業局からの情報提供で、認定制度が創設された2016年から取り組んでいます。
社員が安心して生産性高く働けるように、実態に合わせて内容を改善しながら管理・運営をしています。
社員の７割が女性ということもあり、妊娠や出産といったライフステージ毎のサポートにも力を入れています。また、育児と仕事を両立するママ、いわゆるワーママも女性社員のうち７割と多いので、女性が働き続けやすい環境づくりを目指しています。
健康経営認定の他にも「プラチナえるぼし認定」も取得しています。

ヘルスリテラシーの向上

健康診断の受診率・二次健診の受診率も100％と、社員も自主的に取り組んでおり、健康に対する意識を高く持つことができています。
また、日々の生活習慣の改善を目的に、自社製品でもある『カラダのものさし』という未病検査を３ヵ月に一度実施。社内ヘルスリテラシーが上がってきていると感じています。
社内に健康サポート室を設置して、産業医・社員と三位一体となり、全体的な健康管理体制の強化を行えるように環境を整えています。

定期カラダチェックで結果を共有する社員の様子

カラダのものさしの検査キット

社員を信頼・信用すること

名古屋と東京という離れたところに拠点がある為、コミュニケーションの一環としてもともと導入していたオンラインのツールを活用して、コロナ禍でのリモートワークも積極的に取り入れました。当初はリモートワークによる生産性の低下を懸念しましたが、結果として維持または社員によっては向上することが分かりました。今では、家庭の事情により他県に行かないといけない社員も、休職や離職することなく完全リモート環境で働き続けています。社員が増えていく中で、自分が見えているところだけで評価しがちになっていたのですが、社員を信頼する・信用することが重要だという事にも、このコロナ禍でのリモートワークを経験して気付けました。

オンラインでの全社会議の様子

自分に合ったもので賢く健康になる

自分の実力を付ける為には、世の中の常識を考えた振る舞いが大切だと考えています。童話の「アリとキリギリス」に描かれているように、すぐに音をあげてしまうのではなく、真面目に働くこと・将来の事を考えて努力することの大切さを社員にも伝えています。
健康づくりに関しては、多くの方がメディアの情報を基に行動しています。さまざまな健康に良い食材・食品・サービスがありますが、「自分のカラダを見える化する」ことをせずに、直感と体感で選びがちです。合っていないのにずっと食べ続けている、お金を払い続けるのは賢いとは言えません。自分のカラダを見える化することで、その方に合った最適な健康プランを提供し、ひとりひとりが楽しく健康になれる社会を実現したいと思っています。

1316

愛知県
名古屋営業所

Voice Report 140th

株式会社オーテクニック

代表取締役
小川　功氏

経営理念：足場を固め、技術を高め、未来を組み立てる

- 代表取締役　小川　功氏
- 本社所在地　愛知県稲沢市北麻績町郷前15
- 主な事業内容　建設業
- 従業員数　47名（男性：35名・女性：12名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

足場工事から始まった会社ですが、建材レンタル・不動産・ICTと幅広く事業を拡大しており、今後も色々なことにチャレンジしたいと思っています。
もっと安全で働きやすい環境に変えていき、建設業界全体を盛り上げていくというビジョンを掲げています。

社員のために、良いと思うものを取り入れた

健康経営に取り組むきっかけは、社員のためになることは会社のためになるという思いのもと、もっと会社を良くするために何かできることはないか？と検討したことからでした。社員にとって良いと思うことであれば、まず始めてみようということで、社員の満足度や健康状態、働き方などの現状を把握することから始め、本格的に取り組むことにしました。昨年度は平均有給休暇取得日数10.7日と計画的に休みが取れており、時間外の月平均は12.1時間でした。
ワークライフバランスも両立できる環境で、社員が明るく仕事をしてくれているのが自慢です。

健康管理は会社ぐるみでサポート

健康診断は、受診しやすいように、健診車を依頼し、本社での巡回健診を実施しています。また、予防医療として、有所見者の２次健診や婦人科健診など就業時間内に全員が受診するまでサポートしています。おかげで体調不良で休暇を取得する社員が劇的に減少しているのを実感しています。
また、メンタルヘルスについても、定期的な声掛けや、相談専用のメールを開設など、話しにくいことも担当者と相談できる体制を構築しています。まだ義務ではありませんが産業医の設置やストレスチェックの導入なども行い、社員の健康に注力しています。

本社社屋全景

ユースエール認定制度取得

「ユースエール認定制度」とは厚生労働省が若者の採用育成に積極的で雇用管理の状況が優良な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度で、この資格は全国で936社、愛知県下で40社しか認定を受けていません。（R4.10末現在）
このユースエール制度認定を受けたことや健康経営の優良法人認定を取得したことも相まって最近若者の応募者も次第に増えてきていると感じています。これからもホワイト企業として誇れる会社であり続けたいと思っています。

充実した研修制度

自己啓発を含む研修制度は充実し、参加率も高いです。
１．自己啓発研修
ラーニングエージェンシーと契約し、社員の自己啓発を推進しています。社員は３か月に１回以上は研修を受講するようにしています。2022年度において、受講率が高く、学習意欲を組織として高めた企業であったとして表彰を受けることも出来ました。
２．毎月開催のモーニング研修
毎月１回社員が講師となり、始業前30分間の任意参加研修を実施しています。当然残業手当の対象としているだけでなく、コミュニケーションの場にもなり、参加者にはコーヒーチケットを配布する特典もつけていて、密かに喜ばれています。

今後の課題

現在、喫煙者が社員の約半分ほどいますが、現場で働いている社員も多く、なかなか禁煙が進んでいないのが現状です。事務所内での禁煙対策は進んでいるので、今後は現場における禁煙対策を模索していきたいと思っています。
社員の健康は会社の成長であり、自分の健康を知ることは本人の成長につながることをもっと伝えていき、社員が心身ともに健康で楽しく働くワークエンゲージメントが高い会社を目指していきたいと思っています。

1317

愛知県
名古屋営業所

ニットーケイビ株式会社

代表取締役専務
黒仁田　孝 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役　鹿野尚宏 氏、黒仁田　孝 氏
- 本社所在地　愛知県名古屋市中区錦3-5-13
- 主な事業内容　綜合警備業務
- 従業員数　165名（男性：160名・女性：5名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

経営方針

1. 労働環境の確保
2. 警備業の社会的地位の向上
3. 先義後利

健康経営

ニットーケイビでは、従業員こそが最も大切な財産であるという考えの元、全ての従業員とそのご家族のQOL（生活の質）の向上を常に意識し、グループに医療機関を備え、身体や認知機能など心身の健康管理に取り組んでいます。

従業員こそが最も大切な財産

弊社は創業から50年余りにわたる長年の実績から多くのお客様に支持されている警備会社と自負しています。
業務は、主に施設警備と誘導警備になります。そのなかでも「列車見張り」の仕事は、駅の改修工事を皮切り中央新幹線名古屋駅新設工事などで積み重ねてきた、長年の実績があります。
従業員数も数年前は70名前後で推移していましたが、優良法人認定を取得したことも相まって、この数年で160名を超えるまでになりました。業界未経験の方も多いことから、安心して勤務ができるように研修教育にも力を入れています。

健康で長く働ける環境作り

健康経営を始めたキッカケは、「健康で長く働ける環境を作りたい」という社長の想いからでした。
従業員の平均年齢は58歳と警備業界では高くは無いのですが、高齢の従業員も多いので体調を悪くする社員もいました。こうしたことから、当社の関連会社であるニットーメディカルシステムと連携をして健康診断や２次検査・２次健診を通じて病気の早期発見に力を入れています。

全従業員が受診する健康診断の結果から２次検査が必要な従業員へは、受診勧奨だけでは無く、受診が完了するまでの管理指導を行っています。
また、会社負担で毎年、肺ドックまたは脳ドックのどちらかを受けられるようにしました。（利用割合は肺が７、脳が３）
その結果、肺ドック受診で癌が早期発見されたケースもあり、この取り組みを行って良かったと強く感じています。

その他にも、感染症対策（消毒、検温等）やコミュニケーション促進・メンタルヘルス予防として定期的に面談を行っています。
会社として実施する福利厚生制度は、従業員全員が平等に利用できる内容を基準にしており、前述の肺ドック・脳ドックの会社負担での受診や退職金制度などを実施しています。

また、社報に健康に関する情報を毎月掲載をして、給与明細と一緒に従業員へ渡しています。普段から少しでも「健康」に意識を持ってもらえるようにしています。

今後の目標

弊社は高齢者の割合が高いことから、タバコによる害を心配していて、喫煙率を下げていくようにしていきたいと考えています。
現場社員はタバコが吸えない環境が多く喫煙者が少ないのですが、事務所内は完全禁煙としているにも関わらず、事務所勤務者の喫煙率が高い状況です。今後は禁煙アプリ等の導入も始める予定です。
目標としては、喫煙率が20％以上となっているので、今年は20％未満に出来るよう取り組んでいきたいと思います。喫煙率を低下させて、生活習慣病の予防に繋げていきたいと思います。

定年後も長く働ける職場でいる

60歳定年制度はありますが、働きたい方は健康であれば定年後希望される限り何歳でも仕事を継続してもらっています。
弊社での最高就業年齢は86歳です。なお、次の年齢の84歳の従業員の方はフルタイムで元気に就業されています。
そのためには健康であることが第一ですので、定年後の第２の人生で活躍をしたいと考えている従業員には健康経営の取り組みを続けて欲しいと思います。
また、業種上、意外に思われるかもしれませんが、女性が活躍されている方が増えてきている仕事なんです。現場管理については女性が就任されている現場の方がワークエンゲージメントが高いと感じています。これからはもっと女性の方に仕事を知っていただき、健康で長く働ける職場であることを知ってもらえると嬉しいですね。

1318

愛知県
小牧営業所

Voice Report 140th

株式会社維研

代表取締役
町田正治 氏

社員の健康は会社の財産

- 代表取締役　町田正治 氏
- 本社所在地　愛知県江南市
- 主な事業内容　製造業
- 従業員数　28名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

社員の健康は会社の財産です。弊社は従前から従業員の健康管理に気を遣っておりましたが、健康宣言や健康経営の話を聞いた際に、「もっと良くなれるのであれば」という想いで、改めて会社全体での取り組みに拍車をかけていきました。

健康は小さなことの積み重ね

「健康は一日にしてはならず」だからこそ、日々の小さな積み重ねが大切だと感じております。
従業員がケガや病気をしてしまったら、会社だけでなく従業員の家族が困ることになります。
そうならない為にも、まず会社全体で健康管理や健康経営についてのみを議論する場を設けています。
また、全体に取り組み内容を周知する場として、朝のミーティングを活用しております。
社長自らが先頭を切って健康行動をする事で、従業員全体を巻き込んで健康への取り組みを行えるようになりました。
現在は転倒リスク等のけが防止のために
・朝のミーティング時に全員でラジオ体操
早いうちに治療ができるようにするために
・健康診断結果で要受診者には声掛け
健康に関心を持ってもらうために
・運動や食生活などに関する健康情報を朝のミーティング時に発表
等々様々な取り組みを行っております。

製品作りも健康に意識したものを

長く元気で働いてもらうためには、働き甲斐と従業員の健康が第一です。
健康に関する取り組みや健康情報を届けるだけでなく、一人一人と対話する事を意識しています。そうすることで異変に気付いてあげられるようになりました。
また、弊社商品は熱中症対策等、お客様の健康増進を考えて作られています。自身の健康だけでなく、お客様の健康を想った商品作りを行う事で、従業員自身の健康関心度の向上、そして働き甲斐の向上ができるようにと思って進めております。

今後の展望

健康経営が少しずつ浸透してきています。
今の取り組みを継続していきながら、今後は食生活に関する取り組みの促進・コミュニケーションの促進を行っていきたいと思っております。具体的には身体によい食べ物を取り入れる（健康弁当等）事です。
また、コミュニケーションの促進については、近くに木曽川があるのでサイクリングやウォーキング等のサークル活動を行っていければと思っております。
そして、コロナ以前に行っていた家族参加可能のバーベーキューもそろそろ開催したいです。

健康管理会議

朝のミーティング時のラジオ体操

株式会社浅井製作所

代表取締役
浅井順一 氏

健康経営を通して、働く喜びあふれる社風を

- 代表取締役　浅井順一 氏
- 本社所在地　愛知県岡崎市在家町
- 主な事業内容　製造業（自動車鉄製小物部品の製造）
- 従業員数　73名（男性41名、女性32名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

弊社では約3000点を超える自動車の鉄製小物部品を製造しています。金型の製造から生産までの一括生産体制により、多くのお客様のニーズに応え、おかげさまで、今年創業50周年を迎えます。
弊社には真面目でコツコツ働いてくれる従業員が多く、年齢層も18歳から73歳までと幅広いです。製造業ですと、男性ばかりの職場を想像されると思いますが、半数ちかくが女性社員で、大変活躍してくれています。

健康の大切さを痛感

長年勤め、尽力してくれた従業員が病気になり、休職する事態が立て続けに起こりました。仕事に穴があくだけならまだしも、従業員にとっては経済面、日常生活の面も心配だったと思います。会社としても知識・経験ともに豊富な従業員が欠けてしまうと、大きな損失です。健康であることは本人と会社にとってかけがえのない大切なことだと痛感しました。
同じ頃、健康経営優良法人認定というものがあることを知りました。今後、従業員の健康について取り組もうとしていたので、丁度良い機会と思い申請をすることにしました。
もともと従業員の働きやすい環境の職場を目指していましたから、以前より独自に取り組んでいたことが、健康経営優良法人認定の申請基準を満たしていました。初年度は申請について大がかりな準備の必要はありませんでしたが、次年度は従業員にも健康についての意識・関心を高めてもらえるような取組をしていきたい思っています。

毎月のワンポイントアドバイス

給与明細の配布に合わせ、全従業員に毎月健康ワンポイントアドバイスを配布しています。日常生活でも取り入れられる健康に関するミニ知識や体操を知ることができます。また、健康アンケートを実施し、アクサ生命から結果のフィードバックをいただいています。
福利厚生の一環として、全従業員を対象に医療保険に加入しました。もしもの時の備えを会社が提供することで、従業員にも健康経営の取組に対する本気度が伝わってくれたらと思います。
他にも、社内でくじ引きを開催したり、取引先様のソフトボール大会に参加したりと、社内コミュニケーションの活性化にも取り組んでいます。

取組事例①　トクホを社内特別価格にて提供

会社がきっかけをつくる

アクサ生命の健康アンケートのフィードバックから、社員の健康に対する意識が高まってきたことを実感しています。運動については、今まで関心のなかった従業員が、関心を持ち、行動に移そうとしていることが分かりました。また、喫煙者の中にも禁煙をしようとしている従業員がいることを知りました。
私も元々、一日に１箱以上煙草を吸う愛煙家でした。たばこをやめてから、体も軽くなり、夜はよく眠れ、ごはんが美味しく感じられます。私が禁煙したきっかけは、第一子の誕生でしたが、従業員の禁煙のきっかけを会社が作っていければと思います。

スポーツサークルを始めることに

健康アンケートの結果では、運動をしたいと思っている従業員が多いことが分かりました。そこで、会社が費用の補助を行い、スポーツサークルの活動を行っていければと思っています。
私もゴルフをするのですが、スポーツを通してコミュニケーションが活発になり、仕事にも良い影響が出ます。もちろん、朝から夕方までコースを歩き回るので、とても良い運動になります。ゴルフ場は緑も多く、良い気分転換です。ゴルフに限らず、従業員にも仲間や取引先様とスポーツを通じ、楽しみながら前向きに、心身ともに健康になっていってもらいたいと願っています。

取組事例②　感染症対策。
食堂は黙食を推奨、席の間隔を空け指定席制にしています。

1320

愛知県
豊橋営業所

Voice Report 140th

株式会社マイシン

代表取締役
辻　直樹 氏

「ここで働けて良かった」を実現するために

- 代表取締役　辻　直樹 氏
- 本社所在地　愛知県豊橋市神野新田町字トノ割15-1
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業
- 従業員数　178名（男性：131名・女性：47名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定
ブライト500 2021認定

創業以来培ってきた「企業は人なり人づくり会社づくり」「顧客及び社員に愛さる企業づくり」の社是、理念に基づき、一人一人のヘルスリテラシー向上を後援・支援し、健康保持・増進を会社と従業員が一体となって行い、働く姿勢のきらめき度向上で地域社会に愛される企業を目指しています。

健康経営のきっかけ

2014年１月のインフルエンザ大流行の際、ドライバーさんが次々と感染し、事務職や管理職をフル動員しても、運行に穴をあけかねない事態に追い込まれました。
その年の11月、１月の二の舞を演じないよう、インフルエンザ予防接種にかかる費用を全額会社負担で行ったことが始まりです。
現在は、社員だけでなく、ご家族様も対象としています。それは、「働きやすさ」=「社員さんが安心して働ける環境」と気付き、社員さんとご家族様の双方にとって、心配事が少なくなることが必要と考えたからです。
これを機に、働きやすさと心身の健康のつながりを強く感じ健康経営活動を充実していくことを決意しました。

女性の働きやすさが男性の働きやすさへ

女性の働きやすさを進める中で、学校行事にかかる時間が多くあるため、有給休暇を取得しやすい環境にする活動をしてきました。
その活動の中で、お子様がいる男性社員さんが学校行事でお子様の姿を見る機会を仕事で逃している実態がありました。男性への配慮が欠けていたことを猛省し、仕事の仕方の再構成などをすることで、現在、男女問わず誰が休んでもカバーできる状態を整えることができ、男性社員さんからお子様の活躍する姿の話を耳にすることが多くなりました。
女性が社内に明るく活力と大きな気付きを与えてくれたため、男性の働きやすさにも着目することができました。

写真左：2022年７月19日とよはし健康宣言応援事業「おとなの体力測定」
（株式会社八神製作所様 提供）
写真右：社内で作成した健康意識向上を図る提示物と配布物

社員さんの健康意識に変化

健康経営の活動の一つに、社内のいたるところにある掲示物の一部を月２回程度更新しています。喫煙所にはタバコや運動に関して、お手洗いには筋トレや感染症予防など、総務部掲示板には健康専用のスペースを確保して季節などに合わせて時々の情報を掲示しています。
このような取り組みを継続したことで、禁煙外来治療の薬がコロナ禍で無く、出来ないにもかかわらず、自力で禁煙に挑戦した・禁煙できたと声を頂いたり、昼食に野菜を買うようになった、間食を減らした、替えたなどの声を聞くことができています。
一人一人が自身の健康に着目し、健康に向けた活動ができるように健康経営活動の幅を広げていきたいです。

健康で働いてほしい

会社が元気に発展・成長する為には、ドライバーさんの健康が欠かせません。しかし、職業柄多いとされる病気も存在します。そんな病気を早期発見する為、定期健康診断項目の拡充や脳ドックの受診料負担を行っています。しかしながら、健康への意識の薄い人や病院に行くことを面倒と思う方もいます。
そこで、経営方針書に健康診断後の再検査が出ている方へ面談を行うことの周知と検査にかかった費用を負担することを明記し、会社が本気で社員さんの健康に取り組んでいることを伝えています。また、とよはし健康宣言で行っているセミナーや体験などにも参加いただき、ヘルスリテラシー向上を支援していきます。

健康経営とともに会社も成長していく

健康経営を実践し、より良い職場作りをしていくことで社員さんとご家族様の満足度が高まり、社員さんの働き甲斐、やりがいが向上していきます。それは、お客様に評価され、更に働く姿勢のきらめき度向上に繋がるという良い循環が生まれ、会社が成長していきます。
今後も社員目線の取組を継続し、「マイシン」流健康経営をさらにパワーアップさせてまいります。

小池商事株式会社

取締役副社長
小池健太朗 氏

「日々新しく社会の為に」　社員の幸福を追求する

- 代表取締役社長　小池高弘 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市中央本町9-6
- 主な事業内容　専門工事業(建具工事、金属工事)
- 従　業　員　数　22名(男性:17名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2017～2022 6年連続認定

社員がより健康でより長く勤めることができて、自らの人生は健康によって豊かになるという意識を持てるよう、そして「小池商事に勤めて良かった。」そう思えるような会社作りを目指して健康経営に取り組んでおります。

健康経営に取り組むことになったきっかけ

当社は以前より巡回健診を行う等社員の健康に関する取り組みを行ってきました。そんな中、国の認定制度を知った事をきっかけに「社員と会社の関係」「社員の健康と生産性」に着目しました。すると生産性においては想像以上に目には見えない損失がある現実を知り、中小企業において社員一人ひとりの力が何より大事であると改めて気づきました。社員にとって、会社は人生の大部分を過ごします。その会社で社員がより健康になる為の取り組みを行う必要性を感じ健康経営をスタートすることを決めました。

取り組み１　ヘルスリテラシー向上

年１回外部の講師による安全衛生の勉強会を実施しています。内容は主に食事、睡眠をテーマにしています。この会には当社に携わる職人の方も参加することで当社の取り組みへの理解が深まっています。他にはアクサ生命からの健康情報を月２回社内SNSを通じて発信。社内掲示では、食事・運動・24時間健康相談窓口等の情報を二次元コードと併せて掲示し、社員がいつでも自分自身で確認できます。メンタルヘルスにおいては外部の専門医と提携し、いつでも相談できる仕組み作りをしています。

健康経営専用掲示板

社内SNSによる情報発信

取り組み２　労働環境の改善

より健康的に働きやすい環境を目指し改善に取り組んでいます。
「真夏の暑さに対策」全社員へ空調服を支給し、塩飴を配布しています。しかし、建設現場では熱中症のリスクはゼロにはなりません。朝礼時には何度も何度も熱中症対策のポイントを共有し、注意喚起を行っています。
「ノー残業の実施方法改善」以前から各部門ごとに取り組むよう促していました。しかしながら実際は取り組めていなかった為、改めて会社全体として【水曜はノー残業】と設定し、社員が取り組みやすい体制へ改善しました。

取り組み３　その他の取り組み

有給休暇は社員が有意義に活用できるよう、通院やワクチン接種後の副反応、コロナ罹患による欠勤等は全て特別休暇対応をしています。
また、福利厚生の一環として、会社で保険料を全額負担する医療保険に加入しました。
小池商事で働く社員それぞれの健康・生活の福祉の向上がしっかりと実現できるよう、制度的にも経済的にも真剣にサポートし、従業員が安心して働ける会社を目指しています。

生産性向上と社員の健康の両立を目指して

会社が本気で取り組めば社員も本気度は感じます。認定だけに満足せず、毎年新しい取り組みや社員への提案等、日々挑戦していきたいと考えています。社員自身が健康になり、人生は健康によって豊かになる事を感じ、その結果会社の生産性向上に繋がります。更には地域社会と共生できる会社であるよう努めて参ります。

1322

愛知県
豊橋営業所

有限会社水野印刷工芸

代表取締役社長
水野順也 氏

もっとアイデア　もっとコミュニケーション

- 代表取締役社長　水野順也 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県蒲郡市旭町
- 主な事業内容　印刷・デザイン業
- 従　業　員　数　5名(男性:2名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

「Mideco」は、有限会社水野印刷工芸の愛称です。More Idea Communication もっとアイデア。もっとコミュニケーション。Moreは“さらに上の”、Ideaは“発想力”、“創造力” Communicationは“人とのつながり”、“互恵関係”を表します。近年、弊社には創業当時からの印刷のご依頼とは別に、お客様の抱える様々なお困り事を多様な方法で解決するといった、問題解決のご依頼が増えています。それに伴い、弊社でも刷ること以外のご要望にお応えするため、そのスキルを磨いてきました。このような現状、またこれからの弊社の在り方を見据え、将来的には「印刷」の文字の入った従来の社名から、より私達の事業内容に沿った社名へと変更することを考え、「Mideco」の愛称を使用しています。また弊社では社員の健康や働き方に配慮している職場を目指す「健康宣言」にチャレンジし、様々な取り組みを行っています。

健康経営　取り組みのきっかけ

弊社の業務は製作やデザイン等が主体でPCを相手にデスクワークがスタイルです。姿勢が悪く、隠れたような形でフットワークも悪い。7、8年前にこうした働く格好でいいのか疑問を抱き、社員に立って仕事をしようというアイデアを提案しました。姿勢が良くなるしオープンでフットワークも良くなるので仕事が捗ることをメリットと訴え、特別の机を製作しましたが、特に女性社員を中心に大反対にあい、一旦このアイデアを保留にしました。

スタンディングワークのメリットをプレゼン

保留としたもののやはり会社を変えていきたいという思いが募り、強引に進めるとまた反対にあうことから社内プレゼンテーションをおこない、スタンディングワークのメリットで特に健康をキーワードに社員に理解を求めていきました。立つことにより重力が負荷となり、筋力が付くことや骨粗しょう症予防に有効であること、会話も増えることなど徐々に受け入れてもらい合意のうえスタートすることができました。

スタンディングワーク風景

もっとアイデア

スタンディングワークの実施は、健康が後付けのキーワードになりましたが、効果は想定通りのものでした。手配した机を補強しスタートしましたが、社員の動きが良くなり会話が増えコミュニケーションが活発になりました。もちろん座っても良いのですが、取り組みが進み社員のアイデアでバランスボールに乗ったり竹踏みの器具を導入したりと進化しました。空いた空間もあったことから縄跳びやフラフープ、スクワットなど運動機会の提供にも繋がっています。また体重や体脂肪率を測定しグラフ化したりして楽しみながら健康づくりを意識してもらっています。但しグラフ化は希望者のみとしています。

もっとコミュニケーション

「もっとコミュニケーション」のため社員同士のコミュニケーションをとても大切にしています。朝礼では順番に新聞記事を発表し共有し、雑談のなかから自然と業務に入っていける雰囲気を大切にしています。有給休暇も理由の記載は不要としたり取得率の向上にも配慮し風通しの良い自由闊達な社風をブラッシュアップし、健康経営をさらに進めていきたいと考えています。

1323

愛知県
豊橋営業所

丸七住宅株式会社

代表取締役社長
岩本敦行 氏

社員全員でお客様の満足と笑顔を追求するため健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　岩本敦行 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県額田郡幸田町大字深溝
- 主な事業内容　不動産売買仲介事業
- 従　業　員　数　59名（正社員：38名・パート：21名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

全ては１組１組のご家族のために丸七住宅は、不動産の相談窓口として、地域の人々の夢や希望を叶え、問題解決を担うため、これからも蒲郡市・幸田町に密着し、いつまでもお客様第一で、お客様に幸せの住まいと笑顔をお届けすることを誓います。

健康経営に取り組むことになったきっかけ

2019年ごろから社員の働きを良くし、より良い職場としていくため、法令や就業規則を超えた取り組みを目指していました。そんなときに「健康経営」を知り、従業員が健康であること、充実した職場環境がお客様への優れたサービスにつながると考えました。企業理念である、社員全員でお客様の満足と笑顔を追求するべく、2020年４月に健康宣言を行い、お客様のため、従業員のために健康経営に取り組んでいます。

取り組み１　運動機会の増進（運動奨励）

あいち健康プラスのアプリを活用し、日々のウォーキングを促進しています。アプリは2020年に導入し2021年からは50,000歩以上の月が６か月以上ある社員にはインセンティブを用意しました。今年度は70,000歩以上とハードルを上げ、ウォーキングを通じて従業員が健康になることを目指しています。アプリを活用している社員も年々増え、今では35名の社員が参加しています。

ハッピーワーク活動

アウトドアサークル

取り組み２　社内コミュニケーションの活性化

当社は３か所に事業場を構えています。新型コロナウイルスの影響により社員間のコミュニケーションの機会が減少してしまったため、社内コミュニケーションツール「TUNAG」を導入しました。「TUNAG」を通じて社長からのコメントやサンクスメッセージ、よかったこと、お客様の声などを発信し、双方向からのコミュニケーションの活性化を図っています。
また2011年度からハッピーワーク活動（地域貢献活動）として年２回全社員で地域の清掃活動に取り組んでいます。職種や事業場の異なる社員同士の交流に繋がっています。

取り組み３　サークル活動の奨励と活動費補助

運動機会の提供、コミュニケーションの場としてサークル活動を支援しています。アウトドアサークルでは登山をするために事前に体力づくりをする社員もいます。また、ソフトバレーサークルでは蒲郡市の大会に参加したり、新たにフットサルサークルを新設したりと、好きなことを好きな人同士で活動しています。活動の際は、一人当たり3,000円の活動補助費を提供し、活動を支援しています。こうしたサークル活動を通じて従業員の健康をサポートしています。

今後の課題について

現在取り組んでいる活動を継続していくことが重要と考えています。特にメンタルヘルスのリスクが増えているのではないかと感じ、法令では義務化されていませんがストレスチェックを実施しています。また女性の働き方への配慮も課題で時短勤務正社員制度を導入しました。
こうした新たな施策も取り入れ、より社内コミュニケーションを活性化させて、健康経営のレベルを日々改善させ課題克服に努めます。
社員が充実した会社生活を送れ、満足度をあげることにより結果として顧客満足度の向上につながると確信しています。

1324

愛知県
安城営業所

新英ホールディングス株式会社

代表取締役社長
金子豊久 氏

従業員の健康は会社の財産です！

- 代表取締役社長　金子豊久 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県安城市住吉町
- 主な事業内容　金属リサイクル業　他
- 従　業　員　数　344名(グループ全体)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社では、新英ホールディングス株式会社を中心に、新英グループ7社全体で、従業員の皆様に心身共に健康で活き活きと働いて頂くために健康経営に取り組んでおります。従業員の心と体の健康をサポートするための取り組みや情報発信を積極的に行い、これからも大切な財産である従業員の健康づくりを支援していきます！

健康経営を意識しなくとも、既に始まっていました

以前より、従業員に対しての健康に対する取り組みは行っていましたが、2020年２月に協会けんぽの健康宣言を行い、本格的に健康経営の取り組みをスタートさせました。企業として健康経営に取り組む会社が増える中、既に当社では、非喫煙者に対する健康手当の支給や、従業員内でのサークル活動等を行っておりました。この取り組みを更に深め、充実していくことによって、より従業員の健康を大切にしていこうという考えで、積極的に健康経営に取り組んでおります。

感染症対策　安心して働くための支援

感染症対策として、従業員・お客様来社時の検温チェック、手指消毒の徹底を行っています。また、グループ全社員と、そのご家族へ抗原検査キットを配布し、ご自身やご家族の健康状況に不安がある際すぐに活用頂ける様に配慮しています。感染状況により追加配布の支援も行っています。また、お子様がいらっしゃる家庭で、学校が特定感染症により休校・休園になった際、特別休暇が利用できるため、家庭でお子様のお世話が必要な際も休暇を取っていただくことが可能です。ご本人が特定感染症に感染し、病欠が必要な際はお見舞金を支給しています。また、会社から自宅待機を求められた期間中については、休業手当を支給しています。

健康経営促進に当たっての今後の取り組み

毎年、全従業員に対して、健康アンケートを実施しており、その集計結果より、当社では運動に対して無関心な従業員の割合が多いとわかりました。今後は運動アプリや簡単なストレッチ等から始められる取り組みを健康チラシで提供したり、社内での運動サークルやイベントの推進を考えていきたいと思います。
また、当社ではSDGｓ宣言をしており、社内だけでなく、社外や地域に対しても健康経営の取り組みの発信を行っていきたいと考えております。

従業員に活き活きと働いてもらう取り組み

当社では従業員に活き活きと働いて頂くため、健康経営促進の一環として、以下の取り組みを実施しております。

●アニバーサリー休暇制度・・・休暇取得者へお祝い金の支給
●ホノルルマラソン出場・・・練習会の開催、参加費用の支給
●社内報による情報発信・・・社内コミュニケーション促進
●社内ゴルフコンペ・・・運動機会の増進
●非喫煙者に健康手当の支給・・・禁煙促進・支援

社内ゴルフコンペの様子

「毎日が、宝探し。」

「世の中が必要としていることに積極的に取り組んでいこう」これが新英グループ創業の精神です。健康経営は会社にとっても、従業員にとっても、そして地域社会に対しても、今後必要とされる取り組みになって参ります。
また、当社の企業理念「毎日が、宝探し。」の下、次代を見据え、従業員に対して、この健康経営の取り組みが、従業員自身の健康という「宝」を発掘する第一歩となるよう、今後も積極的に取り組んでいきたいと思います。

株式会社近藤工作所

常務取締役
田中有紀子 氏

「ものづくり　人づくり」を健康経営で実現

- 代表取締役社長　近藤徹生 氏
- 本 社 所 在 地　愛知県安城市里町
- 主な事業内容　金型・同部品等製造業
- 従　業　員　数　19名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は経営理念として「ものづくり　人づくり」を掲げています。これはものづくりを通じて、係る人に最高の笑顔と品質を届けること、会社を繁栄させることで社員とその家族を幸せにすること、どんな時にも団結し、輝かしい未来を創ること、すなわち人づくりを実現していこうという企業としての存在価値を高めることを意味します。その実現をサポートするものの一つとして健康経営を実践しています。

社員の幸せはまず健康から

社員が幸せになれる会社にするためには健康であることが一番大切なことです。社員の健康課題を把握し必要な対策をたてていくために健康管理の基本である健康診断の受診率は100％を維持、また加えて再検査・精密検査等の受診勧奨に力をいれております。そのうえで社員自身もヘルスリテラシーを向上させること、健康の重要性を認識し自己管理をして疾病の予防を日常的に行っていくことが大切であると考えています。

健康習慣アンケートも活用

具体的な健康経営の取り組みとして、食生活ではまず自動販売機の飲料をローカロリーや糖分の少ないものに変更しています。また昼食の弁当もヘルシーメニューを選択できるようにしてベジタブルファースト運動を実践できるようにしました。また健康習慣アンケートの結果、運動機会増進のため筋トレルームの要望があることがわかり、誰でも利用できるスペースに運動器具を設置し利用して頂いています。またラジオ体操も長年実施をしています。感染症対策も消毒液・アクリル板の設置やマスク配布など対応しています。

筋トレルーム風景

社員が何でも話しあえる職場に

メンタルヘルスの観点から、社員と経営者が常にフレンドリーに触れ合う風通しの良い職場環境づくりも重要と考え、経営者から積極的に声掛けをしコミュニケーションを密にしています。その結果、会社負担の懇親会・忘年会や、教育機会の提供のためにアドバイザーに依頼をして実施している健康セミナーにおいても、自由闊達に活発な意見交換や議論ができる雰囲気ができあがっています。

様々な健康経営の取り組み

残業は平均月20時間弱くらいですが、以前に比較するとかなり減少しました。昼礼のコミュニケーションで情報共有し業務の進捗状況を確認し仕事の再配分を行ったり、新規受注についても納期までにこなせるかどうか社員同士で話し合って決定できる仕組みができあがっています。こうした取り組みで良い職場の雰囲気ができ長時間労働の抑制にもつながりました。
喫煙率低下の取り組みも社長自ら宣言をし、先頭にたって実現を目指しています。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

まだまだ健康経営の課題は多いと考えていますが、これからもコミュニケーションをメインフレームにフレンドリーな会社の雰囲気をさらに向上させ「ものづくり　人づくり」を実現させてまいります。

1326

愛知県
豊田営業所

Voice Report 140th

株式会社KRB

代表取締役
大河原勝也 氏

お客様へのサービス追及はまずは私たちが健康であること

- 代表取締役　大河原勝也 氏
- 本社所在地　愛知県豊田市花沢町
- 主な事業内容　旅客運送業・旅行業
- 従業員数　42名(男性:31名・女性:11名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社の社員は若手から75歳のベテランドライバーまで幅広い世代の社員で構成されています。女性ドライバーの育成に加え、バスを活かした新しいイベントサービスを開始し、新たなビジネスにも力を入れています。安心安全なサービスを提供するために、従業員の健康を第一に健康課題を把握し改善していくことで、2021年に続き、2年連続で2022年も健康経営優良法人認定を取得できました。

健康経営に取り組むきっかけと実践

１人でも多くの従業員に長く働いてほしい思いから健康経営に取り組み始めました。運行業務管理を厳守することはもちろんのこと、運転手の前日の飲酒量・飲酒終了時間や内服薬の有無など細かく確認し、いつもと違う状況であれば運転業務のストップを出して、変化を見逃さない仕組みを導入しています。
また、健康経営のチラシを社内に配布・掲示し、従業員の意識改革につながるような情報提供を実施しています。様々なテーマのチラシを掲示することで、社員間のコミュニケーション活性化にも取り組んでいます。

2022年イベント事業『ホラーバス』を開催しました。
多くのお客様に楽しんでいただきました。

社内イベントを通じて、楽しみながら健康サポート実施

弊社では、健康経営をより従業員が身近に感じて取り組めるように毎月ウォーキングキャンペーンを実施しています。従業員ごとと営業所ごとで対抗戦形式で取り組んでおり、ランキング発表だけでなく上位社員や営業所への表彰・景品贈呈を行っています。
ウォーキングを継続している従業員の声として「メタボ・高血圧の改善になった」「冷え性が改善できた」といった体質改善だけでなく、「家族で歩くことで会話する機会ができ、絆が深まった」「煙草をやめるきっかけになった」など嬉しい効果が増えてきています。

多くの社員が参加する消防訓練風景
安全運行のための情報共有と定期訓練を行っています。

コロナ禍が、新事業実現を始めるきっかけに

コロナ禍でバス運行事業が減少するなか、弊社ではバスを活かした『ホラーバス』というイベント事業を始めました。感染症対策が根付いた今だからこそ、イベントの実施を通じてバス業界に今までなかった事業に取り組めると思い、昨年より実施しています。ホラーバスを通じて、地域交流の機会を取り戻し、移動手段だけではないバス事業があることをお客様に知っていただく機会となりました。健康であるからこそ、従業員とともに新事業を始めることができていると実感し、今後も取り組んでいきたいと思います。

今後の展望・・・新たなスタート

コロナをきっかけに、健康経営の取り組みは自分自身のために行っているだけではなく、長期雇用の実現・地域貢献の実現など様々なところで影響していると実感しました。
弊社は、2022年1月より「有限会社　KRB観光バス」から「株式会社KRB」に社名変更し、今後のさらなる発展を目指して健康経営の取り組みから、従業員が安心して長く仕事を続けられる環境づくりに今後も励んでまいります。

河田フェザー株式会社

代表取締役
河田敏勝 氏

羽毛産業とは健康産業である

- 代表取締役　河田敏勝 氏
- 本社所在地　三重県多気郡明和町山大淀3255
- 主な事業内容　羽毛のリサイクル、精製、加工、製造業
- 従業員数　66名(男性:32名・女性:34名)
- 加入健保名　協会けんぽ 三重支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

明治24(1891)年の創業以来、羽毛専業メーカーとして、羽毛一筋に歩んできました。羽毛製品を使っていただく方のことを第一に考え、これからも清潔でキレイで健康的な羽毛を精製し、羽毛と共に歴史を重ねていきたいと考えています。

健康経営に取り組むきっかけ

当社は羽毛業界の国内トップメーカーとして常にグローバルな視点で物事を考え、世界の羽毛マーケットをけん引するよう常に心がけています。
今企業にとって必要なことが長期的な循環社会への貢献であると考えたとき、社員の健康増進は必要不可欠と判断し、2020年には社内でSDGs推進室を設置し、様々な活動を進めてきました。

取り組み(社員の健康とSDGs)

2010年より健康促進活動を始めました。「社員全員で健康になろう」と地元優良企業各社とタイアップをし、地域活性化も視野に、県営のアリーナを貸し切りにして運動会や球技大会などを行ってきました。

社内球技大会

ただ、ここ数年はコロナ禍により実施できなくなっていたので、これに代わるものとして『健康ウォーク清掃活動』を2021年より毎月2回行っています。毎月15日には夫婦岩のある二見町や、斎王で有名な明和町斎宮に集まってウォーキングしながらの清掃活動に取り組んでいます。社員は強制参加ではなく自由に参加できるようにし、運動の機会を提供しています。また羽毛洗浄にも使用する超超軟水のからだに優しい天然の活性化水素水(飲用可能)を私を皮切りに社員も飲み始めるようになりました。

健康ウォークの様子。
運動の機会を通して海の豊かさや陸の豊かさへの貢献も。
これぞ健康経営とSDGsのマッチング。

社員の家族の健康に対しても奨励金を

当社はタバコを吸う社員は一人もいません！
当然敷地内も禁煙で来客の方も吸えません。
ある女性社員から「夫の家庭内での喫煙が嫌だ」と私のもとに声がありました。健康経営は社員のご家族の健康にも資するべきと考え、配偶者が禁煙に成功すればその社員には奨励金を出すようにしました。
その結果、家族全体での健康意識の向上に繋がりました。来客の方であっても吸えないことで、対外的にもポジティブに働いていると感じています。そして何より医療費の削減にもつながりました。

健康経営を活用した更なる地域貢献に向けて

2010年頃よりCSR活動を推進しており、2020年４月よりSDGs推進室を設置しました。ESG、SDGsを通じてこれまでに障がい者野球体験大会実行委員会への加盟や、近隣企業の社員の皆さまにも参加いただき業務時間の合間を利用した『空きコマ献血』などを行ってきました。
今後も地域で取り組める仕掛けを日々模索し、近隣企業の皆さまをもっと巻き込めるような、乗りやすいプラットフォームを構築することによって健康経営を広めていくのが当社の役割だと考えております。
SDGsと健康経営をマッチングしてこれからも社員の健康と地域の発展に取り組んでまいります。

これからの展望

当社は自社だけの取り組みではなく、あらゆるステークホルダーも一緒になって実施できる活動に積極的に取り組んできました。
すべて地元の企業とともに地域活性化、地域貢献につながればとの想いからです。
2023年の申請に向けてこの想いを維持・拡充していくための取り組みとして以下を予定しています。
・車いすde健康ウォーク
・献血運動
・SDGs海賊キャンプin大王(伊勢志摩を愛する子どもたちのために)
少しでも多くの人たちに参画いただけるよう計画していきます。

1328

三重県
中京中央FA支社

Voice Report 140th

ナガフジ産業有限会社

(右)代表取締役社長
久保拓哉 氏
(左)健康経営の担当
桑畑知沙 氏

健康管理という業務ではなく、会社の文化にしていきたい

- 代表取締役社長　久保拓哉 氏
- 本社所在地　三重県四日市市
- 主な事業内容　構内作業の請負、人材派遣、産業廃棄物の収集運搬
- 従業員数　50名
- 加入健保名　協会けんぽ 三重支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

自身の経験もあり健康経営に取り組むことに

健康経営に取り組んだ当初のきっかけは、取引先から紹介された健康経営アドバイザーからの提案です。主要取引先も認定を受けていることを知り、詳しく調べるようになりました。
それとほぼ同時期でしたが、社長である私自身が体調を崩して入院・手術をしました。
すぐに復帰できたのですが、それでも仕事に穴が開きましたし、何より社長就任直後だったこともあり、主要取引先には説明することもできませんでした。
個人の健康は仕事にも大きな影響を与えると痛感しました。

取り組み始めてすぐに明確な効果が出ました

健康経営を始めてすぐの頃、少しずつ女性社員が増えてきていたこともあり、健康診断の際の追加の婦人科検診を、全額会社負担で任意で受診できるようにしました。
すぐにその年の検診で婦人科系の病気が早期に見つかり、治療できた社員もいます。
若い社員のため、『自分自身では追加費用を払って受診することは全く考えなかった。会社がこういう機会を設けてくれたおかげで治療できた』と本当に感謝されました。
健康経営を始めていなかったらもしかしたら、、と思うと今でも冷や汗が出ます。

アンケートから傾向と活動結果を把握してPDCAを回しています

今は健康経営アドバイザーの協力もあり、全社員を対象に健康習慣アンケートを毎年行い、そこから読み取れる傾向で活動内容を決めています。
男性社員の割合が多く（今の時代、『男性だから』というと言い訳になるかも知れませんが(笑)）、健康に関する情報に触れる機会がそもそも非常に少ないため、紙媒体で月に１回は健康情報を回覧しています。
PCを日常的に使用しない社員もおり、あえて紙で回覧しています。事業所が複数あるため電子媒体の方が効率は良いのですが、回覧の際の担当者間のコミュニケーションの場としても機能しています。

紙で回覧している月1回の健康情報

全員への浸透がこれからの課題

おかげさまで２年連続で認定をいただいておりますが、振り返ると１年目は手探りで『認定を取得するための活動』でした。
今はアンケート結果も経年で確認できるため、傾向の把握もできるようになり、実態に即した活動になりつつありますが、それでも『自分自身の健康』と、『日常業務』が直接的に結びついていないように感じています。
中心で活動しているメンバーはその認識も強いのですが、全員にとなるとまだまだというのが実感です。
全員への浸透がこれからの課題です。

業務ではなく文化に

創業初期の頃、私の祖父が始業前の決まり事としてラジオ体操を始めました。
それ以来50年以上続けていますが、当時、取引先の構内でラジオ体操を行っていたのは当社だけだったと祖父から聞いています。
祖父の始めたラジオ体操を見て周りの会社や取引先も行うようになり、今では業務というより当たり前の光景になっています。
健康経営の浸透は長い目で見る必要があると思いますが、このラジオ体操と同じように、会社の業務ではなく文化として、当たり前のように自分の健康を意識できるような組織になっていけると良いと思っています。

50年以上続ける『習慣』としてのラジオ体操

1329
京都府
京都営業所

有限会社鈴木モータース

代表取締役社長
鈴木千鶴 氏

従業員だけではなく地域全体の健康を目指して

- 代表取締役社長　鈴木千鶴 氏
- 本 社 所 在 地　京都府京都市西京区樫原石畑町17-1
- 主な事業内容　自動車・保険・修理業
- 従　業　員　数　6名(男性:4名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

日々働くなかで、地域との関わり、中小企業としては生業の継続、職業人としては女性の活躍推進、親としては次世代の育成などにも関心を持ち、視野を広げ微力を尽くせるように努めます。
業界では少ない女性経営者としての視点を大切にし、新しい考えを生み出し、今後の自動車業界の発展と地域の繁栄に生かしていきたいという考えです。

地域活動から健康経営へ

2013年２月から「樫原町家灯篭会」を結成し、町おこしなどの地域活動に積極的に取り組んでいます。
自分の住んでいる町に愛着を持ち誇れるような、また子孫がよそで暮らした後も帰ってきて、お家が継承できるような活動を主旨として樫原の活性化と保存と学びの催しを開催しています。
その地域活動の一環でウエルビーイングなどの健康に関する事や喫煙問題なども考えるようになりました。
地域住民の健康と従業員の健康を考えた時に健康経営もその中の活動の一環として、取り組み始めました。

セニアカー(電動車いす)の普及

自動車屋という事でセニアカーの普及に取り組んでます。
西京警察署で免許を返納したらセニアカーに乗りましょうという動画を流しています。
高齢者や障害者がセニアカーを利用することで行動範囲を制限せずに豊かに暮らせると思います。
最近はスポーティーなスタイルの物もあり、道路の段差の整備なども含めて自由なバリアフリー化のお手伝いをしています。
北野商店街の福祉イベントにも協力出店し、セニアカーの試乗会と人の繋がり作りとして、福祉のショートムービーを観て感想会という催しも行いました。

2022年4月23日 北野参道市場「ショートシアター倶楽部」

健康診断100%実施

従業員は年に一度の健康診断を100%受診しています。今のところ二次検査が必要な社員はいません。
有給消化もまだまだ課題はありますが、半日から取れるようにしていき、働きやすい環境を整えています。
今後は分煙・禁煙も視野に入れていく予定です。

社会貢献

周辺一帯が京都市の西京樫原界わい景観整備地区に指定されているという事もあり京町家の保全、和文化の保護と地域の発展を基金を募り応援しています。
きょうと子育て応援パスポートの協賛や車屋という事もあり日本臓器移植ネットワークの賛助会員でもあります。

自動車免許証の裏面で臓器移植の意思表示ができる普及活動に取り組む。
意思表示カードを店内にも設置

今後の取り組み

地域活動としては息子が公認心理士をしているので女性に向けての無料相談会や、発達障害の児童の親を対象とした相談窓口の設置などをしていきたいと考えています。
会社の方では、全従業員でノルディックウォーキング(ポールをつきながら歩く健康法)に参加をする予定です。
社員だけの健康だけでなく、地域の方々と交流していきながら皆で健康について考えていくことが健康経営につながることだと思っています。

1330

京都府
福知山営業所

Voice Report 140th

ツバメ瓦斯株式会社

代表取締役
松下可奈 氏

「健康経営」で社員のやりがいと成長を！

- 代表取締役　松下可奈 氏
- 本社所在地　京都府綾部市井倉町樋ノ元14-1
- 主な事業内容　LPガス小売業・建設業
- 従業員数　10名(男性:7名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

弊社は、LPガス供給と建築士事務所としてリフォームに特化した建築業を営んでおります。
創業は昭和42年(1967年)。会社の基本精神は『和』です。
人間関係の基本である『和』を大切にすることでお互いを理解し能力を引き出し、それを発揮できると考えております。
少人数ではありますが、コミュニケーションをとり、目まぐるしく変化する日常には各々が知恵を出し合い、臨機応変に対応しながら今も成長し続けております。

健康意識の向上

弊社では2016年に協会けんぽ京都支部の「京から取り組む健康事業者宣言」に登録したことをきっかけに、会社として社員の健康に積極的に関わってきました。
昨年2021年度から「健康経営優良法人」にも認定していただき、今年度は２年目となります。
私も含め、社員にとってこれまで「健康は自己責任」と考えていたと思われますが、会社が積極的な姿勢を示したことで、自分の健康が会社の益になるという意識が芽生えてきたように感じます。

社員のご家族にも

健康経営優良法人に認定されてからこの１年の間に新たに取り組んでいることは、会社の姿勢を社員のご家族にもお伝えすることです。
１日の３分の１は仕事であっても残りの３分の２は家庭、プライベートの時間です。ご家族も一緒に健康意識を高めていただくことが、延いては社員の健康にも繋がると考えました。
そこで、健康保険委員の発案で毎月の給与明細封筒に「健康ワンポイントアドバイスシート」を同封することにしました。内容は、食事のこと、血圧のこと、ストレッチのことなど多岐にわたり、私自身も毎月楽しみにしています。

2021年11月５日
健康講座の風景
『正しい姿勢で健康に！
インナーマッスルを鍛えよう』

2022年3月9日
健康経営優良法人2022認定
２年連続

今後の課題

実は健康診断でメタボリックシンドロームを指摘される社員が毎年１～２名います。弊社にはBMIの改善が見られた社員を表彰するなど、頑張れば認められる制度もありますが、毎年６月の健康診断の２～３ヶ月前にならないと意識が向かないのではないかと思います。そこで、１年を通してBMIや腹囲を意識してもらうことで、最終的にメタボ社員ゼロを目指したいと思っています。
血圧は自分で測れても血糖と脂質は健診を受けないと数値がわかりませんが、腹囲は自分でもわかりますから、まずはその意識を持ってもらうようにしていきたいと思います。

定年後も元気に働くために

会社の制度上は60歳定年後も働いていただけますが、それには本人が健康でいなくては叶いません。
公的年金の受給年齢が上がり、いずれは70歳にと試算もされているようですし、実際社会的に健康年齢はどんどん上がって、70代で元気に働く方も増えてきました。
個々のライフプランは、基本的には健康前提が多いと思います。突然の死には生命保険、入院手術には医療保険に入っていても、そこまでに至らない身体の不調を抱えると、仕事を続けられなくなったり、退職後の楽しいプランを実現出来なくなったりします。
いつまでも健康を維持するために、若い内から健康に興味を持ってもらうことも健康経営の大事な目的だと考えます。

これからも「おせっかい」な会社で

一昔前なら、会社が社員の健康や食生活に口を出すことはありませんでした。それは余計なお世話、おせっかいだったと思います。
しかし社会の意識も変わり、会社が積極的に関われるようになったことは、経営者としてはありがたいことだと思っています。
ランチタイムやおやつタイムに「これはカロリー高いわ」とか「もっと野菜食べなあかんよ」と社員がお互いに言う姿はまるで家族の会話のようです。弊社はこれからも、お母さんのように社員の健康を気遣うおせっかいな会社でありたいと思っています。

株式会社MIMA

代表取締役社長
美馬功之介 氏

心も身体も健康に！

- 代表取締役社長　美馬功之介 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府八尾市中田3
- 主な事業内容　不動産事業・リフォーム事業
- 従 業 員 数　31名(男性:17名・女性:14名)
- 加 入 健 保 名　協会けんぽ 大阪支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

社食サービス導入と対人関係を円滑にするコミュニケーションスキルに取り組む。

良い仕事は良い食事から。宅配ランチサービスの導入と、心を健康にするコミュニケーションスキル「ほめる達人」を導入し、心も身体も健康にと社員に寄り添う取り組みを実践。

健康経営導入のきっかけ

福利厚生に伴う社食サービスをきっかけに、社員の健康管理を意識したため、健康経営の在り方に賛同しました。今後、さらに多様化する働き方の変化の中で、従業員と企業の関係を良好に保つのに少しでも役立てばと思い、福利厚生として企業側からのアピールも含めて導入しました。

心の健康に「ほめ達」の取り組み

心の健康にも注目し、社内コミュニケーションやお客様や家族との対人関係の向上にと、独自の切り口で価値を見つけ出す一般社団法人日本ほめる達人協会「ほめ達」の考え方を取り入れ、社員全員が「ほめ達検定」を取得。
ビジネススキルとして、また、家族や周りの人との人間関係を円滑にする為のコミュニケーションスキルとして心の健康に取り入れています。

社員によるバレーボール大会の様子！

社員全員が「ほめ達検定」取得！　健康のためのオリジナルお惣菜！

身体の健康に社員の昼食と水に注目

過去３年間の健康診断結果より、半数以上の社員の「血中脂質検査」で要再検査・要治療の状況で有ることがわかりました。この結果から社員へ食生活への意識や昼食の状況についてアンケートを実施し、大半が外食やコンビニ弁当で済ませている現状を把握しました。
そこで、法人向けフードデリバリーサービスを導入。
１品100円台から購入できてランチ時間に限らず24時間購入でき、自宅に持ち帰る事も可能なことから食生活の改善に、また従業員満足度や健康経営の問題解決にもつながるサービスとして活用されています。
社員が自由に飲める「電解水素水」の整水器を設置。胃腸症状改善の医療効果が認められている製品で、胃腸を健康にする水をお客様と社員に提供しています。
日頃の肩こりや腰痛・目の疲れ等、あらゆる身体のツボに貼るセルフケア、刺さない鍼、くさび形状の家庭用貼付型接触粒の定期レクチャー会を開催し、東洋医学のツボ療法のセルフケアにも親しむ機会も設けています。

今後の展望

従業員が心身ともに健康で、個々の能力や個性が発揮できる環境作りが大切だと考えております。
社員同士の交流にBBQやバレーボール大会・フットサルなど、スポーツ大会も実施しており、コミュニケーションの機会も増やしていこうと思います。
地域密着型営業を掲げ、地域の人の暮らしを守り、地域に必要とされる企業で有り続けること、また、大切な社員の健康経営に今後も取り組み、健康で長く働ける環境づくりを目指しています。

1332

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

Buzoo株式会社

代表取締役
小川　力氏

私たちに関わる全ての方々を幸せにしていきたい

■代表取締役　小川　力氏
■本社所在地　大阪府大阪市福島区吉野1-5-17 野田庄ビル2F
■主な事業内容　産業保健士紹介、サポート業
■従業員数　18名(男性:5名・女性:13名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

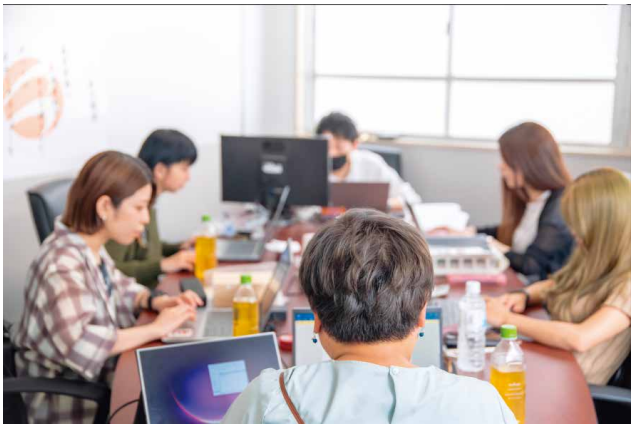
私達は『働く職場環境の改善』にコミットしている会社です。現代社会では、働く人の〇人に一人は、何かしら問題を抱えている！と云われています。ハラスメント問題、慢性的なメンタル問題、テレワークが進んだことによる自己否定感。更には、働く人のご家族の問題(不登校、介護等)なども複雑に絡み合っています。問題を少しでも解決に導き、職場環境の改善を促進させていただいています。

お客様が取り組まれていた産業保健活動の内容を知り、健康経営に取り組むきっかけになりました。

お客様からの文書に『産業保健活動』という初めて見る内容がありその解説を聞く中で、これは、これからの時代に必要であると直感し、リサーチする中で、『健康経営』に行き当たりました。
これからは、この『健康経営』に関する仕事を本業にしていくことを社内外に発表しました。既に先陣を切って活動している企業を見本にして、いろいろな事例の研究・リサーチを進めながら、健康経営に取り組む企業をサポートしていきたいと考えています。

喫煙者との共存を図りながら喫煙率を低下させる健康経営に取り組んでいきます。

禁煙をするとインセンティブを支払う！との社命にも従わない。会社では喫煙をしない社員が会社外では喫煙をしているので管理が難しい。禁煙をするとストレスが増えて病気になるリスクが増える。煙草をやめるかお酒をやめるかで論争になる。なので、喫煙者との共存をしながら禁煙率をアップさせる方法を考えていきます！プラス健康診断の再検査率をアップさせていきます。社員へのヘルスリテラシーを通じて健康経営の目的をしっかり腑に落としていく努力をしていきます。



健康経営について勉強会を実施
これからの問題について担当者で討議

健康経営に取り組む企業の社員の食習慣の改善『オフィスおかん』のサポートに注目

社員食堂を備えている企業は少なく、社員の食生活は、コンビニ弁当、ファミリーレストラン等の外食が習慣化しており生活習慣病のリスクが高くなっています。その改善の一助になればと事業計画を立てたのが『オフィスおかん』です。一つのおかずを100円で提供し栄養バランスに貢献し、弁当をつくる労力も要らず、契約企業の福利厚生の一環にもなる事業です。今後、産業保健士の紹介事業とオフィスおかんの事業の両輪で健康経営に取り組む企業のサポートをしていきます。

Buzooがハブになります。そして、まわりの全てが幸せになるために必要な事をやり遂げていきます。

私達は、すべてのステークホルダーを幸せにしていく会社です。
お取引先様、パートナー様は当然のこと、お客様、そのお客様のご家族様まで、従業員、その従業員の大切な家族まで、私達がステークホルダーのハブとなり、関わる全ての方々を幸せにしていきたいと考えます。健康事業を通して、お客様に幸せや価値を提供していきます。お客様から頂戴した収益をただ単に利益にせず、新たな価値の提供や従業員が頑張れる環境を提供するために投資をしていきます。

健康経営を通じて風通しの良い会社をつくります。全員が健康で長く勤めていける会社にしたい！

従業員の健康が１番です。ただし、身体的な健康、心の健康だけではなく、仕事の健康も重要です。任された仕事の結果はどうか？仕事に貢献ができて、結果を出して、成果がでているか？健康だけではなく、仕事の成果にも拘ることが大事です。厳しい現実から目を背けず、徹底的に結果、成果を出し続ける。それを実行し、実現し継続し続ける。楽な仕事ではなく面白い仕事をする。身体的な健康、心の健康、仕事の健康の３つを伴って健康経営を実践していきます。そして、社員全員が長く勤めていける風通しの良い会社にしていきます。

1333

大阪府
大阪営業所

紀洋木材株式会社

代表取締役社長
桑原健郎 氏

経営理念を実践するためにも、健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　桑原健郎 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市大正区小林西1-16-2
- 主な事業内容　木材・建材の総合サプライヤー
- 従　業　員　数　26名(男性:19名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私ども紀洋木材は、「木のぬくもりを通じて、夢と希望の持てる幸せな企業を目指します」という経営理念を掲げております。この理念の実現は自分たちだけで達成できるものではなく、お取引先の皆様からの信頼とご支援が欠かせません。社員全員で『健康経営』に取り組むことで、今まで以上に「ぬくもり」を感じてもらえる企業を目指します。

経営理念の実現のため、今まで取り組んで来たことを再確認するためにも、健康経営に取り組む

数年前から、業界や経営者の会合で『健康経営』という言葉を耳にするようになりました。あるきっかけでご紹介いただいた企業さまから、健康マネジメントに関するお話をお聞きする機会があり、さらに健康宣言事業や優良法人認定のことも詳しく知ることができました。これまで経営理念の実現のために社員とともに取り組んで来た歩みを再確認するためにも、健康経営優良法人認定取得にチャレンジしようと決めました。

外部専門家を活用し、取り組みを加速

まずは『健康宣言』を行い、また社外からの健康に関するマネジメント・サポートを受ける準備も整えました。
外部講師による健康カウンセリングを活用し、従業員個々に健康についてのヒアリング、体重管理、さらに食事をテーマにした情報提供や、LINEを使っての個別アドバイスや振り返りを継続的に行ってもらうことで、従業員全員で取り組みをスタートさせることができました。

社長自らも、様々なスポーツやイベントに参加フラットで話しやすい場を作ってあげたい

私自身、健康経営に取り組む以前から、食事も・お酒も・運動も楽しみながら健康でありたいと思い、マラソンや登山を毎週楽しみながら続けていました。また、従業員と一緒に参加するマラソン大会後には、参加した従業員やご家族と一緒にバーベキューを企画したりしております。スポーツや運動イベントを通じて楽しく過ごせる場、社員間のフラットなコミュニケーションの場を、これからも提供し続けていきたいと思います。

2022.05.16
健康は食事から…

2022.06.29
Z世代にも材木の良さを伝えていこう！

地域貢献、風通しのいい職場づくりなど、健康経営を始める前から様々な取り組みを実践してきました

・フラットな職場づくり
職場でのミーティングの際は、チームを分け、チームリーダーに若手社員を選出し、課題を決めてのミーティングを実施し発表しあったり、その後の懇親会の補助を行っています。
・情報発信
毎月様々なテーマで社内報を作成し、給料明細と一緒に配付したり、HPやFacebook等で、交流会などのイベントを発信しています。
・社員も家族も大切にしたい
イベントや新年会等で運動やコミュニケーションの場を作るようにしていますが、さらに社員の家族にも参加してもらい、安心してもらえるような職場作りを心掛けています。
・地域貢献
弊社ではインターンはもとより、修学旅行や社会見学受け入れなど将来を担う子供たちや学生の皆さんに向けて様々な取り組みを大正区と連携して行っています。
また”ものづくりの町・大正区”をもっと多くの方に知ってもらう大正区役所の取り組みに協賛し、オープンファクトリーやものづくりフェスタにも参加しております。

1334

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

株式会社プレーリードッグ

代表取締役
松岡良幸 氏

企業理念『地球愛』　行動指針『創造・挑戦・平和』

- 代表取締役　松岡良幸 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区安土町
- 主な事業内容　繊維製品・食品の企画製造卸販売
- 従業員数　45名(男性:13名・女性:32名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

当社は1993年の創業以来、タオルや寝具など繊維製品からスタートし、消費者のライフスタイルを考えて常に新しい発想を心がけ、情熱を持ち、創意工夫をして商品開発に取り組んできました。“消費者に感動を贈りたい“との思いで業種の枠を超えて企画・ものづくりに取り組んでいます。

健康経営を始めたきっかけ

弊社は以前より社員全員の健康診断と35歳以上の人間ドックを実施していました。
良い仕事をするには社員の健康が第一と考えるからです。経営環境の変化の中で、健康経営に関して耳にすることも増えました。消費者心理を先取りする企画・良い仕事をするためには、健康経営を礎として、今後も取り組んでいきたいと考えました。

健康な身体づくりのための具体的な取り組み

月曜日の朝は8:30から音楽が流れて全員が体操できるスペースを取り、ラジオ体操第一から第二まで、１人ずつスピーディーにリレー指名方式で体操しながら、自由に近況報告をします。体操しながら近況報告をすることで体のストレッチと頭の回転を早める効果があります。そして体操が終わってから通常の朝礼を短く行います。
また、2015年の東京マラソンに社員９名が出走しました。それ以降は大阪マラソン、京都マラソン、東北復興マラソン、高知龍馬マラソン、愛媛マラソンと、毎年フルマラソンに７名以上が参加しています。2020年３月東京オリンピック開催年に再び東京マラソンにエントリーしていましたが、コロナで中止となり2023年３月に久しぶりの東京マラソンに有志で参加します。スポーツ大会に参加することで日々の体力づくり・健康に気を配るようになりました。

時代のライフスタイルに合わせて、商品開発をしています

三重県津市でスタートした農業
社長自ら田植えをしています

社員の健康づくりは目的ではなく手段ではないか？

日々の体力づくりや、健康に気をつけた行動をとる中で、そのことがそもそも目的になっているのではないことも、より感じるようになりました。マラソンに参加することが目的ではなく、毎年元気に参加できる体力、健康な体を保つこと、そして仲間と努力し、達成感を分かち合うことが大切なのです。今は健康であったとしても、その状態を維持しなければ、将来の夢は実現できません。自身も夢に向かって常に前を向いて前進してきました。社員にも夢を持ってもらい、それを叶えるためにも、健康づくりが一つのサポートになればと思っています。

今後の展望
～事業の拡大に併せてより一層の健康経営取り組みを～

2020年から、“PrairiedogFarm”として三重県津市で農業を始めました。稲作が主で毎年９月初めに新米を収穫しプレーリードッグより産地直送で販売し、消費者から好評を得ています。日光を浴びて、土に触れ、汗をかき、農業することも健康に良い気がします。弊社は今後の事業展開で、繊維製品だけでなく食品分野に力を入れて行きます。食品の分野は広くそれぞれの専門分野で勉強が必要です。農業から食品に繋げる６次産業化を目指しています。今まで以上に社員皆で勉強し、“美味しい”だけでなく、“消費者の健康を第一に考える”仕事を進めて行きたいと考えています。そうした勉強を進める中で、自身や従業員の健康にも寄与できるよう、健康経営の一環としてもうまく取り入れていきたいと思います。

社長と社員でフルマラソンに参加

1335
大阪府
大阪営業所

オーエス株式会社

健康経営担当者様

ブランドメッセージ「Your Smiles, Our Smiles」の「Smiles」の土台には「健康」がある、という信念のもと健康経営を推進

- 取締役社長　髙橋秀一郎 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市北区小松原町3-3 ＯＳビル12階
- 主な事業内容　エンタメ・サービス事業　不動産事業
- 従業員数　65名（男性：44名・女性：21名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

働き方改革にチャレンジしてきた取り組みの積み重ねが健康経営のベースとなり、優良法人の認定取得に繋がりました。当社のブランドメッセージである「Your Smiles, Our Smiles」の「Smiles」の土台には「健康」がある、という信念から制定した健康宣言をもとに施策を推進しています。健康経営によって従業員や組織が活性化し、最終的に業績・企業価値の向上につながることを期待しています。

取り組みのきっかけは働き方改革

世間で働き方改革という言葉が出てきた2016年頃、当社では結婚や出産によるライフステージの変化を経験する女性社員が増えてきていました。現行の画一的な勤務制度の中で働き続けられるのか不安…という声を受け、働き方の選択肢を増やし多様な人材が活躍できる会社にしていきたいと考え、制度の拡充や啓蒙活動を３～４年かけて推進していました。当初は育児をしている「一部の人のための制度」という認識が大多数でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を機にこれらが「全社員を対象とする制度」であり誰もが働きやすい職場環境をつくるためのもの、という意識改革が進みました。

優良法人認定取得を通じて会社の付加価値として形に

2021年初め頃から、これまでの取り組みを会社の付加価値として形にしたいと考え、健康経営優良法人の認定取得を目指すことになりました。人事総務部（健康づくり施策運営の中心）と経営企画部（企業価値向上・ブランディングの視点）がチームとなって協力しています。過去の優良法人申請書をチェックリストとして活用し、実施できている/できていない項目の洗い出しを行いました。また申請の必須条件であった協会けんぽ様の健康宣言事業への参画を機に、健康経営エキスパートの派遣もしていただき、取得申請のアドバイスや当社グループ独自の健康宣言策定をサポートしていただきました。

健康に関する講座を実施

「ABW」を導入したオフィス

健康経営の取り組み事例

働き方改革関連では、時短勤務の選択肢拡充、社内イントラネット導入、フレックスタイム制度やコアタイム無しのテレワーク勤務制度導入、自社映画館内のスペースを活用したサテライトオフィス開設、全社員への社用携帯貸与などがあります。近年はウォーキングイベントや健康講座の開催のほか、社内コミュニケーション推進として、社員がお互いへの感謝の気持ちや良いエピソードを送り合う「ええことサンクスメッセージ」などを行っています。

取り組みを行って感じた事

ウォーキングイベント実施後の社員アンケートでは、イベントによって感じられたポジティブな効果として身体的変化や健康意識の高まりのほかに、社内コミュニケーションの活性化という回答が多くあり、担当者としては意外かつ嬉しい結果となりました。こうしたアンケートを取ることで社員の声を聴き、次の改善や新しい取り組みに繋げられると感じています。
また直近の採用活動でも、健康経営優良法人認定取得が応募に良い効果をもたらしたようです。

新しく本社移転し、さらに今後の展望

2022年６月に本社事務所を移転し、新しい働き方として「ABW」を導入し固定席をなくしました。既に運用している在宅勤務・サテライトオフィスも活用し、社員がそれぞれの仕事内容や健康・生活スタイルに適したワーキングスペースを自律的かつ自由に選択することを可能にしています。
今後も様々な施策に取り組んで行き、将来的には健康診断結果が改善するといった数値的な成果も得たいと思います。
当社の理念として「働く人の幸せもお客様の幸せも同時に追求する」ということを掲げていますが、その実現の土台には「健康」があるという信念のもとで、引き続き健康経営を推進していきます。

1336

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

阪神高速技術株式会社

代表取締役社長
立石泰三 氏

高速道路も社員の健康も「予防保全・予知保全」を進めます

- 代表取締役社長　立石泰三 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市西区西本町
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　361名(男性:314名・女性:47名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

当社は、2005年10月に阪神高速道路株式会社の100%子会社として設立されました。関西都市圏の大動脈である阪神高速道路の点検から診断、補修までを一括管理体制で実施しています。これからも、豊かな社会を維持することに貢献するという経営理念の下、「最高水準の道路守り(みちもり)」として、阪神高速道路を24時間365日、安全・安心・快適な状態に保ち続けていきます。

健康経営に取り組むきっかけ

当社では、経営理念をより具現化するために、3つのビジョン(組織風土ビジョン、業態・事業領域ビジョン、社員満足ビション)から成る長期ビジョン「未来予想図2030～みちもり君25歳の姿～」を策定しており、そのうちの社員満足ビジョンの下、「働き方改革」を進めています。「健康経営」については、この「働き方改革」の一環として進めることとなったものです。
従前より、法令に基づいて、健康診断、特定保健指導及びストレスチェックを実施するとともに、衛生委員会の開催や産業医・保健師との面談機会の提供等を行ってきました。加えて、新たに「健康経営」に取り組んで、社員の健康に対する意識の向上を図り、社員に健康になっていただくことで、社員満足度と生産性の高い会社づくりを目指しています。
具体的には、社員一人ひとりが健康で過ごせるよう、社員によるセルフケアの支援を行うこととし、①健康に関する意識啓発、②社員による健康管理の取り組みの支援の2つのテーマで進めることとしています。

健康経営の取り組み

①健康に関する意識啓発
　○健康に関するイベント等の実施
　・「生活習慣病予防セミナー」を親会社等と共催
　・パーソナルジムを運営する企業と連携し、トレーニング動画を紹介するとともに、コラムを社内webに毎月掲載
　○外部機関による認証等を活用した社内外への取組状況の発信
　・健康経営優良法人の継続認定
　・取組状況について、会社HP、社内web、社内報等に掲載し、発信強化
②社員による健康管理の取り組みの支援
　○健康のセルフケアをサポートする制度やツールの導入
　・AI健康アプリを導入

大切な社員の健康があってこそ、会社も成長すると信じる

当社では、道路構造物等に関する点検データの高度化や損傷状況の見える化により、迅速な判断や対応を可能とすることに加えて、損傷の発生傾向の分析に基づく「予防保全・予知保全」を推進しています。これと同じように、社員の健康に関しても「予防・予知」が大切だと考えます。
これからも健康経営について、新たな施策を企画・立案し、実施することで、社員の健康が維持・向上し、会社が成長し、お客さまが満足される道路を目指して、取り組みを進めていきます。

生活習慣病予防セミナー風景

イメージキャラクター
みちもりくん

1337

大阪府
大阪営業所

有限会社後藤研削

代表取締役社長
後藤宣章 氏

『当たり前のことを当たり前にする』をモットーに

- 代表取締役社長　後藤宣章 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府大阪市平野区
- 主な事業内容　製造業(研磨加工)
- 従　業　員　数　15名(男性:11名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

自分がやるべきこと、やらなければいけないことをきっちりこなしていくことが基礎となり、信用・信頼につながる。当社の主役は機械を扱う職人です。健康経営を通して、お客様に対しても社員に対しても同じ思いで向き合うことで、大切なものを守っていくことが会社としての使命だと実感しました。

突然の社員の訃報に本気で健康経営に取り組む必要性を感じました

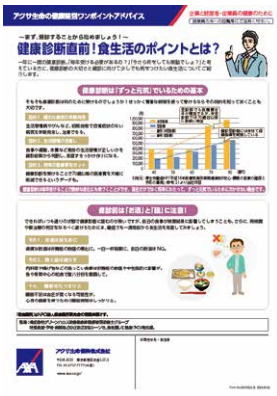
従業員の健康は当たり前の様にあるものだと思っていた昨年、再検査を受けた社員が短期間で帰らぬ人となりました。会社にいる全員が大きなショックを受けたことで、昨年より取り組み始めた健康経営の必要性をより実感しました。
当社の財産は代わりの利かない人、すなわち社員一人一人。健康であることが当たり前ではなく、経営の視点でとらえて社員一人一人に意識してもらう工夫をしていきました。

コミュニケーションを高め、大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

会社行事の一環として、吉本新喜劇鑑賞ツアー、従業員の家族同伴のバーベキュー大会など、社員と家族同士のコミュニケーションを高める行事を企画します。
本当の意味で健康経営に取り組むには、社員のご家族の協力が不可欠であることを皆に理解してもらうための機会になればと考えています。

健康経営ワンポイントアドバイスを毎月発行し給与明細とともに配布

まずは健康情報に触れる回数を増やすことで、社員の健康に対する意識を高めています。
月に一度給料明細とともに配布し、ご家族にも見ていただけるよう伝えています。



健康習慣アンケートで明らかになった健康課題に取り組み、会社の活力を高めていきます

昨年の健康習慣アンケート結果から、健康課題の一つとして運動不足が明らかに。
日頃使用していない一室にベンチやダンベルなどの健康器具を設置し、社員に積極的な使用を促します。
また、地域発行の求人広告に優良法人認定のロゴを活用することにより、他との差別化を図り、会社のブランド力を高め従業員の満足度を高めます。

健康診断だけではなく、社員を守るため特別な検査を実施していきます

毎年行っている従来の健康診断だけでは、がんの発見ができなかったということを重く受け止め、本年度より早期発見早期治療に向けて腫瘍マーカー検査を取り入れることにしました。
これから先、大切な社員をがんで失うことのない様、会社として取り組んでいきたいと思います。

1338

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

第一ボールト株式会社

代表取締役社長
上林浩二 氏

『儲けるより、愛されよう。』を実現するために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　上林浩二 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市西区安治川1-1-6
- 主な事業内容　締結部品専門商社
- 従業員数　57名（男性45名・女性12名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

「儲けるより、愛されよう。」
会社の一員として、自分、あるいは家族の生活を安定確保する。常に感謝の気持ちを忘れずに、創業時から伝えられてきた精神を尊重しながら、そこに歴代の社員が築き上げたものが融合して、今の「第一ボールト」があります。そして『健康経営』への取り組みを通じてさらなる成長を目指します。

まずは健康経営について社長・管理部門担当者が学ぶことからスタートしました。

従業員の働きがいのある環境を整備するために、本社および本社流通センターの新築移転計画とあわせて、採用環境の整備も急務であると感じている中、社外へ自社をどうアピールするかが課題でした。そんな中で最近よく耳にするようになった『健康経営』という言葉や、優良法人のロゴマークを目にする機会が多くなり、一度、どういうものか調べてみたところ、健康経営に取り組むことが、従業員のワークエンゲージメントの向上に繋がる点などを知り、ぜひ弊社でも取り組むべきだと感じ、優良法人認定取得に向けての取り組みをスタートしました。

出来ることから、継続的に取り組める計画を策定したい。

まずは出来ることから準備を始めようと考え、優良法人を取得された方のお話をお聞きしたり、健康をテーマとした展示会などに足を運びました。新社屋での職場環境の整備のヒントとなることが多くあり、健康経営を意識した計画を策定出来ました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

社員の健康課題についても把握してみたところ、運動不足や食生活の改善、腰痛・喫煙対策といった様々な課題があることがわかりました。そんな中で、まずは全員が出来ることを始めてみようと『健康ウォーキング運動』と題して、50万歩、70万歩、100万歩を目指し、クリアできたら会社からの素敵な商品が獲得できるイベントを計画、実施しました。開始当初から半数以上の社員が参加してくれて、さらに参加率が増えています。多くの社員が参画意識を持って取り組んでくれる雰囲気が醸成されてきたと感じています。新社屋に移転し、会社も社員も健康経営に取り組む雰囲気がさらに加速しました。
また、新社屋移転の際には、特に大切な食生活に関して、社員食堂の整備に注力しました。コミュニケーションが取りやすい座席配置、温・冷蔵庫・電子レンジ・ウォーターサーバー・トクホ飲料の設置などを行いました。

今後の展望

新社屋に移転し、会社も社員も健康経営に取り組む雰囲気がさらに加速したように感じます。一方で、様々な健康課題について、まだまだ社員への普及・理解には課題がありますが、継続的に全員で取り組んでいきたいと思います。

新社屋

従業員食堂

前田伝導機株式会社

代表取締役
耕　善一郎 氏

なにごとも遊びの精神を持って取り組んで

- 代表取締役　耕　善一郎 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市中央区谷町1-3-23
- 主な事業内容　シリコン製品の設計・加工・販売
- 従業員数　25名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

私たちは個人の能力を最大限に生かし、お客様に心から満足して頂ける、よりパーソナルなコミュニケーションの確立を目指します。より新しい世界を実現させるため、私たちはサービス品質の改善をはかり、人にやさしい高度な技術の開発や、より多彩なサービスの企画開発を積極的に進めるとともに、より広いエリアで活動して参ります。

健康経営に取り組むきっかけ

最初に健康経営の話を聞いたのは3年前に行政書士からでした。
その後、取引先や健保組合からの案内で目にしていた事もあったので、気にはなっていました。
自分自身の経験や心の病気について興味があったことから、この取り組みは、従業員のためになると思い、すぐにでも取り組みを始めるべきだと思い、会社として健康経営の活動をスタートしました。

人間的な繋がりが大事

体が健康でも心の健康が担保されてないとダメだと常日頃思っており、社員の話を出来るだけ聞くようにしています。仕事だけでなくプライベートな話も含めて、長と部下という関係ではなく人間的な繋がりを大事にしています。そうすることにより、仕事の面でも話を聞いてもらいやすくなり、会社の取り組みについても前向きに取り組んでもらえています。

取り組みと成果

健康経営の取り組みを２年間続けてきましたが、以下の取り組み内容に対しての成果が早くも出てきました。早速、成果を実感できてうれしいばかりです。

取り組み
・社員と配偶者に人間ドックの受診
・コロナ禍の現在、社員の社用車通勤
・社長と社員の対話
成果
・健康経営に取り組んでいる事がきっかけで社員が入社

当社が目指すDX推進指標

デジタル技術を活用していくにあたり、取組みの指標を設定します。

- 取引先や社内の打合せにて
  WEB会議システムの利用率70%を目指します。
- デジタル技術を活用してリードタイムの短縮を目指し、
  従業員の残業時間10%削減を目指します。
- SIP端末導入により通話料を30%削減

大変な時こそチャンス

健康経営の取り組みについて苦労と感じたことはありません。コロナ禍で大変なこともあるが、苦労と思ったら終わり。逆にチャンスだと思い、なにごとも遊びの精神を持って取り組んでいます。

今後の展望

前述した取り組みに加えて、社員との対話を中心としたコミュニケーションのさらなる円滑化、そして、上司と部下、仕事と作業の境目なく社員全員が同じ価値観を持てるように取り組む。
社員あっての会社。心と体の健康を大事にし、なにごとも遊びの一環という気持ちで取り組んでいきたいと思います。

1340

大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

株式会社タカラ塗料

代表取締役
大野一馬 氏

塗料のイメージを変えたい！熱い情熱

- 代表取締役　大野一馬 氏
- 本社所在地　大阪府大阪市西成区南津守
- 主な事業内容　塗料卸業
- 従業員数　28名(男性:2名・女性:26名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

「Spread some paint！」を合言葉に塗料の普及を目指す！
塗料の可能性を信じ、塗料の魅力をたくさんの方々に知ってもらい使っていただくことにより心豊かな生活の実現につなげ地域社会の貢献を目指します！

より良い会社、誇れる会社を目指し、健康経営に取り組みました。

弊社は今年度で認定取得二回目となりました。
知人から『健康経営』を紹介されたのがきっかけとなり取り組みをスタートしました。話を聞く前から健康経営の事は知っていて興味がありました。社内改革の一環として取り入れたいと考えており、以前から社内で健康については気を使ってはいましたが、明確な目標があった方が会社としても従業員としても取り組みやすくなると思っていました。
協会けんぽの健康情報等活用し従業員に発信などいろいろなものを取り入れながら自社で認定取得することが出来ました。

健康面のサポートを会社として寄り添っていきたい

まずは健康情報に触れる回数を増やすことで、社員の健康に対する意識を高めています。普段から社員とのコミュニケーションをしっかりととっている事で若い従業員にも寄り添い身体と心の健康の両面でのサポートを日々意識をしながら接しています。
働きやすい環境、職場づくりを大事に従業員のみんなが生き生きと業務に打ち込んで貰えるように取り組んでいます。

経営指針発表会の様子

発表会後のレクリエーション

【大阪市女性活躍リーディングカンパニー】として認証されている弊社。今後も従業員が最大限能力を発揮できる働きやすい企業を目指し男女関わらず活躍できる会社を作っていきます。

本社　社屋外観

社員の健康意識の向上を図る

取り組みを行い注力した点は健康診断の再受診の強化という点です。健康診断を受診しとりあえず受けたからとなってしまっていたのを改めて考え、より病気に対しての『予防』という点を意識して取り組みに注力しました。
若い従業員が多いからこそ健康についての意識付けも大切だと考え健康意識の向上についてもテーマとして掲げて健康経営にしっかりと取り組んでいます。

ペイントショップの理想像追求のために…

塗料のイメージを変えたい！可能性をもっと広げたい！
そんな想いについてきてくれる従業員のみんなは大事な仲間。
だからこそ一人一人に寄り添いコミュニケーションを大事にしようと普段から心掛けています。心のケアについてもメンタルヘルスの相談窓口も設置し、より心の健康にも寄り添えるようにしています。
身体の健康もしっかりとサポートし従業員のみんなの笑顔溢れる環境づくりを大事に考えています。
若い世代は健康に対して関心がないかもしれません。
これは社内外問わず言えることだと思います。
その解決策として弊社は色でアプローチできないかとかんがえています。「カラーセラピー」です。
色で心を癒す「カラーセラピー」はまさに色を扱う自分たちができることではないかと考えました。
塗料にはまだまだ潜在的な魅力が詰まっている。
海外では「アートセラピー」というアートを使った心理療法があり欧米では医療現場で医師とチームとなり治療を行っており認知度は高いものとなっています。アートにも様々な色が使われている。塗料の可能性の中にセラピーも出来るのではないかと考えました。
セラピーを意識した塗料に触れて貰う機会を通じ、地域社会にも貢献したい！学校でも塗料に触れる時間を作り、色とアートに溢れた学校も作れたらと思っています。

1341
大阪府
大阪営業所

Voice Report 140th

株式会社橋爪工務店

代表取締役会長
新後　修 氏

「社員の健康」それは橋爪工務店の財産です。

- 代表取締役会長　新後　修 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府堺市北区新金岡5-6-503
- 主な事業内容　建築工事業
- 従　業　員　数　14名(男性:12名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

時代を牽引する力を持ち、社員全員が安心と安定した生活の上に誇りを持って社会に貢献し、地域社会より信頼で満ち溢れた企業を目指す。

顧客の生活と生産活動において、満足感と信頼感のある建築物とメンテナンスサービスを提供する。地域社会より信頼される企業として存在し続けるため、顧客、地域、その他利害関係者とのコミュニケーションを大切にし、事業活動を通じて地域社会の発展に貢献し、いかなる経済環境下に置いても法規制の遵守を含め、健全な事業活動を推進する。そして全社員が健康でありたい。

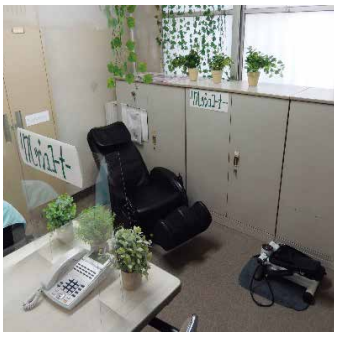
「当社の健康経営」ひとをやさしく見つめることから出発します。

橋爪工務店は創業71年を迎え人財の大切さを常に感じ取っています。
いままでも、これからも社員の健康を大切にして会社も個人も共に栄えたいと考えています。
禁煙促進を目標とし実施。禁煙率100%を達成しました。
結果としてタバコの臭いが全く付着していない新築建物をお客様にお渡し出来るようになりました。
喫煙に費やす時間が無くなり生産性も向上し良いことばかりです。
また事務所や屋外、建築現場周辺の臭いも無く綺麗になったなど健康経営の効果を実感しております。

建築業では人の身体が資本となります。夏の炎天下では熱中症のリスクが増大します。真冬でしたら身体が縮こまり硬直しがちで転落のリスクが増大します。
例えば出勤前の家族との些細な揉め事も、業務中の労働災害が起きる原因の一つです。
朝の「いってらっしゃい」帰宅時の「おかえり、お疲れ様」が言える家庭が企業の生産性UPに大きくつながっています。
心の健康も踏まえ橋爪工務店では取締役会を開催し40代の新任役員を登用しました。現場に近い役員登用により社員の心の悩みを聞き取り、ストレスの除去に取り組んでいます。

橋爪工務店ホームページ二次元コード

和気あいあいと
知床五湖へ慰安旅行です。



リフレッシュコーナーを開設しました。
マッサージチェアー、足踏運動器

健康経営実践で地域社会と共に永続的に発展してまいります。

会社が社員の健康を意識する事で社員の家族にも良い影響を与え、社員個人のモチベーションはアップし活き活きと仕事が出来るように願っております。
健康診断で要再検査となった社員には業務として勤務時間内に病院へ行ける環境作りも改善しました。
社員の行動変容を確認し次にどのような改善を行うか、どのような施策が喜ばれるのかなど基本方針の策定にアクサの健康習慣アンケートを活用しております。
社員が内に秘めたる心境を把握することにとても役立っております。
健康情報としましてはYoutubeなども織り交ぜて管理者が特選した情報配信なども行っております。
社内でのコミュニケーション向上にも意識し、顧客の要求をすべての部署に共有する体制も作りあげました。
健康を堅持し適切な安全管理と環境汚染防止を推進し、事故の未然防止につとめます。
健康経営・社員信条を旨とし、一人一人の人間力の向上をはかり地域社会からの要求にこたえ、地域に根ざした事業活動を展開してまいります。

社員が80歳を超えても働ける職場を提供しています！

人が集い、人が働き、人が憩える会社を創ります。
社員全員の健康寿命を延ばしたいと願っております。
社員が80歳を超えてもその人の健康に応じて出来る仕事を提供しています。
健康経営を通じて社員と社員の家族を守りたい。
それは社員満足度に直結し、結果として顧客満足度向上となる。
更には社会貢献の第一歩となると信じています。
今後ともに健康経営優良法人を実践し来年度は３年連続の認定を目指してまいります！

1342

大阪府
大阪東営業所

Voice Report 140th

東光防災株式会社

代表取締役社長
木本裕典 氏

「顧客第一、社員あっての会社」を実現するために

- 代表取締役社長　木本裕典 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府守口市南寺方東通3-3-7
- 主な事業内容　防災設備工事業
- 従　業　員　数　4名(男性:4名・女性:0名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

主に学校や病院等、公共施設に防災設備の設置やメンテナンスを行っている株式会社東光防災。対応するのは近畿一円。難解な事案・案件でも、まずは駆け付けて現場をよく見てから「何とかしてみよう！」の精神で最善の方法を提案するのがモットー。消防設備士の資格のみならず、電気工事士・管工事士・溶接士の資格をそれぞれ持っているので、工事全般あらゆる工事に対応できる強みを持つ。
人財である従業員全員が心も身体も健康で過ごして欲しいとの強い思いから健康経営に取り組み、2年連続の認定となった。

「今の時代に合った」健康経営に取り組む事に決めました。

アクサ生命から健康経営のことを初めて知ることになりました。話を詳しく聞き、今の時世のものだと感じました。数年前の夏、頼りにしている従業員が病に倒れた経験もあり、健康については最も気になる課題でした。従業員の健康を守りつつ、求職者から選ばれる会社として差別化が図れればと思い、取り組む事にしました。優良法人認定後に採用も出来ました。

健康リテラシーの向上

私も含め、社員は30代40代が中心です。食べ物や飲み物にしてもちょうどこれから気をつけていかないとと思っていたので、取っ掛かりとして食事のアプリを使っています。運動についても取り入れていきたいと思っています。朝早くから現場での集合となることも多々ある為、仕事前や休憩でのストレッチ等、無理をせずに出来ることから取り入れていきたいと思っています。他にはセミナー開催や月一回の健康情報ワンポイントアドバイスも役立てています。

コミュニケーション

コロナ禍前は懇親の為、月一回の飲食会を取っていましたが出来なくなってからは、日々の業務の中で更に声掛けなどで連携をとるように心がけました。少し落ち着いたので久々に飲食会を再開し、楽しい時間を過ごしました。和気あいあいとリラックスをして皆で語るのは、弊社には必要な時間であると改めて認識しました。

これからの課題

意識改革も大切と思っています。健康経営と一口に言っても、取り組む思いに個人差があるのは当然です。強制ではなく、各々が少しずつ就業中に取り入れていけたらと思います。これからも心と身体の健康を第一に、全員がいきいきと働ける環境を作り、従業員とその家族も幸せな企業を目指します。

1343

大阪府
大阪南営業所

巴株式会社

ビーバープレイス　松原

「全ての人の幸せを」を実現するために

■ 代表取締役社長　末安省吾 氏
■ 本 社 所 在 地　大阪府松原市西大塚
■ 主 な 事 業 内 容　有料老人ホーム・訪問看護・訪問介護・居宅介護
■ 従　業　員　数　30名（男性：10名・女性：20名）

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たち巴株式会社は、介護を通じて高齢者様や家族の幸せのカタチを深く思い描き、まだカタチにないものを思い描き考えること、今に「プラス」していくことから始まります。私たちは、高齢者様や家族の幸せだけでなく、働くスタッフ、スタッフの家族の幸せも思い描き、考え続けます。
私たちは、これからも「プラス」をつくり続けていきます。

会社独自のスタッフ満足度調査を実施

私どもは、スタッフの満足度が向上する事で利用者様にも満足して頂ける介護ができると考えております。会社とは、一握りの人間が作るものではなく関わるすべての人で作るものです。その中でも現場で働いているスタッフが一番近くで見てくれているからこそ、「スタッフの意見が欲しい！スタッフが満足して働けることが会社としても満足！みんなが楽しんで働いているところがみたい！」そんな思いを込めてスタッフ満足度調査を始めました。
アンケートの項目は次の３つです。
◎今月頑張っていることは何ですか？
◎来月どう頑張りますか？
◎自分の満足度は何％ですか？
このアンケートを毎月実施しています。精神的に落ち込んでいる従業員を発見できたり、介助により体の不調を訴えてくるケースもあるので、早く対応する事ができるようになりました。また、社内外の人に意識していただけるように現在、及び過去の満足度をホームページに載せております。

「健康経営」導入のきっかけ

設立して６年。設立した当初、オープニングスタッフが全員辞めてしまった経験がありました。その時、経営力が無く、売上もなく、従業員に安心して働ける職場と言う事が伝わりませんでした。さらに会社としてメンタルヘルスケアができておらず、従業員の身体の事を考えてあげられていなかったように思います。幅広い年齢層の従業員に経営者側の感覚を押し付けてしまってもいました。そこから健康経営というものがあると知り、もっと深く従業員の心身の健康を気にかけていこう！と決意し取り組むことにしました。
そして、離職率を下げる事を目的に実践し、看護の方は設立して３名、介護の方は年間で５～６名になっております。退職理由も、職場が嫌で辞めていく人ではなくなりました。

職場の環境・雰囲気改善で介護職のイメージアップ

介護職のイメージは、大変、夜勤があって大変、汚いなど、悪いイメージを持っている人が多く、働き手が少ない状況にあります。
本当は、「面白い！」「楽しい！」のです。健康経営を取り組み職場の環境、雰囲気が改善されて、「巴株式会社だったらいろいろできるんちゃう！」「介護するって面白いんだ！」「辛いこともあるけど、人生経験のある利用者様の体験談を聞いて、自分の人生に活かす！」という従業員が多く出てきました。それが広まって介護する人達が増えていけばと言う願いで外部に当社の取り組みを発信して、介護のイメージアップを図っております。

取り組み内容

・スタッフ満足度アンケート（毎月実施）
・整体師に会社に来てもらい従業員の体のメンテナンスを行っております。（半分会社負担）
・従業員用トイレを男女で分離。（従業員の意見から）
・外部講師による介護研修やコミュニケーション研修

1344

大阪府
大阪南営業所

Voice Report 140th

和泉商工会議所

専務理事
橋本隆次 氏

地域社会の発展に寄与するための健康経営

- 専　務　理　事　橋本隆次 氏
- 本 社 所 在 地　大阪府和泉市テクノステージ3
- 主な事業内容　地域総合経済団体
- 従　業　員　数　17名(男性:11名・女性:6名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

和泉市は大阪の都心から約25km、関西国際空港からは約20kmの大阪府南西部に位置し、大阪都心のベッドタウンとして開発が進み、1995年の泉北高速鉄道「和泉中央駅」開業を機に、岸和田和泉インターチェンジの近くに工業団地「テクノステージ和泉」が開発されました。年々各企業の進出が目覚しく、テクノステージ和泉に関しては100を超える企業・工場が集積し市内の活性化が進んでいます。

地域経済発展のために率先垂範で健康経営に取り組みました。

当所は近年発展めざましい和泉市の総合経済団体として地元商工業者の側面的な支援を行って、会員事業所とともに地域の活性化に努めております。そんな当所が健康経営優良法人認定を目指すことになったのは、数年前に日本商工会議所で「健康経営」という言葉を耳にしたことによります。少子高齢化が進む我が国において、今の働き手の健康は当人だけの問題ではなく社会全体の問題であり、企業においてはまさしく経営上の重要課題であることが理解できました。そこで、地域密着の経済団体である当所自身が先頭に立って健康経営に取り組み、会員事業所への普及に努めていくべきであると判断し、2019年６月健康宣言を行い取り組みを始め2020年３月に「健康経営優良法人」の認定を受けました。そして今年３回目の認定を受けております。

健康診断事業を行っているプライドにかけて職員への健康診断は万全に実施しています。

当所は会員事業所の事業主および従業員の健康管理の一環として健康診断事業を行っています。健康診断を推奨している当所が健康診断を疎かにする訳にはまいりません。会員事業所と同じように検診車を手配し、嘱託も含めた全職員一斉に健康診断を行いますので受診率は100%を維持できています。さらに、当所では法定検診に加えて腫瘍マーカー、胃カメラ、マンモグラフィ等の付加検診も全額負担して実施しています。診断結果については地域産業保健センターから保健師や医師を派遣してもらい２次検査などの指導を受けております。

会員向け
健康経営セミナー

毎朝のラジオ体操

ワークライフバランスの取り組みが最も成果につながりました。

当所にてワークライフバランスの取り組みは最も成果があった施策です。毎週第２、第４水曜日を「ノー残業デー」として周知を行い勤怠システムを取り入れ入退社はPCと連動した機械で管理し時間外労働の削減に努めました。今では繁忙期を除いて「ノー残業デー」以外の日もほぼノー残業となっています。また、有給休暇も１時間単位での取得を可能にしワークライフバランスを促進しています。

感染症対策に万全を期しています。

昨今、力を入れているのが感染症対策です。アルコール、入場者への検温器、アクリル板の設置をしており、全職員に「抗原検査キット」の配布も行っています。また、ワクチン接種による体調不良時も接種日当日および翌日に特別休暇制度を設けました。緊急事態宣言時は職員会議をリモートによるオンラインにて実施しています。

「内」のみならず「外」にも働きかけていきます。

当所の職員は比較的若い職員が多くおります。今後少子高齢化社会を迎えるにあたって若い職員は貴重な存在で、地域経済の発展に永く寄与してもらわないといけません。ただ若い時期は身体に無理が利く分、健康に意識がいかなくなりがちです。食生活が乱れたり、運動不足に陥りがちです。若いうちのつけは年を取ってから出てきます。そのため毎朝「ラジオ体操」の実施を始めました。また、専務理事が率先して毎日１時間のウォーキングを行うなど、運動の習慣化を自ら実施することで推奨しております。地域経済を守る職員が病気になってしまうと大きな損失が発生します。そのことを思えば今多少の費用が掛かっても安いものです。さらに私たちには地域経済団体として健康経営を地元企業に推奨、普及させていく重大な責任があります。今後も「内」のみならず「外」に対しても発信し働きかけて健康経営を重要事業として取り組んでまいります。

1345

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 140th

サンナッツ食品株式会社

代表取締役社長
鈴木泰一 氏

美味しさと健康を届けていく
それはサンナッツの誇りです

- 代表取締役社長　鈴木泰一 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市灘区都通1-1-27
- 主な事業内容　ナッツ・ドライフルーツ加工業
- 従　業　員　数　47名(男性:22名・女性:25名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2019～2022 4年連続認定

私たちサンナッツは、ナッツ業界のパイオニアとして世界の木の実とドライフルーツの全般を取り扱い、栄養バランスに優れた木の実ならではの食品を提供し、生活習慣病の予防にも役立てられています。
私たちの誇りは、人々の健康を支えていること。最上の喜びを育むように、いまだ世界中に眠っている貴重な木の実を使い、新たな健康食品の研究開発など、さらに精励努力してまいります。

ナッツを扱う会社だからこそ

ビタミン・ミネラル・たんぱく質など、貴重な栄養素を豊富に含んでいるナッツや、カラフルで食べるとホッとするドライフルーツを加工販売している会社として、そこで働いている従業員が、健康で幸せであるのは当然のことだとして、様々な施策を行ってきました。
従業員が健康で幸せならば、その人たちが作る商品も必ず素晴らしいものに違いない。それを召し上がってくださるお客様も健康で幸せに！ナッツに携わるすべての方が健康で幸せな日を送られることを心より祈っています。

トレーニング中心の健康経営研修

健康経営を始めるにあたり、まず初めに、社員、パートタイマー、各職場をランダムにチーム分けして、「健康づくり」について、自由にテーマを決めてもらい、ディスカッションして発表する、というイベントを開催しました。みんなが生き生きと活発に意見交換し、またとても楽しそうに発表してくれました。これを機に、健康経営のみならず、品質管理・危機管理・5Sなどのグループ活動が活発になり、今では従業員一人一人が自ら考え様々な提案を出し、実行するようになりました。健康経営を機に、モティベーションが上がったと感じています。

勉強会風景

従業員一人一人の健康宣言！

毎年６月、各自の健康目標を掲げてもらいます。そして毎月その進捗状況を報告してもらっています。従業員の励みになればいいなと思い、毎月約50名分、その報告書に、コメントを付けて返却します。「すごく頑張ってるね、その調子！」とか、「頑張って、もう少しだよ！」とか。小さいことでも毎日続けるというのは、とても大変なことだと思います。私たち経営陣は、応援することしかできませんが、精いっぱい力になりたいと思っています。

私の健康宣言

感染症対策は万全！

社内の感染症対策も、従業員が考えたルールを基に実行しています。会社としては、希望者全員にインフルエンザ予防接種を全額会社負担で行っています。医師に来社いただき、順番に並んで接種を受ける姿は、小学校時代のそれを彷彿とさせ、ちょっと面白い絵図になっています。
また年に一度の歯科検診を義務付けしており、その診察料も会社全額負担で実行しています。歯の健康維持を図り、退職後も、美味しく食事をしていただき、健康で楽しく幸せに暮らしていただきたいという思いからです。

兵庫県チャレンジ企業アワード２年連続受賞！

やれることは何でもやる。食生活に関すること、メンタルヘルス対策、コミュニケーション促進、喫煙に関すること、ガン検診や2次健診の指導など、考えられることは全部やってきました。それを評価いただき、2021年は最優秀知事賞、2022年は協会けんぽ支部長賞をいただくことが出来ました。中心に進めてきた委員やともに実行してきた従業員全員の協力の賜物と、感謝しています。
より一層働きやすい職場づくりに力を注ぎ、従業員やその家族、携わるすべての方が、健康で幸せに暮らせるよう、全力でサポートして参ります。

2022年
兵庫県チャレンジ企業
協会けんぽ支部長賞受賞

2021年
兵庫県チャレンジ企業
最優秀知事賞受賞

1346

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 140th

株式会社あべいすと

代表取締役社長
安部則行 氏

「淡路島の幸福と発展に貢献する」あべいすとだからできること

- 代表取締役社長　安部則行 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県洲本市宇原
- 主な事業内容　医療・介護・福祉事業
- 従　業　員　数　75名(男性:31名・女性:44名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

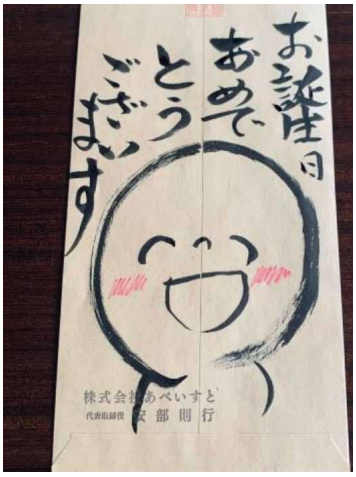
何か一つのことを成し遂げるには、忍耐力と継続力が必要です。そして、その中から生まれてくる気づきや出会いに対して常に感謝できる心と、ゆるぎない情熱をもって挑み続けていかなければなりません。
私たちはそんな思いのもと、「あべいすとだからできること」で皆様が本当に望まれる自分らしい暮らしをサポートし、そして淡路島の人を幸せにする為に挑戦し続けていきます。

顧客満足度、社員満足度をあげることを目的に健康経営

健康経営について漠然と認識していましたが、アクサ生命より詳細をお聞きして、本格的に取り組みを始めました。当社は設立後13年が経過したところですが、顧客満足度の向上と社員満足度双方の向上を目指したことで、働きやすい会社としてユーザーにも認識されるようになりました。
これからも心身共にあらゆる社内環境を健全な環境で維持運営することで私たちの笑顔が万人に伝わり、結果として優良法人認定取得が継続されればうれしいと思っています。

勤労感謝と働き方改革！

体力が必要なこともあり年次有給休暇に加え、特別休暇、産前産後休暇・育児休暇、夏季特別休暇などで、適正に休日・休暇を取得してもらっています。
そして、幼い子供を育てている従業員には子育てしながらでも仕事がしやすいように、所定労働時間を短縮して勤務できるようにしています。更に、バースデイ手当でお祝い金や永年に渡って勤続された方に感謝の気持ちを込めて表彰し、鋭気を養ってもらう為に最大で15万円分の旅行券とリフレッシュ休暇を付与させてもらっています。



社長直筆メッセージ

健康支援！

従業員が健全に職務を全うし安心して生活できるよう、健康面において年１回の法定検診に加え、インフルエンザ予防接種や内視鏡検査、超音波検査、眼底検査、子宮がん検診、乳がん検診などを会社負担で実施。
業務上、従業員の中には看護師の資格取得者がいるため、健康診断の結果については各々判断をしてくれているので、有所見者に対してはお任せをしていました。しかし、協会けんぽの保健師相談を始めたところ、思いのほか好評で、第3者からの指導の必要性を実感しています。

厳しい事業でも良い人材確保へ！

介護事業は従来から厳しい職場とのイメージがありますが、それを払拭するために、採用の際は共に働く現場の意見を尊重しています。採用させていただいた方にとってやりがいを持てるような環境整備をしています。そして、介護知識の習得やスキルアップのために専門的な知識をお持ちの看護師にお越しいただき毎月勉強会を実施しています。また、資格取得にかかる費用の全部または一部を会社が援助しています。年間４～５回全部署の社員が集合して会議・研修会その後に食事会等を実施しコミュニケーション不足解消を図っています。他にもバーベキュー大会や忘年会、創業祭、社員総会と機会があるごとに楽しいイベントを実施し、働くモチベーションに繋げてくれています。

1347

兵庫県
神戸営業所

株式会社成田

全社員配布の経営計画書

安心をどこよりも速く提供し
笑顔溢れる建設サービス業を目指します。

- 代表取締役　福井利和 氏
- 本社所在地　兵庫県洲本市中川原町中川原
- 主な事業内容　総合建設サービス業
- 従業員数　23名(男性:14名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

企業目標:社会の役に立つ会社になる。
経営理念:私たちは、社会の役に立つ会社になります。
:私たちは、お客様に価値と感動を提供し続けます。
:私たちは、やりがいのある会社を目指します。

社員一丸となって作成した経営計画書が基本

７年前に経営計画書を作成し毎年社員と共に更新しております。この経営計画書は会社の経営理念からビジョン、そして経営方針等が記載され、全社員で共有し、安心して働ける職場作り、健康を維持・増進する為の施策等、全社員が楽しく元気に働ける環境作りを行ってまいりました。その中で、外部組織からの認証・認定を増やしていく施策から「健康経営優良法人認定」を取得するという目標を期首に立案しました。認定を取得する為に、チェック項目を社員と共に確認していくことにより、新たな気付きや学びを得ることができ、社内の改善に役に立ちました。

工夫されたサイコロ朝礼

全社員がコミュニケーション力を向上させる為に毎朝の朝礼時にサイコロを振り、発表者がスピーチをし、それに対してコメントするサイコロ朝礼を行っています。
これは、６面体のサイコロを振って、その面に記載されている話題の内容について１分間スピーチを行うものです。
別のサイコロの６面に社員名(２人１組)が記載されていて、その場で当たった社員がスピーチをします。
更に、もう一度サイコロを振り、当たった社員が今話したスピーチの内容に対してコメントを返すようにしています。
この朝礼のおかげで、人前で全く話せなかった社員も、全員が温かく見守ることで、見違えるように話せるようになり、みんなのレベルアップを感じられて、効果は大きいと感じています。

３S活動で働きたい職場に！

お客様に安心をどこよりも速く提供する為には、必要な物が必要な時にすぐに取り出せる状態が重要であるとの考えから「環境整備」を実践しています。
この環境整備とは
「整理」:いる物といらない物を明確にし、いらない物を徹底的に捨てる。
「整頓」:必要な物を必要な時に、誰もがすぐに使える状態を保つ。
「清掃」:「今日はここだけ」という決められた場所を、徹底的にピカピカに磨きこむ。
この活動を８年前から毎朝20分間徹底して行っています。職場が常に清潔感に溢れ、働きやすく、きれいな職場が形成されているのでこの活動は今後も継続していきます。

委員会を活用したコミュニケーション促進

コミュニケーション促進を図ることを目的のひとつとして各種委員会活動を毎月１回30分間を基本として行い、様々な社内行事の企画・設営・運営を担っています。
①環境整備委員会:「掃除」というと、嫌なこと、面倒くさいことというマイナスなイメージがありますが、そのイメージを払拭するべく「掃除」ではなく職場の「環境整備」を中心に行っています。
②交流委員会:花見会等の社内イベントや遊びの要素を入れた各種施策を行っています。交流し楽しむことが目的なので活発に活動してくれています。
③研修委員会:共に学び・喜び・成長出来る文化を作ることを目的として活動しています。研修は講師・受講生ともに社員が担当し、お互いに教え合う事で社員の気付きにもなり、スキルアップにもつながり風通しの良い職場に繋がっています。
また、社員１人１人それぞれ価値観が違うことを大切にしながら、会社としての価値観(経営理念、ビジョン、方針等)を全社員で共有し「いい会社」を目指しています。

1348

兵庫県
神戸営業所

Voice Report 140th

motor house ZOO株式会社

代表取締役
前田康久 氏

従業員は財産！

- 代表取締役　前田康久 氏
- 本社所在地　兵庫県洲本市大野
- 主な事業内容　自動車販売業
- 従業員数　3名(男性:2名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

★大切な従業員とその家族の幸せのために少数精鋭のさらなるオートメカニック集団を目指す
★代表として大切にしていること
従業員とのコミュニケーションを通じて感謝を伝える
従業員の自発的な意見を尊重・働きやすい環境を作る

健康経営に取り組むきっかけ

協力会社より健康経営優良法人認定制度の話を聞き、内容を確認したところ、すでに取り組んでいることが多く良い取り組みだと思い昨年初めてチャレンジしました。法人成りをする前からついてきてくれている従業員に、この会社で働いて良かった！と思ってもらえるようそして長く元気に働いてもらいたいと思いこの取り組みを始め、優良法人認定取得を目指しました。

一番大切なコミュニケーション

少数精鋭で仕事をしているため一人でも欠けると事業に支障が出てしまい大変なことになります。なので、何より大切にしている事はみんなとのコミュニケーションです。
ランチタイムは、電話や接客もしなくて良いように事務所とは別に食堂を作り、ゆっくりと休憩してもらえうように環境を整備して、その隣に体力作りが出来る筋トレマシーンや体重計等を設置して、トレーニングルームも作りました。
健康診断も全員法定健診ではなく人間ドックを受診してもらっています。そして、要再検査を指摘された社員は再検査を必ず受診してもらっています。
更に、月に数回食事会を開催し、それ以外にも毎年忘年会、新年会、そして年に１回の海外への慰安旅行は恒例です。ただ、ここ２年はコロナ禍のため海外への慰安旅行は実施出来なかったので、コロナ禍が収束したら改めて海外に行きたいと思っています。
今年はまだコロナ禍が未収束のため沖縄旅行に変更したところ、今まで我慢していたこともあり、みんなで大盛り上がりとなりました。やはり社外でのコミュニケーションは大事だと改めて感じました。

慰安旅行　台湾にて

トレーニングルーム

会社も共に成長を目指して

コミュニケーション以外のもう一つの拘りは、ボーナス査定を社長だけでなく従業員自身がそれぞれお互いを30項目にわたって査定し、どれだけ頑張ったか？どれだけ成長したか？この部分を頑張ればいくらボーナスが増えるか？など報酬の見える化を行っていることです。このボーナス査定を従業員自ら行うことにより従業員自身が、次回はこの部分を改善しようと考えて取り組んでくれて、生産性の向上につながっていると感じます。そして、他には、従業員の有給休暇の取得日数が十分ではないと感じているので、有給休暇を取得しやすい環境を整えたいと思っています。そのために、今年からインドネシアから３年間に亘って１人ずつ入社していただく準備を整えています。人員が増えることで、従業員全員が有給休暇を取得しやすい環境を整えたいと思っています。

楽しい沖縄旅行

大切な従業員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

働きやすい環境を整え、従業員のみんながもっともっと働きやすく、そして楽しいと感じる職場であり続けたいと思っています。
そのためにも今以上に健康経営に力を入れて、会社で働くみんなが楽しく元気で長く働けるよう、これからもアクサ生命の力をお借りして継続していきたいと思います。

1349

兵庫県
神戸営業所

有限会社ハタヤ

代表取締役社長
吉川一生 氏

「誠実さ」を、お客様に、社会に、仲間に、自身に そして「満足」を！

- 代表取締役社長　吉川一生 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県神戸市西区伊川谷町別府
- 主な事業内容　サイン＆ディスプレイ業
- 従　業　員　数　28名(男性:21名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

お客様に喜んでいただくことを目的に、良い品質を適正価格・最善の納期でお客様に提供します。
①顧客の要求事項を十分に理解し、関連の法令・規制を遵守し顧客満足の向上に努めます。
②新しい技術を追求し、より高品質な製品を提供するように努めます。
③作業工程を常に最適に維持し、素早い対応で生産・出荷ができるよう努めます。

猛烈社員から健康経営へ！

社長自身が会社に入社した頃はまだまだ猛烈社員として働くことがステータスで、長時間働くことがかっこいいと思い働いていました。当初は売上増のためには長時間労働は当たり前で個人の健康は二の次と考える「明るいブラック企業」となっていました。矛盾していると思っていましたが、正しいと思っていました。
しかし、コロナ禍で従来の働き方を変えざるを得なくなり、売上げが減少しても社員の健康を守ることが大事だと認識を新たにしました。そして、社長になって周りの従業員を観察すると誰も猛烈社員ではついてきてくれないと認識し、そんな時、健康経営の話しを聞いて、アクサ生命の担当者がサポートしてくれるならと取組を始めました。

働き方改革に対応して！

従来、上限の定めのない残業時間や、昼勤と夜勤とのインターバル等にほとんど配慮していませんでしたが、健康増進のために改善が急務と考え、改善を行ってきました。その結果、残業時間は最高月間200時間超の社員もいましたが、現在は最高でも80時間を超える社員はいません。また、昼勤と夜勤の間のインターバル時間についても一定時間以上を設定し、夜勤明けの社員の出社時間に配慮を始めたことから従業員に喜ばれています。

全体会議で集合写真。レジェンドと呼ばれているベテラン社員から若手まで社歴順に並んでいます。

コミュニケーション促進イベント

社内コミュニケーションを促進するために様々なイベントを開催しています。まず年間2回開催される全体会議後の懇親食事会です。毎年定期的に開催されるのでみんなが楽しみにしてくれています。
他にも24時間リレーマラソンに有志で参加しましたが、あまりにも過酷でしたので今は休止しています。また、自分たちが作り上げた仕事場を完成後に見に行くツアーを実施したこともありました。このツアーは完成後の現場の顧客の反応や感想を聞くことが出来て、自分たちの仕事の満足度を高める一助になっています。

健康診断の２次健診は必須・禁煙も！

全員受診の健康診断の結果、有所見者に対しての2次健診については、健診予定日を予め申請し、その日を特別休暇として認定することで、受診率はほぼ100％となっていて、従業員の健康に対する意識が高くなってきたと感じています。
ただ、タバコに関しては、以前は男性がほぼ喫煙者で禁煙を浸透させにくい環境でしたが、タバコが吸いにくい分煙環境を積極的に進めたことから禁煙者が増えてきました。更に、分煙や受動喫煙対策を進めて完全禁煙を目指していきたいと思います。

目指すところ

今後、会社として目指すところは、「理想的な働き方と現実のバランス」の整合性を取ることで、具体的には残業もなく、定時まで働いて十分な成果が出せて、生産性が高い会社にしたいと思っています。目標は高いですが、明るいホワイト企業を目指していきたいと思います。

1350

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 140th

尼崎南運輸株式会社

代表取締役
中島孝博 氏

ワークライフバランスを真剣に考えている会社です

- 代表取締役　中島孝博 氏
- 本社所在地　兵庫県尼崎市元浜町
- 主な事業内容　運送業
- 従業員数　120名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私たちはプロの運送会社として、安全確保をすべての業務の基本としています。運送会社として最大の課題は「事故を起こさない環境づくり」であると考え、必ず全員に１年に１回、40歳以上の社員および希望者には１年に２回、産業医による健康診断を受診してもらいます。日ごろから体調管理に気をつけて、健康な身体を維持する。そしてコンプライアンスを遵守し職場環境を充実させています。

社員の働く環境を整えていく指標の一つとして健康経営に取り組みはじめました。

健康経営に取り組む以前より、Gマークやグリーン経営などに取り組んでおりました。また、弊社ではドライバーに特化した「働きやすい職場制度」への認定の取り組みを行い認定を受けておりました。
そうしたことから、健康経営については現状から少しハードルが上がったものだという認識はありました。
そんな中、健康経営優良法人認定を２年連続で取得された企業様からご紹介いただいたこともあり、次に取り組むとしたらこの健康経営だと思い、本格的に取り組んでいった結果、認定を受けることが出来ました。

業界のドライバー不足にも負けない社内体制づくりでしっかり社員の確保・定着が図れています。

免許制度に変更があった際に、この運送業界は気軽に入社の応募が出来る業界ではなくなりました。ただ、会社としては、未経験の方や普通免許だけの方でも受け入れられる様、資格補助制度を整え、若手の採用も出来るようになりました。業界では人手不足が深刻な中、弊社では採用広告に頼ることなく、従業員の紹介等の採用でドライバー不足を補っており、急な休暇取得希望でも交代要員を他で十分対応できるような社内体制を構築出来ています。また、既婚者が多いというのも、弊社の特徴のひとつです。例えば、入学式や授業参観、運動会などの学校行事は、他の従業員からむしろ休暇取得を勧められるほど、休みたいときに休めています。遠慮せずに気兼ねなく希望日に有給休暇を利用できる社風なので、社員の確保・定着が図れていると感じております。

クルーザーフィッシング時の風景

熱中症対策の冷凍庫。
社員向けに凍った飲料水を提供し、熱中症予防に役立てています。

普段の仕事は一人でも、社内のコミュニケーションは非常に活発で、仲のいい会社です！

我々の主な仕事はドライバーですから一人で仕事をすることが多いため、社員同士のコミュニケーションが希薄になりがちです。
そこで、例えば、クルーザーフィッシング（下記写真参照）や、ゴルフコンペ等、趣味が合う社員同士で楽しくコミュニケーションが取れる機会を創っています。そのほか、フットサルを実施する際には、会社から費用補助を行い、未経験の社員も誘ってもらい、社外でのコミュニケーションの機会としています。コロナも少しずつ落ち着いてきたので今年の夏はBBQ大会を開催し、今まで以上に社内コミュニケーションを活発化していきたいと考えております。

夏の車は非常に暑いので熱中症対策にも力をいれています。

夏場においては熱中症防止対策として、塩あめを好きなだけ持って行ける様にしております。また、私自身が釣り好きなこともあり、会社に大きな冷凍庫（下記写真参照）を置いています。夏場はその冷凍庫に500mlのペットボトルを凍らせ、それを出発前にみんなに配っています。また、業界で実施されている会社は少ないと思いますが、弊社では、ファンのついた空調服の購入費用を補助しており、社員は少ない金額で空調服を購入できることもあり、多くの社員が購入をしております。暑い夏場の作業効率アップに貢献出来ているのではないかと思っています。

社員自らの健康意識があがってきています！

従来より様々な認定制度などに真摯に取り組んできたことで、健康経営も順調に進めることが出来ました。最近では、役員からのトップダウンではなく、若手の社員10名くらいで集団禁煙グループをつくり、お互いがお互いを意識することで行動抑制が出来て、禁煙者が少しずつ増えてきています。社員自らが健康について前向きに考え、行動している話を聞き、私自身非常にうれしく感じております。さらに社員が安全にそして健康に働ける職場環境にしていくために、今後さらに取り組みを充実させていきたいと思っております。

1351

兵庫県
阪神営業所

阪神ケミカル株式会社

専務取締役
前田博之 氏

社員が健康でいてくれるのが一番！

- 専務取締役　前田博之 氏
- 本社所在地　兵庫県西宮市里中町
- 主な事業内容　防止・防食ライニング工
- 従業員数　3名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

我が社の健康宣言

- 健診受診率100％
- 特定保健指導の実施機会の提供
- 生活習慣病予防の見直し

身体が資本の仕事であるからこそ、健康経営に取り組む必要性を感じました。

健康経営については、商工会議所がらみで何となくは知っていました。ですが、最初話を聞いた時、『正直規模が大きい会社がするもの』と思う部分がありました。
そんな中、アクサ生命さんから話をお聞きし、健康第一でないと仕事が出来ませんし、我々の仕事は身体が資本な仕事ですので、規模の大小ではなく、取り組んでいったほうがいいのではないかと思いスタートしていきました。
とはいえ、健康宣言をしたものの、何から取り組めばいいのか・・・という部分もありましたので、まずはお声がけいただいたアクサ生命さんから健康に関するワンポイントアドバイスを毎月継続的に提供いただき、そこで健康情報に触れるというところからスタートしていきました。
毎月健康情報に触れると不思議なもので、少しずつ意識が変わってきていると感じております。引き続きアクサ生命さんのワンポイントアドバイスでヘルスリテラシーを向上していき、定期的に健康を意識していきたいですし、従業員にもそうなっていってもらいたいと考えております。
また、業界ではタバコを吸う人が多い中、弊社でも元々喫煙者はおりましたが、だいぶ喫煙者は減ってきており、喫煙者は外で吸うなど、周りへの配慮も出来ており、そういったところでも皆が健康に意識した行動が少しずつ出来ているのではと感じています。

社内の目につくところに
わが社の健康宣言と
健康経営優良法人認定2022年の盾を
飾っており、
健康経営を意識出来る様に
しています。

社員の協力もあり、
無事に認定取得できました！

従業員が健康で働ける良好な職場環境実現に向けて

弊社は仕事柄、ほこりなどの粉塵が多く出ます。また、材料の関係でシンナーを含むものがありますので、マスクも一般的な不織布マスクではなく、特殊な防毒マスクを使う必要があり、マスクを会社で付与しております。結果的に感染症対策などにもつながっております。
また、作業服につきましては、ケガ等の防止のため長袖を着用しております。その作業服も会社で買っており、特にこれからの暑い時期にはファン付きの作業服も買い、提供しています。また、作業着はどうしても汚れてしまいますので、ネーム入りの作業着を年一回買い替えをしており、極力社員の負担なく、準備出来る様にしています。
また、暑さ対策としてファン付き作業着と合わせて、夏場はポカリを提供し、熱中症対策もしっかり行っています。
その他、現場の仕事は朝も早いので、前の日に夜更かしなどは極力さけ、万全の体調で迎えられる様に取り組んだり、ケガ防止の一環として朝一番はラジオ体操や各人でストレッチなどを行い、安全に仕事が出来る環境を整えられる様に取り組みをしています。

今後も社員の健康維持と働きやすい環境整備を行っていければと思います。

健康診断はもちろん全員受けてもらっておりますが、その結果二次健診が必要となる場合は、通知が来るので本人と面談のうえ、日時を設定して、その日は有給にして二次健診には行ってもらい、しっかり体のケアをしてもらう様にしております。有給にすることで二次健診に行きやすい環境も作れているのかとはおもいます。
そういった取り組みも含め、アクサ生命さんで健康に関するアンケートを取得してもらった際に、全体的に良く、従業員がどちらかというと健康だということを知れたのはよかったです。
この状況は維持しつつ、今後さらに社員が健康でイキイキ働ける職場づくりをしていければと思います。

1352

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 140th

北斗電子工業株式会社

代表取締役社長
中野　学 氏

バランスの良い職場環境で、時代に寄り添い前進を！

- 代表取締役社長　中野　学 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県西宮市名塩東久保
- 主な事業内容　製造業
- 従　業　員　数　20名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

2021年３月に会社全体で健康づくり・「健康経営」に取り組むことを宣言し、職場での健康づくりを推進しています。今後も「心身の健康と技術力・人間力の向上を両立できる職場環境づくり」に取り組み、ライフワークバランスを高めて、社会の一員として「五方よし」を実現するために邁進してまいります。

きっかけは会議所主催のセミナーに参加したこと

創業以来50年以上に亘って「計測・測定・検査」の分野において、数々の技術要望にお応えしながらお客様と共に歩み続けています。社員が一人前の技術者になるためには、幅広い分野にわたる知識・経験が必要とされます。そのため、ベテラン社員の高度な技術力を前に、ドロップアウトする若手社員が多く、「このままでは・・・」と危機感を募らせていました。そのとき、西宮商工会議所様が主催の健康経営セミナーに参加し、アクサ生命さんの健康アドバイザーに出会うことができました。

弊社の主な健康増進活動

毎年12月に健康診断を実施（受診率100%）
健康増進に関する情報提供・啓発活動
健康アドバイザー制度を利用した、運動などの健康セミナー実施
受動喫煙・禁煙対策
健康経営アドバイザーによる健康情報を毎月全社員に発信
昼礼時に全社員で体操を実施
運動機会の増進を目的とした清掃活動を実施

アクサ生命さんの健康経営アドバイザーのお力添えをいただきながら、「健康」について社員一人一人が考え、その大切さについて再認識しています。

健康のためにエアロバイクに取り組む社員

活力あふれる職場環境を目指して

会社全体で健康づくりに取り組むことで、社員一人一人が心身ともに健やかになり、活力・人間力・技術力を向上させることができ、社員と社員の家族の幸せ、企業の業績向上・社会貢献に繋がっていきます。今後も社員一人一人が健康でいられるよう、職場環境を改善し、健康保持・増進に取り組んでいきたいと考えております。

こころの健康を守るために

人生100年時代、誰しも心に深く傷を負い、苦しいときがあるでしょう。私自身もそういう経験を何度もしたことがあるので、その「しんどさ、もどかしさ」は痛いほどよくわかります。社員の心の状態、顔色の変化などを敏感に捉えられるよう、日々努めています。人は一人では生きていけないので、健康経営を通して、甘やかしではなく、社員一同で助け合い、励まし合い、共に困難を乗り越えられるような職場環境を築いていけるよう取り組んでいます。

健康習慣アンケートの取得は非常に有意義に活用させていただいております

今回初めて、アクサ生命さんが提供されている健康習慣アンケートを社内にて実施しました。第三者のアンケートということもあり、社員は率直に応えてくれたようで、社内の健康意識に関する課題が明らかとなりました。その課題に応じた「健康セミナー」を社内で開催することが可能になり、健康経営に取り組むことができました。徐々にその取り組みの効果が出始めて、今では社員の健康に対する意識が変化しているように感じています。例えば、社内にエアロバイクを設置しようかと検討していたら、その前にすでに２名の社員が自宅でエアロバイクを始めていたようです。

1353

兵庫県
阪神営業所

株式会社プライムコーポレーション

代表取締役
小渕博之 氏

事業を通じて人々を幸せにしたい

- 代表取締役　小渕博之 氏
- 本社所在地　兵庫県西宮市六湛寺町
- 主な事業内容　家畜用粗飼料の輸入、配合飼料の販売業
  通信機器の販売業 等
- 従業員数　12名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

私どもの経営理念は“事業を通じて人々を幸せにしたい”です。お客様に笑顔を与えたい。感動を与えたい。社員とその家族を幸せにしたい。そして地域、社会に貢献をしたい。の思いで日々精進をしております。

会議所主催のセミナー参加をきっかけにスタート！

会議所の経営指導員さんからの紹介で会議所主催の健康経営フォーラムに参加したことがきっかけで健康経営をお聞きし、これはこれから必要だ！と思い、健康経営に取り組もうと思い、スタートしました。
まずは社員たち自身が自身の健康についてわかっていないと変わらないので、アクサ生命さんのアンケートを活用して、アンケートを回答することによって、健康を意識するきっかけになるということにすごく利用意義を感じております。

運動については声掛けによる意識付けを行っております。

社員に今よく声掛けしているのは、少しでもいいので「運動」を意識付けしてもらう様に呼び掛けております。社内にいる社員は特にずっと座って仕事をすることが多いので、例えば、台帳を取りに行くのにも、わざわざ立って行かないといけない配置にすることで、座りっぱなしを防ぐことができ、また自然と身体を動かすようにする導線づくりをしております。社外の社員へはまだまだ目が行き届いていないところもあるので、今後万歩計を渡して少しでも歩く距離を延ばす、体を動かすなどの意識が高まる工夫をしていければと考えております。

自分で好きなタイミングで自由にコーヒーや水を飲める環境です。社員からはとても好評で、ジュースとかを飲む機会が減り、健康意識が高まってきています。

社員には自由に飲める水とコーヒーを提供しています。

社内ではお水とコーヒーを無料で提供をしています。「牛乳や砂糖が必要な人は自分で持ってきて。」という風にしております。その結果か、皆さんブラックでコーヒーを飲んでおり、中には弊社に勤めてからブラックコーヒーを飲めるようになったという社員もおります。また、お水も無償提供していることもあり、ジュースを買ってという人も少ないので、水分補給もお水の人が多い分、結果的に健康的な飲料摂取環境が整っているのではないかと感じております。

社員の体調の変化や健康という部分には特に気をつけています。

健康診断はもちろん皆さんに受けてもらっておりますが、早期に発見して、早めにチェックしてもらう様にしております。そのために、2次健診には行くように声掛けして促すことは心がけております。
体調不良による休暇や治療に関しては、自分が納得していただく様に健康第一で自分の体調に合わせて勤務時間の調整や休みの取りやすい環境をつくることに注力しています。
また、有給は使うためにある休暇ですので、有給休暇をとれる様に定期的に「有給取ってね」と利用促進しています。
私だけでは目が行き届かない部分もあるため、総務が社員の顔色などを見ながら、声掛けしたり、社員さんによって相談をもちかけたりしており、相談できる環境・一人で抱え込まずにいれる環境もできてきているとも感じております。

今後もさらに社員の健康増進に向けて

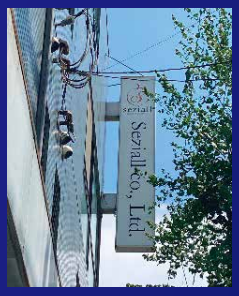
これからは、さらに社員の意見も聞いて、福利厚生として社員がどんどん健康になる様にサポートし、今以上にイキイキと働ける環境を整えてあげたいと考えています。
また、メンタルヘルスケアの部分についてもどんどん増えているので、メンタル不調に陥る前にしっかりケア出来る体制を整えていくことも必要とも考えています。

1354

兵庫県
阪神営業所

Voice Report 140th

株式会社セジオール



全てが交わる所という想いを込めて・・・！

- 代表取締役社長　髙嶋俊哉 氏
- 本 社 所 在 地　兵庫県尼崎市稲葉荘
- 主な事業内容　小売業
- 従　業　員　数　9名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

社名はイタリア語のsezione（交わる）という言葉からの造語となりますが、全てが交わる所という想いを込め、セジオールと命名致しました。これから交わる要素は多岐にわたり、お客様・社会・サービス・商品・スタッフと弊社にとって、どれひとつ欠けてはならない大切な要素ばかりです。いつまでも変わらず交わり続けることの出来る場所、それがセジオールです。

健康経営の広がりを各方面から聞き、取り組みをしていこう！と思いました。

健康経営を知ったきっかけは、２年ほど前に帝国データバンク様が調査で来られた際に、他社さんの取り組み事例の中の一つでお聞きしたのが最初でした。また別で、取引先銀行様より第三者機関を通して調査報告書を作りたいというお話の中でインタビューを受けた際にも同じようなお話がありました。まだまだ業績が必要な時期なのでそこに力を入れており、それに対して従業員の方が取り残されていないか？深刻になる前にちゃんとフォローをしていく必要があるよ。というアドバイスもあり、指標があったほうが分かりやすいと思い、健康経営を一つの指標として取り組み始めました。

まずはサポートを受けながら健康について少しずつ取り組み始めました

補助金の関係で健康宣言をしたものの、何から手を付けていいかわからない部分もありましたので、まずはある業者様で無料で利用出来るサポートサービスが健康経営にもつながる部分もあり、それを活用して、健康経営をスタートしていきました。そこには専門のメンタルケアがあり、オンライン上で社員自身のプライバシーが守られた中でいつでも相談が出来る窓口の設置が出来ました。
また、その相談窓口に日々健康には気をつけましょうね。という健康情報が見れる情報サイトなども提供されていたのもあり、まずそれを活用しながら進めていきました。

2022年度、健康経営優良法人認定
取得出来ました！

弊社では健康に気をつけた
日替わり弁当を提供しています！

健康経営を始めて特に食事の意識が変わりました

やはり長い目で見ていくとそういう食事に気を遣うのは当たり前だと思います。私自身、若い頃無茶苦茶な食生活をしてたこともあり、体調を崩したことがありました。食事に関して自己管理できる人はいいですが、そうでない人は私の様にいつか体を壊すことになりかねません。そこで、私自身のポケットマネーで、昼食は健康に気を遣った日替わり弁当を提供することにしました。結果、社員さんも弁当が出てくるのはありがたいと感じてくれていますし、中々自分では健康を意識して毎回ご飯を選んでというのも難しいと思いますので、今後もこの環境を提供し続けれる様にしていきたいです。

今では社員みんなが非喫煙者です！

弊社では喫煙できる場所として屋上くらいしか設けておりません。もちろん過去には喫煙者だった社員もおりますが、ほとんど吸う人がいないこともあり、タバコを吸うにしても話す相手もいないので一人でただ吸うだけになります。また雨の日は屋上に屋根はないので、傘をして吸わないといけないので、タバコを吸う人にとっては吸いづらい環境になっているのが功を奏してか、元々ヘビースモーカーであった社員も今では禁煙し、社員みんなが非喫煙者という環境になりました。今後人を採用していくとしても、どんどんタバコを吸う人が減っている世の中ですので、この状況を続けていければと思っています。

健康経営を取り組み始め、社員一人一人の意識が変わってきました！

健康経営を取り組み始め、主体的にランニングを始めた社員も出てきました。そのほかにも、コミュニケーションを取っている中で健康に関することは話のネタになることもあって、その結果そういった健康に関することでコミュニケーションも同時に図れてきています。
あとは、これが今後も続くか？という継続性が重要だと考えています。そこで、弊社では朝掃除をしておりまして、その際にラジオ体操を一緒に行って体動かそう。という話が出てたり、道路を渡ってすぐのところにフィットネスジムがあるので、会社として補助を出したりして運動促進などもしていければとも考えています。

1355

兵庫県
阪神営業所

株式会社タニキカン

代表取締役
谷　竹治 氏

和をもって　安全第一・品質確保

- 代表取締役　谷　竹治 氏
- 本社所在地　兵庫県西宮市鳴尾浜2-23
- 主な事業内容　管工事業機械器具設置工事業
- 従業員数　46名(男性:41名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

当社は、創業以来、取引先生産拠点における生産設備の配管新設・メンテナンス工事を主幹事業に事業を拡大、多くのお客様に育まれ、従業員にも恵まれ、おかげさまで創業60年が経ちました。
「お客さまに感謝し、従業員の幸福を希う」を会社経営の基本理念に掲げ、技術・技能の蓄積に努めてまいりました。
これからも、お客さまに価値を認めていただき、必要とされ、信頼される企業を目指してまいります。

人材育成を大切にして健康経営

過去にこころの病を発症した社員が、医師より転職を勧められたにも関わらず本人の強い意志で就業継続を希望、年月を要し共に苦労を重ね、乗り越えた先には明るい未来が待っていました。そこから「人」を大事にする企業内風土が根付いていきました。
この経験から長期勤続によるキャリア形成を図り、離職率の低い会社にすることが出来ました。全国から訪れる企業様を視察する機会が増え従業員のワークエンゲージメントは高くなっています。
そんな折、アクサ生命の担当者様から健康経営優良法人認定取得の話をいただき優良法人を目指すこととなりました。

トレーニング器具も自ら製作

もともと技術力の高い従業員が多く在籍していたことから、様々な健康器具やトレーニング装置を従業員自ら製作し、工場敷地内に提供された場所で施設を利用してもらっています。休憩時間や業務終了後に健康増進だけでなく、更なる技術力の鍛練につなげるための施設としても利用しています。
このトレーニング施設は、従業員が経費節約の観点から、業務での残材を利用し、創意工夫をして器具や装置を製作してくれました。これに応えるべく、施設を利用した従業員が帰宅前に汗を流すためのユニット式シャワー装置を作ったことで従業員のみなさんから賞賛されています。

兵庫県大会最優秀賞受賞を知らせる
タニキカンニュース

全国大会優秀賞の
優秀カップと表彰状

JAXA関連作業風景

全国に誇る技術者集団！全国大会優秀賞受賞！

令和４年度(第54回)兵庫県溶接技術競技会「アーク溶接部門」において、名だたる企業様の出場をさしおいて最優秀賞「兵庫県知事賞」を受賞、青森での全国大会の出場権を獲得し見事「優秀賞」の栄冠に輝きました。この快挙を「タニキカンニュース」で大々的に社内外へ発信し、モチベーションアップにつなげています。
参加費や交通費の負担といった資格取得支援制度や、出場のための練習時間は社員の協力のもと全社を挙げて応援、また、全国大会入賞の褒章として給与アップすることで、従業員の自己研鑽の意欲が出てきて技術力の研鑽が進んでいると実感しています。

コロナ禍のなかでの感染症対策・働き方改革

2020年３月頃からコロナ感染が他人事でなくなりかけた頃、コロナに感染した際の感染症対策として、10日間の特別休暇制度を設け働きやすい環境を整えました。当初は幸いにもこの制度を利用する事態に陥ることなく過ごしました。しかし、今年６名の従業員が感染してしまいましたが、特別休暇制度が利用でき安心して休むことができたとの評価を得ることができました。
また、感染拡大防止のためのアクリル板の設置については、商品の品薄から確保できなかったため、社員自らが机に合わせたものをプラスチック板から製作し、感染防止に役立てました。

コミュニケーション促進施策

従業員間のコミュニケーション促進を図る目的でコロナ禍になる前には、職場単位で食事会や懇親会を会社が費用の一部(全額負担にはならないよう注意)を補助し、楽しく実施していました。更に、数年に１回は全従業員参加で海外を含めた慰安旅行に行き、楽しいひと時を過ごしてきました。こうしたことで離職率の低下につながっていると感じています。コロナ禍が収まれば再開したいと思っています。
また、社員参加型の研修会や従業員同士の実務指導も積極的に実施することで、過酷な海外指導(SV)出張時に役立ったことを身をもって学びました。

1356

岡山県
津山営業所

Voice Report 140th

株式会社三木工務店

代表取締役社長
三木康史 氏

- 代表取締役社長　三木康史 氏
- 本 社 所 在 地　岡山県真庭市本郷1782-1
- 主な事業内容　総合建設業・不動産業・産業廃棄物収集運搬業・農産物の生産販売等
- 従 業 員 数　34名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

建設業を通じて社会へ奉仕する喜びと誇りを持とう。常に切磋琢磨し、より高い計画性のもとに仕事への情熱を持とう。誠意、責任感を持ち相互の信頼と協調によって健康で明るい職場を持とう。

健康経営に取り組むきっかけ

アクサ生命より一昨年の10月に健康経営について説明を受けました。「従業員の健康を積極的に管理して健康で長く働いてもらうことが、会社の雇用の環境を改善し、従業員の生きがい・働きがいを増す原動力となり、結果として会社の生産性を向上させることにつながる」この情報を受けたことがきっかけとなりました。

福利厚生の具体的な取り組み

年に１度の健康診断100％実施は勿論の事、２次検診の勧奨を徹底しています。
インフルエンザ予防接種の費用を会社負担にて実施しています。
複数あった喫煙場所を一か所に集約し、出入口から一番遠い場所に設置することにより喫煙機会が減少しました。
社内にウォーターサーバーを設置し、社員が自由に利用できる環境を整備しています。
また、コロナ禍で実施できていませんが、忘年会、社員旅行（費用一部会社負担）各部署の懇親会（費用一部会社負担）も行っています。

現状の課題と今後の取り組み

健康経営を行うには社員自身にも健康について意識を持ってもらう事が必要と考えています。会社からの押し付けでは反発を生み逆効果となるので、健康ワンポイントアドバイスを継続して配布するほか、月例会議で健康について話題を取り上げ、セミナーや講習会を実施し、情報提供や考える機会を設けていきたいと考えています。

治療と仕事の両立について

病気やケガの治療については、有給休暇を取得しやすい環境を整備し活用してもらっています。また、コロナ、インフルエンザワクチン接種について業務時間内の受診を可能とし、接種率向上に繋がりました。長期療養となると社員自身はもちろん、家族、会社にも大きな影響があるので２次健診勧奨を行い、早期受診、早期治療ができる体制を構築したいと考えています。

今後の展望

現在当社は60歳定年65歳まで継続雇用を可能としています（同一労働同一賃金をベース）。また、健康で就業可能な人については、65歳以上も雇用継続しています。当社では65歳以上の従業員も貴重な戦力であり、一人でも多くの従業員が健康で長く働いてもらえる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。その為にも健康経営に一つずつ丁寧に取り組み、健康で明るい職場づくりを目指していきます。

1357

広島県
福山営業所

大和建設株式会社

代表取締役社長
三谷道昭 氏

「和」～社員の健康は会社の健康～

- 代表取締役社長　三谷道昭 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市若松町8-4
- 主な事業内容　土木建築工事業
- 従　業　員　数　54名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

社員の健康は会社の健康

弊社は1958年に創業し、今年で64周年を迎えます。私たちが考える建設業の目的は、人々が安心して快適に暮らせる社会の実現です。そのためには、一緒に働く社員は財産です。社員の体の健康は会社の健康にも繋がります。そのためにも、健康経営の取り組みを始めました。

健康への意識向上のために

社員の高齢化、社員の体調不良者の増加などでより健康について気を付けるようになっていました。現場での仕事であり、社員の安全には十分配慮する必要があります。そのため、社員一人一人には健康意識を高めてもらうための取り組みを行っております。
具体的な活動としては、定期的な健康セミナーの開催や掲示板に健康情報の掲載を行い、啓蒙活動を行っております。健康に関する情報を知ることで健康づくりのきっかけになればと考えております。

運動機会が増えるように

コロナ禍になり、運動する機会が減ったこともあり、休憩室には運動器具を設置しております。また、事務所には血圧の測定器があり、いつでも測定することができます。健康づくりを推進するための環境づくりを少しずつ整えています。
また、健康経営の取り組みとは別に会社周辺の地域の掃除を社員全員で行っております。

社長の想い

大和建設は建設への「志」を持ちお客様の役に立つものを創ることとお客様の役に立ち、ご満足を頂くことを第一に考えています。同じ志を持った社員には、「人としての魅力」を備えた人間性豊かな人に成長してほしい、そして、より素晴らしい人生を送ってほしいと願っています。健康経営の取り組みがその後押しになりたいと考えております。

会社の外観

社内に設置した血圧測定器

休憩室に運動器具を設置

1358

広島県
福山営業所

Voice Report 140th

有限会社大下木型製作所

代表取締役
大下真司 氏

「安全でケガがない会社」「長く健康で働ける職場」
「社員の家族まで健康に配慮できる会社」

- 代表取締役　大下真司 氏
- 本社所在地　広島県福山市野上町1-5-28
- 主な事業内容　鋳造用木型製作
- 従業員数　8名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

健康経営のはじまり

弊社は昭和45年に設立した会社になります。3次元CADと匠の技を融合し、造船関係や工作機械関係の複雑で大型の木型を得意としております。今までの技術を応用して、浴槽などのFRP型、立体看板、たい焼き型など様々なモノづくりに挑戦しております。そんな中、社員の平均年齢が50歳を過ぎたところから、社員一人一人の健康にも気を配るようになりました。長く健康で働いていただける環境・仕組みづくりを行うために健康経営の取り組みを始めました。

病気になっても居場所はある。

社員への健康習慣アンケートの中で、病気になったときの不安があることがわかりました。「病気になっても安心して戻ってきてほしい」「大下木型製作所で働けて良かったと思ってほしい」という思いから、福利厚生としてがん保険を従業員全員に用意いたしました。その際、普段の感謝を伝えるため手紙という形でお伝えしました。今までそんなことはしたことがなかったですが、今回を機に会社がもう一段階一つになれました。

まずは健康について知ろう！

健康経営の取り組みとして社長独自で10年以上続けてきたのは健康情報の発信です。少しでも「健康に意識を向けてほしい」という想いから、社員が絶対に目にするところに健康に関する情報を掲載しました。今では、アクサ生命より毎月健康情報のチラシをいただき給与明細に同封しています。また、毎月1回の朝礼で健康セミナーを実施し、健康情報に触れる機会を多くしました。

社長の想い

弊社では、「安全でケガがない会社」「長く健康で働ける職場」「社員の家族まで健康に配慮できる会社」を実現するために健康経営の取り組みを実施しています。社員に対しては常に感謝の気持ちを忘れずに接しています。社員あっての会社。今後も健康経営の取り組みを通じて、社員が笑顔で働ける職場づくりに取り組んでまいります。そして、この会社で働けて良かったと思ってもらえるように引き続き精進してまいります。

会社外観

タイムレコーダーの近くに健康情報の掲載

毎月健康セミナーを実施している様子

1359

広島県
福山営業所

Voice Report 140th

株式会社大造産業

代表取締役社長
佐藤大輔 氏

～“健康”で一日でも長く～

- 代表取締役社長　佐藤大輔 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市光南町3-9-23
- 主な事業内容　給排水・衛生工事業
- 従　業　員　数　8名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康経営のはじまり

弊社は1961年に設立し、福山市を中心に管工事業を営んでいます。そんな中、社員の高齢化による健康への不安がありました。そんな時にアクサ生命の担当者より健康経営のお話を聞き、取り組みを始めました。

健康経営の取り組み

社員の健康増進に向けた取り組みとしては、事務所に健康器具を設置しております。バランス感覚を鍛えることでケガ防止につながると考えてのことです。また、会長のこだわりで30年以上続いている体によいといわれている山の水を前社長から引き継ぎ、自ら取りに行き、従業員のコーヒーを入れる時に利用しています。夏には熱中症対策として水分補給のための費用負担を会社で行っております。

従業員みんなの健康診断の結果がよくなった！

健康経営の取り組み結果として、全従業員の健康診断の結果がよくなり、普段の会話も健康に関する話が多くなるなど、健康意識が前よりさらに高くなったように感じています。
この状態が維持できるように引き続き取り組みを継続していきたいと思います。

社長の想い

当社に限らず、「建設業」という業界では、若者層の労働力不足に日々苦しんでおります。そのため、今いる従業員がいかに活き活きと働ける環境を作るのかが重要項目の一つであり、健康で長く働ける環境作りも、一種の要因となりえるはずです。今後も健康経営を通じて、一人一人が一日でも長く健康体で当社に勤めていただくことを目標に、新たな健康経営を推進していきたいと思います。

運動器具を使用している様子

運動器具と山の水

会社の外観

1360

広島県
福山営業所

Voice Report 140th

有限会社山本鉄工所

代表取締役社長
山本　亮 氏

～従業員には健康で長くいてほしい～

- 代表取締役社長　山本　亮 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市箕島町6595
- 主な事業内容　自動車部品製造
- 従　業　員　数　5名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

健康経営のはじまり

弊社は1972年6月に創業し、主に自動車部品を製造しています。以前、従業員が急に倒れたことがあり、それ以降一人一人の健康を気にするようになりました。そんな中、協会けんぽからのチラシで健康宣言を知り宣言のみした後、アクサ生命の担当者より健康経営のお話を聞き、取り組みを始めました。

健康経営を取り組んだ結果！

取り組みを続けていく中で、健康習慣アンケートでは社員一人一人の健康への意識が高まりました。また、仕事満足度も劇的に上がり、健康経営を取り組むことで仕事への姿勢が変わました。

従業員のための取り組み

健康習慣アンケートより、従業員の健康への意識を分析しました。その結果より、『自社でできることから一つずつ始める』をモットーに取り組みました。
具体的な取り組み内容としては、自動販売機のラインナップに健康飲料水であるトクホを加えました。また、休憩できるスペースにエアロバイクを設置し、運動不足の解消を行っております。さらに、食のバランスを意識してほしいという想いから、給食の献立表を事務所に貼り付けています。

社長の想い

従業員には健康で長くいてほしいという想いがあります。そのために普段から、健康に気を付けてもらうために、アクサ生命の担当者のアドバイスのもと様々な取り組みを行ってきました。この取り組みにより、健康への意識が高まり、そして健康づくりが習慣化になればと考えております。健康経営は従業員一人一人と向き合うきっかけとなり、これからもこの取り組みを通じて、精進していきます。

運動器具の設置

給食の献立表

会社の外観

1361

広島県
福山営業所

Voice Report 140th

福山自動車サービス有限会社

代表取締役社長
池添浩康 氏

みんなでいい会社にしていきたい

- 代表取締役社長　池添浩康 氏
- 本 社 所 在 地　広島県福山市御幸町森脇388
- 主な事業内容　自動車小売
- 従　業　員　数　10名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

健康経営のはじまり

弊社は『豊かな生活を追及するカーライフスタイル提案企業』という企業使命感を掲げ、私たちと関わる全ての人達の豊かな暮らしを追求し、地域から期待され必要とされる企業をめざし日々邁進しております。その中で、弊社で働いてもらっている従業員には心身共に健康であってほしいと思います。そこで、従業員の健康を会社でサポートする健康経営の取り組みを始めました。

従業員のための取り組み

事務所には熱中症対策としてウォーターサーバーを設置、コミュニケーションの場として、年に３回ほど社員とその家族でBBQを毎年企画しております。
実際に健康経営の取り組みの結果、セミナーの参加への態度が変わり、社員の健康への意識が向上しました。中には、カロリーの多い飲み物を控え、健康にいい飲み物を買うように意識を変えた方もいました。

健康意識を高める健康セミナー

健康経営の取り組みの中で、従業員のために取り組んだことは月一回の朝礼時による健康セミナーです。健康習慣アンケートの結果により、従業員全体の課題に沿った内容であり、セミナーでは、クイズ形式の参加型で実施しており、楽しく学べるように工夫をしています。

社長の想い

社員には健康ですこやかな人生を送ってほしいと考えております。そして、従業員みんなと「いい会社にしていきたい」という想いを持っています。そのためには、従業員は健康でいきいきと仕事できる環境が必要です。この健康経営の取り組みが将来の社員にとっても、会社にとっても、プラスに作用すると思います。今後も社員に対して様々な活動を行っていきたいと考えております。

毎月の健康セミナー

ウォーターサーバーの設置

会社の外観

1362

山口県
徳山営業所

Voice Report 140th

株式会社光運送

常務取締役
内藤祐也 氏

長く健康で働ける会社を目指して

- 代表取締役社長　内藤芳弘 氏
- 本 社 所 在 地　山口県光市三井8-7-11
- 主な事業内容　一般貨物自動車運送事業
- 従　業　員　数　46名(男性:37名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

全従業員が「健康」を意識するきっかけを作る

当社では、長距離ドライバー・現場作業員・事務所従業員の職種があります。特に長距離ドライバーはバランスの取れた食生活を送ることが難しい環境です。食生活が乱れると、社員の健康に支障をきたしてしまいます。社員あってのわが社です。そんな大切な社員のために会社として何かできることはないか？と考えた事が最初のきっかけです。情報取集している中で健康経営を知り、会社として取り組むことで若くて健康に気を使わない人たちにも目を向ける機会になると思い着手しました。

なぜ「健康」でいてほしいのか

会社にとって社員は「財産」です。経営者は社員の生活を守ることが使命だと思っています。もし「健康」でなくなり働けなくなってしまうと当然会社も困ります。しかし一番困るのは本人とその家族です。当社は、社員本人とその家族全て「家族」と考えています。ですから、その家族が楽しく将来を迎えるために、これから定年が延びていくことも含め、少しでも長く「健康」に働ける会社を目指します。

明るく、生き生きとした職場づくりをするために、社外講師を招いて社員への様々なテーマで勉強の機会を設けるなど、担当の内藤常務は工夫した取り組みを行っている。

みんなで、楽しみながら参加できる工夫

全従業員参加型で【なわとびチャレンジ】と【歩数対決】を行っています。
【なわとびチャレンジ】
ビギナーコース・ミドルコース・アスリートコースを自分で選んでもらい、達成できた社員にはそれぞれの難易度に合わせてインセンティブを設定しました。獲得を目指して、そして楽しみながら参加してもらっています。
【歩数対決】
スマートフォンのアプリを活用し、喜んでもらえるような賞品を色々考えて設定し、月間歩数上位者にお渡ししています。
社員同士がお互いに何歩歩いたか？など社員同士のコミュニケーション向上にも一役買い、しかも歩数からお互いの健康への取組状況まで話題が盛り上がることもあり、良い効果を生んでいます。
体を動かすことで健康になる、しかも全従業員が楽しみながら参加できるような工夫をしながら、今後も取り組んでいきます。

今後の展望
～長く健康で働ける会社を目指して～

健康経営は「人生を経営する」。そして、それは体の健康、こころの健康、社会的健康がそろって初めて成しえることができると健康経営アドバイザーより学びました。
体を動かす＝体が健康になる
楽しく、活気のある職場づくり＝こころが健康になる
マネーセミナー等の勉強の機会を設ける＝社会的に健康になる
ということを念頭に、社員それぞれが個々に人生をしっかり経営してもらえるような様々な企画を積極的に行っていきたいと思います。

1363
山口県
徳山営業所

株式会社芳川鉄工所

代表取締役社長
芳川靖平 氏

社員の「家族に選んでもらえる会社」になるために

- 代表取締役社長　芳川靖平 氏
- 本 社 所 在 地　山口県光市大字小周防1100-12
- 主な事業内容　製鉄粗鋼生産設備の部品製作・修理
- 従　業　員　数　24名(男性:19名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 140th

当社は昭和35年に設立し、「より良い製品をお客様へ」をモットーに、機械・組立工場・製缶及び研磨工場を有し、様々な製品の加工を行っております。チタン造管スクイズボックス、スリッターナイフ研磨装置、継手などの製品加工を「品質の向上」と「コストダウン」に社員一丸となって取り組みながら、お客様に信頼される高品質な製品づくりを目指しております。

当社に勤め働くことを、社員の家族も含めて誇りに思ってもらえる会社にしたい。

「良い会社に就職できてよかった」「素晴らしい会社に勤めているんだ」と、社員本人もそしてその家族も、誇りに思えるような会社にしたいと考えています。社員が仕事や会社に誇りを持つことは働き甲斐につながります。働き甲斐がある会社は、生産性も高い。その為に、以前より様々な取り組みを行ってきました。
しかし、なかなかその取り組みが浸透しなかったり、その方向性が明確ではありませんでした。何か良い方法はないか？と考えていたところ、アクサ生命より「健康経営」について情報提供があり、よしやってみようと取り組むことにしました。

楽しみながら、健康に取り組む工夫

健康につながるような様々なイベントは、社員が楽しみながら参加できるように色々と工夫をしています。
例えば、ボーリング大会やバーベキュー、社員旅行など社員間のコミュニケーションが楽しく図れ、家族で参加できるようなイベントのアイディアを出しながら積極的に行っています。加えて当社の敷地にバスケットゴールや球技用ネットを設置し、仕事だけではなく自分の健康のためにも会社に来れるような環境を整えています。
ある社員が「そんな温かい会社に入りたい！」といって入社してくれたことは、会社としても取り組んでよかったと思えましたし、その社員は今でも仲間を大切にし、大変活躍してくれています。
その他、やまぐち健幸アプリを導入し歩数チャレンジをしながら社内でも競っています。でも実は一番歩いているのは社長なんです。平均１万５千歩は歩いています。社員もびっくりしていますが、良い刺激にもなっているようです。社長自ら先頭に立って社内の健康意識を高めています。

2021年、2022年と２年連続での健康経営優良法人認定は社員も誇りに感じているとのこと。

休憩室の掲示板にて健康情報コーナーを設置し健康情報の提供をしている。

会社側における環境整備～福利厚生の充実と両立支援コーディネーター資格取得～

実際に健康経営に取り組むにあたり、健康経営担当者の両立支援コーディネーター資格取得や、福利厚生の一環として全社員を被保険者に医療保険の加入をしました。両立支援コーディネーター資格取得後がんに罹患した社員に対し、退院後の仕事への復帰と治療の両立ができるようサポートすることができました。
大切な社員を失わずに済み本当に良かったです。
さらにその様子を見ていた別の社員が大きな病気に罹患した際にも仕事に復帰するにあたり会社がしっかりサポートしてくれ、心配していた治療費も会社で入っている保険で賄えると分かり、治療にしっかり専念してもらえました。
両立支援においては、助成金の活用が可能という事もわかり、より会社としても社員に安心して、長く働ける会社であり続けられるよう工夫し続けたいと思います。

健康診断のオプション費用も会社負担で受診しやすい環境づくり

健康診断のオプションとなる男性の前立腺がん検診費用を含めたがん検診の費用は100％会社負担をしています。更に女性には骨粗しょう症（骨密度検査）も昨年度より導入しました。
出勤扱いで受診してもらえるよう規定も変更しました。
社員同士で「HbA1c検査を受けたほうがいいぞ！」など話をしているのを耳にする度に、受診意識が高まってきていることを感じます。

健康経営を通してブランド力UPも目指し夢や希望を感じる会社に

健康経営に取り組んでいる事を社外にも積極的にアピールをしています。健康経営関連でマスメディアへの出演もしました。
反応もまずまずです。色んな人に社員への思いをたくさん詰めた健康経営の取り組みを知ってもらいたいと思います。たくさんの人に温かい会社として当社を選んでもらいたい。企業は人なり。いかに「この会社で頑張ってみよう」と考えてもらえるか、そして本当の「ものづくり」に満足できるような、夢や喜びも感じられるような会社にしていきたいと考えています。

1364

山口県
徳山営業所

Voice Report 140th

大海電機株式会社

代表取締役社長
田中康一 氏

社員が健康であることは当社の大きな武器になる

- 代表取締役社長　田中康一 氏
- 本 社 所 在 地　山口県防府市大字田島333-5
- 主な事業内容　電気工事業
- 従　業　員　数　22名(男性:17名・女性:5名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

景気が低速して来ている近年、公共事業は減少の一途をたどり厳しい社会情勢の中、技術を高めてお客様に満足して頂ける仕事を提供していくことを考えております。安全第一と迅速さそして社員教育に力を入れており、また時代のニーズに努め使い勝手やエコの観点からでの提案型技術営業を重視しております。将来は無限型エネルギーにも目を向け必要とされる地域No.1の会社になることであり会社経営を含めて街の活性化に貢献していきたいと考えております。

健康経営に取り組むきっかけは「社員の健康」という新しい武器を手に入れるため

我々建設業を取り巻く外的環境が刻々と変化していく中でその変化に対応していくためには大切なお客様との関係や技術面の向上を常に意識し独自に磨いた技術と組織を構築し、しっかりと受け継いでいくことが大切だと考えています。そのためにも、労働人口の減少等による人材の確保の困難化等に対する「新しい武器」を模索していたところ、健康経営について総務担当者から情報提供を受け、「社員たちに健康でいてほしい」という思いが強まり、これらが新しい武器になりえると感じ、優良法人認定申請にチャレンジすることを決めました。

最初は色々と苦労しましたが、「やまぐち健幸アプリ」の導入により大きく盛り上がりに

窓口となった総務部の田中取締役は「最初は苦労しました」と言っています。社員の健康は、個人のプライバシーと捉えられるところもあり、どこまで踏み込んでよいか？悩みました。
また、現場で作業をする社員が殆どで、時間的な余裕もなかったので、山口県健康増進課が企業に提供している「やまぐち健幸アプリ」を導入しました。社内ランキングや企業ランキングに登録し順位を競い合うことで社員が楽しみながら参加してもらえることや、1位から3位までは電動歯ブラシなど健康にかかわる賞品を用意し、更に参加した社員にも参加賞をお渡ししました。とても喜んだり盛り上がったりすることで社員の健康に関われる自然な流れができました。

HPのトップページにて健康経営に取り組んでいることを発信している

健康経営優良法人認定証と
田中社長(右)田中取締役(左)

健康アプリの導入により更なる効果が

やまぐち健幸アプリの歩数データをチェックしていると、社員同士で「何歩だった」とか「誰が1位の座にいる」など話題にします。また、いつも歩いている社員が最近は歩いていないなど僅かな変化を察知することができます。その背景には仕事以外の悩みを知るきっかけにもなり、会社としても相談を受け個々に寄り添うことができたことで社員のコミュニケーションがさらに深まりました。

再検査受診勧奨という難しい問題にも、工夫して取組みを行う

その他、力を入れて取組んだのは、再検査受診の勧奨です。以前は、対象社員には「診てもらおう、再検査に行こう」と声掛けで済ませておりましたが、文書を手渡ししその文書がそのまま受診予定の報告書になるよう作成しています。再受診を受ける際は業務扱いにするなど受診しやすい環境を整えました。これにより再検査受診率も100%になりましたし、社員の意識も変わってきたと感じます。文書にすると社員のご家族が目にする機会ができ、その家族も含めてより具体的に健康について考えていく方向に意識が変わりました。加えて、アクサ生命様からの福利厚生プランを導入しました。その際には私の思いをメッセージにして伝えました。大変喜んでもらえましたし社員のワークエンゲージメントも向上し導入してよかったと思っています。

社員からの感謝の言葉で実感そして、未来へ

毎年、年賀状をもらう社員より「いつも健康を気遣ってくれてありがとうございます」という一言があり、健康経営に取組んで本当によかったと思いました。と同時に、少しずつ社員にも浸透してきているという実感を持つことができました。当社は昨年おかげさまで創業50周年を迎えることができました。今後迫ってくるであろう様々な困難を会社として乗り越えていく為にも、社員と一体になって健康経営に取組み、60年70年と続き、後世にも引き継げる100年企業を目指していきたいと考えています。

有限会社ビ庵

左から
大迫龍斗 チーフマネージャー
大迫繭美 社長
大迫亮介 取締役

ハチミツ食を通じて全ての人の健康に関わっていく

- 代表取締役社長　大迫繭美 氏
- 本 社 所 在 地　山口県岩国市周東町下須通128
- 主な事業内容　食料品小売業
- 従　業　員　数　8名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

初代が養蜂業を始め、平成元年に２代目が「ミツバチからの自然の恵み、蜂蜜をとおして皆さまに健康と美を伝えたい！」との想いで、はちみつのお店『ビ庵』をオープン。
現在３代目がその想いを受け継ぎ、養蜂を営みながら蜂蜜を使用したオリジナル商品や健康食品を製造販売。
心も体も健康になるような・・・そんなお店でありたいと私たちは願っています。

ミツバチから頂いた自然の恵みを大切にお届けいたします。

ミツバチが運んでくれる甘い「はちみつ」、免疫力を上げてくれる「プロポリス」、スーパーフードとして注目されている「花粉」など、私たちの健康や生活に役立つ自然からの贈り物を沢山届けています。
また、SDGsにも取り組んでおり、人々の健康、環境問題や自然の豊かさの持続、地域教育にも積極的に関与し、地球の恵みや地域発展をこれからも支えていきます。
実際にビ庵の商品を通じて健康になったと沢山のお客様から喜びの声を頂戴しておりますし、県内外の企業とビジネスマッチングをしながら持続可能な経営と社会の発展にこれからも貢献していきます。

健康経営に取り組むきっかけ

ハチミツ食を通じて健康に関わる仕事をしており、健康に対するアンテナは常に張っていました。健康経営についても以前から気になっていたところ、アクサ生命の担当者から話を聴き取り組むことを決めました。

取り組んでみて感じたこと

健康に対する意識が改めて強くなりました。
お客様の健康に関しては、ハチミツ食を通じて常に考えておりますが、自分たちの健康に関しては、日々の忙しさに追われる中で後回しになっていたように思います。自分たちの健康に対してより意識するようになったことで、健康を自ら実感し、その経験をお客様に伝えられる良い循環が生まれています。また、今まで中々伝わりにくかった従業員に対する経営側からの感謝の気持ちと健康でいてほしいという想いを伝える良いきっかけにもなりました。

大切な社員とその家族の健康とともに会社も成長していきたい

何よりも健康第一であるという想いが一層強くなり、健康の枝葉を広げていける会社であり続けたいと考えています。
商品を通じて、我々スタッフを通じて、関わる全ての皆様の健康を支えていきたいです。
スタッフに関しても、一日でも長く健康で働いていけるよう健康経営の取り組みを継続していきます。お客様、スタッフ、スタッフの家族、関わる全ての方から愛される会社であり続けるために、全ての方の健康を支えていく覚悟を持ってより良い会社経営を目指していきます。

1366

愛媛県
今治営業所

アイネット株式会社

代表取締役社長
矢野　浩 氏

50年後100年後を見据えた地域と共に歩む企業を目指して！！

- 代表取締役社長　矢野　浩 氏
- 本 社 所 在 地　愛媛県四国中央市金生町山田井乙150-11
- 主な事業内容　物流業・倉庫業・製造業
- 従　業　員　数　34名（男性：19名・女性：15名）
- 関連会社（50音順）　AIPA株式会社、アイム株式会社、泉製紙株式会社、イトマン株式会社、大高製紙株式会社、服部製紙株式会社、福田製紙株式会社、丸石製紙株式会社、八幡浜紙業株式会社

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

健康経営に取り組むきっかけ

アクサ生命の担当者から「健康経営をしてみてはいかがですか？」と提案いただいたのがきっかけでした。
「社員の健康＝会社の健康」と捉え、従業員がいつまでも健康でいきいきと働ける職場環境を整えていくことが、延いては人材定着率や会社の成長にも繋がると考えて、健康経営に取り組んでいくことにしました。

具体的な取り組み内容

①定期健康診断（常勤者：１回/年）の全員受診。
　→健康指導（社長との面談２回/年）
　　：飲酒・喫煙の過剰摂取の危険性の呼びかけ。
②健康習慣アンケートの実施で現状把握とフィードバック＆フォロー。
③アクサ生命の「ワンポイントアドバイス」を毎月従業員に配布。
④朝礼前のラジオ体操の実施。
⑤自動販売機にトクホ飲料の取り入れを実施。
⑥休憩時間を活用して、ストレッチなどができる空間作り。
⑦血圧計・体重体組成計の設置。
⑧受動喫煙対策、喫煙所の設置。

働き方の改善の取り組み

○有給休暇を取得しやすい職場雰囲気があります。
（プライベートも充実）
○安全パトロールを実施し、社員が安心安全健やかに働ける環境作りを心掛けています。

メンタルヘルスに関する取り組み

当社では社員の心の健康を守るために、ハラスメント研修など様々な取り組みを行っております。また、社内旅行等のレクリエーションを実施し社員同士の密なコミュニケーションを心掛けております。

感染症対策について
～社員が安心して働けるように～

①出勤時の検温の記録
②手指消毒
③お客様には体温等を記入していただく来訪者カードを玄関に設置
④食堂・会議室・応接室に飛沫防止のアクリルパーテーションを設置し三蜜回避
以上のように感染症対策として様々な対策をしております。
今後の課題として、社員の食事の管理・運動促進の呼びかけや、歯科検診の重要性に関する啓蒙活動を考えております。

今後の展望

安定した経営「会社の健康」を維持することは、即ち「社員の健康」が不可欠です。社員や社員の家族が健康でなければ成り立ちません。これからも50年後、100年後を見据えながら地域社会に貢献できるように、地球にやさしい商品作りと、社員にもやさしい職場環境作りに配慮しながら健康経営を推進してまいります。

1367

福岡県
柳川営業所

株式会社エトウ

代表取締役
山﨑　彩 氏

木のぬくもりを、人へ、未来へ

■代表取締役　山﨑　彩 氏
■本社所在地　福岡県大川市鐘ヶ江227-2
■主な事業内容　家具卸売業
■従業員数　36名(男性:18名・女性:18名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

木のある暮らし、日本人にとって当たり前の暮らしが私たちに大切なことを教えてくれていました。身近にある資源や環境を活かすこと。良いものを長く使い続けること。日々を大切に、健やかに生きること。「おもてなし」や「人への思いやり」など世界の人々が注目する「日本人らしさ」は木のある暮らしが育んできたと、エトウは考えています。木のぬくもりを、人へ、未来へ。日本に生まれてよかったと、私たち日本人が誇れるように。日本文化に出会えてよかったと、世界の人々に喜ばれるように。エトウは、木のぬくもりを通じて人と環境にやさしい住環境を提案します。

健康経営に取り組むきっかけ

株式会社エトウは家具の生産地、福岡県大川市にて家具の輸出・輸入・卸業を営んでおり、2020年に100周年を迎えました。日々を大切に健やかに生きる事、木のぬくもりを通じて人と環境にやさしい住環境を与えられるよう日々精進しております。
また、社員一人一人のスキルアップとチャレンジし続け成功に導く事が出来る会社を目指しております。以前より、社員が働きやすい環境を整えるためにはどうしたらよいのだろうと考え、色々な事に取り組んでまいりました。会社が発展していくためには【社員の健康が何よりも大切である！】と考え、この機会に健康経営に取り組むことしました。

2021年12月4日　AED研修の参加風景

2022年３月～５月
歩く国際協力「Walk in Her Shoes」参加実施

健康増進への取り組み

健康習慣アンケートのフィードバックを受けて、まずは私達が取り組みやすいところから始めました。
野菜不足を実感している社員が多かった為、野菜や飲み物を自由に摂取できるように専用の冷蔵庫等を設置しました。
mail等の呼びかけにより、健康診断の受診率及び二次健診受診100％達成。
がん検診のオプションを負担したり、毎年社内において歯科検診も行っています。AEDを設置し、社員全員が救急救命講習を受講しました。また、健康増進と社会貢献が同時にできる「歩く国際協力 Walk in Her Shoes 2022」に参加することにより、自分たちの行動がほかの人に役立っていることを実感し、積極的にウォーキングに取り組み、それにより社内のコミュニケーションも増え、また健康に関する意識も変わってきたように思います。

社員の幸せな人生が実現できる企業へ

『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させ健康な毎日を送る、今後もこういった「健康経営」への取り組みは、益々盛んになり全国的なものとなってくると思います。
人生100年時代に向けて、今以上に地域に貢献できる企業、そして今以上に社員の幸せな人生を実現するためにも健康経営に積極的に取り組んでまいります。

1368

福岡県
柳川営業所

竹下産業株式会社

代表取締役社長
竹下政敏 氏

「大切な社員が、健康で充実した人生」を実現するために

- 代表取締役社長　竹下政敏 氏
- 本 社 所 在 地　福岡県柳川市本町68-4
- 主な事業内容　海苔機械の製造業
- 従　業　員　数　70名(男性:61名・女性:9名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

社員一人一人が充実した人生を送って欲しいと願っています そのために、心身の状態を良好に整えることが必要と考えます

社員一人一人の健康意識を変えるために、「健康経営」を導入

日頃より何かとお世話になっているアクサ生命の担当者より「健康経営」について紹介されたのが、導入のきっかけでした。以前、働き盛りの社員を病気で亡くし、今でも会社として「何かできなかったのか」と自問自答することがあります。大切な社員を守るため、社員が「心身共に健康」であるために、まず自らの状態を意識し把握することが出発点となります。その出発点が「健康経営」取組へのスタートとなりました。

社員の意識改革への具体的な現在の取組と今後の取組

【現在の取組】
- 健康診断の100%受診
- 毎朝のラジオ体操

【今後の取組】
- 禁煙への取組
- ２次健診の受診と受診の促進
- 就業中、空き時間のちょっとしたストレッチ
- 家庭での運動習慣を身につける

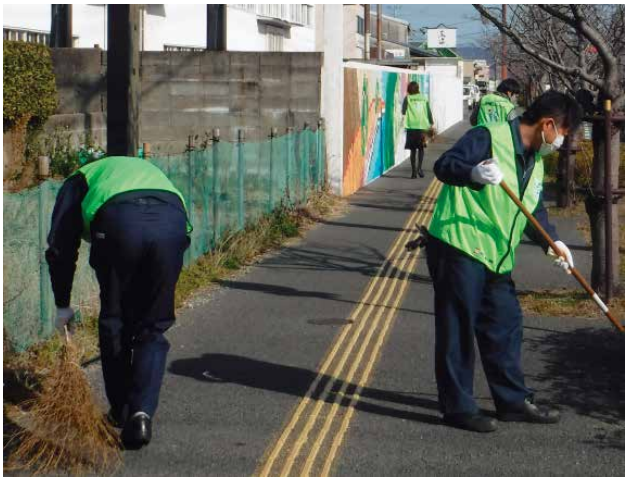
受動喫煙防止対策

社内喫煙場所の数削減から対応を始め、「受動喫煙防止対策」が義務化される前に喫煙室を設置しました。また、今年に入って屋内の喫煙室を廃止し、さらなる受動喫煙対策を行いました。これにより、「分煙」の徹底が実現できましたので、次は、「禁煙」への取組を推進したいと思います。
厚生労働省は、成人の喫煙率を2022年度までに12%に引き下げることを目標としていますが、弊社の喫煙率は約４割の高い数値を示しており、「禁煙」への取組は早急の重要事項です。
今後は、講習会の実施等で禁煙意識を高める活動に取り組むと共に、禁煙外来受診の補助や支援を検討課題としていきたいと思います。

2022年９月５日健康経営アドバイザーによるセミナー実施

今後の展望

「健康経営」を実践することは、会社だけでの取組では決してなく、社員一人一人が常日頃から、自身のことと捉えて受動的ではなく能動的に「知る」「学び」「実行」しヘルスリテラシーを向上させ、個人の精神、身体の健康を高めることであると考えます。
永続的に会社を継続させる為には、何より大切な社員が健康で充実した人生(生活)を送ることが第一ですので、全社一丸となって「健康経営」に力を入れて取り組んでまいりたいと思います。



地域清掃活動

株式会社リョーワ

代表取締役
田中裕弓 氏

油圧装置メンテナンス業界の金剛組を目指す

- 代表取締役　田中裕弓 氏
- 本社所在地　福岡県北九州市小倉北区浅野
- 主な事業内容　油圧装置メンテナンス業
- 従業員数　28名(男性:21名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

【経営ビジョン】

「やる気と笑顔のあふれる　日本一の油圧・メンテナンスの専門集団」

リョーワはひとり一人の存在価値を高め続けるとともに、真の信頼関係に結ばれた、安心して働ける、やる気と笑顔にあふれる日本一の油圧・メンテナンス会社をめざし、この業界で‘リョーワブランド’を確立します。

健康経営に取り組んだきっかけ

弊社は油圧機械のメンテナンスを行っており、年配の方も在職しています。職人の技能伝承はとても難しく、65歳で退職した後もこれまで通り常用の下請けさんとして長く働いて頂いています。過去79歳まで働かれた方が２名います。大企業は60歳定年で退職金も高額です。しかし当社は中小企業で退職金は低額です。例えば、65歳を超えても年収300万程度で15年働ければ、4500万円の収入を得ることができます。人から「ありがとう」と言われれば生き甲斐にもなり、何よりも働くこと自体が健康維持に繋がります。健康経営は当社の肝ともいえます。

健康経営の取り組みについて、具体的な取り組みや従業員に対する発信方法に工夫を

当社は設備のメンテナンスが仕事のため、お客様が連休となる年末年始、ゴールデンウィーク、お盆などの連休時期が繁忙期となります。年間休日は108日ですが、申請しづらい連休前後の５日を全社一斉有給取得日にしています。難しい面もありますが、現場と事務の妥協点を見つけながらやっています。
仕事の負荷に季節性があるので、従業員の健康面を重視し、健康診断で問題がある人には地域産業保健センターによるヒアリングを実施しています。また長時間労働に対する面談規定を作成し、時間外労働が月80時間超える場合や５ヶ月平均で60時間を超える場合だけでなく、希望者には同様に面談を実施します。
従業員への発信は毎日の朝礼や掲示板で行います。

会社の外観

従業員の皆様の健康習慣に関する意識・行動に変化はありましたか？

長時間労働などは、まず年配社員が自分の健康を含めて意識するようになり、全体に波及しています。特に女性社員については、仕事と家庭の両立もあり、SDGsの取り組みとして「女性の年間残業時間20時間以下」を目標の一つにしています。今では、ほぼ残業はなくなっています。また休憩時間は規程で指定していますが、各自で自分の体調を考えながら、効果的に使って休憩してもらっています。健康経営のフィードバックセミナーや研修についても行動の変化につながっています。
一方で楽しく会話できた昼食休憩が、コロナの影響で会話ができなくなり、精神的ストレスにならないかが気になるところです。

会社としての具体的な取り組み

夏場の作業現場は大変暑いので従業員の健康管理は特に意識しています。水分補給をするように注意するだけでなく、自販機の価格を80円に値下げも試しましたが、補給に個人差がでるので、夏期限定でスポーツドリンク(カロリーゼロ)や塩飴を毎日支給するようにしました。現場の作業服もファン空調付きにし、その他健康グッズも配布します。熱中症も甘く見ると死に至ることもあります。熱中症とコロナ感染対策の両立などの健康管理を会社が実施することで、従業員や関係者が健康に気をつけるようになってくれればと思っています。

毎朝のラジオ体操

1370

長崎県
諫早営業所

Voice Report 140th

株式会社サカモト美装

代表取締役
坂本剛志 氏

笑顔がないと健康ではない！笑顔の絶えない職場へ

- 代表取締役　坂本剛志 氏
- 本社所在地　長崎県大村市富の原2-848-1
- 主な事業内容　塗装工事業
- 従業員数　10名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

社員の成長が会社の成長、会社の成長が社員の成長であると確信しています。また成長する事で、自身・家族・お客様・会社に貢献できると確信しています。社員の安全と健康は、成長のためには必須です。そして、笑顔がないと健康にはなれません。これからも笑顔の絶えない職場を目指していきます。

健康経営に取り組もうと思ったきっかけ

数年前、社長のお姉様が健康診断によって病気が発覚しました。また、同業者の従業員も健康診断で指摘があり、入院となりそのまま亡くなられてしまった方もいました。このような経験から、会社全体で健康診断の大切さをより考えるようになりました。
会社理念の中に、「社員の成長は会社の成長、会社の成長は社員の成長」という文言があります。社員を想えば、必然的に健康経営を行っていることとなりました。

健康経営の取り組み

以下の取り組みを行っています。
①健康診断を受診しやすく
毎年、健康診断バスやコミュニティーセンターでの受診を手配し、スムーズに受診できるようにしています。当社社員のみならず協力業者の方にも受診できるように声掛けし、より多くの方にご利用していただいています。また二次健診が必要な場合は、健診費用を会社で負担しています。
②禁煙率の更なる改善
元々従業員の喫煙率が高かったことや、現場の休憩所では喫煙できなくなったことから、これまで以上に禁煙に力を入れています。具体的には、室内完全禁煙として、喫煙場所を設けました。また、タバコがもたらす体への影響の資料を給料明細に入れ、禁煙意識の向上を図っています。社長は以前はヘビースモーカーでしたが、率先して喫煙者への声掛けを行っています。社長が言うのであればと、喫煙本数を減らした社員もいました。
③ラジオ体操
８年ほど前から、朝礼時にラジオ体操を実施するようになりました。朝は、どうしても体や頭がボーっとしてしまうこともあるので、そのまま現場に出かけるのはとても危険です。皆で円になってラジオ体操を行うことで、お互いの顔色や体調も確認でき、元気がない社員には声掛けもできています。ちなみに、ラジオ体操を行うようになってからは、社員の遅刻がなくなりました。

取り組みの効果

健康診断の結果が届くと、自然と社員間で結果を見せ合うようになってきました。自分たちの結果がどうだったのかを笑いを交えながら話している様子を見ると、健康に対する意識が上がってきていることを実感します。
また、安全衛生のポスターは、毎年県から送られてきているものを使用していましたが、今年は自社で作成しました。イラストが得意な新入社員と一緒になって、デザインや文面など試行錯誤しながら作り上げました。その新入社員にとっては、初の大仕事となりました。出来上がったポスターは、安全衛生大会の時だけではなく、関連業者の方にも配布し、現場にも貼ってもらっています。これは、健康経営に取り組んでいるからこその発案だと感じています。

今後の展望

今後は、現在行っている取り組みを波及させていきたいと思っています。何事も強制的にやってもらうのでは長続きしません。社員同士がお互いの頑張りを称えたり、お客様から感謝されれば、それを評価できるような仕組みを作り、モチベーションのアップに繋げていきたいです。

1371

長崎県
諫早営業所

株式会社中央綜合警備保障

代表取締役
堀内敏也 氏

『誠実、責任、安全、迅速』この誓いで、社会の安全・安心に寄与できることを願っております

- 代表取締役　堀内敏也 氏
- 本社所在地　長崎県大村市原口町1148-6
- 主な事業内容　警備業
- 従業員数　770名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

業務内容は交通誘導を主体に施設警備、雑踏警備（各種イベント警備）、列車見張、公営競技場警備、貴重品運搬警備、身辺警備を行っております。営業区域も長崎県、佐賀県を中心に九州全域に渡って展開しており、平成28年熊本地震震災の折には災害派遣を実施しております。警備員数も700名を超え、特に交通誘導分野においては自社開発・制作の規制車両（一般社団法人全国警備業協会交通事故防止車両の工夫・開発部門賞を受賞）等を170台配備し、災害、悪天候等非常事態時の緊急対応等も営業拠点14ヶ所、社員寮200室から24時間迅速に対応いたします。また、環境事業、一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、飲食業を展開し、皆様の暮らしにお役に立てる綜合安全サービス業を目指しております。同時に企業としての責任（CSR）を果たすべく、ボランティアによる安全パトロール実施、自治体などへの交通安全資機材の寄贈、「地球温暖化防止」活動の一環として太陽光発電設備設置、電気自動車、天然ガス自動車導入等を積極的に推進しながら、『誠実・責任・安全・迅速』な企業理念の基にコーポレート・ガバナンスの強化及びコンプライアンス体制の構築を図ってまいります。

健康経営に取り組もうと思ったきっかけ

従業員の健康増進を図るため、職場環境の整備を行う事は以前より課題となっており、企業の発展には欠かせないと考えていました。年配の従業員が多く、健康状態の悪化から退職していく従業員も少なくない業界であるため、健康維持、増進のサポートを会社として行う必要性を感じている中で、アクサ生命のご担当者より健康経営への取り組みについて話を聞いて、社内でも取り組んでみようと考えました。

健康経営の取り組み

アクサ生命のご担当者より健康経営ワンポイントアドバイスのチラシを毎月頂き、全社員の目に留まる形で社内掲示を行っています。
生活習慣病の予防、高血圧の危険性、タバコの害などについてのポスターを月替わりで掲示して、健康増進の意識づくりに取り組んでいます。
健康診断の結果を従業員に通知する際、再検査・精密検査対象者には社内の健康経営の担当者が個々に面談を実施し、受診を勧奨し、その後も定期的に受診状況を確認しています。

生活習慣病の予防について話をしています

働きやすい環境づくり

事務所に警備員が出入りする時間帯に管理職が声掛けを行い、必ず一人一人とコミュニケーションを取るようにしています。受動喫煙防止の取り組みとして、屋外に喫煙場所を設置し、完全分煙化を行いました。

一人一人とのコミュニケーションを大切にしています

今後の展望

創業40年を迎え、社業の更なる発展を進めていく中で、従業員一人一人の力を発揮してもらえるような環境を整えることが大切であると考えています。年配の従業員が多い業種なので、健康経営に取り組んでいることをもっと内外にアピールし、この会社で働いてみたい、この会社にずっといたいと思ってもらえるような職場環境を整えることで従業員の定着を図りたいと思っています。今後はアクサ生命のご担当者と更に連携を取りながら、健康経営優良法人の認定企業として継続していけるよう、また上位法人の認定も取得できるよう取り組んでいきたいと考えています。

1372

大分県
大分FA支社

Voice Report 140th

大分デバイステクノロジー株式会社

代表取締役
安部征吾 氏

テーマは「大いなる感動」

- 代表取締役　安部征吾 氏
- 本社所在地　大分県大分市大字野津原1660
- 主な事業内容　半導体アセンブリ事業
- 従業員数　141名
- 加入健保名　協会けんぽ 大分支部

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2022 認定

大分デバイステクノロジー株式会社（以下ODT）は大分県に本社を置く創業50年を超える企業です。国内外の300社、約6000件もの半導体製品の試作開発に関わり、加えて評価分析、量産まで行っています。それを支えているのは約140名の社員さんたち。役割分担が進んでいる反面、ついついコミュニケーション不足になりがちな業務ですが、そこにはそれを補う工夫が各所にありました。

今年１年の方向性を全社員と共有する

年次の始まりに『今期はこういうことに取り組みますよ』ということを全社員に共有しています。そのひとつ『人について』というテーマで掘り下げた時に『どうやったら労働生産性が高くなるのだろう？』と考えて「頑張れるための仕事づくり」「キャリアプランに沿った個々の育成」と取り組んできました。そして、2019年「健康管理の促進と成果の見える化」を掲げた時に『健康経営の考え方』と合致したため、取り組むことにしました。外部から勧められたわけではなくて、社員みんなで考えぬいた結果、健康経営にすでに取り組んでいたという感じです。

健康経営という考え方との出会い

2020年に第三工場を新設しました。業務量が増えて「さぁ頑張ろう！」って時に体がついてこないと大変です。また、ある特定の人に特殊な業務が集中している状況があります。もし、その人が体調を崩したら業務が止まってしまう…かといって、特殊な業務はすぐには他の人の身につかない。そのためにも健康管理をどうやって進めていこうかと考えている時に健康経営の取り組みに出会いました。タイミングがばっちりだったんですよね。これが取り組むことになったきっかけのひとつです。

より高い労働生産性を実現するために

2-6-2の法則という話がありますが、上位２割の社員がもっと頑張りやすい環境にするにはどうすればいいのだろうと考えました。結果、給与体系や退職金制度の見直し、キャリアプランに沿った個々の育成、教育体制の整備などに取り組みました。そしてより高い労働生産性を目指すうえで必要なものは、やはり「健康」。健康診断の追加検診において全額ではありませんが助成しています。「だったらやっておこうかな」など関心を持って活用してくれたら嬉しいなと考えています。

ODTオリジナルの健康KAIZENプロジェクト

会社主導で「健康KAIZENプロジェクト」としてプロジェクトを立ち上げて取り組んでいます。「健康診断の数値改善」「禁煙」を目標に掲げ、挑戦してみよう、参加してみようという方にエントリーいただく形にしています。あくまでも強制ではありません。そしてその達成度合いで報奨金を用意しています。例えば喫煙されている方が禁煙に成功したらAコースの報奨金。紙タバコの方が電子タバコに代えられればBコースでの報奨金といった具合に達成度を分けています。無理なく自分のペースで健康というものに関心を持って取り組んでもらえるような雰囲気を作れればと考えています。

目指すはブライト500、そして本来の目的達成へ

2022年認定をいただくことが出来ました。それはもちろん喜ばしいことなのですが、目指していたのはブライト500でした。ブライト500として認められる企業でありたい。そのことを全社員で共有し、より高い生産性を達成できる会社でありたいと思っています。社員一丸となって、高い労働意欲のもと、コロナや不安定な世界情勢をしっかりと走っていける会社づくりを目指していきたいと考えています。

大分サッシ株式会社

代表取締役会長
池辺　武 氏

「健全なる精神は健全なる肉体に宿る」共通認識で働いています

- 代表取締役会長　池辺　武 氏
- 本 社 所 在 地　大分県大分市萩原4-10-20
- 主な事業内容　建設業
- 従　業　員　数　7名(男性:5名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

健康経営に取り組もうと思ったきっかけ

わが社の会長は「健康経営」が推奨されるよりも以前、今から15年ほど前から自身の健康診断結果を記録し体調管理を続けています。長年健康に配慮してきた会長の提案で、8年前に事務所に血圧計を設置し、全員の歩数計を会社で買い揃えました。そこから社員全員が出社時に血圧を計測し、体重と前日の歩行数とを共有データに記録するという取り組みを始めました。当初、女性社員にとって体重までオープンにするのは少々抵抗がありました。しかしこの「記録する」ことがポイントで、それを通じて健康状態を皆で共有し日頃から健康に留意するようになりました。

外部への発信と協力、より良い会社作りのために

７年前に大分県の健康宣言企業として認定を受け、新聞にも掲載していただきました。その後、アクサ生命保険の「健康経営セミナー」の受講をきっかけに、社内で健康に関する研修会の実施や情報資料の配布等をしていただくようになりました。その中で「健康経営優良法人」のお話をお聞きしました。会社独自の取り組みはしてきましたが、申請をするにあたり他の企業の様々な取り組みを知る事ができ、より良い会社環境作りに生かしております。

会社の「社是」「経営理念」「社訓」

わが社の真理は、縁あって同じ釜の飯を食うことになった仲間との「絆」を常に心(魂)の中心に、日々精進してゆこうという想いであります。そのためには先ず「社員全員が健康であること」「健全なる精神は、健全なる肉体に宿る」を実践することです。会社設立時より社員全員が如何にして精神的・肉体的に成長できるかを共通認識にするか取り組んだ結果がわが社の「健康経営」であります。

健康経営に関する社則

1. 出社時の「啓発活動」に関する計測と入力
2. 健康診断・ＭＲＩ＆ＣＴ＆大腸検査の全員受診(会社負担)
3. インフルエンザの予防接種(会社負担)
4. 事務所内・敷地内の禁煙
5. マラソン・ボーリング大会・ゴルフコンペ等への積極参加(会社負担)
6. 健康セミナーへの積極参加
7. 健康に関する資料(パンフレット等)の回覧

決算報告会での写真です

今後の課題と展望

昨年新入社員が入社し、より働きやすい環境作りと繁忙期の残業時間の削減に少しずつ取り組んでいます。今後の課題は「労働時間の適正化、ワークライフバランス、生活時間の確保」です。少人数体制の会社ですが、設立時より１年１年齢を重ねていく中で「社員全員が健康で、少しでも長く同じ職場で働いていける」会社経営が大切だと思っております。こころとからだの健康を社員全員が日頃から意識し、これからも会社と社員それぞれが向上していければと思っています。

1374

大分県
大分営業所

Voice Report 140th

有限会社富城物産

代表取締役社長
劉　懿喆 氏

健康のまま、元気のままでいきいきと100年過ごすために健康経営に取り組む

- 代表取締役社長　劉　懿喆 氏
- 本 社 所 在 地　大分県大分市政所3684
- 主な事業内容　ペット関連商品の輸入・卸業
- 従　業　員　数　34名

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

大切な従業員の発病が、健康経営に取り組むきっかけとなりました

ある従業員が、健康診断では異常が見つからなかったものの、その後体調不良で再検査したところ、胃がんが発見されました。治療も回復に叶わず、7か月後に亡くなったという辛い経験から、健康であることの重要性を認識し、５年前から健康経営に取り組むこととなりました。代表自らによる健康経営推進のもと、全国健康保険協会(大分支部)より委嘱された健康保険委員をはじめ、職場環境・福利厚生等の各担当者を選任しました。

まずは会社が取り組めることから始めました

元気に見えていても、健康とは限りません。当社では全従業員対象に、会社全額負担で健康診断時にがん検診を受けています。
現在までに３名の早期発見ができ、多くの従業員から感謝されています。大変な病気でも早期発見ができることにより、従業員は安心して働くことができ、会社も安心して雇用できます。
近年では、インフルエンザ等感染症予防のワクチン接種費用の一部負担や、新型コロナワクチン接種における特別休暇付与など、従業員がワクチン接種できる環境を整備し、感染拡大を予防することを目的に制度を導入しています。
従業員およびご家族の方々の安全確保を最優先に、今後も感染拡大状況を注視しながら、状況に応じた対応策を検討・実施して参ります。

富城物産外観　新倉庫

2021年11月７日大分県社会保険協会主催の「健康ウォーキング」の風景写真です。

楽しく健康な体作りを社員の健康は会社の健康につながる

協会けんぽ大分支部主催の健康ウォーキング５年連続参加や、大分県主催の健康アプリ「おおいた歩得(あるとっく)」の職場対抗戦に参加しています。健康になるだけでなく、社内の人間関係の向上につながる良い取り組みとなっています。イベントへの参加は、普段から「健康」を考えるよい機会となり、車通勤から自転車通勤に切り替えたり、アプリのミッションを達成するために休日ウォーキングをするなど、社員一人ひとりの健康に対する意識向上にも役立っています。

健康経営に取り組んだことで、職場が段々と変化してきました

現在は健康診断の後に、相談医が事務所に来て、勤務時間中に相談医と社員が話す場を設けています。当初、健康に問題があった社員も多く、相談件数も多くありましたが、健康経営に取り組むことで、今は健康に問題がある社員は１～２名程度になっています。
また、建物内敷地内全面喫煙禁止にしております。禁煙外来受診の為の休暇や、禁煙補助剤の購入費用の一部補助等積極的にサポートし、禁煙に取り組んでおります。以前は社員の半数が喫煙していましたが、健康経営に取り組み始めて禁煙者が増え、喫煙者はごく僅かになりました。皆の健康意識が高まりつつあることを感じます。

今後の展望

従業員の皆さんが、安全に事故もなく健康で仕事を続けられる環境づくりが、企業にとって最も重要だと思います。
人生100年時代。最後だけ気を付けてもだめなのです。
『健康のまま、元気なまま100年を！』を合言葉に、従業員とともに頑張っていきたいと考えています。
これからも、社員の満足度を意識した取り組みを行い、すべての社員に健康に対する意識の向上を図っていきます。そのために、健康課題を多角的に検討し、根本要因などを正しく把握していきます。会社として、健康経営の取り組みが生産性の向上と業績向上につながればと思います。

サンテックス株式会社

代表取締役社長
平田友一 氏

「幸福、それは健康から」笑顔あふれる会社であるために。

- 代表取締役社長　平田友一 氏
- 本 社 所 在 地　宮崎県都城市山之口町
- 主な事業内容　クリーニング業・その他洗濯業・運送業
- 従　業　員　数　79名(男性:22名・女性:57名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

会社で仕事を共にする皆さんは大切な仲間であり、多くの時間を一緒に過ごしますが、その中で一人一人の状態には気を配っています。業務内容や環境等の改善と課題は様々ありますが、まずは従業員の健康づくりが一番だと考えました。心身の状態が万全でないといいパフォーマンスは生まれませんし、不安や悩み等が増え、心の余裕さえすり減ってしまい、人間関係にも影響を及ぼすことに繋がります。永く働いてもらえるために。楽しく働いてもらえるために。笑顔あふれる会社であるために。その全てに共通し欠かせないものは、「健康」だと思います。

健康経営を会社の魅力の一つに

近年、離職率が高めの傾向にあり、その原因の多くが体力面でした。従業員の年齢層の上昇や労働力不足に悩まされる中、健康経営の取組みを教えていただき、その理念が自分の思う「会社を動かす原動力は社員である」と一致していると捉え、取組んでみようと思いました。

心身の活力を高める

ラジオ体操の実施も取り入れ、体を動かすことで業務中のケガ防止及び１日の始まりのルーティンを作り効率的な仕事に繋がればと考えています。又、県公式ウォーキングスマートフォンアプリ「SALKO」を推奨し、手軽で効果的な「歩く」という運動を意識する従業員が増え、社内や企業別のランキングで上位に入ることに喜びを感じ、互いに楽しく高め合うことが出来ています。

心と身体の両面で健康を考える

毎年の健康診断の結果を把握し、再検査や精密検査が必要と判断された従業員に対し、個別に面談し受診を促すと共に、結果の確認を行っております。又、長期間を要する内容の場合においても、定期的に状況確認を行い、改善に向かうよう留意を促しています。
併せて、ストレスチェックの実施及び相談窓口を設置し、話せる環境を作っております。工場内の従業員だけでなく、各店舗にも定期的に足を運び、現場の声を直接聞くことで、ストレスを感じない職場環境づくりの参考にし、問題点を改善しております。不安や悩みを話すことで、心の負担を少しでも軽く出来ればと心掛けています。

時代の変化に対応していくために

新型コロナウイルスの影響やロシアのウクライナ侵攻による情勢不安等により、働き方のみならず会社・経済全体が大きな変化を迫られています。厳しい状況下の中でも、柔軟に対応し、進化していくためには「健康」であることが何よりも不可欠です。引き続き健康経営に取り組みながら、笑顔あふれるたくましい会社づくりを実現し、より良いサービスを提供していきたいと思います。

宮崎県　運動アプリ　SALKO
チーム戦にて県１位獲得！！

1376

宮崎県
都城営業所

Voice Report 140th

都城商工会議所

会頭
安田耕一 氏

「会員事業所、地域経済の発展」を実現するために健康経営に取り組む！

- 会　　頭　安田耕一 氏
- 本社所在地　宮崎県都城市中町17-2
- 主な事業内容　総合経済団体
- 従業員数　14名(男性:7名・女性:7名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

都城商工会議所は約1,800事業所が加入する公共性の高い地方総合経済団体です。「地域経済の発展」「地域企業の繁栄」を目的とした様々な事業に取り組んでいます。その中で『健康経営』は会員事業所の経営支援の一つになると思い、2020年度から取り組みを行っています。

都城商工会議所会員事業所の発展のため、『健康経営』を実施

都城商工会議所会員事業所の発展のために『健康経営』は経営支援の一つになると思い実施しています。また、支援にあたる社員自身の健康づくりに関して、何か取り組みたいという思いもありました。特にここ数年は長年勤めてきた職員が定年退職し、それと入れ替わりで新たな社員が加わりました。職場環境が変わる中、健康経営を実施することで社員の福利厚生・定着率の向上につながると考えています。さらに地域経済団体として、県や市などの行政、協会けんぽと連携を図り、都城を盛り上げていくPRになると思い、実施しています。

アンケートを活用した健康経営への取り組み

アクサ生命保険の健康習慣アンケートを毎年実施しています。社員の悩みや健康に対する意識など、普段見えない課題を把握するきっかけにもなっています。アンケート結果についてはまず管理職で共有を行い、その後社内で回覧を行っており、所内もですが、社員一人一人の健康に対する意識づくりにつながっていると思います。また、一人ずつ専務理事からヒアリングを行い、悩みを聞いたりすることでモチベーションアップや改善につなげています。

入り口など各スペースに消毒液の設置

再受診しやすい環境づくり

定期健康診断実施率は毎年100％ですが、再検査・二次検査などの受診については、各自の判断に任せていました。しかし普段職場で元気に見える社員や若い社員でも健康診断で再検査が必要という結果が出る人もいます。早期発見・早期治療をしてほしいという思いから、所属長から声掛けを行ったり、就業時間や業務内容の調整を行ったりし、再受診率100％に取り組んでいます。

コツコツと身体の健康づくり

- 感染症予防対策として、所内で入り口や各課、相談室等にアルコール消毒液の設置や朝・昼２回の検温を行っています。また、普段と比べ元気がない社員には声掛けを行い無理をしないよう気を付けています。
- デスクワークが主なため座っている時間がどうしても長くなってしまいます。運動機会の創出のため、毎日朝礼前にラジオ体操を実施しています。短時間ではあるものの毎日することで身体の不調が軽減した社員もいます。

都城商工会議所の今後の展望

この先何十年後も地域社会になくてはならない存在でいたいと思います。そのためには、今いる社員も今後入社される方も、長く働ける環境をつくる必要があります。社員が健康で幸せでなければ健康経営の取り組みには意味がありません。社員の幸せが一番だと考えています。
今後ともアクサ生命保険と一緒になって地域経済が発展していくために健康経営を進めていきます。

1377

鹿児島県
鹿児島営業所

株式会社中村建設

代表取締役社長
中村真典 氏

社員・家族・会社のウエルビーイング実現のために「健康経営」

- 代表取締役社長　中村真典 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県大島郡宇検村
- 主な事業内容　特定建設業
- 従　業　員　数　17名(男性:13名・女性:4名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

当社は「安全で快適な生活環境の整備を通じて社会の持続的発展に貢献する」ことを、企業活動の大きな目標としております。人と自然との共生・自然災害への対策など、建設業に求められる役割も複雑化・多様化しています。社員の高齢化が進む中、心身ともに健康で働きやすい会社とするために健康経営に取り組みます。社員・家族・会社のウエルビーイング実現につなげてまいります。

社員の健康問題だけでなく、仕事にも人生にも前向きに取り組むために「健康経営」を始めました

従来より社員の健康に気を配り、協会けんぽによる健康診断や、保健師による保健指導は行っていました。
しかし、我が社も働き盛りの社員の高齢化が進み、それぞれが何らかの健康課題を抱えていました。そのような折、アクサ生命さんの健康経営アドバイザーの方から、「社員の健康と働きがい」そして「生産性向上」を結び付ける「健康経営」のお話を伺い、取り組む事にいたしました。今年で、４年目に入ります。持病を悪化させない為にも、健康課題と真摯に向き合い、社員・地域と共存共栄していく上で、「健康経営」は欠かせないものと考えています。

女性に優しい職場作り ワークライフバランスにも配慮し、地域社会にも貢献

当社の勤務時間は、8:00～17:00(休憩90分)ですが、女性社員の勤務開始は、9:00とし、育児や家事で忙しい女性のために配慮しています。また、2022年４月より週休２日制を導入。高齢化により、家族の介護に奮闘している社員もいます。介護や持病のある社員も、全員が働きやすい職場、健康で「安全第一」の職場作りに取り組んでいます。また地域に貢献するため、子供たちを地域全員で育てるため、小中学校でのボランティア活動にも力を入れています。手前味噌ではございますが、役員でもある妻は、長年の夢「小売店」をOPENしました。よもぎ餅・弁当・焼き立てパン等を仕入れ、趣味で桑茶を作り、栽培している「たんかん」と一緒に販売しています。地域の方、観光客の方にも喜んで頂いております。常に、生き生きと働く社員や妻には、感謝しかありません。

「趣味が高じて仕事になる」
ワークライフバランスの実践版
妻の運営している店舗

2022年９月12日
地元小中学校のグラウンドを
ボランティア活動で整備

健康経営で「技術伝承」「ワークエンゲイジメント」を高め、成長の好循環を生み出す

我が社は、昭和39年9月24日創業以来、多くの公共工事を手掛けて参りました。これまでの技術の伝承と共に、現在は、ドローンやiPad・杭ナビを駆使し、効率性も追求する時代になりました。
３年前に、３Dスキャナーや杭ナビという測量機器を導入。一人でも、測量が出来る環境を整えました。来年は、ICT測量にも力を入れて行く予定です。社員には、「時代の変化を鋭く捉えて」「仕事に前向きに取り組む」姿勢を、常に持ち続けてほしいと願っています。また、必要な資格試験なども、全額会社負担で支援・応援しており社員自ら向上し続けるためのサポートを行っています。
今後も「健康経営」＆「働き方改革」で、全員の「ワークエンゲイジメント」を高め、会社の業績UPにもつなげてまいります。

全社員を巻き込んで健康経営を推進 禁煙外来費用補助＆「健康だより」を発行

昨年、初めて優良法人認定を取得することができました。社内「安全大会」にて、健康セミナーを実施した折には、社員の健康意識が向上している事を実感し、大変嬉しく思いました。
当社は喫煙率も高いため、禁煙を決意した社員を支援するために禁煙外来の費用を全額補助しています。また、総務部発行の「健康だより」も４年目を迎え、今では皆、読んでくれるようになりました。
健康経営を通し、仕事と治療の両立、心身健康で働きやすい会社を目指し、社員・家族・会社の幸せにつなげて行きたいと思います。

総務部が毎月発行する「健康だより」
左から2022年2・3月合併号、10月号、11月号

1378

鹿児島県
鹿児島営業所

有限会社渕上事務器

代表取締役
池水尚夫 氏

「三つの積み重ね」と健康経営で社員の幸せを実現する

- 代表取締役　池水尚夫 氏
- 本社所在地　鹿児島県鹿児島市錦江町
- 主な事業内容　文房具・事務用品卸業
- 従業員数　11名(男性:8名・女性:3名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

Voice Report 140th

自分の病気をきっかけに、健康の価値に気が付きました。社長である自分が健康であってこそ、社員も会社も守ることができます。それ以上に社員と会社の健康が重要です。治療よりも予防が大事であるのと同様、経営においても最悪の事態を想定して最善の手を事前に打つことが必要です。健康経営は事前に手を打つ事が可能な、日々の積み重ねが結果をもたらすまさに最善の経営手法です。

三つの積み重ねと感謝の心を大事に脱サラし創業

脱サラし創業して18年になりますが、当時教えていただいた三重の心得を大事に経営に取組んできました。①一品一品②一円一円③一日一日の三つの積み重ねを大事にするというものです。営業して顧客を創造するために、社員と目線を一緒にし社員と共に汗を流そうと決めました。常に明るく挨拶し、職場の雰囲気作りにも気を使ってきました。社員一人一人を尊重し、どんなに小さなことにでも「ありがとう」の気持ちを持つ事を心掛けました。「感謝　自分一人では何もできない」が私の原点です。お客様・社員は勿論、商品を提供いただくメーカーにも常に感謝しています。

自分の健康から社員と会社の健康増進へ

健康が大事だと強く思うようになったのは、自分の病気がきっかけでした。完治してからは治療よりも予防がはるかに重要と気づき、健康増進に取り組むようになりました。社員の健康にも気を配りたいと思い、「健康管理士一般指導員」の資格を取得しました。NHKの「今日の健康」もテキストを買って、勉強しています。これらの学びは社員への教育にも役立っています。日課として、月曜・水曜日は筋トレ、火曜・金曜日は１～15階を階段で三往復、土曜・日曜日は20キロ走ります。健康だからこそ仕事に打ち込むことができるし、大切な社員を守ることも可能になります。そのような折アクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営の話を伺い、日々感謝している社員のためにも社員の健康増進を通して生産性向上に取り組むことを決意しました。

本社社屋

マラソン大会出場を目指し合同練習会を開催。お揃いのユニフォームがお似合いです。2022年３月20日かごしま健康の森公園にて撮影。

社員の健康意識の高まりをワークエンゲイジメント向上へ

健康経営に取組み出してから、社員の意識も明らかに変わってきました。健康診断を全員受診するのは当たり前ですが、要再検査の社員に対しては、就業時間内に会社負担で受診してもらっています。喫煙率の低下にも取組み、まず喫煙場所を屋外に移設し続いて廃止しました。５名いた喫煙者も４名が禁煙に成功し、現在は１名となっています。現在片腕ともいうべき常務が長期療養中ですが、就業と治療の両立支援のため全社員を被保険者としたがん保険に加入しました。

社員のやる気とやりがいを大事にし、個人も会社も成長してほしい

一人一人の社員がウキウキして明るく楽しんで働く、ワークエンゲイジメントの高い会社を実現したいと考えています。やる気とやりがいを持って業務に取り組んでもらうために、今期から利益を社員に還元する仕組みを取り入れました。具体的には営業目標を達成した社員には、夏冬の賞与支給時に会社粗利の半分を支給するというものです。当初は賛否両論ありましたが、社員全員でコミュニケーションを取り継続した話し合いで全員が納得して取り入れました。お互いが刺激しあって、業務成績にも個人の成長にもプラスの効果が出ています。

大切な社員のウエルビーイングを実現し社会貢献できる個人と会社を実現したい

現在68歳ですが５年後の73歳での勇退に向け理想の姿を描き、そのゴールから逆算して日々の業務に取り組んでいます。今年の１月４日の仕事始めの日には、社員と共にお寺さんで護摩焚きを受けその後下草刈りに取組みました。健康だからこそ明るい気持ちになり、明るく振舞うことができます。社員一人一人のウエルビーイングを実現し、社会貢献にも取組んでいきたいと思っています。「暗いと不満を言うよりも、進んで明かりをつけましょう」。自ら当事者意識を持ち、主体的に行動できる社員の集まる会社としてまいります。

株式会社ノルム

代表取締役社長
中村昭生 氏

「大切な社員の命と健康」を守り、地域に貢献する

- 代表取締役社長　中村昭生 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市下荒田
- 主な事業内容　消防施設工事業
- 従　業　員　数　10名(男性:9名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

社名のノルムには、社会規範・基準という意味もあり道徳意識を持つ企業でありたいと願っています。健康経営を社会規範として取り入れ、会社の方向性を明確にし社員が同じ方向を向くための指針として最適です。大切な社員の命と健康を守り、社員の能力を高めいきいきとやりがいを持って働くワークエンゲイジメントの高い職場にして社員・地域・会社に恩返しをしてまいります。

大切な社員の命と健康を守る 二度と後悔しないために

実は後悔しても後悔しきれない経験があります。12年前現在の社屋に移転し2年目、社員一同仕事に燃えていた時でした。当時30代の女性社員が健康診断で要再検の判定が出て、私からも総務からも再検査に行くように促しました。しかし本人は一向に受診せず毎年要再検となったにも関わらず、とうとう５年目に亡くなってしまいました。葬儀の時お母さまから「どうして家族に再検査が必要だと知らせてくれなかったのか」と泣きながら訴えられました。反省はしても後悔はしないというのが私の信条ですが、この時ばかりは後悔せずにいられませんでした。以来、大事な社員の命と健康を守ることが社長の使命と心得て経営に取り組んでいます。

社名の由来通り 健康経営で方向性を決定し共に前進する

上記のような経緯もあり、アクサ生命の健康経営アドバイザーから「健康経営」の考え方を聞き取り組む事を即決いたしました。社名の「ノルム」とは解析学でそれを定義することで個々の持つベクトル同士の距離を考えることができ、収束の議論ができることで、進むべき方向性を導くとの意味もあります。31年前の起業時に「社員皆の意見を聞き議論しながら共に進んでいこう」と社名に決めました。人を大切にし賛同を得ながら同じ方向を向き、大きな力を発揮していくには「健康経営」はうってつけだと思いました。誰もが納得しうる社員一人ひとりの健康増進に取り組むことにより、社員の意欲と能力を高め生産性向上に結び付けるという目標はベクトルの方向性を一致させ、大きな力を生み出しています。

2022年12月　設立30周年を記念したゴルフコンペを開催 社員と共に記念撮影

2021年３月　甲突川での清掃活動後社員と家族を含めバーベキュー大会を開催

社員を家族と考え社員同士で自主的に 健康習慣の改善に取組む

社員を家族と考えた時、家族に病人が一人いただけで何をやっても楽しいと感じることができません。社員にはまず健康であってほしいですし、健康を損なう事は金銭では取り返しのつかない損失です。再検査の費用は一部会社負担とし、勤務時間中に受診することを認めています。再検査に関しては、社員同士で受診を促しあう風土が根付き要再検査とならないように健康習慣に気をつけようという環境が整ってきました。健康経営は社長だけが取組むものではなく、やらされ感なく社員が自主的に取組むことによりさらに効果が高くなるものだと感じています。

社員の能力を高め ワークエンゲイジメントの高い職場を構築する

社員が働く環境にも気を付けています。いまのオフィスは市内を流れる甲突川の右岸公園の前に位置し、川の流れと木々の緑が豊かで春には桜も楽しめます。現在女性社員は一人ですが女性が働きやすい職場環境を整えるため、更衣室・トイレ・洗面所は女性専用のスペースを設けています。資格の取得及び自己啓発によるスキルアップも奨励しています。資格取得のための受験費用・交通費は全額会社負担とし、取得した資格に応じて昇給額も決めています。社員とのコミュニケーションを良くし、社員一人ひとりが能力を高めいきいきとやりがいを感じて働くワークエンゲイジメントの高い職場を構築してまいります。次世代の意見も無碍にせず取り入れながら、方向性を決めていこうと思います。

設立50周年を社員と共に迎えたい そのためにも地域貢献に取り組む

昨年設立30周年を迎えることができ、社員全員でゴルフコンペと感謝の会を催しました。50周年にはみんなでハワイでゴルフをしようと呼び掛けています。私もかなりの年齢ですが人生100年時代、健康でその日を迎えることができるよう精進してまいります。社会貢献の一環として、火災時における煙の怖さを知っていただき命を守るための講演活動を行っています。いざという時に原理原則に基づき冷静に行動ができるよう、社会・地域へのご恩返しとして行ってまいります。

1380

鹿児島県
鹿児島営業所

Voice Report 140th

水渕電機株式会社

代表取締役社長
水渕大作 氏

「創業100周年」と「次の100年」を迎えるために

- 代表取締役社長　水渕大作 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市南林寺町
- 主な事業内容　自動車電装品卸・整備業
- 従　業　員　数　80名(男性:52名・女性:28名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2020～2022 3年連続認定

我が社は今年創業93年を迎えますが、自動車及び電装品業界は100年に一度の変革期にあります。この変革期を乗り切り、次の100年につないでいくため社員の能力を高め生産性を向上させていく必要があります。そのためには社員のワークエンゲイジメントを高め、高齢者を含めた社員に健康で長く勤めてもらい技術と精神を継承していくことが重要です。「健康経営」は我が社100年の計の基本となるものです。

「健康経営」により健康は社員の責任から、会社を含めた共同責任へと進化

アクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営の話を伺い、従業員も会社も健康が大前提であるという私の考えと一致していたので導入を即決しました。人が資本である私たちの会社にとって、健康でイキイキと生産性を向上させながら働いてもらう事が重要です。健康はつきつめれば自己責任ですが、社員任せにすることなく私も社員一人ひとりの健康に関心を持ち、会社として社員の健康増進に取り組む事により社員の健康意識を高めていきたいと願っております。社員の高齢化も進んでおり、今いる社員に元気で長く働いてもらうためにも健康経営は大事です。

社員と会社の健康は、まず社長である私自身の健康から

社員に健康増進を勧める以上、社長である私自身も自分の健康に意識を向けています。毎日規則正しい生活を心掛け、食事も肉から魚中心に変えました。外での会食などの機会が多いため、家では一切アルコールは口にしません。朝礼時の社員全員参加のラジオ体操は30年以上前から実施しています。社員のワークライフバランスにも配慮し国の政策である働き方改革に則り、繁忙期以外はほぼ定時で帰ることができる体制も整えました。今では残業は一日30分を切っている状態です。今後は季節によって大きく異なる業務量の平準化に取り組むと共に、高齢者の配置転換など柔軟な対応により、社員に大きな負荷を掛けない職場作り、能力を発揮しやすい環境作りを目指してまいります。

2022年5月18日
従業員健康セミナー実施
講師はアクサ生命鹿児島営業所長
テーマは「睡眠」

2023年2月3日
始業前に全員でラジオ体操に取り組む
団地工場の社員

健康経営によりベテラン社員から若手社員へ、円滑な技術の承継を可能にする

健康経営アドバイザーから定期的に配布いただく「ワンポイントアドバイス」を、給与明細と共に社員に手渡し健康意識の向上を図っています。県内８ヶ所すべての事業場でアクサ生命による従業員セミナーを開催いただき、社員から好評を得ています。従業員アンケートの結果をフィードバックいただく事により、社員満足度の変化を把握しモチベーションの維持・拡大に取り組んでいます。ベテラン社員の持つ高い技術力を次の世代に承継していくため、ベテラン社員と若手社員のコミュニケーションを良くしています。定年は60歳ですが、75歳で頑張ってくれている社員もいます。

業界の大変革期を勝ち残るために、社員の長期的な育成と定着が重要

自動車及び電装品業界は100年に一度の大変革期にあり、今後電気自動車の伸展と共に車と家の一体化が進むと予想しています。業務に必要な知識・資格も建設関係の知識・資格が必要になってくることが予想されます。そのためには現存の社員を今から教育・育成し持てる能力を充分に発揮してもらう体制作りと、育てた社員に長く勤めてもらい貢献してもらう必要があります。長期に渡る社員の育成と定着のために、健康経営に継続して取り組んでいく必要を感じています。

創業100周年そして次の100年を迎えるために健康経営で社員と共に前進する

健康経営の推進により、一人ひとりのウエルビーイングを実現し当社で働いてよかったと感じてもらえる職場環境を構築していきたいと考えております。社員の人生目標を実現するためには健康が必要であり、心身の健康と共に社会的健康の意識を高めてあげることが当社の役割だと思っています。ワークエンゲイジメントを高め、生産性を高めると共に社員のウエルビーイング実現を目指してまいります。7年後の創業100周年を無事に迎え、次の100年の基礎を固めるために健康経営をベースに社員と共に前進してまいりたいと思います。

1381

鹿児島県
鹿児島営業所

中央ロード工業株式会社

代表取締役社長
笹木伸一 氏

「社員が幸せを感じる職場の構築」を実現するために

- 代表取締役社長　笹木伸一 氏
- 本 社 所 在 地　鹿児島県鹿児島市吉野町
- 主な事業内容　道路安全施設工事業
- 従　業　員　数　9名(男性:7名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模

健康経営優良法人
2021・2022 2年連続認定

縁あって当社で働く社員には技術を習得し、会社員ではなくどこでも通用するプロの「職人」になってほしいと願っています。社員一人ひとりがやりがいを感じて働くことが社員の幸せ実現につながり、そのような職場の構築が私の幸せでもあります。からだの健康・こころの健康に加え社会的な健康にも配慮し、ワークエンゲイジメントを高め「健康経営」で幸せな社員の創造を目指します。

平均年齢のアップと共に健康上のリスクも増大、健康経営の方針に共感し取り組みを決めました。

社員の平均年齢が年々アップし、40歳代後半となっています。若い方は勿論ですが、私を含め全員が健康に配慮していく必要を感じていました。加えて採用が困難な状況が続いているため、病気・ケガで一人でも欠員が生じると会社にとって大きな損失が発生します。社員と共に自分自身の健康習慣に気をつけなければならないと、漠然と感じていたところにアクサ生命の健康経営アドバイザーから健康経営の取組みを伺いました。社員の健康を経営的な視点で考え戦略的に取組む「健康経営」の方針に共感し、会社として推進しようと決めました。

会社と社員の健康増進は、まず社長である私の健康習慣から見直す。

社員に対し健康を訴える以上、まず社長である私自身の健康習慣を見直してみました。健康診断時の指摘もあり、まず食べ物に関しては間食をしなくなり規則正しい食生活を心掛けるようになりました。食べる順番にも気をつけベジタブルファースト、次にタンパク質そして最後に主食の順番は守っています。適正飲酒にも配慮し飲酒時の食べ物はオイルファースト、合間合間での水分補給も行うようになりました。間違っても翌日アルコールが残らないよう、夜９時には飲み会も切り上げています。特に適正飲酒は社員に対しても口うるさく訴えています。しかしながら私の意気込みだけでは思うように進まず、課題の一つが禁煙に向けた取組みです。喫煙者が５名いますが禁煙にむけた取組みをスタートしようという社員が出てきません。反対を押し切って強行するのも憚られ、営業車の禁煙もできていない状況です。
健康経営アドバイザー等外部の方の力も借りつつ、他社の事例も参考にしながら一歩一歩でも進めてまいります。

2019年５月、設立40周年を記念して家族と共に北海道への社員旅行を実施

早期発見・早期治療に取組むと共に、防止可能なリスクには事前に手を打つ。

病気には早期発見・早期治療が欠かせないので、健康診断は毎年４月に実施し100％受診しています。再検診も社長である私から、一人ひとりに対し受診するように促しています。
夏場は炎天下での作業となるため、熱中症対策には気を配っています。水分と塩分の補給を促しています。会社規定上の休憩時間以外にも、随時５分～10分の休憩を取得することを推奨しています。ファン付きジャケット(空調服)も３年前から全員に配布し、熱中症予防及び夏場の生産性向上に役立っています。当初はこのような物は要らないと言っていた社員も、一度着用してみると手放せなくなり大変好評です。

社員は技術を身に付け、プロの職人に育てる。長く勤務し能力を磨いてくれるのが会社の誇り。

同業の方から、「お宅の会社は社員が長く続くよね。」とよく声を掛けていただきます。多くの社員が当社で長く勤務し能力を磨いてくれるのは、私の誇りでもあります。当社で勤務すれば職人としての技術を身に付け、どこでも通用する職人になることができると自負しています。会社員ではなく「腕のあるプロの職人」を育成したいと願ってのことです。資格取得も奨励し交通費含め全額会社負担で実施しているものもあります。今はやりの「リスキリング」に対しても重要なものと認識しています。頑張ってくれている社員に対し金銭面でも報いたいので、今年の賃上げは大幅なものを実行予定です。

保険商品も活用しワークエンゲイジメントを高める。社員が幸せを感じる職場の構築こそが私の幸せ。

アクサ生命の健康習慣アンケートにおいて、治療と業務の両立支援策を希望する社員の割合が高かったので、アクサ生命のがん治療保険を用いた福利厚生プランに加入しました。社員がやりがいを感じて働くことが社員の幸せにつながり、そのような職場を構築することが私の幸せです。国や自治体・金融機関の「健康経営」に対するインセンティブも一層浸透し、「健康経営」が普及することに期待しています。４年前の設立40周年時には、社員全員での北海道旅行を実施しました。50周年時には頑張ってくれている社員に報いるためにも、再び全員参加の旅行を企画したいと思っています。「健康経営」を推進し、幸せな社員を創造していく決意です。

1382

鹿児島県
川薩営業所

株式会社有馬電設

代表取締役
大坪秀一 氏

社員が能力を向上させ、「幸せな職場」を実現するために

- 代表取締役　大坪秀一 氏
- 本社所在地　鹿児島県薩摩川内市中福良町
- 主な事業内容　電気工事業
- 従業員数　37名(男性:35名・女性:2名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

健康で働くことによって、身体・メンタル・人間関係の健康が保たれます。健康には習慣が大事です。社員の健康増進に役立つ習慣作りに取り組むと同時に、能力向上を通じていきいきとやりがいを持って働くことができる職場を構築してまいります。社員のワークエンゲイジメントの高まりが、生産性向上に結び付き安心して長く働くことが可能な会社を目指します。

社員３名の突然の入院手術が発生。会社として「健康経営」に取り組む必要を感じました。

２年ほど前に50代前半の働き盛りの社員３名が立て続けに入院、うち２名が緊急手術を受けるという事態が発生しました。１名は手術後半年ほど休まざるを得ませんでしたが、幸いなことに全員健康になり仕事にも復帰することができました。３名とも喫煙者であったこともあり、社員の健康習慣に対しても会社として関心を持ち改善の必要があれば社員を巻き込んで取り組む必要があると考えました。そのような時に社員の健康を経営的な視点で考え戦略的に取り組む「健康経営」の存在を知り、会社として推進しようと決め取り組みを始めました。

早期発見・早期治療が重要 健康習慣の改善として、禁煙に取り組む

上記入院者３名の内１名は健康診断後の再検査で要治療箇所が判明し、早期に治療ができことなきを得ました。早期発見・早期治療の重要性を改めて知る機会となりました。健康診断の受診率は100%でしたが要再検査の社員については就業規則では必ず受診するように決めていたにも関わらず、実際は厳しくしていませんでした。現在は全員が再検査を受診し結果の報告も求めています。身体が資本である私たちにとって、早期発見・早期治療と並んで病気の予防も重要です。喫煙率を下げて望まない受動喫煙を無くしたいとの思いで、禁煙外来の費用は全額会社負担とし禁煙手当も創設しました。禁煙手当は禁煙に成功した社員だけではなく、喫煙経験のない社員にも支払われています。社有車は全面禁煙とし、喫煙所もわざと行きにくい場所に設置しました。その甲斐もあり５名が禁煙に成功しています。

2022年2月1日　健康セミナー実施時にスクワットを体験する社員
講師はアクサ生命健康経営アドバイザー、テーマは「運動」

2022年10月22日
地域への貢献活動としてJR川内駅において清掃活動を実施

健康で長く働いてもらうと共に、現場ローテーションでベテランから若手への技術継承を円滑に進める。

当社の就業規則上の定年は60歳ですが65歳まで延長でき、健康で意欲と能力があれば定年を超えて働いてもらいたいと考えています。ベテランから若手への技術継承のため、ベテランの下に若手を配置し若手が業務を行いベテランが指導する体制としています。さらに若手の育成のために取り組んでいるのが、現場のローテーションです。若手に対し経験したことの無い業務の経験により、能力をアップしてもらうのと同時に有休の取得しやすい職場を目指してのことです。有休の取得しやすい現場と困難な現場がどうしても発生するため、社員の不公平感をなくし希望者が有休の取得できる会社にしていきたいと考えています。

社員の能力向上を通じてワークエンゲイジメントを高め、生産性の向上に結び付ける

電気工事技能競技鹿児島県大会において、当社の吉村社員が優勝いたしました。ベテランの社員に確認しても、北薩地区から優勝者が出たのは聞いたことが無いという快挙です。これは本人の能力・努力と関係する皆様のサポートのおかげですが、会社としても上記の通り技術指導に力を入れているところです。
吉村社員は2022年12月に開催された全国大会で入賞(敢闘賞)いたしました。社員一人ひとりの能力向上を通じ、いきいきとやりがいを持って働く環境を整えワークエンゲイジメントを高めてまいります。

社長としての幸せは、社員が健康で働くことができる職場環境を実現する事

毎月１日に実施する会議では、社長の私から必ず健康に関する話をしています。健康で働くことによって、身体もメンタルも人間関係も良好なものになっていきます。会社にとっての健康には、事故が無いことも含まれます。健康も無事故も習慣が大事です。社長としての幸せは、社員が健康で過度なストレスなく働くことができる職場環境を実現することです。そのような職場環境のために社員と共に「健康経営」を推進し、社員も会社もウエルビーイングを追求してまいります。

1383

鹿児島県
鹿屋営業所

有限会社天野電装

代表取締役
天野純一 氏

「健康経営」で社員が健康で、安心して定年まで働ける会社を実現する

- 代表取締役　天野純一 氏
- 本社所在地　鹿児島県鹿屋市田崎町
- 主な事業内容　自動車電装整備業
- 従業員数　9名(男性:8名・女性:1名)

健康経営優良法人 2022認定
中小規模
健康経営優良法人
2022 認定

Voice Report 140th

弊社は自動車・大型トラック・バス、建機・農機の電装品の修理、ETC・ドライブレコーダーの取り付けを行っております。平成元年３月に創業、平成３年３月に法人化し、一昨年創立30周年を迎えました。
経営理念に「すべての物に感謝し、喜んで働く」を掲げております。社員同士が互いに協力し合い挑戦を続け、全員が顧客の要望すべてに対応できることを目指し日々技術を磨いております。

健康経営を始めたきっかけは、健康経営アドバイザーからの紹介でした

社員が生きがい・働きがいを感じ喜んで働くと共に、これからも安心して働くことの出来る職場を提供することが会社が発展・成長するための基本であると考えております。平均年齢が43歳と高く、健康診断の結果で要経過観察や要再検診といった結果を目の当たりにすると社員の健康意識を高め健康を維持するために何かできる取り組みがないかと模索しておりました。そんな折アクサ生命の健康経営アドバイザーから「健康経営」を紹介され、やってみようと決め始めました。何から始めればよいのかわかりませんでしたが、まず健康習慣WEBアンケートを教えていただき社員の健康習慣を可視化することから取り組みました。

健康経営はできることからコツコツとスモールチェンジの積み重ねで

健康習慣WEBアンケートを用い、社員の思いや現状を把握。その後健康経営アドバイザーによるフィードバックセミナーを活用しました。スモールチェンジという考え方を教えていただき、まずはできることから少しずつ取り組むこととしました。休憩時には炭酸飲料や甘味料が多く含まれている飲物を摂っていましたが、会社から提供する飲物を無糖・微糖のコーヒーやお茶に変更。いつでも水分補給が可能なように、ウォーターサーバーも設置しました。敷地内の自動販売機にも新たに乳酸菌や機能性表示食品が入ったものも取り入れました。以前より事務所内は全面禁煙にし、受動喫煙対策を実施。事務所から離れた外部に喫煙所を設置し、喫煙者とお客様が利用できるようにしております。

2022年10月3日
朝礼時に健康習慣ワンポイントアドバイスの読み合わせを実施
講師は朝礼当番、テーマは「禁煙」

健康経営をきっかけに、ウォーターサーバーを設置
社員はいつでも好きな時に水分補給ができます

社員にためにできることは積極的に取り入れる協会けんぽも活用し、生活習慣を改善

感染症対策としては就業時間内でのインフルエンザ予防接種を全額会社負担で実施。ほとんどの社員が希望し、接種を行っております。コロナ対策としても共有スペースの定期的な除菌・消毒の実施。出入口にはアルコール消毒液を設置し、事務所内のマスク着用常に換気を行いこまめな手洗いも実行しています。「健康経営」を機に２年に１回だった健康診断を１年に１回に変更。女性社員には乳がん検診・子宮頸がん検診も一般健診と併せて全額会社負担で実施しております。健診後は協会けんぽから保健師に来社いただき、対象者には健康相談(保健指導)を行い生活習慣の見直しを促進しています。男性社員の育休取得も２名となり、女性特有の健診費用も市の健康維持増進事業を活用し、通常より安価に受診できる体制も整えました。

コミュニケーションを通じて風通しの良い職場環境を構築したい

毎日実施する朝礼時や、日常会話の中で社員の顔色や体調の変化を見逃さないようにしています。朝礼では「職場の教養」を活用し、輪読後指名された社員が感想を言い、他の社員が意見を述べ合う。全員が真剣に取り組み、きびきびとした動きと元気のいい発声で行っています。年齢や経験の違いを超えた一体感が生まれ、チームワークが良くなりました。社員同士の笑顔でのコミュニケーションが増えました。体調不良による欠勤者も年間を通じていなくなりました。

健康経営の実践で健康で安心して働ける「親子二代で働きたい」と思える会社を目指したい

年に一度の社員研修旅行や懇親会・忘年会を通じて、心身共にリフレッシュすると共に良好なコミュニケーションを心がけています。地域への恩返しとして、毎月第一月曜日に会社周辺のゴミ拾いを全社員で実施。地域への感謝を忘れないようにしています。社員と同じ目線に立ち、社員のワークエンゲイジメントを高くしイキイキと笑顔で働くことができる。働きやすく能力を発揮しやすい環境を整え、安心して定年まで働くことができる。親が働いている姿を見て、「自分も働きたい」と子供が思い、親子二代で働きたいと思ってもらえる会社を目指していきます。

www.axa.co.jp

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020　東京都港区白金1-17-3
TEL 03-6737-7777（代表）

www.axa.co.jp/

Form No.0X0669(1.0) AXA-A2-2305-2476/C0T 2023.07.01